史上最高の観客動員『PRIDE.17』。されど内容は……

平成12年4月25日第3種郵便物認可　平成13年11月22日発行（毎月第2・第4木曜日発行）第3巻・22号・通算58号

SRSDX

Special Ring Side

No.58
2001
11・22
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

ドームに響き渡る

怒声と溜め息

PRIDE 大惨敗!

SRSDX 11・22 No.58

11・3『PRIDE.17』東京ドーム速報
1・11『一撃』で武蔵VS野地竜太 実現!

編集人・谷川貞治　発行人・梅沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版
(株)ローグス　〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-13
神田NSビル8F　電話／03-3295-1445
発売所・(株)扶桑社　〒105-8070　東京都港区海岸1丁目15番1号
定価680円
本体648円

PRIDE OFFICIAL VIDEO DVD

PRIDEの歴史は
プロレスラーから始まった。

高田延彦の挑戦から4年。
幾人ものプロレスラー達がPRIDEのリングに立った。
戦いに挑む胸中を語ったインタビューと
試合のダイジェスト、未公開映像などを交え
彼らのあくなき挑戦の軌跡を集約。

高田延彦　桜庭和志　アレクサンダー大塚
藤田和之　高山善廣　谷津嘉章　安田忠夫
石澤常光　佐野なおき　カール・マレンコ
松井大二郎　大刀光

PRIDE

GREAT RESPECT

～猛き群雄の生きざま～

特典映像
アントニオ猪木
「1.2.3.ダー!」全集
PRIDE.10、11、12、13、14、15より

プライド プロレスラー列伝 DVD VIDEO
GREAT RESPECT ～猛き群雄の生きざま～
11.9 (fri) ON SALE

価格：4800円(税別)　収録時間：約110分　ZMBZ-1377

PRIDE.16 オフィシャルDVD
2001.9.24 in OSAKA-JO HALL
12.14 (fri) ON SALE 価格：4800円(税別) 収録時間：約130分(予定) ZMBZ-1311

ローソンロッピーにて
11月30日(金)まで予約受付中!　Loppi番号▶633585

制作：フジテレビ映像企画部　発売：(株)メディアファクトリー／フジテレビ映像企画部
販売：(株)クロス・エンタテインメント・ディストリビューション　写真提供：SRS-DX

FUJI TELEVISION　MEDIA FACTORY

● 全国の下記店舗他、DVD取扱店にてお求め下さい。

北海道
ベスト電器LIMB旭川本店
そうご電器AMUSE SQUARE
ヨドバシカメラマルチメディア札幌店
ビックカメラ札幌店
玉光堂千歳サティ店
玉光堂松風町店

東北
カシワヤ楽器　御所野店
ファミコンショップジョニー青山店
ヨドバシカメラ仙台店
蔦屋山形新庄店

関東
ソフマップ厚木店
ラオックスザ・コンピューターゲーム館厚木
ヨドバシカメラ京急川崎駅前店
新星堂川崎アゼリア店
新星堂川崎店
イズミ梶ヶ谷
新星堂溝ノ口店
石丸電気青葉台店
スターショップ本牧サティ店
石丸電気横浜店
タワーレコード横浜モアーズ店
新星堂横浜ジョイナス店
HMV横浜VIVRE
ヨドバシカメラ横浜駅前店
ソフマップ横浜店
ハマヤレコード戸塚東口店
ヨドバシカメラ京急上大岡店
ファミコンショップ桃太郎つきみ野店
ディスクハウスサカタ
ソフマップ大宮店
WAVE大宮店
石丸電気久喜ビッグワン
ファミコンショップ桃太郎坂戸店
ファミコンショップ桃太郎ふじみ野店
ラオックス市原店
ラオックス千葉店
ヨドバシカメラ千葉店
ギンセイスカイプラザ店
新星堂カルチェ5柏店
石丸電気成田ビッグワン
石丸電気柏ビッグワン
新星堂イクスピアリ店
石丸電気つくば店
ビックカメラ渋谷東口店
HMV渋谷
タワーレコード渋谷店
HMV原宿
HMV新宿SOUTH
SHIBUYA TSUTAYA
ヨドバシカメラ西口本店 ゲームミュージック館
ソフマップ新宿4号店2F
さくらや新宿西口駅前店
さくらや新宿ホビー館
さくらや新宿AV専門館
紀伊國屋書店新宿本店DVDアイランド
ビックカメラ新宿東口店
タワーレコード新宿店
新宿TSUTAYA
ディスキャット高田馬場店
ソフマップ新宿3号店
ヤマギワ世田谷店
TSUTAYA三軒茶屋店
石丸電気パソコンタワー
石丸電気3号店
石丸電気本店
石丸電気ソフトワン
ヤマギワソフト館
ラオックスザ・コンピューターゲーム館
ラオックスホビー館
ソフマップ秋葉原カクタDVD
ソフマップ秋葉原本店3F
ソフマップ秋葉原2号店1F
ヤマギワ東京本店
サウンドパーク・ダイナ
ヤマギワソフトA館
ビックカメラ有楽町店
内外無線大森本店
ビックカメラ池袋本店
HMV池袋サンシャイン60通り
WAVE池袋店
ヨドバシカメラマルチメディア錦糸町店
新星堂DISK INN吉祥寺店
新星堂八王子東急スクエア店
ビックカメラ立川店
新星堂DISK INNルミネ立川店
ヨドバシカメラ町田駅前店
ソフマップ町田店
山野楽器銀座本店
HMV上野
ワールドスポーツプラザKINGS渋谷本店
ワールドスポーツプラザKINGS池袋パルコ店
(株)クエスト

中部・北陸
ヤマギワソフトナディアパーク
ヤマギワソフトメルサ店
ディスクステーション植田店
ワールドスポーツプラザKINGS名古屋パルコ店
すみや静岡本店ソフト館
ディスクピア浜松1ばん館
平安堂座光寺店
平安堂塩尻店
平安堂MUSIC長野店
ライオン堂
ソフマップ新潟店
サウンドワクイC&C
ヨドバシカメラ新潟店
TSUTAYA南万代店
石丸電気新潟店
宝島王国二の宮ビックサイト店
ディスクピア富山本店
文苑堂TSUTAYA熊野店

関西
ディスクピア阪急三番街店
タワーレコード梅田店
ディスクピア梅田店
ミヤコ心斎橋店
ビックカメラ大阪なんば店
ディスクピアゲームデポ
ディスクピア日本橋店
サウンドデポ難波店
ソフマップ日本橋2号店
ソフマップ難波ザウルス1ソフト館
ディスクピア門真ホビー館
ヤマギワソフト大阪店
ソフマップ梅田店
ワールドスポーツプラザKINGS大阪店
ディスクピア京都1ばん館
TSUTAYA西院店
ソフマップ京都店
ディスクピア瀬田店
Groovy Site明石サティ店
ディスクピアさんのみや1ばん館
ソフマップ神戸店
星電社ミスタージャケット三宮本店
ワルツ堂京阪モール店
ディスクピア南街店

中国・四国
ベスト電器LIMB松山本店
ベスト電器LIMB高知本店
DISK City出雲店
デオデオデジタル館
DISK City宇品店
DISK City東福山店
HMV広島店
ベスト電器LIMB広島本店
タワーレコード広島店

九州
MUSIC SPACE CROSS
ベスト電器LIMB熊本東バイパス店
ベスト電器LIMB前原店
ビックカメラ天神
ベスト電器LIMB西新店
ベスト電器LIMB福岡本店
ベスト電器LIMB小倉店
BOM熊本/御領店

PRIDE.17オフィシャルDVD 2001.11.3 in TOKYO DOME　2002.2.8 (fri) ON SALE 予定

桜庭、涙の脱臼シウバに連敗！

当日、深夜より『SRS・DX』公式サイト「Webゴング」で調査！キミはこの結末に何を感じたのか？

Q 桜庭がリング上で流した涙。その真意をどう解釈する？

回答	割合
消化不良に終わってしまい、お客さんを楽しませる試合ができなかったから。	52.7%
二度同じ相手に負けた悔しさから。	26%
PRIDEの代表としてメインを勝利で飾れなかったから	10.3%
アクシデントに見舞われた自分の運のなさに落胆したから。	8.2%
シウバに勝つ自信を失ったから	2.7%

※11月4日、午後10時時点

1Rが終わった時の桜庭の様子。左肩に注目！明らかに肩鎖関節が脱臼している。なんて不運なんだ！

今回の登場はG・ムタ。その真意は何か？

相変わらずニラミつけるシウバに対し、桜庭も目を合わせる。気合いも入っていたし、落ち着いてもいた

5万3246人という『プライド』史上最高の観客を動員。メインの桜庭はなんとグレート・ムタ、バージョンで入場

頭巾の下には仮面を被っていた。もうネタがないと言いながら、この工夫。それだけ気合いが入っていたのだ

毒霧まで吹いた桜庭。観客はこの時、異常な盛り上がりを見せた

ナーバスになっていたのは、体調も悪く減量に失敗したシウバのほう

5万3246人という『プライド』史上最高の観客動員数を記録した11・3東京ドーム大会。目玉となるドーム級のカードは、K—1がらみくらい。グレイシーや新規大物プロレスラーなしで、『プライド』はここまで成長した。

ただし、その『プライド』の試合内容が、これまで何度も叫んでいた凄いものだったかというと、決してそうではない。観客の異常なほどの期待感とリング上の闘いの〝地熱〟には明らかに差があった。正直、今日の興行を採点するなら、あらゆる意味でペケである。

実際、東京ドームに集まったファンは、試合が始まる前から異常なまでの熱気に包まれていた。しかし、いざ試合が始まると、第1試合の小原VSヘンゾから、いきなり何か歯車が狂いはじめた。そして、その狂いはじめた歯車というか、どこか嫌な空気は最後まで払拭することができなかった。いったいどこがどう悪かったのか？A級戦犯はいったい誰なのか？

いや、もしかしたら、悪いのは特定の人物なのではないかもしれない。東京ドームという器そのものが、どこか解放感があって集中力に欠ける。たとえば、今回の『プライド』はさすがに入場ゲートの映像は、WWFバリに凝った演出をしていた。心の底から「おおーっ、かっこいい」と燃え上がってくるのだが、選手がステージに上がってくるまでのエレベーターがやたら長かったのと、花道が異常に長かったため、選手の入場曲がフルコーラスかかってもリングに辿り着かない。そのため、燃え上がった気持ちが持続できないのだ。

こういった様々なズレが、この日

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

今日は熱くならない！今日は勝ちにいく！

桜庭、いきなりのタックル！

「今回ばかりは負けられない」
桜庭は、いきなり片足タックル

転ばしても、何度も立ち上がってくるシウバは、スタンディングで密着してヒザ蹴りの連打

ベースを掴めない桜庭はモンゴリアンチョップ。余裕があるのか？

©Essei Hara

しかし、グラウンドになっても、シウバの非情な打撃は止まらない。ディフェンスも堅い

こういった様々なズレが、この日の興行にはいくつもあった。もちろん、試合内容も。

しかし、逆に言えば、これほど試合が終わったあとに、あれこれ言いたくなる興行も珍しい。その意味で、こんなにファンが語れる興行もない、久々に活字向きの内容だった。

どんな興行でも、それが良かったか悪かったかを最終的にジャッジメントするのは「ファン」である。そうやって、マット界は他のジャンルとは比較にならない進化を繰り返してきた。答えはリング上の闘いの中にあるのではない。それをどう受け取るかという我々の心の中にあるのだ。

今、そういったファン同士の語り合いの場として、最も身近な存在がインターネットである。そこで、本誌も遅ればせながら今月からオフィシャル・サイトを開設した。その一番の目的は、我々と業界とファンとのコミュニケーション。中でも、「ウェブゴング」を作り、ダイレクトにファンが何を考えているのか、リサーチする場を設けた。それひとつとっても、実に興味深い結果が出ている。

たとえば、桜庭VSシウバ戦については「桜庭がリング上で流した涙。その真意をどう解釈する？」という設問を作り、次の項目を並べてみた。

①二度同じ相手に負けた悔しさから。
②シウバに勝つ自信を失ったから。
③アクシデントに見舞われた自分の運のなさに落胆したから。
④『プライド』の代表としてメインを勝利で飾れなかったから。

極まりかけたフロント・チョーク

1R終盤、桜庭のフロント・チョークが極まりかけた

桜庭の鎖骨を破壊したボディスラム！

しかし、シウバは強引に抱え込み、ボディスラムのような形で投げる

▶腕を離さない桜庭は、そのままマットに叩き付けられる。左肩はこの時、脱臼したのだ

上になられた桜庭は、シウバに何発かのパンチをもらった。この時には、すでに脱臼していたのだ

⑤消化不良に終わってしまい、お客さんを楽しませる試合ができなかったから。

ファンはこの中で一つだけを選択することができる。その結果、約12時間後の集計結果では⑤が52・7％で断トツ1位。続いて①が26％、④が10・3％、③が8・2％、②が2・7％と続いた。

つまり、ファンの大部分が桜庭を好意的に見ており、自分だけでなく桜庭もこの試合を〝消化不良〟と考え、もっとお客さんを〝楽しませる〟試合ができたと考えていることが分かる。

しかし、私個人の真っ先の感想では、一番少なかった②を選んでいた。桜庭VSシウバ戦が終わったあと、私はもっと深刻な気分だったのだ。

223日前の悪夢。昨年、グレイシーにあれほど勝ち続けて、一躍マット界のトップに躍り出た桜庭は、自ら無名のブラジル人・シウバに負けることによって新たなドラマを作りはじめた。桜庭人気は『プライド』人気。VTという闘いのフォルムの中でも予測がつかないような動きをし、まったくもって文句の付けようのないほど強くて、面白い闘いができる桜庭が戻ってこそ『プライド』も安泰。それには、まず何よりもシウバへのリベンジだ。

しかも、今の『プライド』には嫌な空気が流れている。ダン・ヘンダーソンやヒカルド・アローナ、ムリーロ・ニンジャといった強くて地味なミドル級がジワジワと桜庭の周囲を固めている。グレイシーがそうであったように、桜庭は今後、これらの強敵と闘うことで

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

PRIDEミドル級王者誕生！

桜庭は何をしたらこの男に勝てるのか？

1R過ぎに左肩の脱臼が発覚。突然ゴングが鳴らされ、桜庭のリベンジは失敗に終わった

©Essei Hara

勝利を告げられたシウバも泣き崩れ、マットに十字を切って神に感謝した

事実上、世界のミドル級の頂点に立ったシウバ。次期挑戦者は、ホイスか、ヘンダーソンか？

★第9試合・メインイベント/PRIDEミドル級王座決定戦（1R10分、2・3R5分）

○ヴァンダレイ・シウバ（1R終了、ドクターストップ）桜庭和志●

<ブラジル／シュート・ボクセ・アカデミー>　<日本／髙田道場>※桜庭が左肩を脱臼したため

彼らの存在を引き上げていかなければならない。それには、あまりにも強過ぎるヤツらばかりだ。

そういった身近な状況の変化を感じながら桜庭に感情移入していた私は、本当に胸中穏やかではなかった。サクはこれからも、本当に大丈夫だろうか？　グレイシーに勝った時は、冗談抜きで「この男40歳ぐらいまで誰にも負けないんじゃないか」と思えた。ところが、わずか1年でこの心境の変化！　だから、ガチンコの世界は厳しいのである。

もちろん、今回の桜庭VSシウバ戦で、桜庭のほうが押されていたとはまったく思っていない。片足タックルは見事に成功しているし、スタンド状態でフロントチョーク、それからボディスラムで投げられた後、下から三角絞めも取れそうになっていた。しかし、かといってシウバが押されていたかというと、そういう感じもまったくしなかった。

勝負はホント紙一重。たしかにボディスラムで投げられたあとの左肩鎖関節脱臼はアクシデントだが、そのアクシデントが誘発されるのは勝負が互角だからである。で、運というのは結構大切で、それを引き戻すには相当のエネルギーが必要なのだ。

だから、私は「シウバに勝つ自信を失ったから」とまでは思わないまでも、次やって本当に取り戻せるかどうかは不安。勝った人間は、それほど強く見えるということである。

「すいません。今日は凄く調子が良かったんですけど、皆さんの期待に……」と言ったところで、リ

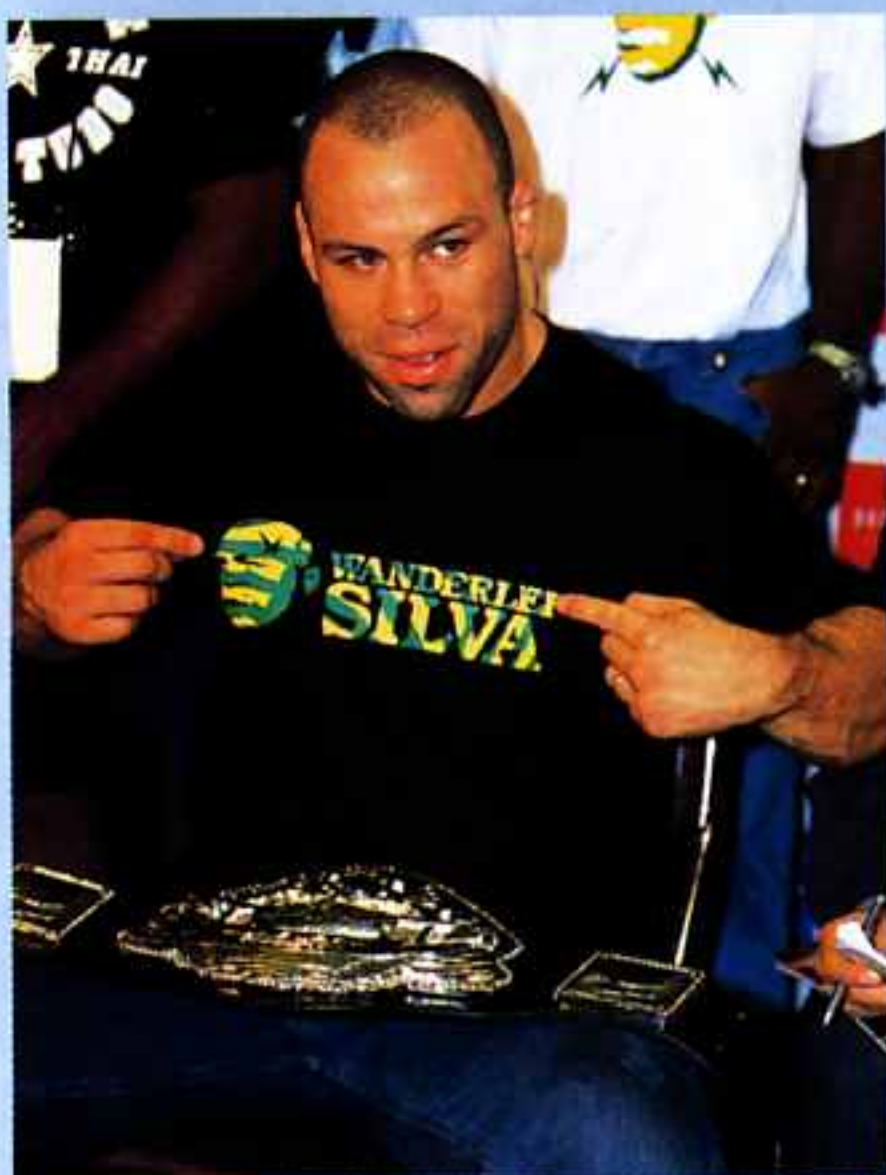
勝ったシウバも嬉し泣き？

桜庭を見て、泣け！

勝ったシウバのほうも嬉し泣き。「これは日本のファンのおかげだ」と言葉を詰まらせた

▲「今日は満足させることができなくて……」この桜庭の涙に、会場中のファンに悲しみがこみ上げてきた

打撃系では世界一の集団"シュート・ボクセ"

◀桜庭はノーコメントのまま、シウバの予告どおり病院へ向かった

初代PRIDEミドル級王者 シウバのコメント

「（今日の桜庭選手は？）大変だったね。ボクの顔面にパンチを当ててきたし。今日は運があったのと、ボクの中で一番いい試合ができたから勝てたと思う。（首を取られて投げたのが桜庭選手の脱臼につながったのでは）あの返し方はペレに教えてもらったんだ。サクラバが脱臼したことは分からなかったよ。もうちょっとリングの上でサクラバを叩き付けたかったんだけどね。（もっと殴りたかった？）そんなことないよ。サクラバはとっても尊敬している選手だ。睨んだり挑発したりするのは、プロのファイターだから。彼だけでなく他の選手も同じさ。（来日時よりも3キロ増。ギリギリまで増やした？）わざと体重を増やしたわけじゃないさ。ボクは食べることが大好きだからね。今日も1キロオーバーしてたのを、サウナで1キロ半減らしたさ。（1Rは苦戦していたようだが）休憩してコンディションが戻ってたから、2R目でサクラバが出てきても問題はなかった。もっともっと強く攻めていこうと思ってた。（試合後、桜庭選手が泣いていたことは）同じ選手に2回負けたのが凄く悔しかったんだと思う。サクラバもそうだろうけど、ボクはお金のためじゃなく試合が好きだからやってる。そういう選手は負けることは本当に悔しい。でもそれがバネになって頑張れるので、彼の気持ちはとても分かるよ。（防衛戦の相手は？）カードが組まれたら誰でもいい。ずっと勝ち続けていく。（桜庭選手を破ってベルトを取った感想を）今まで一生懸命練習して、このタイトルを取るために、今日はやって来た。世界一大きいイベント『プライド』でベルトが取れて凄く嬉しい。勝てたのは、ファンの皆さんが応援してくれたから。とても感謝しているよ。ほんとにドウモアリガトウ」

ング上でマイクを持った桜庭の目に涙が。そして「応えられずにすいませんでした。もっと練習してきます」と言葉を続けて、桜庭は深々と一礼した。

最後の最後に出た桜庭のこの涙は、歯車が狂った今回の興行をビシッと締めた。東京ドームに集まった観客の気持ちを一つにしたのは、この日、この瞬間だけ。猪木さんさえ、なんかチグハグだった猪木劇場（巨人の清原に対する闘魂ビンタは見事！）。それを偶然のアングルで締めたのは、さすが『プライド』のエースである。

それにしても、ホント切ない……。桜庭がファンのためにこれからやれるべきことは練習しかない。ただ、「次こそは」と信じて練習するしかないのだ。

でも、その練習さえも、今度ばかりは意識改革も必要だろう。いつもの桜庭のペースで「べつに…」「対策は特にありません…」なんて言ってられない。特に私が一番感じたのは、若くエネルギッシュなシウバと比較した場合のパワーの差だ。これまでタバコも吸って酒も大好きだった桜庭は、真剣に体調管理が迫られるのでは。もう「ウェイトは退屈で嫌いです」なんて言ってられないだろう。

ねぇ、サクちゃん、ウェイトトレーニングやってみようよ。少なくとも、今度は技術だけでなく、シウバの勢いを受けて立つパワーは絶対に必要！　この敗戦を機に、桜庭はもしかしたら、凄く変わるかもしれない。そうなってほしい。

脱臼した後、2分以上闘っていた姿と、あの涙のマイクを、俺らも、絶対に忘れないからな。（谷川）

やっぱり、一番物議を醸したのは、髙田だった！

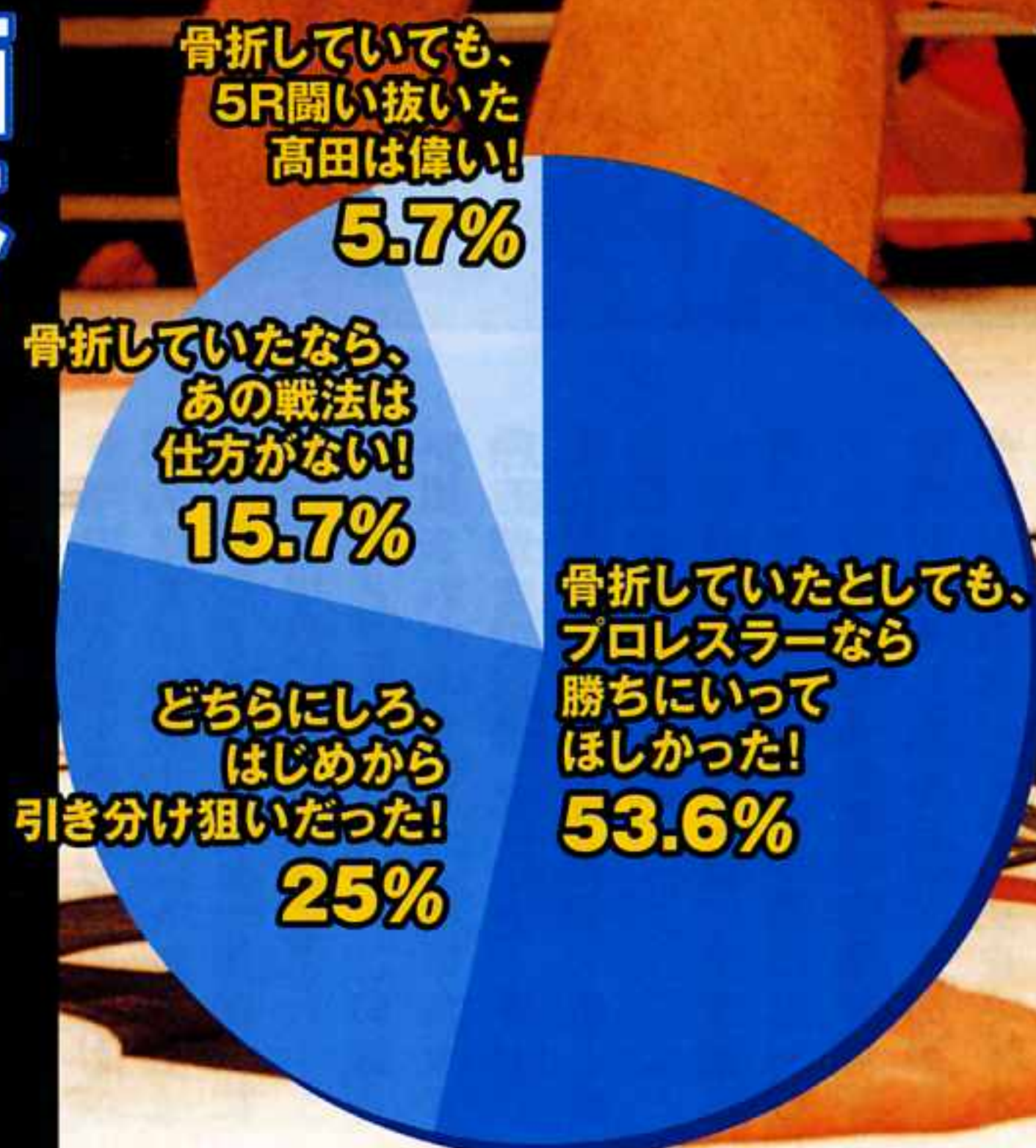
Q.試合後、髙田の足首骨折が発覚！それを聞いた上で髙田VSミルコの評価は？

骨折していたとしても、プロレスラーなら勝ちにいってほしかった！ 53.6%

どちらにしろ、はじめから引き分け狙いだった！ 25%

骨折していたなら、あの戦法は仕方がない！ 15.7%

骨折していても、5R闘い抜いた髙田は偉い！ 5.7%

『SRS・DX』公式サイト「webゴング」より（11月4日、午後10時時点）

髙田VSミルコの"超プライド"カードは、猪木－アリ状態が続くという予想外の展開となった

© Essei Hara

シビレた入場シーン！ 今回も"プロレス"を背負って……

K－1、『プライド』初参戦！

▲今年のK－1GPをあきらめたミルコは、自信満々の表情で『プライド』初登場！

▲リングサイドでは石井館長も観戦。石井館長は約束どおり『プライド』参戦！

▲高田のセコンドには、8・19でミルコに敗れた藤田が付いた

▲K－1と同じ構えでプレッシャーをかけていくミルコ。高田は腰を落としながら、リングを回った

東京ドームが揺れた髙田の入場。髙田は藤田がK－1ミルコに敗れたことに対し、「プロレスラーが誰も手を挙げないのは情けない」と出陣を決意

内容はダメだったが、久々に語るべきことが多かった『プライド17』ドーム大会。中でも、試合後一番物議を醸したのは、やはり髙田VSミルコ戦だった。なんだかんだと言っても、この日一番記憶に残っているのが、この試合だ。

記憶どころじゃない。この試合が組まれたおかげで、私は久々に数日前まで緊張していた。それは共に思い入れのある髙田とK－1の闘いだったからだ。

勝負というものには、必ず勝ち負けが生まれる。片や髙田は39歳という年齢もあって、打撃で悲惨な負け方をしたらミジメな引退にもなりかねない。さらにまさかとは思うが、K－1戦士にグラウンドで負けるわけにはいかない。

もう一方のK－1側は、12・31『イノキ・ボンバイエ』という大一番を控えて、技術的に現実の姿をむき出しにされることになる。これは興行的にもマイナスになるし、他のK－1ファイターに精神的な動揺を与えるだろう。

しかも、試合前に髙田は「ミルコに藤田が負けて、他のプロレスラーはなぜ手を挙げない。俺のやるべきことは、小川よりまずミルコ！」と、堂々とジャンルを背負って闘うことを宣言。ミルコもまた米国同時多発テロの影響で、本分のK－1ワールドGPを断念。K－1というジャンルを背負って、石井館長ともども『プライド』に殴り込みに来た。

深く関わっている両者だけに、結果が出てから敗者の側と今後どう向き合っていくのか、非常に怖い一戦だった。ホント入場シーンから、あれくらいドキドキした試

合も久々。それは、「結果がどう転

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

勇気を持ってタックル成功！

▲後屈に構える髙田。ミルコがジリジリと間合いを詰める

▲勇気を出して、もぐり込んで髙田が片足タックル。佐竹と何回も同じ練習を積んだパターンだ

▲しかし、ミルコは上からがぶってバックに回る。タックルを切るセンスは抜群だ

▲それでも髙田はミルコの片足を離さず、テイクダウンを狙う

▲ファースト・タックルは見事に成功！

▲すかさずガードポジションを取るミルコ。それでも下から細かいパンチを打つ

▲髙田が立とうとしたところ、ミルコも腰を浮かせて、髙田の体を引き離した

合も久々。それは、「結果がどう転がっても、いいものを見せてくれ！」と思っていた桜庭VSホイス戦より、まだまだ共に次があると思えた藤田VSミルコ戦より緊張した。

他流試合というのは、一見リスクが多そうに見えるが、だいたいの場合は次へのドラマにつながっていく。しかし、これほど現時点で負けられない他流試合は珍しい。しかも、どんな闘いになるのか、シミュレーションもしにくい。髙田VSミルコ戦は、そういった心に絶対の確信の持てないイビツな異種格闘技戦だった。

ならば、これを思いっきりジャンルを背負っての一大決戦と見て、思い入れタップリ、無理をしてでも感情移入して見るか。まったく乗れないと対岸の火事にするのか。そんな、ファンの心理を微妙にくすぐっていたのは明らか。

おそらく、東京ドームに集まった多くのファンは自分にハッパをかけながらも、髙田VSミルコ戦に乗ってやって来たのではないか。もしかしたら、髙田が感動的な勝ち方をするんじゃないか。あるいは、顔の形が変形するほどの酷いKOシーンになるんじゃないか。藤田や小川には持たない、そんな気弱な見る側のモチベーション。でも、それってプロレスそのものじゃないの？

この試合に関しては、ファンと髙田、そして石井館長やミルコ本人それぞれ向き合い方が違っている。何をもって良しとすべきか、求めているものがまったくバラバラ。それは試合後、さらに明らかになっていった。

ミルコのVT技術、恐るべき進歩

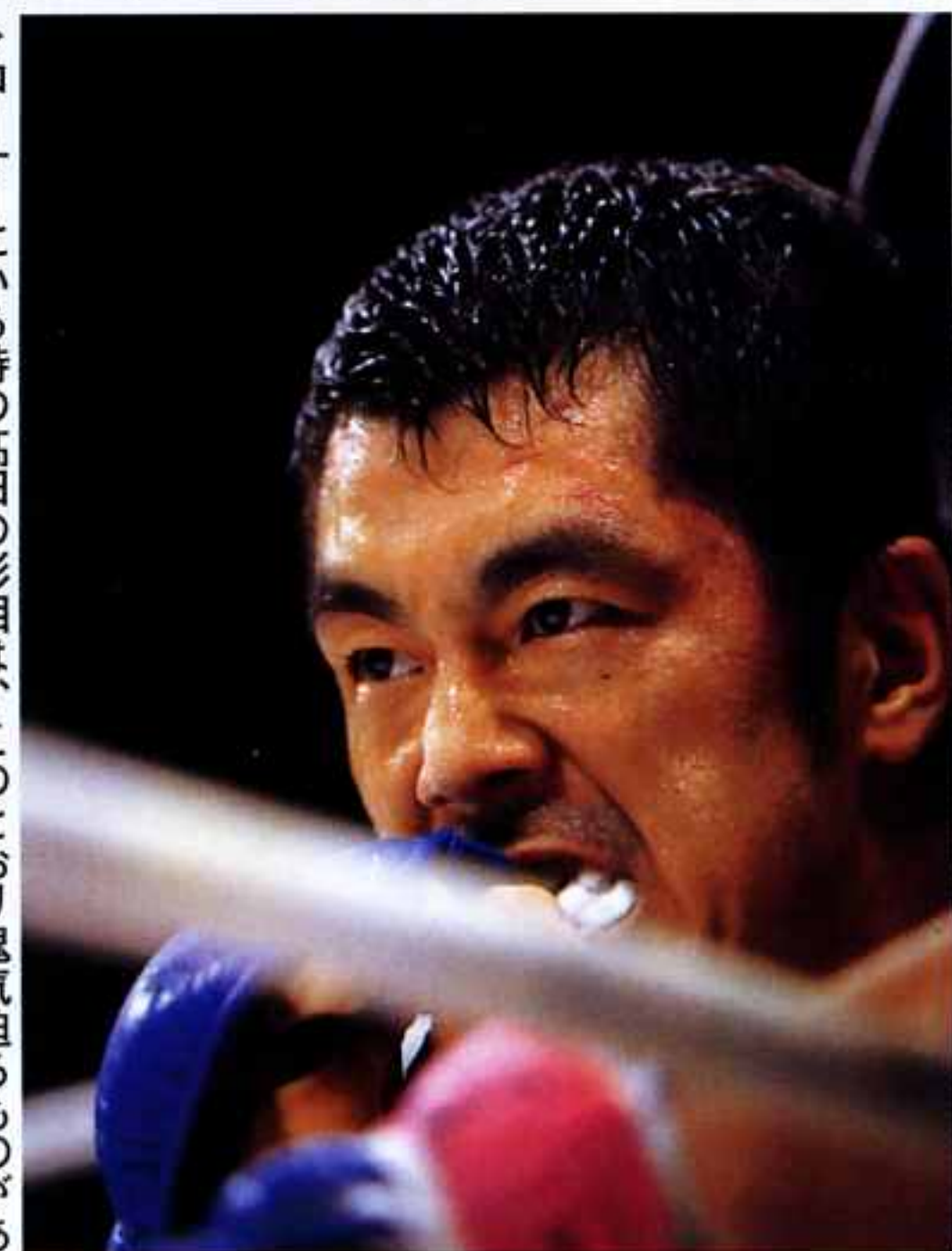
▲グラウンドに誘うだけで試合をさせてもらえない髙田に対し、ミルコは口笛を吹いて余裕のフェイント

▲コーナーに追い詰めたミルコのハイキックに対し、髙田は体を倒してよけた！

▲何度もタックルを切ることに成功するミルコ。本当に身体能力が高い

▲コーナーにいる時の髙田の形相は、このとおり鬼気迫るものがあった

▲猪木状態にいる髙田に対し、ミルコが両足にローキック。しかし、ほとんどすぐに立たせようとした

▲一度だけ、ミルコが上になって、顔面にパンチを落とすシーンも見られた

その中で物議を一番呼び起こしたのも、やはり髙田だった。多くのファンはそう見ている。

1Rから2Rにかけて、髙田は勇気を振り絞ってミルコにタックルを仕掛けていった。1発目はテイクダウンに成功。だが、ミルコのタックルを切る技術もかなり進歩しており、寝技になっても沈着冷静。しかも、2回目のタックルではすでに完全に見切っており、教科書どおりにバックを取っている。しかし、ミルコもそこで関節にいったり、髙田を固定しておいての打撃にいかない。パッと素早く離れて、あくまでもスタンドでの勝負にこだわる。

この展開がしばらく続いたあと、今度は髙田自らマットに背中をつき、猪木―アリ状態になってミルコを寝技に誘い込む作戦に出た。何度も何度も寝転ぶ髙田。それに対してミルコはイライラしながら「立て！　立て！」と要求する。その光景は、桜庭VSホイラー戦のまったく逆のパターンだった。

仕方がないので何度も立たせるレフェリー。その試合の流れから次第にファンのモチベーションは「緊張感あふれるテイクダウンの奪い合い」→「ミルコの恐るべき寝技技術の上達」→「膠着」→「勝敗はつかない」と変わっていった。それが一転してのブーイングにつながっていったのだ。

この展開の原因を作ったのは髙田。もちろん「寝技に付き合わないミルコも悪い」という主張もある。たしかにミルコはタックルを切ったんだったら、寝技での固定打撃もしてほしかった。離れるだけのミルコに石井館長自身も「まだまだ身に付けなきゃいけないこ

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

2R、右足首を骨折

"負けない闘い"に作戦変更

ジリジリとミルコが間合いを詰めると、高田はロープを背に、すぐに背中をマットに付けた

だまだ身に付けなきゃいけないことがたくさんある」と語っている。

でも、多くのファンはその責任の所在を高田に求めた。それがブーイングにもつながり、ネット上でも一番書き込みがある理由だ。

本誌の公式サイトでも、高田が2R目に自ら蹴ったローキックがブロックされて、右足首を骨折していた事実を踏まえた上で、この試合の評価に4つの選択肢を設けて「ウェブゴング」にかけてみた。

①骨折していても、5R闘い抜いた高田は偉い！

②骨折していたなら、あの戦法は仕方がない！

③骨折していたとしても、プロレスラーなら勝ちにいってほしかった！

④どっちにしてもはじめから、引き分け狙いだった！

その結果、③が断トツの53・6％、次に④25％、②15・7％、①5・7％と続き、さらに「今回の興行のA級戦犯は誰か？」という問いに対しても、高田、小原、桜庭、猪木という名前が上位に並んだ。物議を醸すのも、記憶に残るのもプロレスラー。怒声もため息もあったが、これらは全てプロレスラーが生み出したことなのだ。

しかし、試合後のコメントを見る限り、高田はミルコ戦に対して確実に手応えを感じている。試合中の高田はこれまで見たこともないほどの必死な形相だったし、1・2Rはホントよく頑張ってた。そして、自分の足首の痛みから考えても、試合後に起こったブーイングも身に覚えのない様子だった。そのへんのギャップがまた、プロレスラーらしいのだ。

まるで桜庭VSホイラー戦の正反対！

「グラウンドで勝負だ」（髙田）
「おまえが立って来いっ!」（ミルコ）

★第7試合（特別ルール3分3R、延長2R）
△髙田延彦（延長2R、ドロー）ミルコ・クロコップ△
〈日本/髙田道場〉　〈クロアチア/クロコップ・スクワッドジム〉

▲「グラウンドで勝負だ」と誘い込む髙田。しかし、K－1ファイターのミルコはもちろん付き合わない

でも、さすがに私も髙田VSミルコ戦が終わった後、しばらく何も考えられないほどの放心状態に陥った。あれほど切羽詰まったプレッシャーを自分にかけて見た一戦。リングを降りた髙田から「ダメだった」と言われても、何も答えられなかったし、正直言ってあとの2試合がまったく頭に入らなかった。

『プライド』の2大ベルトを賭けたノゲイラVSヒーリングと、桜庭VSシウバ戦。たしかに、目の前で起こっているノゲイラとヒーリングの〝極めっこ〟は、素晴らしい内容だったし、桜庭VSシウバも髙田VSミルコに比べて、レベル的にも内容の濃いものだった。当然、「これは素晴らしいっ」と思ってながら、正直次に私がはっと目を覚ましたのは、リングで桜庭が涙を流しているのを見てからだった。

「おいおいおい、桜庭が本当に負けちゃったよぉ」

その時になって初めて慌てるほど、髙田VSミルコに脳ミソが支配されていたのである。

で、ここで私が何を言いたいかというと、『プライド』にはそうしたイビツで感情を揺さぶられる試合がいっぱいあるということだ。

たとえば、K—1GPの本戦やノゲイラVSヒーリングのような『プライド』ヘビー級王座決定戦に比べると、髙田VSミルコのようなイビツな他流試合は技術的なレベルでは語れない。現在、『プライド』には2つの闘いのパターンがあって、1つはノゲイラVSヒーリングのような芸術的な〝極めっこ〟。これは誰が見ても、美しく、素晴らしいものに見える。実際、『プラ

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

東京ドーム、怒声とため息

▲大事な大一番を闘い抜いた髙田。完全燃焼したか？プロレス界の誇りは守れたのか？

▲試合後の2人はご覧の表情。不完全燃焼であるのは間違いない

© Essei Hara

髙田、車椅子で現る！

▲プレス用のコメントブースには車椅子で現れた髙田。2R、自ら蹴ったローキックで右足首を骨折してしまったのだ

▲コーナーに戻って来たミルコはかなり怒っていた。トレーナーのマルコ・ジャラも同様

▲ルールにより、5R闘っても決着が付かなかったためドロー

イド17』でも、ノゲイラVSヒーリングが一番沸いていた。
もう1つがシウバを生み出したシュートボクセを代表とする殺戮的な打撃中心の闘い。これは、バーリ・トゥードの中に潜む、野蛮な魅力が詰まっていることを思い起こさせてくれる。その意味で桜庭VSシウバは、美しき〝極めっこの世界〟と生のケンカの迫力を思い起こさせる〝暴力〟の闘いの典型的なパターンだった。
それでもこれらは競技性の中に限られた魅力。しかし『プライド』には、髙田、小原、桜庭、猪木といったプロレスラーが作り出す、まったく当てはまらないイビツな世界が存在する。しかも、『プライド』自体が伸びていく中で、そうしたイビツなるものは必要不可欠だった。さらに、そのイビツな世界の闘いにもセンスが問われるということを、主催者側も自然と身に付けている。そこが、いつも一番ファンに物議を醸し、求心力となっている部分なのだ。
髙田VSミルコ戦のような試合が行われると、必ずその是非を問われる。しかし、『プライド』がもしノゲイラVSヒーリング、ヘンダーソンVSニンジャの世界ばかりで埋め尽くされて、果たして今のような人気を維持し、求心力を保つことができるだろうか。それが私の今大会の総評である。
ああ、それにしても髙田らしい試合だった。そして、桜庭も。『プライド17』の主役はやっぱり最後まで髙田道場だったし、「髙田道場は今後どうなるのか？」、そのことが一番印象に残った興行だった。
（谷川）

ミルコ、大激怒！「髙田は恥を知れ！」

ミルコのコメント

—試合を終えた感想を。

ミルコ 非常に気分が悪い。怒ってるよ。『プライド』の試合であんなことが起こるなんて、まったく信じられない。

—怒りは高田選手に対してですか？

ミルコ もちろんタカダに対してだ。クロアチアからわざわざ来て、5万3千人が見ている中で、こんなことが『プライド』で起こっていいのか？ 非常に憤りを感じるね。タカダは憶病だ。サクラバはタカダの道場にいる必要はない。出ていくべきだよ。「記者会見で偉そうなことを言っておいて、実際に見せたのはなんなんだ？」と言いたい。

—VT2戦目ですが、これからもVTでやっていけそうですか？

ミルコ もちろん。フジタやサクラバのような、本物のファイターと闘いたい。タカダのような選手とは闘いたくないね。彼はなぜボクと試合することにしたの？ 何を考えてるのかまったく理解できないよ。なぜ、自分からグラウンドに逃げるんだ？ ボクはこれまで何度も試合を経験してきたし、ノールールの試合もよく見てきた。でもこんな試合は見たことがないね。グラウンドにいくっていうのは、流れの中でそうなるか、タックルをして持ち込むもの。自分から寝て待つものじゃない。彼はすぐロープ際に行って、ボクがパンチを打とうとするとすぐ逃げてしまう。タカダは自分のことを恥ずべきだ！

マルコ・ジャラ タカダはミルコのことが怖かったんだろう。彼はもう二度とリングに上がるべきじゃないね。リングを冒涜したんだから。

—これで2試合連続でプロレスラーと闘いましたが、プロレスラーにどんなイメージがありますか？

ミルコ 2人ともレスリングをやっていることでは共通してるのかもしれないけど、同じには思えないね。フジタはリアル・ファイターで、タカダは偽者のファイターだ。なんでドローだったんだろう。こんな試合だったら負けたほうがいいよ。レフェリーが試合を止めて、タカダを失格にするような処置を取るべきだったんじゃないか。あんな闘い方をされて、どう攻撃しろっていうんだ？

—もし高田選手が再戦を要求したら？

ミルコ まず言いたいのは、タカダとは二度と闘いたくない！ 彼が寝そべってまったく立ち上がってこないのを見て、誰が闘いたいと思う？ 彼についてはもうたくさんだ。この試合に向けて、トレーナーのマルコ・ジャラがLAからクロアチアに来ていろんなことを教えてくれた。次に闘うならフジタのような選手とやって、試合を楽しみたい。

—今後、K—1と『プライド』、どちらで闘っていきたいですか？

ミルコ もちろんK—1だよ。K—1にはあんな選手はいないからね。K—1では、みんな闘うためにリングに上がってくる。もちろん、『プライド』の全選手をけなしてるわけじゃない。『プライド』もトップ選手が集まるワールドクラスの大会だと思うし、ほとんどの選手に対しては尊敬しているよ。でも今回のことは恥だと思ってる。

—ミルコ選手がグラウンドで上になった時に、あのままグラウンドで攻撃しようとは思わなかったですか？

ミルコ どうしてボクが自分からグラウンドに付き合って闘う必要があるんだい？ ボクは立ち技の選手なんだから、スタンドの闘いを選ぶに決まってるよ。寝技の選手が、もし試合をグラウンドに持ち込みたいなら、自分でテイクダウンを奪うべきだと思うね。■

「今日は100％勝つつもりだった！」

髙田のコメント

—久々に試合をして、気持ちはどうでした？

髙田 やれることはやれた。非常にいいコンディションとモチベーションでリングに上がれたしね。年齢はいってるけど、体を作ればまだできるんだなと。ただ結果がね。いい形で出せなかったんでね。今日は100％勝つつもりで上がったんで、悔しいね。残念です。

—スタミナはどうでした？

髙田 スタミナは、まったく問題はなかったんですよ。

—はじめはどういう作戦だったのですか？

髙田 スタンドで散らして、組み付いて相撲を取る状態にもっていこうと。それとパンチで相手の目をそらすのと、右のローだね。距離をおくために右のローでいったら、一番相手の強いところに当たってしまって。途中から、ローが使えなくなった。やなもの背負ったなっていう感じだったね。途中で戦法を変えざるを得なくなったというか、負けない試合に切り替えと言ったほうが分かりやすいかな。

—右のヒザを痛めたんですか？

髙田 いや、右のヒザでなく甲。柔らかいところが相手のスネに当たって、蹴れなくなってしまった。病院に行って検査します。

—ミルコ選手と実際闘ってみて、髙田さんが思ってた以上のものはありましたか？

髙田 彼はまだまだK—1の選手だね。自分の土俵から出てこないし。僕もあのままスタンドで付き合ったら、K—1の試合をしなきゃいけなかったんで。潜在的にはいいものを持ってるでしょうけどね。今日の試合では直線的というか、工夫のない、ただ殴る蹴るだけで、グラウンドには付き合わない、そういうファイターだという程度ですね。上に乗って殴ってきてくれたら、もう少し展開が変わったんでしょうけどね。

—髙田さんのタックルが、何回か切られる場面がありましたが。

髙田 たぶんタックルを切る練習してるんでしょう。でもヒザを合わせるっていうのは、よっぽど針の穴を通すようにタイミングが合わないと、当てられないからね。

—試合前の報道で、この試合で引退という報道がありましたが？

髙田 あとはニーズ任せ。さっきも言ったけど非常にコンディションがいいですし。精神状態もまだリングに上がりたいという気持ちがありますからね。見たい人がいるなら、そういう体を作りたいなと。

—ミルコ選手との試合を、このままで終わらせたくないという気持ちはありますか？

髙田 そうですね。そう言われるとまた12・31に結びつけられそうなんで、発言は気を付けなきゃね（笑）。次やるなら、10分くらいの長めの時間でやりたいですね。でも猪木軍には入りません。

—小川さんとの試合は、今後、視野に入ってきそうですか？

髙田 今日、勝ってね、試合の価値をグンと上げる予定だったんだけど（笑）。やるからには、たくさんの人が注目してくれるものにしたいんで。マット界の情勢を見て、決めたいなと。ただ小川は、最近プロレスに走ってるからね。これだけ凄いリングがあるのにね。こっちのほうに怖がらずに勇気を持ってね、楽な道を選ばずに来てもらいたいなと。強いんだから。そう僕はラブコールを送りたい。

—リングに上がる前に、藤田選手から何か話しかけられましたか？

髙田 とにかくああいうところで技術論いっても仕方ないんでね。自分の呼吸と自分のペース、自分のエリアを守って、焦らずにやってくれと。

—逆に終わったあとは？

髙田 お世辞言ってましたよ。「良かったです」と（笑）。■

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

藤田断言！「大晦日はK－1GPで優勝した、一番強いヤツと闘いたい！」

聞き手◎“Show”大谷泰顕
撮影◎乾晋也

『プライド17』の興奮も束の間、翌日行われた、ファンクラブパーティーに駆けつけた藤田和之。ここで語られた、とっておきの話をいち早く紹介しよう！

――率直に言って、まず『プライド17』の総括から教えてください。

藤田　凄い試合が続いて、刺激になりましたね。そろそろ俺の出番かなと。

――おお！　じゃあまず高田VSミルコ戦なんですけど。ルールは3分5ラウンドでしたよね。

藤田　俺の時は3分もかからなかったからね。なんとも言いようがないんだけど（笑）。

――試合前のアドバイスは？

藤田　アドバイス？　「俺の試合はあんまり参考にしないでください」と言っときました（笑）。

――ヒザ蹴りは食らうなと（笑）。試合中に、髙田選手は足の甲をケガしたらしいですよね。

藤田　ミルコの攻撃をガードした時に痛めたらしいんで。自分なりに変更して、寝技に誘い込むみたいな感じで。

――えー、で、試合後に髙田選手に対してブーイングがあったじゃないですか。

藤田　必ずしも勝負にこだわると、ああいうことも有り得るしね。僕もブーイングを食らったことがあるし、分からなくはないですからね（笑）。まあ、勝ちにこだわったということで、ああいう試合展開になったんだろうし、うん。

――じゃあ続いて、ノゲイラVSヒーリングのPRIDEヘビー級王座決定戦。

藤田　凄くいい試合でしたね。ノゲイラの強さが凄く見えてましたね。後日談なんですけど、ノゲイラは左ヒザの靱帯を損傷してるんですよね。本人は絶対に言わないですよ、そんなこと。だから絞め切れなかったんですよね。

――試合中に、ですか？

藤田　試合中に。古傷があるみたいで。

――藤田さんは『プライド』のヘビー級タイトルは欲しくない？

藤田　俺？　俺にはまだやることがいっぱいあるからね。暮れ（大晦日の『イノキ・ボンバイエ2001』）もありますし。俺、ベルト持ってるからなあ（笑）。

――なるほど（笑）。でも武藤敬司選手みたいにいっぱい持ってる人もいるから。

藤田　あんなにいっぱいあってもねえ…、あんまり変なこと言えないから言わない（笑）。次は？

――はい。次はメインイベントなんですけど。試合前の桜庭選手は「こう極めてやろう」みたいなことは言ってました？

藤田　そういうことは言わないですよ。お互いにそれは言わないし。

――入場の時のグレート・ムタのマスクに関しては？

藤田　あ！　あったなあ、そういえば。「毒霧ってどうやって吹くの？」って、電話で（笑）。

――電話で（笑）。

藤田　ちょっと俺に聞かれても分かんないかなって（笑）。

――率直に、試合はどう思いました？

藤田　僕としては安心して見てましたね。桜庭さんが勝つと思ってましたからね。最終的にはアクシデントで。ドクターストップでしたけど。

――残念でしたよね。で、対K－1なんですけどね。

藤田　決まったからにはやるし、やるからには出るし。気持ちが決まれば、あとは勝つだけ。毎回そういう気持ちでやってますからね。

――相手に関しては？

藤田　誰とやらせたい？

〔会場から「ミルコ！」「小川！」「アーツ！」「バンナ！」の声〕

――いろんな人の名前が出てますけど。

藤田　じゃあ順番にやりましょう！

――じゃあ順番にやるとして、まずはどの辺から行きますかね。

藤田　う～ん……、まだ何も決まってないですからね。今度、12月に『K－1ワールドグランプリ』がありますけど、そこで優勝した、一番K－1で強いヤツとできたら。ホントに「やる」って言ったらやりますからね、フフッ。

――じゃあ名前じゃなくて、チャンピオンになったヤツとやると。

藤田　名前は後からついてきますからね。同じ人間だからね、べつに怖くないし。俺だって人間なんだからさ。頭が切れたら、血が出たんだから（笑）。

――その前に、普通チャンピオンは外に出たりしないじゃないですか（笑）。

藤田　べつに出てもいいじゃないですか。やっぱり自分のベルトの価値を上げたいんでね。そのためには自分の信念を曲げずにやっていきたいと思います（キッパリ）。

〔会場から大拍手〕

永田&中西の『猪木祭り』出場？　出なきゃ出ないで、ヘタレ（笑）

――たとえば今、新日本プロレスの永田裕志選手であったり、中西学選手が出るとか出ないとか、猪木さんがクドいたとかクドかないっていう話がありますけど。

藤田　う～ん、出るとか出ないとか、クドいたとかクドかないじゃなくてね。本人にやる気がないとね。結果が出ないからね。自分自身で考えればいいんじゃないの？　フフフ。

――自分で考えろと。

藤田　まあ、出なきゃ出ないでね。

――腰抜けと（笑）。

藤田　腰抜けとは、そこまでは言わないけど、「ヘタレ」ぐらいに（笑）。俺はチャンピオンだからさ。■

▼『プライド17』当日、『プライド14』で藤田と激闘を展開した高山善廣が猪木に『猪木祭り』出場を直談判！　ちなみに試合後は「ヒーロー（桜庭）が負けるっていうのはツラいものだ。次は俺だぜ！　行くぜ、ノーフィアー!!」と語っていた

高山にも注目！

▲司会はShowが務めた。なおこの模様は11月12日の『ワンダフル』で放送される

ミルコ・クロコップVS髙田戦一夜明けインタビュー

自分で勝手に寝技にもっていくのはダメだ！ 12・31はルールを変更する必要がある！

11・3『プライド17』で行われた髙田VSミルコ。足を骨折した髙田は、自ら背中をマットにつけてグラウンドにミルコを誘い込む戦法に出た。しかし、試合後のミルコは前ページにあるように珍しく大激怒！　試合から一夜経ったミルコに話を聞いてみた。

聞き手◎小松伸太郎

——ミルコさん、昨夜の試合の後、かなり髙田選手に対して怒っていたらしいですね。一夜明けたわけなんですけども、どうですか、少しは落ち着かれましたか？

ミルコ　私も同じ質問にはもう10回も答えているから、うんざりしているんだ。でも、君のせいじゃないよ。こういう雑誌のインタビューがどういうふうに仕切られているか分からないけど、私も何度も同じことを聞かれているからねぇ。君も私の気持ちは分かるだろう？

——分かります（笑）。分かりますけど、仕事なもんで（笑）。

ミルコ　（通訳の方のほうを向いて）彼女に聞いてくれよ。

通訳　そうですねぇ、私も今日は何度も訳していますから（笑）。代弁しますと、今日もまだ怒っているんですが、足のケガを今朝知って、ちょっと考えが変わったみたいなんです。まだ多少怒ってるんですけど、「だったら、タカダはそこで試合をやめておけば良かったじゃないか」と言ってますね。

——それはたしかに正論ですけど。昨日怒っていられたということは、不満があったわけですよね？　髙田さんのみならず、あなた自身にもあったんですか？

ミルコ　いや、べつに。不満なんかないよ。どうしてそんなことを聞くんだい？

——もしかしたら、ご自分の闘い方にも不満があったんじゃないのかなぁと思って。

ミルコ　べつにないよ。

——そうですか。昨日、髙田選手はミルコさんにローを放った時、ミルコさんのガードで骨折をしてしまったと聞いているんですけど、そういう感触はあったんですか？

ミルコ　分からないね。

——自分では分からないんですか。ところで、今回の髙田戦は総合ルールの試合としては2回目ですよね？　最初の時とはだいぶ違ったんじゃないですか？

ミルコ　そんなに心境に違いはなかったよ。試合は試合だからね。

どうして私が誰かと闘うことに恐れることがあるんだ！

―昨日の髙田さんみたいに寝てばかりいる選手と試合をする場合、今度はどう対処します？

ミルコ ふ～う、正直言うと疲れてしまって何を言ったらいいのか分からなくなってしまったけど、まずルールを変更する必要があると思うよ。自分で勝手に寝技にもっていくのはダメだ、というふうに変更しなきゃいけないと思うね。あれはやっぱり反則だよ。相手がちゃんと寝技に持ち込むためにテイクダウンをとってくれれば、私も寝技にいくけど、私は向こうの誘いにのって自分から寝技にいくわけがないからね。

―藤田選手とやった時は、一瞬で決まってしまったじゃないですか？ 昨日みたいに、試合が長引くとこのルールは通常のK―1のルールより、難しく感じるものなんですか？

ミルコ べつに。ただ、ああいうことが起こるなんて予測できなかったよ。

―昨日3分5R闘いましたよね。K―1でも同じ時間を闘ったことはあると思うんですけど、K―1の試合の時と比べて、昨日の試合は時間的にはどう感じるものなんですかね？

ミルコ 昨日は短く感じたよ。タカダがなかなか寝技から立ち上がって来なかったからね。3分は3分なんだけど、K―1の時のほうが、もっと凄く対戦相手からの圧力があるから、長く感じるよ。でも、昨日はタカダが何もしなかったから短く感じたよ。

―僕たちは結構長く感じましたけどね(笑)。ところで、初めて『プライド』という大会の会場に来て、K―1の会場とはお客さんの雰囲気も違ったんじゃないですか？

ミルコ 変な質問だなぁ。観客はいつでも観客だよぉ。どんなスポーツであっても、最高の人々っていうのは観客なんだから。正直に言うと、試合の時っていうのは、試合に集中しているので、気にならないんだ。

―昨日は他の試合も見たんですか？

ミルコ 見たよ。

―誰の試合が印象に残りましたか？

ミルコ 自分の試合だよ(笑)。

―自分の試合ですか(笑)。

ミルコ まあそれは冗談だけど、ノゲイラVSヒーリング、それにサクラバの試合も面白かったよ。

―この前の藤田選手との試合もそうなんですけど、ミルコさんたちが猪木軍や『プライド』の選手と闘う時って、通常のバーリ・トゥードのルールとは違う特別ルールじゃないですか？ 2回やってみて、通常のバーリ・トゥードルール、まあ『プライド』ルールなんですけど、やってみる自信って出てきましたか？

ミルコ もちろん。

―試合時間も違ったりしますよねぇ。1R10分だったりするわけじゃないですか？ それでも大丈夫ですか？

ミルコ もちろん、自信はあるよ。でも、K―1のような3分5Rのほうが、ファンからしてみれば魅力があると思うね。やはり選手というのは、5分以上試合をしていると、疲れてくるからね。やっぱり魅力があるのは3分5Rだと思うよ。

―魅力的というのは、お客さんが見てということですか？

ミルコ そうだよ。

―『プライド』では、相手が四つん這いになっている状態でも、相手の頭部にヒザを打ち込んでもいいというルールなんですが、それでもOKなんですか？

ミルコ もちろん。そうなれば、K―1のほうが多少有利になるんじゃない？

―それはかなりトレーニングをしてきたことからくる自信なんですか？

ミルコ そうだよ。

―この前、藤田選手と試合をした時は、いつものK―1のリングでしたよね。今回は、『プライド』という言ってみたら敵地じゃないですか？ やはり気持ち的な違いはあったんですか？

ミルコ ないよ。

―ないですか(笑)。でも、やっぱりいつもと違うモチベーションってあると思うんですけど……。

ミルコ どうして、私が誰かと闘うのに恐れることがあるんだ？

―じゃあ、昨日出場していた選手なら、誰とやっても勝てるっていう自信があるんですね。

ミルコ もちろん、闘ってみたいと思うよ。ただ、こういった質問はあまり好きじゃないなぁ。「どう思いますか？」とか「自信はありますか？」っていうことをよく聞かれるんだけど、もちろん自信はあるよ。じゃなかったらクロアチアにいるよ。私はファイターだから、ここにこうしているんだから。

―昨日は、同じK―1で闘っているマット・スケルトン選手が一緒に『プライド』で試合をしていたんですけど、見ましたか？

ミルコ 見たよ。今度はなんて言ってほしいんだ？

―いや、K―1からの先駆者としての感想を聞きたいなぁと思ったんですけど。

ミルコ それは自分の胸にしまっておくよ。試合はもう終わってしまったし、何を言ってもしょうがないじゃないか。

―ミルコさんはK―1から出てきて、一番このルールに対応していると思うんですけど、今後猪木軍との対抗戦に出場するK―1ファイターにアドバイスを送りますか？

ミルコ まず、私はアドバイスを送らなきゃいけない責任はないし、たぶん私がアドバイスをしても、他の選手は聞かないと思うよ。ただ、K―1ファイターはみんな一流なので、それぞれがきちんと自分なりに磨き上げてくると思うよ。

―すいません、かなりお疲れのようですね(笑)。でも、大晦日、藤田選手が再戦を要求してきたら、もちろん受けてくれるんですよね？

ミルコ 彼の挑戦を受ける意志はあるけど、最終的に決定するのはイシイカンチヨーだよ。■

▶グラウンドに誘い込む髙田を、立つように促すミルコ。あくまで立って勝負しない髙田に、ミルコは試合後大激怒した

アントニオ猪木のコメント

「思考っていうのは、固まっちゃうと闘ってる本人はそんな簡単に自由に闘い方を変えることができない！」

大会終了直後の独占コメント

――髙田VSミルコ戦なんですが……。

猪木　結局、タックルって、ある距離からでしか有効じゃないけど、怖さが先立っちゃうと、遠いところから入っていくから、逃げられちゃう。（髙田は）頑張ったんじゃないですか？　足も効いちゃったんじゃないかな。もう、分かってるんだよ、本人が、アッハッハッハッ。

――「足首を痛めて、2Rから作戦を変えた」って本人は言ってたみたいですね。

猪木　だからもう、どういう負け方っていうか、負けないでというか、勝つための闘いよりも、そっちへ意識がいっちゃったんじゃないかな。思考っていうのは、固まっちゃうと、闘ってる本人はそんな簡単に自由に闘い方を変えるっていうことはできないんだけど、臨機応変に、まあ、思考がだから止まっちゃったというのかなあ……。まあ、いいんじゃないかな。

――あの試合は、いわゆる「猪木VSアリ状態」が続いたんですけど。

猪木　いやあ、そう言うけど、（アリとは）パンチのモノが違うから。絶対に食っちゃいけないモノと、食ってもある程度、まあ、たぶん今日は耐えられるだけの状況にあったと思うんです。だからエサをあげてから入る、という闘い方をしてた。もしかしたらそれは勝てるかもしれない。逆に負けるかもしれないけど、チャンスがまたもっと大きく増えるんじゃないかなあと。

――タックルが成功した場面もあったと思うんですよ。

猪木　1、2回ね、うまくねえ？　ただ、まあみんな進化論とでもいうか、格闘進化論という意味では、パンチ系の選手が「ええーっ!?」なんて思うようなグラウンド……。だからそれは完全にグラウンドに持ち込んで、相手を極めるっていうよりは、グラウンドに入っても、すぐにはヤラれないポジションの取り方みたいなのを研究してるんでね。まあまあ、ホントにテクニックが毎回上がってるっていうか、ノゲイラも「今日はちょっと体調が悪かったのかな」って言うけど、いつもの三角絞めにしても、腕ひしぎにしても、完全に見られちゃってるからね。だから超スタミナを持ってるヤツ。みんな一生懸命にやっててレベルは一緒なんだけど、そこから絶対的なスタミナを持ってるヤツが出てくるとですねえ……。

――あと、休憩時間開けに、野球界の清原和博選手をリングに上げましたけど、あれはどういうことなんでしょうか？

猪木　いや、彼は大変プロレスが好きだということで、まあ、ある新聞社を通じて、いろいろ話があったんで、メッセージを送ったりしてたんですよ。まあ、俺

取材◎“Show”大谷泰顕

らは現役じゃないんでね。ただまあ、一つのイベントとして考えるんであれば、なんかそういう……、俺も下手なこと言えないんでね（笑）。言ったらヤラなきゃいけないんでさ（笑）。そういう火つけを周りが一生懸命してくるからさ（笑）。まあ、本人は「どうしてもリングに上がりたい」っていう思いがあるようなんでね。1回、挨拶くらいはしたことあるんだけど、今日は初めての出会いなんでね。ビックリしたんじゃないですか、ハッハッハッハッ。

――猪木さんは前に1度、タッキーとエキジビジョンマッチをやったことがありますけど、次は清原選手なのかな、という感じなんでしょうか？

猪木　まあ、不可能というか、非常識がまかりとおるというか、要するに「常識の嘘」というか、常識が例えば斜めから見たり、逆立ちして見たら、「常識の嘘」というね。今、そういう時代なんじゃないかと思うんですよ。なんか、「これじゃなきゃいけない」ってことはないから。そういう意味では、そういうモノを通じて、なんか、いろんなモノをブチ砕いたら面白いと思います。

――大晦日はぜひ、清原選手とのベストバウトを期待してます！

猪木　いや、アハハハハハ。はい！（キッパリ）。

控室出入口でのコメント

――今日の『プライド17』を総括してもらいたいんですけど。

猪木　もう、言うことねえなあ。みんな一生懸命にやってるんで。勝っても負けても感動というか。拍手を送り、片っぽで涙が出るというか。みんなそれぞれの思いで。まあ、イベントとして総括して言うならば、イベントというのは非常に難しいから。間合いとかね。ま、そういうこともひとつこれから、次のテーマになるんじゃないですかね。例えば、出てくる間に、シンドイじゃん。やっぱり人のエネルギーっていうのは限度があるから。怒られちゃうけどね、文句をつけると（苦笑）。でも、総括としては大成功で。動員数もよかったしね。よかったんじゃないですかね。欲を言えば、勝ってほしかった選手っていうのが何人かいてね。なかなかね。佐竹も頑張ったけど。「12月31日に出たい」って言ってたから、勝って出てほしかったけど……。まあ、髙田は精一杯やったんじゃないかな。まあ、いろいろ原因もあったけど……。みんな（負けた選手は）言い訳になるんで。ヒザを痛めてたり。肩を……。大きく言ってしまえば、ヒザをねじったくらいではやらざるを得ないでしょう。そういう意味では力を出しきれなかった選手もいたろうし。

――第1試合で小原選手も出ましたけど、ほとんど力を出し切れないで終わってしまったんですけど。

猪木　まあ、その～、場数を踏むっていうのかな。もっとパンチを経験しないと、やっぱりこれはハッキリ言って、素人の域を出るか出ないかの感じでね。やっぱり打ってこられた時に、手を出しちゃうからね、こうやって。それだったら絶対に引いてここで……。そういうテーマをこれから。今、やろうという気持ちは大変ね、大事にしてあげたいし。まあ、またちょっとそういうことを反省してやれば、チャンスはあるんじゃないですか？

――本人は「チャンスをください」ということだったんですけどね。

猪木　俺はもっと違う、俺は一切彼らに手を加えてないから。たまたま「新日本」という中に入ってますけど、ただ、いろんな俺たちは情報を持ってますから、「この部分はこういう選手に教わったほうがいいよ、こうしたほうがいいよ」とかって。今はもう放っておいて、とにかく自分たちの思うがまま、それで結果としてどういう……それで（俺の所に）来れば、いくらでも教えますから。

――ブラジル勢のノゲイラ、それからスペーヒーという「猪木軍」と言われているトップチームが力を発揮したんですが、彼らは暮れの『イノキ・ボンバイエ』当確という感じで見ていいんでしょうか？

猪木　そうですねえ。「出たい」と言ってますんでね。これからいろいろ詰めに入りますけど、もっとこうイベントとして凝縮しないといけないですね。今日のひとつの、生中継という問題に関わってくると、やっぱり間を開かさないために、詰めなきゃいけない問題とかね。そういう意味では、選手たちが……。まあ、とにかく今日はホントくたびれた（笑）。

――猪木さん個人としては、暮れの「猪木軍」は日本人で固めたいという気持ちはあるんでしょうか？

猪木　べつにそうは思わないんだけど、ただまあ、やはり視聴率とか、いろんなことを考えていくと、画面全体が日本人で埋められなくても、できるだけ画面が多いほうがいいわけですよね。まあ、そういう意味では……。まあ、今日の結果はいいんじゃないですか？　これからもう1回という部分で、それはそれとしてターゲットをしていけば、みんなチャンスがあるようにね。

――清原選手の動向はどうなりそうですか？

猪木　えっ？　知らないなあ。なんか人に乗っけられてバカになってるから、俺は。もう「はいはい」って言ってるだけでさ（笑）。でも、嫌だなあ、挑戦されたら、な～んて（笑）。「いつ何時、誰の挑戦でも受ける」なんて言っておいて、「いつ何時、誰の挑戦でも逃げる」って、逃げなきゃいけない。まあ、ひとつは花を添える意味ではね……。俺だって腰は痛えし、首は痛えしさ、もう。どうもしょうがねえなと思うんだけど、てめえん中で一人で、「お前、止めとけよ、そんなの」っていうと、片っぽが「面白えじゃねえか」ってさ。中で葛藤してるよ、フッフッフッ。

――髙田選手の試合内容については？

猪木　もう、序盤戦で、なんか足首をねじったかしたらしくて。あとは作戦的にはたぶん、負けたっていいんだろうけどね。負けっぷりよく負けちゃうか、それとも「負けたくない」っていう最後の自分の「誇り」をかろうじて、そういう戦術を変えて時間を守ったという感じかな。思考が止まってしまったというかね。それには、スタミナとかいろんなものがあって、次の相手の動きを見ていくっていうね。逆に相手に見られちゃってたから、ホントにそれはね、しょうがない。

――一方のミルコ選手のほうは、前回の藤田和之戦から成長の跡が見られましたか？

猪木　う～ん、というか、前はちょっと青臭かったのが、ちょっとの間にフッと貫禄がついてしまうというか、自信が付いたというかね。なんかそんな風格が出てきましたね。無名なヤツが、僅かな時間にねえ、あれだけ皆さんから注目されちゃうわけだから。いいですか、どうも。

ありがとうございます。■

猪木軍VS巨人軍勃発？

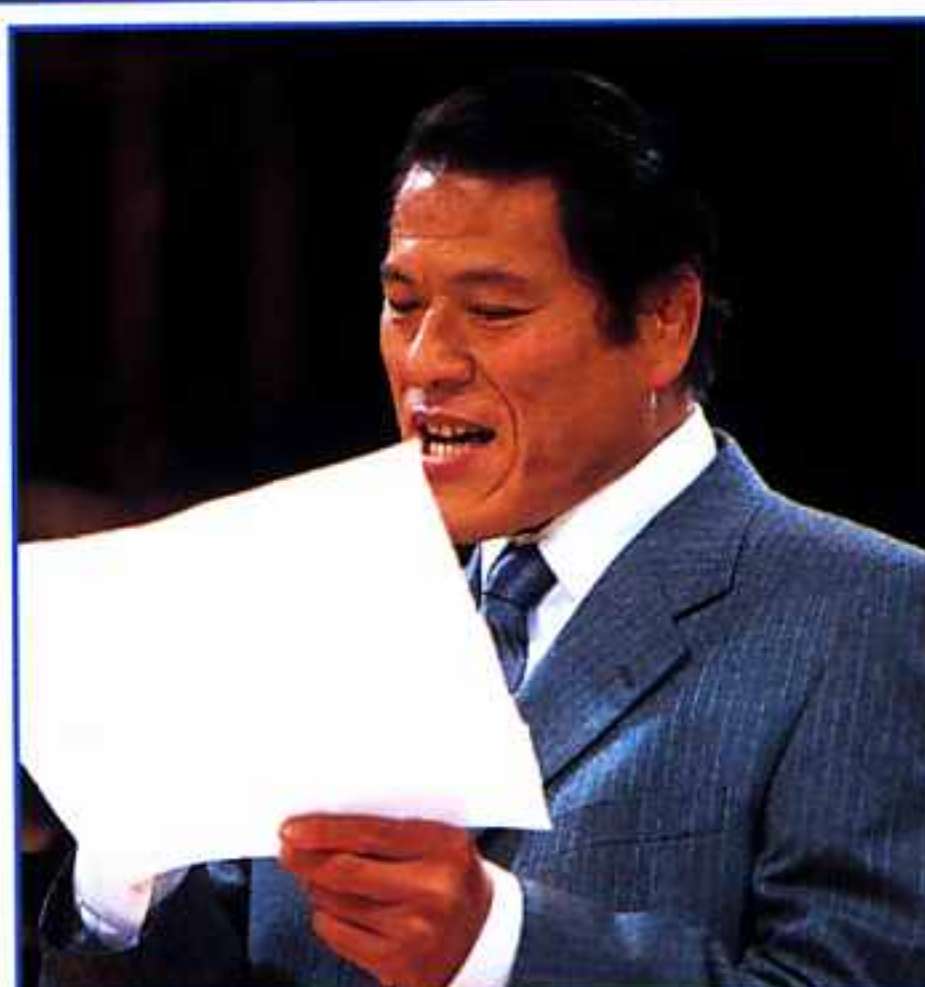
猪木、恒例の挨拶で清原に"闘魂ビンタ"

バシッ！！

12・31『イノキ・ボンバイエ』で対決か？

パラオ大統領も来た！

▶「メッチャ痛い…（笑）」とマイクを手にした清原。顔をゆがめてたが内心は嬉しそう

▶『猪木詩集』の一節「パラオの海は竜宮城」を朗読する猪木

◀パラオ大統領も猪木に呼ばれてリング上に。「ミナサン、パラオニ来テクダサイ」

▲「花を添える意味でやった」と猪木。予期せぬ出来事に場内からは大歓声だ

まさに一瞬！　笑顔で握手を交わした瞬間、猪木の平手が清原に炸裂！

興行的には大成功だった『プライド17』。

初代ミドル＆ヘビー級の2大タイトルマッチ、高田VSミルコ、マット・スケルトンVSトム・エリクソンなど、注目のカードが出そろい話題満載だった今回の東京ドーム大会。天候はあいにくの雨だったにもかかわらず、当日詰めかけた観衆は5万3246人。チケットは全て前売りで完売し、DSEでは急きょ、当日券を増やして対応した。

リングサイドも豪華。マリナーズの佐々木主浩をはじめ、石井一久、高津臣吾、小室哲哉、安岡力也、石橋貴明、南原清隆、小池栄子など、各界の著名人が集結。オーロラビジョンに映し出されるたびに、歓声が沸き起こった。

この日、最大のハイライトは、休憩明けの猪木劇場だった。

お馴染み『炎のファイター』で入場してきた猪木は、25年来の交流を持つパラオ共和国の大統領をリングに上げ、詩まで朗読。パラオの観光をPRした。

観客を大興奮させたハプニングは、このあと起こった。

再びマイクを手にした猪木。リングサイドで観戦する読売巨人軍の清原和博をリングに呼びよせ、いきなり平手打ちを放ったのだ。

清原といえば、昨年5月の絶不調時、再起を図るためにヒクソン・グレイシーに弟子入りしたり、多くの格闘家をコーチングしているケビン山崎氏のもとで肉体改造に励んだりと、大の格闘技ファンで有名だ。本人曰く、「今日は打ち合わせなんてあらへん。聞いてへんよ」と驚いてたが、憧れのリングに上がれて、満足気の様子だった。

ただ、気になるのは、なぜ清原をリングに上げたのかということ。一部関係者からは、身体能力は野球よりも格闘技向きと言われている清原。これまでいくつかの格闘技団体からオファーがあったのも事実で、実際8月には、新日本プロレスが、来年1月東京ドーム大会で「エキシビジョンマッチ」の参戦を要請していたほどだ。

猪木が清原の格闘技センスに目をつけたということは、12・31『イノキ・ボンバイエ』への参戦もありえない話ではなくなってきたということか。

その12・31といえば、この日、大きな動きがあった。

清原登場でリングがざわめく中、お祭りムードを一気に変えたのが、K－1の石井館長の登場だった。

かねてより「ウチは本気の姿勢でいく」と公言していた館長が先手を打って連れてきたのは、サム・グレコ。"拳獣"が姿を現した時、観客からどよめきが起きた。

K－1リングから1年半近く遠ざかっていたグレコが、鋼鉄の肉体を武器に、バーリ・トゥーダーに変貌を遂げて日本に帰ってきたのだ。

12・31はもちろん、今後は、『プライド』を主戦場にしていくと宣言したグレコ。VSノゲイラ、VSヒーリング、VS藤田など、『プライド』ヘビー級に新たなる闘いの図式が生まれてきそうだ。

いつもと違って非常に長かった猪木劇場。それでも次へのステップにつながる、話題満載の内容だった。■

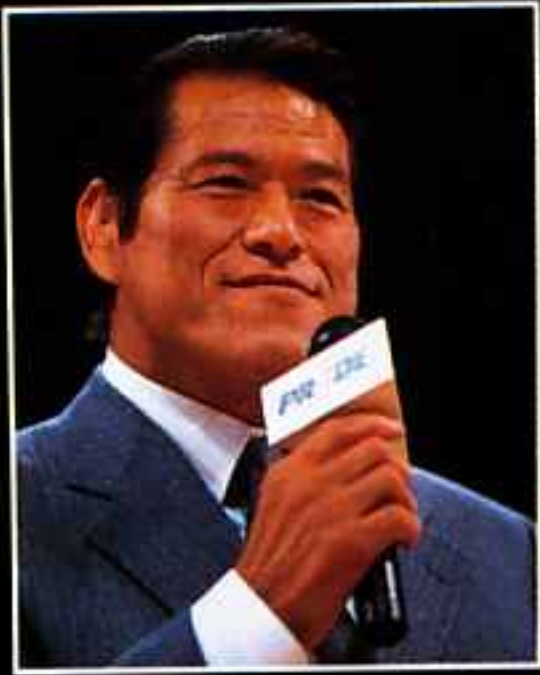
PRIDE.17

11.3★東京ドーム

〝K—1、出て来いッ！！〟と猪木の呼び掛けに石井館長、『プライド』初上陸 あっ、サム・グレコだっ！

▲しばらく日本のリングから遠ざかっていたグレコ。復帰の舞台はなんと12・31『イノキ・ボンバイエ』に決定！

▶それまでのお祭りムードから一転。石井館長＆グレコの登場によって、５万の観衆が興奮の坩堝に！

▲K—１福岡大会に続き、最後はK・I砲が〝ダーッ！〟で絞め。館長の〝ダーッ！〟も様になってきた

猪木劇場 in 東京ドーム

猪木　元気ですか〜ッ！　元気があれば、なんでもできる。元気に笑えば世界が笑う。元気が集まれば、時代が変わる。選手が燃えれば『プライド』が笑い、『プライド』よ、馬鹿になれッ！　馬鹿になったところで、俺の馬鹿な詩をちょっと聞いてください。

青い空が目に沁みる／海はキラキラと妖しく光っている／緑の島は息をのむ美しさ／静かな入り江に／虹色の魚が跳ねた／身を躍らせて魚群を追えば／海底から／サンゴの林が手招きしている／俗を捨て／時を忘れ／いろんな夢が花咲かす／パラオの海は竜宮城／魅惑のイノキアイランド／いろんな夢の花畑

この素晴らしいパラオの島から、今日は大統領が来てますんで、ちょっとご紹介したいと思います。

パラオ大統領　ゲンキデスカ！　ゲンキデスカ！　パラオニ来テ…。

猪木　パラオに来てください！

パラオ大統領　パラオニ来テクダサイ！　ミナサン、パラオニ来テクダサイ。

猪木　え〜、今日はこれでは終わらない。先日、メッセージを送りました。俺に挑戦しようというような、野球界の大馬鹿者が…。キヨハラーッ、いたら出て来ーいッ！

［大歓声の中、リングサイドから清原和博がリングに登場。猪木が張り手一閃！］

清原　メッチャ痛いです（笑）。猪木さん、ありがとうございました！

猪木　これでも終わらない！　12月31日、NHKを、『紅白歌合戦』の裏番組で勝負を賭けます。猪木軍団vsK—1。俺の名前はビンタジン（笑）。俺の仕掛けにビビッて逃げるなよ、K—1！　いたらリングに上がって来ーいッ！

［石井館長とサム・グレコが入場］

石井　えー、こんばんわ！　8月の約束どおり、今度は僕らがこのリングに上がってきました。押忍！　8月の19日、猪木さんの力を借りまして、素晴らしい試合になったんですが、あの試合ではまだ完全燃焼しておりません！　私たちは来る12月31日、さいたまスーパーアリーナにおいて完全燃焼するべく、サム・グレコと一緒にこのリングにやってきました。グレコは12月31日の試合の後、『プライド』に参戦いたします！　押忍！

グレコ　イノキさん、石井館長、皆様ありがとうございます。こんな大きな舞台に今日来ることができて、本当に嬉しく思ってます。おそらくここは世界で最も素晴らしい会場だと思ってます。K—1vsチーム・イノキなる新しい波があることを知りました。そのニュースを聞いて、心からワクワクしました。K—1vsチーム・イノキで（日本のリングに）ぜひ戻ってきたいと思います。私にとっても、そしてK—1の同僚にとっても、決して簡単な闘いにはなりません。でも、完全燃焼して、力の限り尽くして闘います。日本は私の第二の故郷です。また戻ってきます。押忍！

猪木　やりますか？　こんな暗い時代だけど、力を合わせて時代を変えようよ。12月31日はそんな思いで、頑張ってみたいと思います。行くぞーッ！　1、2、3、ダーッ！

試合後、館長が髙田vsミルコ戦について語った！

——ミルコvs髙田戦は、予想外の展開だったのでは？

石井　そうですね。ええ。

——ああいう戦法を館長はどう思われました？

石井　あれはあれで戦法だから。髙田さんなりに考えてやったことなんで、それはそれでいいと思うし。積極的に一歩入っていけない、まだまだミルコの技術不足というかね。ミルコは、もっとこの闘いの勉強をしなくちゃいけないんじゃないかな。髙田さんは、よく頑張ったと思う。顔が蹴られないからね。攻めにくかったのは、攻めにくかったなとは思う。

——ミルコ選手は8月に比べると、進歩は見られましたか？

石井　そうですね。ガードポジションから立ち上がったところなんかは、良かったんじゃないの。今日の闘いをもっと復習して藤田戦に備えないと。ただ、怖がらないで、自分からどんどんグラウンドに行けばよかったのかなと思いましたね。逆に新たな宿題ができたと。マット・スケルトンにしてもそうだし。準備期間が短いので、31日に逆にふんどしを締め直して選手はトレーニングしなきゃいけないでしょうね。

——『イノキ・ボンバイエ』にサム・グレコの参戦は決定ですか？

石井　はい。出ます。ボブ・サップもトレーニングさせてます。

——人選は？

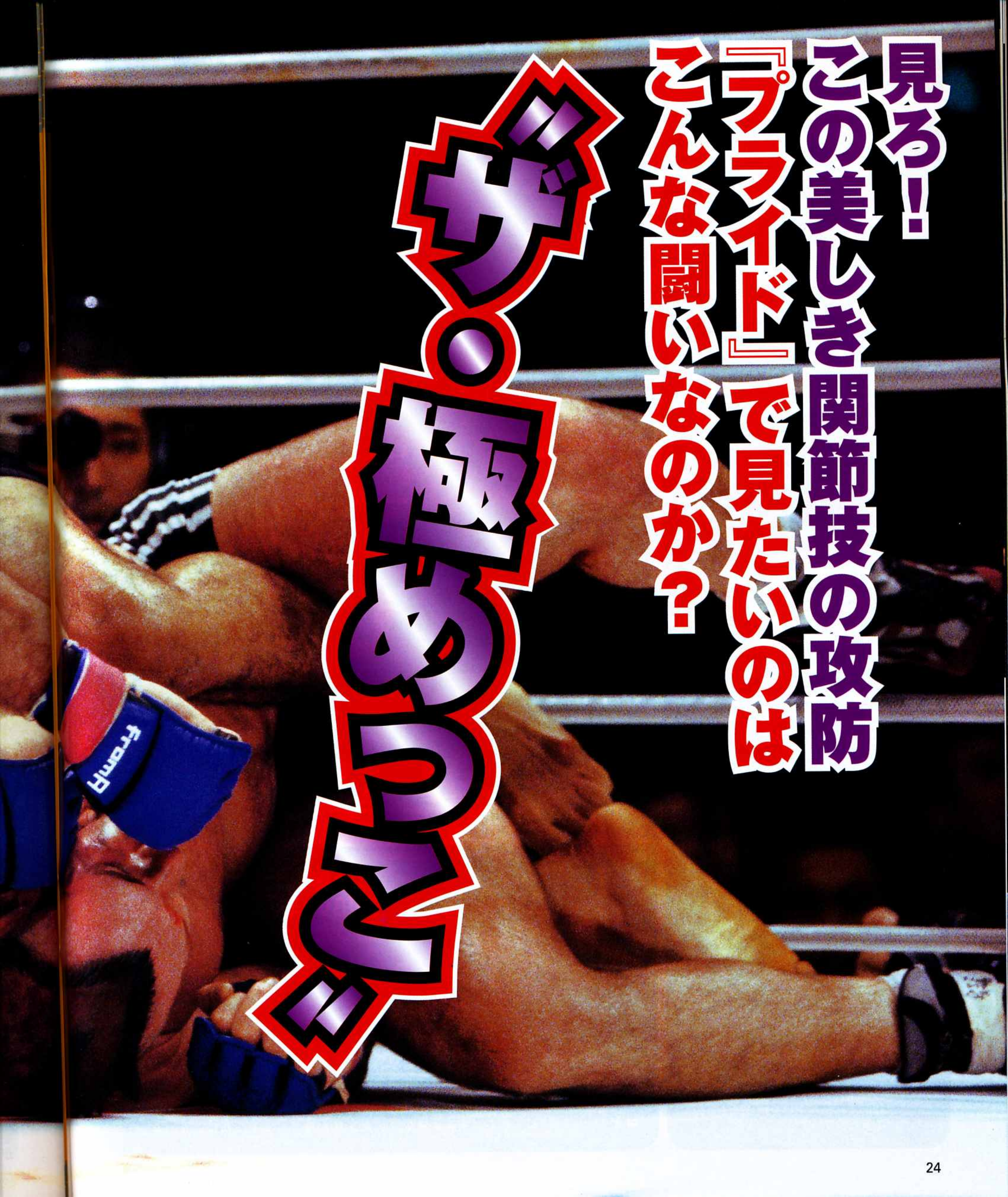
石井　今、考え中です。

——ミルコは出ますか？

石井　もちろん、出します！■

見ろ！
この美しき関節技の攻防
『プライド』で見たいのは
こんな闘いなのか？

“ザ・極めっこ”

PRIDE.17 11.3★東京ドーム

至極の名勝負!
初代PRIDEヘビー級王座決定戦
ノゲイラVSヒーリング

今大会屈指の好勝負だった、ノゲイラVSヒーリング。ノゲイラが次々と寝技を仕掛ける一方、ヒーリングはそれをことごとく防御。息を呑む攻防に5万6千人が熱狂した

開始2分で靭帯損傷、されどこの関節技の数々！さすがはノゲイラ！

寝技だけでなく打撃でもヒーリングを圧倒していたノゲイラ

ヒーリングのタックルをキャッチし、フロントネックロックに

腕十字には何度もトライした。何がなんでも一本を狙う

グラウンドは完全にコントロールしていたが、ヒザを痛めていたことが極めきれなかった要因。残念だ

©Essei Hara

バックマウントを取って首を狙うノゲイラ。だが、ヒーリングはこんな状態でも抜け出していくのだ

©Essei Hara

これは完全に極まるだろうと誰もが思ったはず。だが、やはりヒーリングは抜け出す

サム・グレコの挨拶を訳した通訳の聞き間違いとはいえ、『タイワン対猪木軍』なら見てェ！

ということで、パラオの大統領が元気だったり、清原がビンタされたり、談志師匠の〝高座〟があったり、知らない人たちが楽器を弾いてたりした今回の『プライド』。まったくもってムダな贅沢ぶりに心が熱くなったものであるが、試合内容で素直に観客を沸かせたのは、文句なくこのノゲイラとヒーリングであったことは間違いないだろう。

では、なぜ熱くなったのか？

普通に考えれば、ノゲイラVSヒーリングというカードはなかなかマニアックなカードだろう。なのに、東京ドームの5万6千人の観客が熱狂したのは、その前の高田の試合があまりにも納得できなかったからという単純な理由だけでないことは明らかだ。

終始、ノゲイラが一本を取りにいった姿勢と、ヒーリングが抜群の身体能力でそれをしのぎ切り、その上に反撃していったファイティングスピリットが観客の心を熱くさせたのだと思う。そして、改めて感じたことは、日本の観客には〝極め〟のある試合が支持されるということだ。

もともと日本の総合格闘技のファンはUWFから入るなり、修斗から入るなり、いろんな入口はあるものの寝技の強さこそに信頼度を置いてきた。いざとなったら絞め関節なのだ。その目まぐるしい攻防を堪能してきたのが日本の観客なのである。

桜庭が評価されたのも、バーリ・トゥードという膠着の時間が

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

©Essei Hara

この目が恐ろしい!

この男はバケモノか!? 決して萎えない闘争心!

打撃でもグラウンドでもノゲイラは強い。だが、ヒーリングの心は折れない

何回関節技を取ろうとしても、高い身体能力とスタミナとハートの強さでハネ返すヒーリング。そして、こんな目をして向かってくるのだ。嫌な相手だろう

1ラウンド終盤のシーン。この直後にノゲイラの頭を蹴りつけてくるのがヒーリングの怖さだ。ノゲイラは一瞬の油断もできない

ノゲイラがバックに回ろうが、腕十字を取ろうがヌルリと抜けて攻撃してくるヒーリング。もの凄いスタミナだ

多い競技の中で、常に動き回り、関節技で相手を倒してきたところにある。

つまり、一本が取れること。あるいは一本を取るために両選手が激しく動くことによって生まれる熱気にシビれるのだ。卓越した技術と、常人では理解不可能な身体の切れを見せつけられることで熱くなれるんだと思う。

で、このノゲイラvsヒーリングはその全てがあった。

ノゲイラは何度も何度もヒーリングのバックを取り、あるいはマウントを取り、サイドポジションを奪っては絞めや関節を仕掛けていった。ところが、その度にヒーリングは、ある時は身体を反転させ、またある時はノゲイラの足の間で身体を回転させて、三角絞めやストレートアームバー、フロントネックロック、裸絞め、腕十字といった数々の技をしのいでいく。凄いのはスキを見つけては上からパンチを入れ、蹴りを飛ばして、その闘争心が衰えることは微塵もないことなのだ。

試合後に発覚したのだが、実は、ノゲイラは1ラウンドに受けたヒーリングのローキックでヒザの靭帯を痛めてしまっており、そのため足のフックが効かず、寝技のキレがなくなってしまっていたらしい。もっとも、だからと言って、この試合の価値が下がるわけはなく、ヒーリングの蹴りの破壊力をホメるべきだし、そんなケガをおして最後の最後まで攻め続けたノゲイラをホメるべきなのは当然。

なにしろ、ノゲイラは試合後、すぐに病院に直行。足の靭帯を痛めたこともあるが、そのあまりの

満身創痍の中でつかんだ歓喜の勝利！ノゲイラ、PRIDE初代ヘビー級王座獲得

最後は2人とももうヘロヘロ状態だ

©Essei Hara

▲判定は文句なしの3―0。この喜びの表情が試合のハードさを物語る

3ラウンドになると、ともに疲れが目立ち始めていた。だが、前に出ていく姿勢だけは一貫して変わらなかった

©Essei Hara

▲ノゲイラはヒザを痛め、ヒーリングは流血していた。だが、両者は20分間決して下がることをしなかった

ヒーリングのコメント

「結果には少しがっかりしたけど良い体験になった。来年には良い試合を見せることができるさ。びっくりしたことはノゲイラがあんなにスタンドがうまいとは思わなかったことさ。オレが闘ってきた中で最も強い選手の一人だろう。もちろん判定には納得してる。妥当だと思うよ。だけど、もう一度闘いたい。興奮したしね（笑）」

▼試合後、猪木さんとも握手。次はK―1VS猪木軍に参戦か？

▲ブラジリアン・トップチームは強い！　師匠であるマリオ・スペーヒーとムリーロ・ブスタマンチとも喜びを分かち合う

▲ついに初代『PRIDE』ヘビー級チャンピオンに輝いたノゲイラ。極めを重視する新しい『プライド』の歴史がスタートする

★第8試合／PRIDEヘビー級王座決定戦（1R10分、2・3R5分）
○アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ（3R判定3-0）ヒース・ヒーリング●
<ブラジル／ブラジリアン・トップチーム>　<アメリカ／ゴールデン・グローリー>

ヘロヘロ具合に医師の診断はなんと〝全身疲労！〟。おそろしく中身の濃かった20分間というわけなのだ。

一方、ヒーリングはといえば、試合後のパーティー会場に元気いっぱいに訪れ、ウチの編集部員とふざけたりしていたというからバケモノか、コイツ！

ともかくこの試合はヒーリングにしても、ノゲイラにしても、自分の持てる技術を全て出し尽くした最高の試合であった。ノゲイラのパンチの技術が、ギルバート・アイブルらとオランダで長年キック修行をしているヒーリングですら圧倒できるものであったことにも驚かされたし、全身疲労と診断されるまで動き続け、試合終了のゴングが鳴るまで一本を狙い続けた柔術家としてのハートにも敬服の念を抱かずにはいられない。

また、寝技地獄に引き込まれながら恐れを知らずにグラウンドに付き合ったヒーリングの芯の強さもリスペクトできる。

PRIDEヘビー級チャンピオン決定戦として最高の試合であり、ハートのない試合が多かった今大会にあってプロのファイターとはどういうものかを見せつけた魂のあるファイトであった。

そして繰り返し言うが、やはり、ノゲイラが一本にこだわったことが、一見（いちげん）さんが多いドームの観客の心を動かしたのだ。

さらに言うなら、この試合によって、今後の『プライド』がどういう方向性に行けばいいのか、どんなファイトをすればファンに支持されるのかを示したことでも意義深いものであったのだ。（ブチ）

噂の三面記事・拡大版

『PRIDE.17』から『イノキ・ボンバイエ』へ「7対7」か「10対10」か？紅白を裏に回す国民的他流試合

K－1軍VS猪木軍 いったい誰が出てくるのか？

11・3『プライド17』東京ドーム大会が終わって、気になるのが年末の『イノキ・ボンバイエ』における「猪木軍VSK－1軍・全面対抗戦」だ。もちろん、その前に打撃最高峰の『K－1ワールドGP決勝大会』が、12月8日東京ドームで行われる。しかし、せっかちな本誌はそこまで待てないっ！　現在、取材している中での近況から、誰が出そうなのか占ってみる。

猪木軍・最大のポイントは小川の出場！ 意外に選手層の豊富な世界の"K−1"

『プライド17』が終わって、気になるのが、年末の『イノキ・ボンバイエ』に誰が出場するかということだ。すでに10・27の先行発売では、『プライド』以上の反響があったと言われているが、それだけに両陣営ともファンの期待に応えたマッチメイクが必要。誰を出してくるかが一番興味あるところである。そこで、本誌が現時点で掴んでいる情報を、整理してみることにする。

まず、8・19の藤田VSミルコ戦で俄然勢いが出ているのがK—1軍だ。当初、石井館長が猪木軍との対抗戦話をブチ上げた時、周囲の関係者は大反対。選手の間からも冷ややかな目で見られていたフシがあった。「VTに興味があるか?」という質問をしても、ほとんどの選手が「まあ、見るのは好きだけど」と、まるで他人事のように答えていたに過ぎなかった。

ところが、8・19でミルコとローゼが思わぬ大勝。彼らとてK—1のトップ選手ではない。そのことが、他の選手に大きな刺激を与えて、やる気にさせたようだ。しかも、来日するたびに、マスコミからはK—1本体のことよりも、猪木軍との対抗戦話を聞かれる。「これは、よほどオイシイ話なんじゃないか」と選手たちも徐々に意識改革していった。

そのため、現在まったく不確定なのは、12・8東京ドームで行われる「K—1ワールドGP」に出場するベスト8ファイターたちのみ。彼らは当然のごとく、今の狙いはK—1王者に輝くことにある。

しかし、今年のK—1は波乱の連続だったため、意外なほど常連のベスト8ファイターが敗れている。それがVS猪木軍との戦力補強にさらにプラスに働いている。今のK—1は気が付いたら、K—1GP用の選手とVS猪木軍用の選手、2部隊を編成することだって可能になっているのだ。

本誌の掴んだ情報によると、8・19に出場したミルコやローゼ、ノルキヤはいつでも出場スタンバイOK。さらに、負け組ではセフォーやアビディといった有力ファイターがやる気を見せている。そして、スネを負傷してK—1はリタイア状態になっているグレコが非常に興味を持っており、『プライド17』視察のため来日。

また、今回の『プライド17』に出場したマット・スケルトンクラスの選手なら、声をかければいつだって出場可能。世界中にネットワークを持つK—1は、ここにきて人材が余りあるほどの体制になってきたと言えよう。

ただ、K—1ファイターの中でも極真勢は「まったく興味がない」と発言していることからも12・31の出場はないとみたほうがいい。また、ベスト8ファイターの中でも、王者ホーストは性格的に見ても、まずやらないのではないだろうか。

一方、"背水の陣"に立たされているのが、猪木軍のほうだ。もちろん、人材的にはVTに精通しているトップ選手を抱えているのは猪木軍。しかし、猪木の「なんとでもなるよ」という性格もあって、今のところ陣容が固まっていない。

外国人のほうは、コールマン、ノゲイラ、グッドリッジ、ドン・フライ、イゴール・ボブチャンチンと、ほとんどが問題ないだろう。ただし、ファンが気になるのは、正真正銘の猪木軍と言える、日本人選手の動向である。

藤田、安田に関しては、8・19の敗戦を受けて、リベンジ戦に対してはなんら異存はない。藤田はミルコ、もしくは大将格のバンナと対戦したいだろうし、安田はローゼとの再戦に燃えている。彼らのセコンドを務めた石澤も、体重が合う選手がいれば、出ていく可能性は高い。

しかし、問題なのが大将格と目される小川だ。小川は藤田がミルコに敗れると、いち早くリベンジを宣言。年末の出場はほぼ決定的だと思われていた。

ところが、『プライド17』で実現する予定だった高田VS小川戦が流れると、態度を一変。森下社長が「小川選手には別のカードをDSEとし

紅白を裏にした「国民的他流試合」

白組キャプテン・石井和義

紅組キャプテン・アントニオ猪木

いったい誰が出るんだ！？ 「K－1軍VS猪木軍」出場選手・予想一覧表

	K－1	猪木軍
◎確実に出そうな選手	**1 ミルコ・クロコップ** 「フジタのリベンジは受けなければならないだろう」 **2 レネ・ローゼ** 「12・31どころか、オレは『プライド』にも出るつもりだったんだぜ」 **3 マット・スケルトン** 「いつ、何時、誰のオファーでも受ける！」 **4 ヤン・ザ・ジャイアント・ノルキヤ** 「館長が、勝ったらロレックスの時計をくれると言ってたんで目がくらんでしまった。次は勝つ！」	**1 藤田和之** 「ミルコ？　俺はいつだってOKですから。負けたとは思ってないし」 **2 安田忠夫** 「レモネードだっけ？　あんなヤツもう1回やったら、勝ちますよ」 **3 ゲーリー・グッドリッジ** 「大口叩いてるヤツを黙らせてやる」
○出る可能性が高い選手	**5 サム・グレコ** 「VTには非常に興味がある。亡きアンディのためにも、もう一度リングに立ちたい」 **6 レイ・セフォー** 「VTは新しい分野だから興味はあるよ」 **7 シリル・アビディ** 「やるかやらないかは、ファイトマネー次第だ！」 **8 ノブ・ハヤシ** 「僕は凄く興味あります」 **9 富平辰文** 「佐竹さん、藤田さん、強い人の胸を借りたい！」 **10 ボブ・サップ** 「K－1でも『プライド』でも構わない。日本で名前を売りたい」	**4 佐竹雅昭** 「やるならタケゾウ！　K－1軍に入って小川とやるのもいい」 **5 高山善廣** 「僕は猪木軍に入るか、K－1軍に入るか分かりませんよ」 **6 アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ** 「ジェロム・レ・バンナの口を黙らせたい」 **7 マーク・コールマン** 「『プライド』をオシッコのような闘いと言ったのは許さねぇ」 **8 ドン・フライ** 「ミスター・イノキのためなら、オレはいつだってOKだ」 **9 小原道由** 「そういう話が自分のところに出てくるのであれば出たいと思います」
△まったく読めない選手	**11 ジェロム・レ・バンナ** 「生のケンカを見せてやる」 **12 ピーター・アーツ** 「やらない理由はないでしょ」 **13 マイク・ベルナルド** 「将来的にはやってもいい」 **14 マーク・ハント** 「興味はある」 （以上の選手は、もちろんK－1ワールドGPに専念中）	**10 小川直也** 「『プライド』がからむイベントだったら出たくない」 **11 永田裕志** **12 中西学** （共に猪木がオファーすると明言） **13 石澤常光** （中量級の相手が、K－1にいれば……） **14 村上和成**
×出る可能性の極めて少ない選手	**15 アーネスト・ホースト** **16 フランシスコ・フィリォ** **17 ニコラス・ペタス** **18 中迫剛** （共に「今はまったく興味なし！」と明言） **19 武蔵** （1・11「一撃」で野地竜太と対戦）	**15 橋本真也** （「猪木軍」と絶縁） **16 石川雄規** （11・3『プライド』でのランペイジ・ジャクソン戦の結果次第） **17 アレクサンダー大塚** （ランペイジ・ジャクソンに敗れて大きく後退） **18 マーク・ケアー** （「猪木軍」から離脱）

て提案し続けます。K—1の選手がいいかも」という発言に激怒して、「もう俺の名前を出すな」と絶縁を通告している。

　それ以来、小川は「12・31も『プライド』がからむのなら出るつもりはない」と発言。10・8ではK—1のリングに行くかと思われたが、土壇場になって絶縁していた新日本ドーム大会に乱入した。

　その一方で、小川をめぐる両首脳の発言も騒がしい。石井館長が小川に1億円提示して引き抜き発言すれば、猪木もまた「1対3でトレード」と逆提案。しかし、10・8K—1福岡大会に「行く」と言っておきながらドタキャンした小川に対しては、石井館長も本気で「12・31に出て来なかったら逃げたとみなす」と怒りを露わにし、先の新日本1・4ドーム大会での巴戦出陣の発表に対しては「12・31に出るんなら、そんな試合には出られるはずがない。K—1を甘くみるな」と穏やかではない。

　一方師匠・猪木も「紅白を裏に回したゴールデンなんだから、小川ももちろん必要。いろいろなこだわりがあるようだが、最終的には俺が調整しなきゃいかんだろう」と発言。当の小川はもはや四面楚歌に立たされたと思われたが、10・25真撃・武道館大会で132日ぶりにリングに立った。

　しかし、その小川に対していち早く敵陣の石井館長が表敬訪問するなど、小川が12・31に出るかどうかはまだまだ流動的だ。

　ちなみに小川は、石井館長の表敬訪問に対して「挨拶程度」と言葉は少なめ。逆に信頼関係の唯一ある橋本と共闘しノア殴り込みを宣言したが、ノアの三沢社長からは「まったくからむつもりはない」と翌日拒否されている。

　こうした小川がどうなるか分からない状況の中で、猪木軍と見られる佐竹も武蔵戦がなくなったことで出場が微妙。バトラーツの石川とアレクも、最近つまずいているため、出場資格が問われている。さらに猪木が期待をかけている高山は「俺は猪木軍じゃないんで、どっちにつくか分かりませんよ」と発言しているし、中西学や永田裕志にもオファーすると言ったが、新日本はすぐに否定した。

　こうなると、猪木軍はますます大ピンチ！　当初、楽勝と思われていたが、ここにきて猪木プロデューサーの手腕が問われることになってきた。TBSが強い期待をかけていることからも、猪木は何がなんでも「イノキ・ボンバイエ」を成功させなければならない。いずれにせよ、現在の状況はK—1軍圧倒的に優勢だ。■

なぜだ!? 石井館長が仰天の『真撃』観戦! 小川の控室に入った!

▶大声援で迎えられた小川だったが、大したインパクトを残すことができなかった

★第8試合
○小川直也（6分30秒、チョークスリーパー）ジョシー・デンプシー●
〈UFO〉〈LAボクシングジム〉

小川&橋本、132日ぶりの共闘！　前回の8・30『真撃』では、マーク・ケアーの移籍問題を巡って、猪木と橋本が対立。その煽りを食って、猪木軍の小川は『真撃』出場を断念するハメになった。

それにしても、今の小川にとって信頼関係があるのは橋本のみ。『プライド』には絶縁宣言しているし、『イノキ・ボンバイエ』についても、〝『プライド』がからむなら〟ということで出場は微妙。絶縁していた新日本とは、10・8ドーム大会の乱入で来年1・4ドーム大会の巴戦の目が出ている。

しかし、これに関しても藤田が難色を示すし、猪木も無関心を装っている。そうなると、やはり一番小川が気持ち良く出られるのは、『真撃』のリングだけなのだ。

そんな小川がこの日、往年の名ボクサー、ジャック・デンプシーのひ孫ジョシー・デンプシーと対戦。対ボクサーということで、K—1との一戦をオーバーラップさせたが、小川は132日ぶりのリングということで手こずり、最後は喧嘩ファイトからチョークスリーパーで勝った。

しかし、そんな小川のファイトよりも、一番気になったのがリングサイドで観戦していた石井館長の姿だった。なぜ石井館長がここに？

小川は石井館長がまったく目に入らなかったようだが、主催者側も石井館長がこの日突然来場するという

館長の視線に晒されながら闘う小川……

▶〝拳聖〟ジャック・デンプシーのひ孫、ジョシー・デンプシーのパンチに苦戦するが、いつもの挑発パフォーマンスは欠かさなかった

▶小川の必殺技STOが炸裂！　この後、チョークスリーパーに持ち込み、6分30秒小川が一本勝ち

▶試合後、収まらないデンプシーたちLAボクシングジム勢と小川は乱闘に

『真撃』、そこは破壊王の世界!!

『真撃 第Ⅲ章』
10・25★日本武道館

▶メインでゴルドーと対戦した橋本は、起死回生の水面蹴りから逆片エビ固めで8分51秒、ギブアップを奪う。試合後は「ゴルドー先生から魂をもらった」とコメント

▶いつものように殺気溢れるゴルドーは、試合中盤グローブを外し素手で橋本に正拳突きを連打

▶試合後、橋本の盟友・辻〝ヒャッホー〟よしなりアナがリングに上がり、橋本に花束を渡した

▶第7試合は真撃初参戦の高山善廣を、今マット界で一番熱い男・大谷晋二郎が迎え撃った。火祭り刀を持って入場してきた大谷は、花道で刀を抜いてこのポーズ！

▶この日、一番プロレスラーらしいところを見せてくれたのは高山。大谷に対して、遠慮なしに蹴りをブチ込んでいく。試合は12分10秒チョークスリーパーでレフェリーストップ勝ち

高山が見せたプロレスラーとしての凄み!!

▲今回も舞台演出は破壊王色タップリ。開会式では薙刀を持った破壊王と火祭り刀を持った大谷が登場し、音に合わせてブンブン振り回すという演出。魔裟斗の『ウルフレボリューション』とはまったく正反対の世界がここにはある

▲前回に続いて参戦したマーク・ケアーは、久々の来日となるディック・フライと対戦。ケアーの持ち味はなんといっても膠着。この真撃の舞台でも存分にそれを見せてくれた。結果は5分30秒、腕ひしぎ十字固めでケアーの一本勝ち

ことで大慌て。試合後、マスコミ陣も一斉に石井館長の後を追った。

コメントスペースで橋本に「私、プロレスの味方です」と冗談を言った後、本当に小川の控室に入っていった石井館長。数日前までは、「さんざん大口叩いておいて、12・31に出ないのなら、逃げたと見なす」と不快感を表していた最中の出来事だった。しかし、そこから先はマスコミを一切シャットアウト。いったい、小川と何を話していたのか、そればかりが気になった。

その夜、石井館長はレギュラーの「オールナイトニッポンR」に出演し、小川との会話について口を開いている。「いや、ナイスガイでしたよ。『プライド』が関わっているのは嫌だけど、ぜひ前向きに考えさせてください」と言っていたという。石井館長は、本当にどんな意図があって小川の控室を訪ねたのだろうか。まさか本気でK―1軍に誘おうとしているとは、思えないのだが……。

一方、当の小川は石井館長の訪問に対して言葉少な目。代わりに橋本と結束し、ノア出陣を大々的にアピールした。最近の発言は、「K―1に負けないためにも、プロレスを盛り上げていかないといけない」というニュアンスが多くなっている。たしかに、ZERO―ONE旗揚げ戦からのノアの三沢とのからみは刺激的だった。小川は完全にホコ先を純プロレスに向けようとしているのか？

今や完全にヒクソン化している小川。だが、小川に対しては『プライド』やVSK―1との闘いを最も見たがっているファンも多いだろう。そして、猪木軍としての小川はどうするのか？　目を醒ました小川の征く道は、果たしてどっちだ!?　（T）

読者の声が格闘技界を変える!

マット界に激震!
ネット界にもいぜん余震!

-net.ne.jp/srs-dx/

ンしたぞーッ!!　これはオフィシャルサイトにして“日刊『SRS・DX』”だ!!

分刻みで変化する格闘技界の流れに
キミはついて来られるか!?
サダハルンバはすでに脱落したぞ!

GUIDE
大会ガイド&チケット、テレビ、ビデオ、グッズ、本、イベント……何かと役立つ格闘技情報が満載!

CALENDAR
大会日程、チケット発売日、テレビ情報など、日付順で見たい人はカレンダーが便利!

COLUMN
編集部リレーエッセイ、裏★座談会など、読み物はこちら!

RESULT
大会の試合結果はココをチェック!

LINK
団体や選手のサイトのリンク集もあるでよ!

MAGAZINE
本誌『SRS・DX』最新号のコンテンツと、バックナンバーの在庫情報が分かる!

NET SHOPPING
ショップ『グレート・アントニオ』でオンラインショッピングも楽しんでね!

これからは『SRS・DX』読者

http://www.so-n

『SRS・DX』オフィシャルサイトが、11月1日1時11分にオープンしたそ

ウェブゴング、ニュース・ジャッジ、掲示板など
サイトの目玉はファン参加型コンテンツ！

TOP

トップページのネタはちょくちょく変わる！
ココのチェックは毎日の習慣に！
『SRS・DX』のトップページは、ほぼ毎日いろんなネタが入れ代わるのだ。ウェブゴング、ビッグマッチの試合速報、緊急ニュースなどなど、毎日ガンガンアップするぜッ！

WEB GONG

あなたの1票が業界に卍固め!!
コアファンの生の声をそのまま誌面に反映します！
毎回毎回、あるテーマを『SRS・DX』からファンに問いかけます！　問いかけは簡単なアンケート形式で、誰でも投票可能。あなたの生の声を聞かせてください！

NEWS JUDGE

このニュースにのれる？　のれない？
今日の格闘技界をドゥ・ジャッジ！
その日の格闘技ニュースを一気にチェックしながら、のれる／のれないをキミにジャッジしてほしい！　今、旬の話題はなんなのか、白黒ハッキリ付けてくれ！

REPORT

旬のテーマを徹底レポート
「噂の三面記事DIGITAL」
今、旬の話題を1つ取り上げ、『SRS・DX』が長期にわたって徹底追跡する「噂の三面記事DIGITAL」。まずは新K・I砲誕生（カンジ・イノキとカズヨシ・イシイ）で沸き返っている「猪木軍vsK-1」を詳細レポート！

BBS

“ご本人書き込み”もアリ！
前代未聞のコミュニケーションの場
掲示板では、ウェブゴングやニュースをネタに大いに語り合える。もちろん、格闘技に関する話題ならなんでもOK！　しかも、ココは業界著名人や選手がガンガン乱入する、前代未聞のコミュニケーションの場なのだ！（編集部が独自で取ってきたコメントを、本人の言葉として書き込む場合もアリ）本人かどうかは“本人”マークで識別できるぞ！　コアファンの生の声を聞かせてやってくれ！

祝『SRS・DX』サイトオープン！　グレート・アントニオも援護射撃！

提供：グレート・アントニオ

暮れには早い歳末DOKI★DOKI プレゼントキャンペーン2nd

開催中！

祝『SRS・DX』サイトオープンということで、またもやグレート・アントニオからお宝グッズ＆観戦チケット大放出いたします！　第一弾に続き今回もアントニオ猪木さんやザ・ハイロウズほか、豪華な方々にサインをいただきました。さらに、年末の『INOKI BOM-BA-YE 2001』ほか主要ビッグマッチのペアチケットもプレゼント！　今すぐ『SRS・DX』＆『グレート・アントニオ』オフィシャルサイトからご応募ください！

http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/
http://www.great-antonio.jp

このチャンスを逃すバカがいるかよっ⁉
アントニオ猪木＆ザ・ハイロウズ寄せ書きサインだ！

アキラ兄さんのイギリス修行時代サイン（復刻）だ！
ほかにも悶絶必至のお宝がキミに当たる！

★悶絶必至の豪華プレゼント一覧

- A：アントニオ猪木＆ザ・ハイロウズメンバー全員サイン入り「アントニオ猪木Xザ・ハイロウズTシャツ」2名様
- B：高田延彦サイン入り「アイ・アム・プロレスラーTシャツ」1名様
- C：前田日明サイン入り「クイック・キック・リーTシャツ」2名様
- D：桜庭和志サイン入り「サクモン」3名様
- E：安田忠夫サイン入り「ヤスベガスTシャツ」3名様
- F：ピーター・アーツサイン入り「666Tシャツ」1名様
- G：ホイス・グレイシーサイン入り「Tシャツ＋ポートレート」1名様
- H：ヘンゾ・グレイシーサイン入り「Tシャツ」1名様
- I：アレク＆ルッテンサイン入り「グレート・アントニオスウェット」2名様
- J：谷津嘉章サイン入り「谷津ガードTシャツ」2名様
- K：肉体改造＆ダイエットに最適「ファスティング・ダイエット」3名様
- L：謙吾サイン入り「ヒザサポーター」1名様
- M：菊田早苗サイン入り「GRABAKATシャツ」1名様
- N：ネイサン・マーコートサイン入り「Tシャツ」1名様
- O：12・23『プライド18』福岡大会ペアチケット　10組20名様
- P：12・31『INOKI BOM-BA-YE 2001』さいたま大会ペアチケット　10組20名様

◆応募方法
『SRS・DX』オフィシャルサイト〈http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/〉の、「プレゼントキャンペーン」からお申込みください！
◆応募締め切り：11月30日（金）24:00
◆当選者発表：『SRS・DX』＆『グレート・アントニオ』オフィシャルサイト上にて発表

注
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます
※ご応募はお一人様一回限りとさせていただきます。また、関係者の応募はできません

12・31『INOKI BOM-BA-YE 2001』チケット 11/10（土）AM11：00から店頭販売！　特製Tシャツつき！

12・31『INOKI BOM-BA-YE 2001』のチケットをグレート・アントニオでは11/10（土）、AM11：00より店頭販売いたします。グレート・アントニオだけの特典として購入者全員に“グレート・アントニオ・イノキ・ボンバイエ”Tシャツ（非売品）をご用意しておりますので、皆様、ボンバイエのチケットはグレート・アントニオで！

『INOKI BOM-BA-YE 2001』 ～猪木軍vsK-1全面対抗戦～

2001年12月31日（月）さいたまスーパーアリーナ
開場／PM5：00　開始／PM7：00（予定）
入場料／全席指定（消費税込）

席種	料金
RRS（ロイヤルリングサイド）	35,000円
SRS（スペシャルリングサイド）	25,000円
RS（ロイヤルシート）	15,000円
スタンドS	10,000円
スタンドA	7,000円

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携
SRS DX スペシャル・リング・ガイド
No.58 11・22号

C O N T E N T S

速報

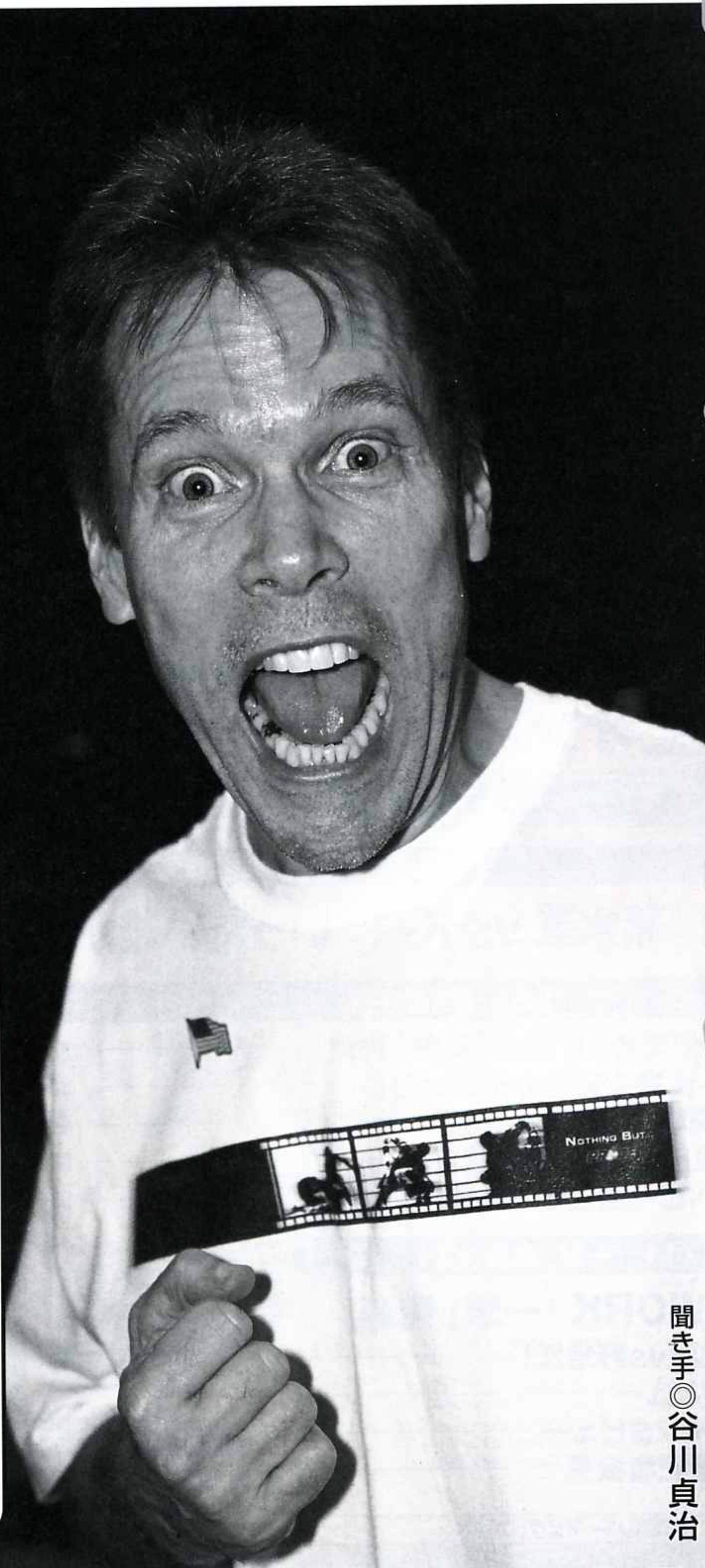
11・3 PRIDE.17 東京ドーム大会

※入稿の都合上、目次の内容と異なることがございます。ご了承願います。

アメリカ格闘技マスコミが見た『プライド』の評価とは？

聞き手◎谷川貞治

ディレクTV
PRIDEのTVコメンテイター
ステファン・クアドロス インタビュー

『プライド』の会場でいつも「オー、サダハルゥ、マイ、アイドル！」と声を掛けてくる変なガイジンがいる。最初は誰かと思っていたが、実は『プライド』の全米PPVを中継しているディレクTVのコメンテイターだったのだ。彼の名はステファン・クアドロス。バス・ルッテンとずっと一緒に実況を務めている、私のようなアメリカ格闘技マスコミだ。そんなステファンに、アメリカ格闘技マスコミから見た『プライド』の評価を聞いてみた。

——ステファンさんのことは、ディレクTVの名コメンテイターとして、ボクはよく知っているんですが、本当の職業というのはなんなんですか？

ステファン オ～、サダハルゥ、よくぞ聞いてくれた。4つあるんだけど、まず1つは新しい雑誌の編集で、BLACK BELT社という出版社の『FIGHT SPORTS』という雑誌をやっているんだ。2つ目は俳優。チャック・ノリスとか、他にも有名なハリウッドスターたちと一緒に映画に出ているよ。それから、キックボクシングも教えているし、バーリ・トゥードも教えている。まあ自分で

不定期シリーズ

『プライド』に来る変なガイジンたち ①

私は4つの仕事を持っているんだよ。俳優もやっているのでプロはあきらめたんだ

言うのもなんだけど、私はアメリカの格闘技のルネッサンス的な人物と言っても過言ではないだろうね。

――はぁ～、凄い人なんですねぇ。

ステファン だから、いま私が一番やらなきゃいけないことは、私自身のクローン人間を作ることなんだよ（笑）。

――へぇ～、そんなに忙しいんだ。

ステファン グゥ～ッ（寝るマネ）。

――ジムはどちらに持っているんですか？

ステファン 2つのジムで教えているんだけど、そのうちの1つ、『ロサンゼルスアスレティッククラブ』ではミスターイノキもワークアウトしているよ。

――猪木さんも。もう1つは？

ステファン パサディナにある『ボディイズ インモーション』というジムで、1つの部屋に32個のヘビーバック（サンドバック）がある。

――へぇ～、32個も。

ステファン 凄い美しい女性もたくさん私のクラスを受けに来てくれているよ、サダハルゥ（笑）。

――うらやましいなぁ。ステファンさんももともとは格闘技をやられていたんですか？

ステファン もちろん。今だってトレーニングを続けているし、マーシャルアーツは20年近くもやってきているよ。

――プロとしてリングに立っているということですか？

ステファン いや、それはないよ。もともとはプロのドラマーで、これが自分の中で一番の優先すべき仕事だったんだ。でも、あまりにもハードにやりすぎたためにヒジを壊してしまい、あきらめざるを得なくなったんだ。それで、次に俳優の仕事を選んだんだけど、当然、顔にケガをしてしまうと俳優の仕事に支障をきたしてしまうから、プロのファイターとして活動することができなかったんだよ。

――へぇ～、そうなんですか。

ステファン ただ10年前、テレビショーでお金を稼いでいた頃に、選手として始めようとベニー・ザ・ジェットセンター（ベニー・ユキーデのジム）でピーター・カニングハム先生のもとでトレーニングをしたんだけど、背中にケガをしてしまって、結局、プロの道は絶たれてしまったんだ。

――もともと格闘技を始めようとしたキッカケはなんだったんですか？

ステファン 若い頃はよくケンカもしたんだけど、とにかく競争するのが好きだったからさ。で、その後にギャングスターと一緒にいるようになって、でも、他の人たちが悪いことに手を染め始めた時に、「私はもうこれ以上はやらないよ」と言ったんだ。でも、いつもヤツらが戻ってきて仕返しされるんじゃないかと怖かった。まあ、その頃は痩せて、身体も大きくはなかったからね。で、父も祖父もボクサーだったこともあって、マーシャルアーツのトレーニングを始めたんだ。

――なるほどなるほど。それじゃ、昔は相当なワルだったんですね？

ステファン ハッハハハハハッ。まあ、人並みにね（笑）。

――ステファンさんはおいくつなんですか？ 生まれた年は？

ステファン 1９××年生まれだよ。

――ええっ！ 若く見えますねぇ。

ステファン 絶対に言わないでくれよ、サダハルゥ。女の子たちに年寄り扱いされちゃうから（笑）。いつもそうなんだよ、女の子と結構うまくいっていても、年を言うと、「え～っ、そんなに年とっているの」って。で、ピーター・カニングハム先生にも「絶対にサバ読まなきゃダメだよ」って言われているんだ（笑）。

――ふ～ん、随分罪作りな男なんですねぇ。ところで、ステファンさんはアメリカの格闘技雑誌をやられているということで、アメリカの格闘技事情についてはお詳しいと思うんですが、最近のアメリカでのバーリ・トゥードの人気はどうですか？

ステファン アメリカでの総合格闘技というのは、まだ、子供が思春期を迎えるくらいのティーンエイジャーというか、成長期にあると思うんだよ、サダハルゥ。日本では、総合格闘技というのは立派な大人に成長していると思うけど、アメリカはまだ成長期で、そんなに人気はない。でも、将来的には絶対に人気が出ると思うし、きっと私がアメリカで総合格闘技の人気を出させてみせるよ。

――頼もしいですねぇ。今アメリカで一番人気があるのはやっぱりUFCなんですか？

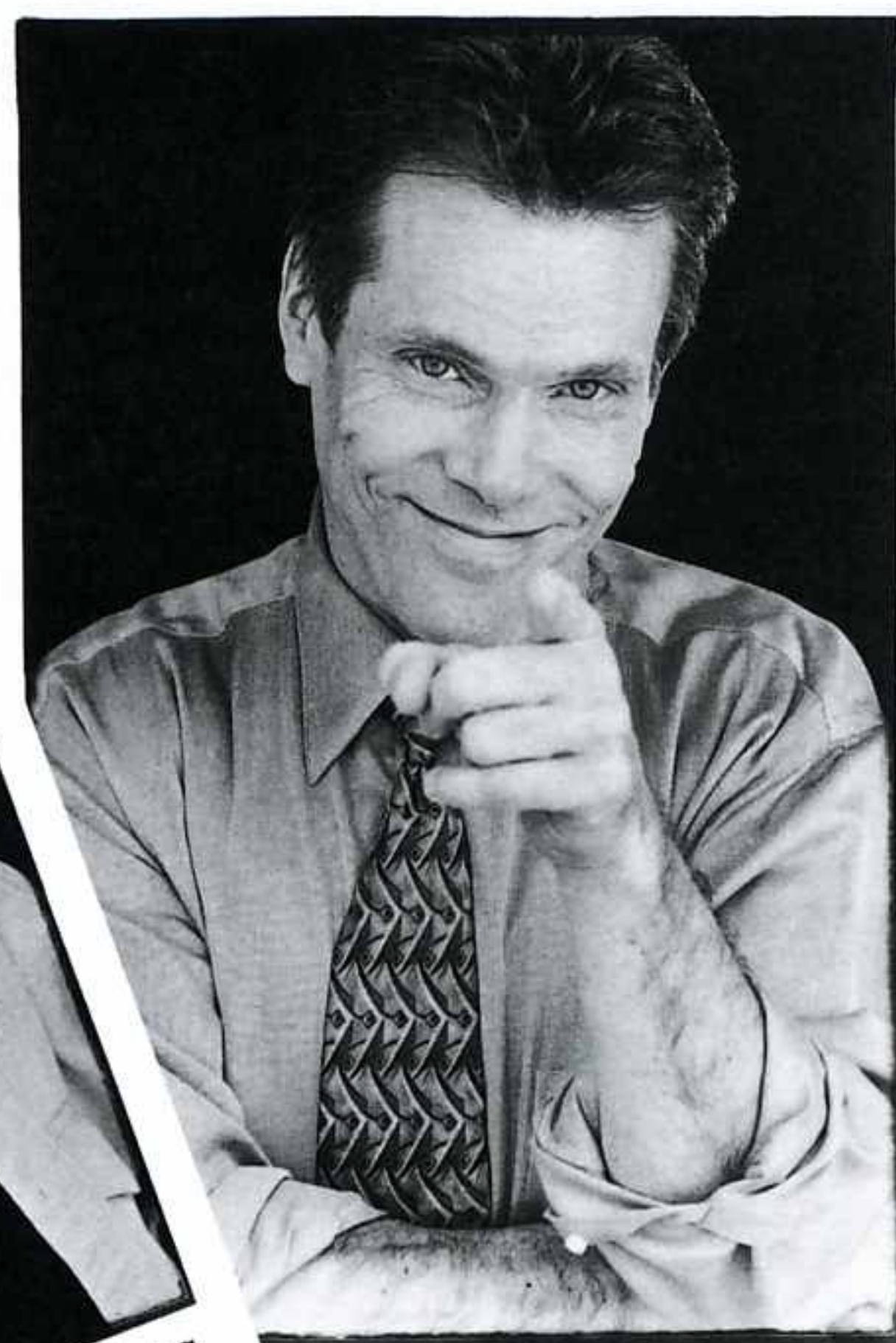
ステファン イエス。

――UFCと『プライド』と比べてみて、どう思いますか？

ステファン 正直に言って、私は『プライド』のほうが好きだよ。でも、それを聞いた人たちは、「『プライド』のメインコメンテイターなんだから、そう答えるに決まっている」って言うだろうね（笑）。でも、違うんだよ、サダハルゥ。私としてはUFCのコメンテイターをすることもまったく問題ないんだよ。まあ、こんなことを言ってたら、たぶん彼らは私のことを使わないだろうけどね（笑）。

――それはそうでしょうね（笑）。

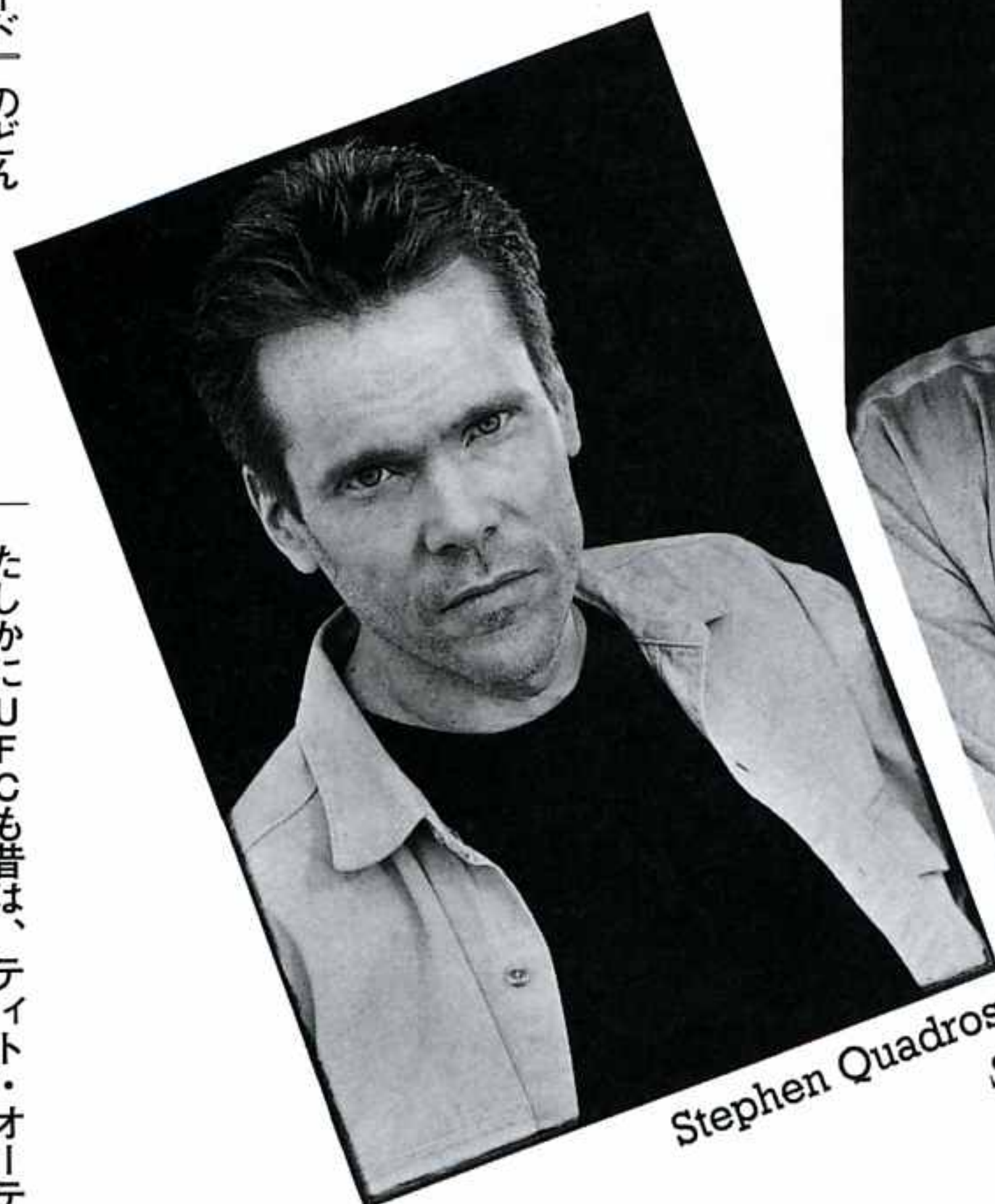
ステファン なぜ私が『プライド』のほうが好きかというと、それは、『プライド』のほうがよりエキサイティングだし、選手のファイティングスタイルだけじゃなくて、パーソナリティも強調しているからなんだ。

▶『プライド』からは「図に乗るから、あまり持ち上げないでください」と言われた米国格闘技界の重鎮ステファン

▶さすがは俳優もやっているだけにキマってるぅ。このインタビューをする時も、何度も「着替えたい」と言っていたが、面倒なのでサッサと済ませてしまった

STEPHEN QUADROS

Stephen Quadros

——『プライド』のどんな点がUFCよりエキサイティングだと？

ステファン　まずはルールの面だね。『プライド』のほうが本当のバーリ・トゥードに近いルールになっていると思うんだ。UFCだと、グラウンドでの頭に対するヒザ蹴りを禁止しているし、グラウンドでのキックも禁止している。だから、アメリカでのほとんどの試合というのは、例えば、フジタ対ギルバート・アイブルとか、マーク・ケアー対イゴール・ボブチャンチンみたいな、グラウンドで膠着してしまうような試合が多いんだ。まあ、たしかにUFCも昔は、ティト・オーティズ対フランク・シャムロックやパット・ミレティッチ対ショーニー・カーターみたいな、かなり素晴らしい試合があったんだけどね。

——ああ、あれはいい試合でしたよね。

ステファン　で、今のルールに関して言うと、『プライド』のほうが、制限が少ないから判定に行く前に決着がつく可能性が高まっている。だから、よりエキサイティングな結果が生み出されていると思うんだ。『プライド』も始めの頃はそれほど強力な存在ではなかったけど、回を重ねる度にどんどん成長して、とてもいいイベントになってきているよ。それから、『プライド』にはプロレスラーが参加するじゃないか。アメリカだとライトなファンはプロレスラーが入ってきたほうが喜ぶんだけど、ハードコアなファンたちにとっては、プロレスラーがプロ格闘技の試合をすることをあまり好まないんだ。

——ああ、それはよく分かります。UFCはマニアックですもんねぇ。

ステファン　そうなんだよ、サダハルゥ。一つアメリカで問題なのは、格闘技界をそのハードコアなファンがコントロールしてしまっていることなんだ。だから、新しいことを試してみようという風潮がなかなか生まれてこない。例えば、プロレスラーや有名なボクサーを入れたりとか、そういうクリエイティブな方法がトライされないんだ。でも、日本では『プライド』がそれを試している。たしかに失敗もあったと思うけど、ほとんどの場合は成功しているし、それで一般の人たちにもどんどん人気が出てきている。で、最終的には、エンターテインメントとして『プライド』のほうが素晴らしいものになるんだよ。

——いや、本当にマニアックな人たちの手に渡ると、イベントは進化しないんですよ。

ステファン　みんな忘れがちなんだけど、ボクシングというのは、モハメド・アリが変えたんだ。モハメド・アリは闘い方だけでなくて、かなりクレイジーなことを言って、それで注目されたわけだよね。でも、今はそういうショーマンシップをエンターテインメントにしていこうという人が出てくることを、なぜか怖がっているところがあると思うんだ。その理由は私にも分からないんだけどね。だから、アメリカの総合格闘技界には今、モハメド・アリが必要なんだよ。で、いろんなクレイジーなことを言って、それで、人々がお金を出してでも、彼らの活躍を見たいと思うような、そういう新しい選手が出てくるといいんだけどね。

——ダン・ヘンダーソンとか強いけど貧乏臭いもんなぁ。選手のレベルに関してはどうですか？

ステファン　アメリカには素晴らしいファイターがたくさんいるよ。あっ、日本の選手と比べて、アメリカの選手はどうかって質問なのかい？

——いえいえ、『プライド』に出てくる選手のレベルについて、ステファンさんがどう思っているかということなんですが？

ステファン　ああ、そういうことなの。『プライド』に出ている選手のレベルというのは、世界最高だと思うよ。イゴール、マーク・コールマン、ノゲイラ、ヒース、そしてフジタといった選手は間違いなく世界のトップ5だと思う。UFCのランディ・クートゥアーやペドロ・ヒーゾはトップ10には入ると思うけど、ヘビー級の選手に関しては、『プライド』に最もいい選手が揃っているね。

——やっぱり！

ステファン　でも、軽量級ではUFCはいい選手がいっぱい揃っているけどね。

——なるほど。ところで、ステファンさんから見て、『プライド』で好きな選手は誰なんですか？

ステファン　サクラバだよ、サダハルゥ（ニヤリッ）。

——嬉しいですねぇ（笑）。

ステファン　お世辞じゃなく、サクラバが一番のお気に入りだね。というのも、彼の動きというのは本当に予想がつかないし、面白いし、とてもクリエイティブ

アメリカで問題なのは、ハードコアなファンが格闘技界をコントロールしていることなんだ

不定期シリーズ

『プライド』に来る変なガイジンたち ①

で、他のファイターがやったことのないようなことを次から次にリング上で見せてくれるからね。それができるのは、彼の度胸が座っているからだと思うよ。

――他に好きな選手はいますか？

ステファン　シウバ。彼の場合は、サクラバとはまったく違って、まるで海にいるサメのようにどう猛な選手で、かなり怖いよね（笑）。

――ヘビー級では？

ステファン　イゴールとヒース、それとノゲイラもいいね。

――はぁ。アメリカのファイターのレベルというのはどうですか？

ステファン　う～ん、例えば、フランク・シャムロックというのは、サクラバの次に最高のレベルの選手だと思うよ。それと、ランディ・クートゥアーとマーク・コールマンの2人も最高峰だね。

――ふんふんふん。

ステファン　ティト・オーティズとダン・ヘンダーソンもとても素晴らしいファイターだと思うよ。

――ふんふんふん。

ステファン　アメリカは、素晴らしい総合格闘家を育てる土壌は、すでにできていると思うんだ。でも、あまりパーソナリティとしては面白くない選手が多いかもしれないので、まだテレビでは普及しないかもしれないね。

――ああ、そうなんだぁ。じゃあ、桜庭みたいな面白い選手が出てくるといいんですね。

ステファン　イエス。この競技の人気を高めていくためには、サクラバみたいな選手が本当に必要なんだよ。アメリカでは、フランク・シャムロックがサクラバに一番近い存在だったんだけど、最近、全然試合をしていないからね。

――そうですね。

ステファン　クレイジーで、ルックスが良くて、凄く強くって相手を叩きのめすような選手、それから口が達者な選手、それから女に人気があるとか、そういうスター選手が出てくることが必要なんだ。でも、アメリカの選手は謙虚な人ばかりで、対戦相手の悪口を言うことに関して、気が引けてしまう選手が多いんだ。だから逆に、ゲーリー・グッドリッジみたいに勝ち負けにこだわらず、いろいろなことを話してくれる選手を、観客はとても好きになってくれるんだよね。

――ステファンさんは、ホントに日本人の感覚そのままですねぇ。

ステファン　そう（笑）。観客を意識するとそういうことが必要だと思うんだ。フランク・シャムロックもたしかにいい試合をしてくれるし、そういうマイクアピールもしようと頑張っているんだけど、まだ、サクラバの域には行ってないよね。

――はぁ、なるほどなるほど。

ステファン　で、ひとつイライラしてしまうのは、私は、好きなファイターがどの国出身かってことは全然気にしていないんだ。例えば、K―1の選手に関して、みんなヨーロッパ出身だったりするけど、日本のファンはK―1のことが大好きだよね。私もそれと同じで、アメリカにいるけど、お気に入りの選手がアメリカ人でなくてもいいんだよ。サクラバだったり、シウバだったり、イゴールとか、みんな全然違う国だよね。バス・ルッテンだってアメリカ人じゃないけどアメリカに住んでいて、アメリカ人も彼のことをアメリカ人だと思っている。そういうような人、バス・ルッテンみたいな試合もできるし、カリスマ性のある人というのが総合格闘技を高めてくれる選手だと思うんだよ。サダハルは、そう思わない？

――なるほど。それじゃあ、例えば『プライド』がアメリカで興行をやったら成功する可能性はどうですか？

ステファン　成功する可能性はかなり高いと思うよ。その一番の理由は、選手が『プライド』で試合をする時に、これはなぜだか分からないんだけど、他のイベントの時よりも心を入れて闘っているように思うんだ。素晴らしいパフォーマンスを見せれば人気が出る可能性は高いからね。もちろん、『プライド』がアメリカで興行をする際には、私のコネクション、知り合いを全て使って、成功に導こうと思っているよ。

――『プライド』は選手が心を入れるイベント！　嬉しいですねぇ（笑）。

ステファン　『プライド』を世界一にするという意気込みは私にもあるからね。

――それは素晴らしい！　ステファンさん自身、今までに興行なんかもやられているんですか？

ステファン　サダハルは『ゴッドファーザー3』を見たかい？

――はい、見ました見ました。

ステファン　その映画の中で、アル・パチーノが言う「自分がこの世界から足を洗おうと思う時に限って、この世界が自分を引き戻してしまう」ってセリフがあるんだけど、覚えてる？

――いやぁ、全然覚えてないです。

ステファン　あっそう。たしかに、私は前に興行のプロモートをしたことがあって、実際、凄く難しかった覚えがある。私が言いたいのは、私はプロモーターはやりたくないんだ。でも、他の多くのプロモーターたちが、私が非常に様々なグッドアイディアを持っていて、彼らの助けになるということを知っているんだ。私はコメンテイターとしてはエキスパートだし、しかも格闘技のトレーニングの仕方も分かっている。だから、他のプロモーターを助ける、アドバイザーはやるけれども、プロモーターにはなりたくないんだ。

――ああ、そうなんだぁ。

ステファン　プロモーターよりも、テレビスターやムービースターになりたいんだよ（笑）。

――目立ちたがり屋なんですね（笑）。

ステファン　格闘技界のダーティ・ハリーになりたいんだ（笑）。

――あっ、そう言えば、クリント・イーストウッドにちょっと似てますよね。ステファンさんならきっと、なれますよ。

ステファン　オー、サンキュー、サダハルゥ！（イーストウッドの物マネで）オッケー、ペラペラ……（笑）。

――おお、似てる似てる、素晴らしい。今日は本当にどうもありがとうございました。

ステファン　オオ～、イッツオッケ～？

――イエ～ス、とってもオッケーです。ありがとうございました。■

▶いやはや、まさに米国版サダハルンバ。新たなライバルの登場だ

一番好きなファイターはサクラバだよ
『プライド』はアメリカでも成功すると思う

衝撃の事実 発覚

なんとオバチャンチンは4度も結婚していた！

「日本の皆さん、コンニチワ」でおなじみのボブチャンチン・マネージャー、ユージニア・ブラチェフスカさんはいったい何者なのか？“オバチャンチン”と呼ばれる、この人に初インタビューしてみた。

聞き手◎谷川貞治

ボブチャンチンのセコンドについているオバチャンチン。ボブはいつも、この人の前では礼儀正しい

――オバチャンチンさんは、日本でもすっかり有名なんですよ。

オバチャンチン　そうではありません。いえ違います。とんでもありません。どうも（笑）。

――そもそもオバチャンチンさんは、何者なんですか？

オバチャンチン　ワタシは、ウクライナのプロフェッショナル・マーシャルアーツ協会の会長秘書です。協会ではナンバー2の人間です。でも、そんなに偉くないです。ワタシの上には会長さんがいて、その方は偉い人です。ウクライナの財務大臣ともお友達で、とても偉い方です。

――あーそうですか。で、お仕事は何をされているんですか？

オバチャンチン　仕事は、選手とのブッキングです。カワサキさんと一緒です。そして、イベントプロモーションする時は、ワタシがマッチメイクします。

――へぇ～。そんなことまで。選手は何人くらい抱えてらっしゃるんですか？

オバチャンチン　だいたいなんですけど、キックボクサーが15人、プロのボクサーが25人、総合格闘家が10人くらいです。それとですね、ウクライナでは月に2度ほどのイベントを開いてます。2カ月に1回は、大きなイベントです。イチ万人はお客さんが入ってます。どうも。

――うへぇ～、そりゃあ凄いなぁ。オバチャンチンさんは、お金持ちなんですね。

オバチャンチン　ノー、ノー、ノー、ノー、とんでもありません。お金持ちじゃないです。それよりも、あなたテレビでたびたび見ます。あなたのほうが、お金持ちです（笑）。

――ノー、ノー、ノー、ノー、とんでもないです。私は貧乏です（笑）。そういうファイターは、全てオバチャンチンさんの意のままなんですか？

オバチャンチン　お互いのビジネスになるよう、うまく調整しているのです。

――たとえば、ボブチャンチン選手にオバチャンチンさんのカバンを持たせているとか。

オバチャンチン　ノー、ノー、ノー、ノー、とんでもありません。それは何かの間違いです。否定します。

――でも、日本人のファンの多くは、あなたがボブチャンチンさんの奥さんだと

不定期シリーズ

『プライド』に来る変なガイジンたち ②

ワタシとボブチャンチンは夫婦ではありません

思っているんですよ。

オバチャンチン　それは驚き、ビックリです。そんな噂が広まったら、ワタシの主人は怒ります。

——あ、ご結婚なさってるんですね。

オバチャンチン　そうです。ワタシの主人さん、とてもジェラシーの人です♥ワタシ、ホント困ります。日本の皆さんワタシとボブチャンチンは夫婦ではありません。ボブチャンチン、勝つとよくワタシに抱きついてきます。ワタシ、それも困っているんです。主人、テレビを見て怒るんです♥

——なんか、モテるんですねぇ。

オバチャンチン　モテません、モテません（笑）。どうも。

——そもそもなんでこの世界に入ったんですか？

オバチャンチン　それは、ワタシがマーシャルアーツのムービーが好きだったからです。ブルース・リー、ジャッキー・チェン、チャック・ノリス……。彼らを見て素敵だなと思い、マーシャルアーツの仕事をすることになりました。最初は通訳の仕事です。ワタシ、英語、フランス語、イタリア語、ロシア語、ウクライナ語、スペイン語、日本語と、7カ国語が話せるんです。

——7カ国語も！　凄いバイリンガルですね。日本語も上手ですよねぇ。なんで日本語を覚える気になったんですか？

オバチャンチン　実は……ワタシの前のダンナさんが、ウクライナで日本語の先生をしていたんです。それで、ワタシも日本語を学びました。

——えっ！　オバチャンチンさんは再婚してるんですか？

オバチャンチン　はい、どうもごめんなさい（ポッ！）。

——いやいや謝ることないですよ。モテるんですねぇ（笑）。

オバチャンチン　だから、前の主人と別れてから、しばらく日本語を忘れてました。それで、2年くらい前から『プライド』とお仕事するようになって、また勉強しているんです。ワタシの日本語、少し変ですか？

——いやいやいやいや、全然変じゃないですよ（笑）。そのままでOKです。で、今のご主人は何を？

オバチャンチン　ウクライナのマーシャルアーツの雑誌の編集長であり、社長さんです。『ワールド・オブ・マーシャルアーツ』といいます。

——へぇ～、お互いに趣味が仕事になり、それがきっかけで結ばれた恋というわけですね。それにしても、2回もご結婚されているなんて、うらやましい限りですなぁ。

オバチャンチン　ノー……2回ではありません。……4回です（小声で）。

——ゲッ！　4回も結婚しているんですか！

オバチャンチン　はい、本当にすみません。でも、これが最後の恋にしたいと思います。信じてください。

——そんなことは僕にはどーだっていいんですけど、いやはや恋多き女性ですなぁ。

オバチャンチン　今の主人とはもう8年もうまくいってます。2人はよく出張が多いので、すれ違いなのです。だから、いつも新鮮なのです。だから、ワタシの恋も最後にしようと思ってます（ポッ！）。

——いやぁ、それにしても驚いたなぁ。今度ぜひ、オバチャンチンさんの恋愛物語を聞きましょう！　ところで、オバチャンチンさんは、今後どういうファイターを発掘していこうと思ってますか？

オバチャンチン　ワタシたちの会社はキエフ・ウクライナに本社がありますが、ロシアや東ヨーロッパにたくさん支店があります。それで、旧ソビエトにはまだまだ強い選手がいっぱいいます。ワタシは、そういう埋もれたファイターたちをボブチャンチンのようにしたいのです。

——あ、本当に人材の宝庫っていう感じですよねぇ。ボブチャンチンさんはやっぱりウクライナでは有名なんですか？

オバチャンチン　とても有名です。そうです。

——お金持ちにもなってきたんですか？

オバチャンチン　う～ん、そうそうです（笑）。

——そうそう（笑）。選手としてボブチャンチンさんは、どんな人ですか？

オバチャンチン　彼はとてもナイスガイです。今まで彼とは一度もトラブルしたことがありません。ワタシが思うに、ナイスガイだから、彼は強いのだと思います。

——オバチャンチンさんのほうから、ボブチャンチンさんのような選手に、何かアドバイスはするんですか？

オバチャンチン　それはコーチの仕事だと思います。ワタシはファイトについて口は出しません。

——あ、そうなんですか？　ボブチャンチンさんの次の選手は育っていますか？

オバチャンチン　はい、とてもいい選手がいます。『プライド』では、コバロフっていうファイターがいます。ボクシングでは、IBFの世界チャンピオンもいます。それから、K—1にも選手を出していますが、残念ながらイグナショフに負けてしまいました。

——プロとしての心構えとか、そういうことも注意するんですか？

オバチャンチン　それもしません。でも、ワタシは女ですから、やっぱり激しい闘いが好きです。『プライド』で言えば、ノックアウトの試合。ボブチャンチンとグッドリッジの試合なんて、とてもとても興奮してしまいました♥

——熱い闘いがお好きなんですね（笑）。じゃあ『プライド』に出てくるファイターの中で誰が好きなんですか？

オバチャンチン　あのー、ボブチャンチンでなくてもいいんでしょうか。

——どうぞ、どうぞ（笑）。

オバチャンチン　あのー、ジャパニーズファイターです。背の大きな、あまり出てない人♥

——えっ、背の大きな人？　小川ですか？

オバチャンチン　違います、違います。フジタと闘った人です。

——え——っ、高山！

オバチャンチン　そうです、きっと。タカイマさん♥　なぜかと言うと、ワタシの主人は背が小さいからです。

——カーッ、本当に恋多き女性ですね。今度、ウチの雑誌で高山選手とデート企画をやりましょう。

オバチャンチン　そんなことしたら、ワタシの主人、ジェラシーです。日本の皆さん、分かってください。■

▶なんと恋多きオバチャンチンが選んだ『プライド』イチいい男は高山だった

アントニオ猪木があの“寛水流”に帰ってきた！

Showの闘魂伝書 寛水流編

大会名誉会長のイスに陣取った猪木

寛水流にも「元気ですかーッ！」降臨！

「元気ですかーっ！　元気があればなんでもできる。元気があればツラい修行にも耐えられる。ね。今、世の中が暗いニュースばっかりで、元気がなくなってしまいましたけど、混乱の時代に、元気を呼び起こして頑張っていただきたいなと思います。で、先ほどご紹介にありましたが、今、ロスのほうに住んでおります。ちょうどニューヨークのテロの事件があった時にニューヨークにいましてね、ホントに大変なところに遭遇しましたが、えーっ、皆さんが、前の先生方のご挨拶にあったように、ホントに心身を鍛えてね、素晴らしい大会になりますように祈っております。今日は第11回目、大盛況に迎えることができましたことを心より御礼を申し上げます。ありがとうございました（大拍手）。えーっ、もうひとつ、12月31日にですね、知ってる人、手を上げてみて。いないかなあ？　実はですねぇ、『プライド』、新日本、K－1、格闘技の総合格闘技ですね。『INOKI BOM-BA-YE』ということで、12月31日にNHKの（紅白歌合戦と）同じ時間帯で、TBSから全国放送でですね、放送することが決まりました。K－1対猪木軍ということをやりますけど。この中で我こそはと思う人がいたら『猪木軍』に参加してくれるかな？　いないなぁ……、そうかぁ。（パラパラと手を上げる人がいて）お、いたな。そうか。もうちょっと経ったら、ぜひ『猪木軍』に参加してK－1をブッ飛ばしましょう！　ということで、よろしくお願いします！」

▲素手はもちろん、鎌、トンファー、槍、剣などを持った女子空手家がズラリと並ぶ、当日の大会ポスター。素敵すぎる！

▶「寛水流」を守り続ける、世古会長と猪木のツーショット

▲大会には合計786名が出場。「寛水流」という「猪木イズム」はここでも顕在なり！

◀第11回目を迎えた大会の看板。「寛水流」の文字が目に眩しい

この日も出たぞ、1、2、3、ダーッ！

▼この日、舞台上で気合いを入れられた「寛水流」の門下生は計5名いた

▲「寛水流」の子供たちと一緒に写真に収まる猪木。次代の「猪木軍」最有力候補生か？

取材＆撮影◎“Show”大谷泰顕

去る10月21日、三重県久居市総合体育館で開催された『第11回世界寛水流空手道連盟オープン選手権大会』に、猪木が駆け付けた！

寛水流というのは、初代会長の故・水谷征夫氏が、猪木の「いつ何時、誰の挑戦でも受ける！」を受けて、「ならば俺の鎖鎌の挑戦を受けろ！」と猪木に挑戦状を叩きつけたのがきっかけとなり、結局、当時の新日本プロレス営業本部長だった新間寿氏が、その間に立つかたちで、猪木寛至の「寛」と、水谷征夫の「水」を取って立ち上げた空手の流派。

当日の大会ポスターも、素手、鎌、トンファー、槍、剣などを持った、10名ほどの女子の空手家が写真に収まる破天荒ぶり。かつては「武闘派空手集団」として恐れられたが、現在は「潰すことよりも育てることを一番に」（世古典代・2代目会長）活動を行っている。また世古会長は「今の子供たちに『潰すこと』を教えても、誰もついてきませんね。しかし私らが先代から受けた、『死ぬまで闘え』、『やるならやれ』、この『やる』っちゅうのはタマ（命）取れっちゅう意味ですが、そこまで言われた『信念』は忘れずに持ってますけどね」とコメント。

現在は年に1度の大会に、基本的には猪木が来場。この日もはるばる米国ロスから駆け付け、出場者約800名の大会に花を添えた。もちろん、大拍手で迎えられた猪木は挨拶を終えると、5名の門下生に気合いを入れる大サービスをしたことは言うまでもないだろう。

さらに世古会長も、年末の「対K—1」に向け「ウチの子供たちに夢を持たすためにも、『お前は猪木軍に入るつもりはないのか！』と、常日頃から私は言っております」と意気軒昂に語る。ちなみに「寛水流は空手ですけど、『猪木軍』に入れたいんですか？」と尋ねると、「あくまでも！」と語気を荒げた。

最後に我々の帰りがけに、世古会長が話してくれた、素敵なエピソードを紹介しよう。「第2回大会に猪木会長の代わりに新間さんが来たんやけどね。新日本の宣伝部長かなんか知らんけど、そんなの私にはまったく関係ない。猪木会長が来んかったら、誰も来んほうがええんや。前に小川直也が来たこともあるけど、『お前なんかと猪木会長では天と地くらいの差があるんや』って言ったんですよ。それくらい猪木会長は素晴らしい人です」■

11/8THU〜11/22THU
CALENDAR

11/8 THU	★『SRS・DX』58号発売日
11/9 FRI	■MAキック連盟/東京・後楽園ホール（17:15〜）⇐p49 ●フジテレビ系『SRS』（25:45〜26:15）放送⇐p69
11/10 SAT	
11/11 SUN	◆PRIDE.18/チケット特別先行電話予約⇐p46 ◆INOKI BOM-BA-YE 2001/チケット一斉発売⇐p46
11/12 MON	
11/13 TUE	
11/14 WED	
11/15 THU	
11/16 FRI	●フジテレビ系『SRS』（25:45〜26:15）放送⇐p69
11/17 SAT	■北斗旗・第1回世界空道選手権大会/東京・代々木第2体育館（10:00〜）⇐p50
11/18 SUN	
11/19 MON	
11/20 TUE	■シュートボクシング/東京・後楽園ホール（18:30〜）⇐p50
11/21 WED	■J-NETWORK/東京・北沢タウンホール（18:00〜）⇐p48 ■キングダム・エルガイツ/東京・後楽園ホール（18:30〜）⇐p47
11/22 THU	■新日本キック協会/東京・後楽園ホール（17:30〜）⇐p49 ★『SRS・DX』59号発売日

格闘技パーフェクトガイド
Perfect Guide

GUIDE & TICKET
大会ガイド&チケット情報

総合格闘技&ノールール系

イノキ・ボンバイエ

INOKI BOM-BA-YE 2001 ～猪木軍vsK-1全面対抗戦～

12月31日（月） さいたまスーパーアリーナ

◆開場/17:00 試合開始/19:00（予定） ◆入場料/VIP席100,000円（専用入場ゲート・グッズ付） RRS席35,000円 SRS席25,000円 RS席15,000円 スタンドS席10,000円 スタンドA席7,000円 ◆チケット発売/11月11日（日）10:00～ 一斉発売 ◆チケット発売所/下記の表を参照 ◆会場アクセス/JR高崎線・宇都宮線・京浜東北線さいたま新都心駅より徒歩3分、JR埼京線北与野駅から徒歩7分 ◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

12•31『INOKI BOM-BA-YE 2001』チケット発売情報

〈一斉発売〉
11月11日（日）10:00～

ドリームステージ	☎03-5775-5700
PRIDEオフィシャルサイト（http://www.so-net.ne.jp/pride）	
チケットぴあ	☎03-5237-9999
	☎03-5237-9977
	☎03-5237-9966
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
eプラス（http://eee.eplus.co.jp）	☎03-5749-9911

◎店頭販売
サークルK、サンクス、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、板橋大山アメリカン、書泉ブックマート、チャンピオン、後楽園ホール

フィットネスショップ格闘技	☎03-3265-4646
チケット&トラベルT-1	☎03-5275-2778
AOコーナー	☎045-412-6460
相鉄ジョイナスプレイガイド	☎045-319-2456
公武堂	☎052-241-2511
グレート・アントニオ（特典付き）	☎03-3219-9550

掣圏道

アルティメットボクシング定期戦 滝川大会

12月1日（土） 北海道・滝川青年体育センター

◆開場/17:30 試合開始/18:00 ◆入場料/リングサイド席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円 ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/カラオケスタジオスポットライト、ミュージックショップシオジリレコード店、サクラ商会、プレス空知、道新水口販売所、ローソンチケット
◆会場アクセス/JR滝川駅より車で10分
◆お問い合わせ/SWA滝川支部☎0125-23-2345

アルティメットボクシング定期戦 苫小牧大会

12月7日（金） 北海道・苫小牧市総合体育館

◆開場/17:00 試合開始/18:00 ◆入場料/リングサイド席10,000円 S席7,000円 A席5,000円 B席3,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/パセオサービスカウンター、スティプレイガイド、鶴丸百貨店、サンプラザインフォメーションセンター、ローソンチケット
◆会場アクセス/JR苫小牧駅より徒歩20分
◆お問い合わせ/掣圏道協会本部☎0166-27-5788

PRIDE

今年最後のPRIDEは PRIDE初上陸の地、九州だ！

PRIDE.18

12月23日（日） マリンメッセ福岡

◆開場/13:30 試合開始/15:00（予定）
◆入場料/VIP席100,000円 RRS席23,000円 スタンドS席13,000円 スタンドA席7,000円
◆チケット発売/特別先行電話予約11月11日（日）、一斉発売11月25日（日）
◆チケット発売所/下記の表を参照
◆会場アクセス/JR博多駅より車で5分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-5775-5700

12•23『PRIDE.18』チケット発売情報

〈特別先行予約〉
11月11日（日）10:00～19:00
特別先行電話予約 ☎052-961-6341

〈一斉発売〉
11月25日（日）10:00～

ドリームステージ	☎03-5775-5700
PRIDEオフィシャルサイト（http://www.so-net.ne.jp/pride）	
チケットぴあ	☎092-708-9999
	☎092-708-9966 [Pコード：945-173]
ローソンチケット	☎0570-00-0095 [Lコード：85126]
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
eプラス（http://eee.eplus.co.jp）	☎03-5749-9911

リングス

金原弘光、10周年記念試合決定！ 10年分の勝利を目撃せよ！

金原弘光のデビュー10周年記念試合が決定した。相手は、6・10リングス・オランダ大会で、ヨープ・カステルと対戦し、30キロの体重差を物ともせず、カステルの顎を骨折させた“オランダの破壊王”ポール・カフーンだ。10・20の代々木大会で、忘れていたという勝ち方を思い出した金原。10周年記念試合も鮮やかな勝利に期待！ そして、代々木大会出場を散打選手権出場のために見送ったヴォルク・アターエフの出場も決定した。

金原弘光vsポール・カフーン

K-1ワールドGP・シリーズ

K-1

K-1 WORLD GP2001 決勝大会

12月8日（土） 東京ドーム

◆開場/14:30 試合開始/17:00
◆入場料/SRS席35,000円 RS席21,000円 SS席17,000円 S席11,000円 A席7,000円 B席5,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/キョードー東京、チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、JTB各支店、JTBトラベランド各店、JTB提携販売店各店、JR東日本みどりの窓口・びゅうプラザ、デジシート（http://k-1.world-gp.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/K-1事務局☎03-3796-2977

出場決定選手

- ステファン・レコ（ドイツ／ラスベガス大会優勝）
- アーネスト・ホースト（オランダ／メルボルン大会優勝）
- ジェロム・レ・バンナ（フランス／大阪大会優勝）
- マーク・ハント（ニュージー・ランド／福岡大会Bブロック優勝）
- ニコラス・ペタス（デンマーク／ジャパンGP優勝）
- アレクセイ・イグナショフ（ベラルーシ／名古屋大会優勝）
- フランシスコ・フィリォ（ブラジル／福岡大会Aブロック優勝）
- ピーター・アーツ（オランダ／主催者推薦枠）

WORLD TITLE SERIES

12月21日（金） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/18:00 試合開始/19:00
◆入場料/RRS席20,000円 アリーナRS席15,000円 RS席10,000円 SS席7,000円 スタンドS席7,000円 スタンドA席5,000円 スタンドB席3,000円 学生特別優待席A席2,000円 学生特別優待B席1,000円 ※学生特別優待席はチケットぴあのみで販売。なお、購入できるのは高校生以下。購入の際、学生証の提示が必要 ◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、後楽園ホール、レッスル渋谷、レッスル池袋、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、格闘技プロショップ・イサミ☎03-3352-4083、イサミ尚武堂☎03-5214-6487 ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

決定対戦カード

金原弘光vsポール・カフーン（リングス・ジャパン）（リングス・オランダ）
門馬秀貴vs佐々木恭介（A³-Gym）（U-FILE CAMP）

出場予定選手

ヴォルク・アターエフ（リングス・ロシア）
ヴォルク・ハン（リングス・ロシア）

修斗

SHOOTO TO THE TOP
11月25日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/15:00 試合開始/16:00
◆入場料/RS席8,000円 SS席6,000円 S席6,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ファイター、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋店、KEEL CAFE、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

決定対戦カード
《フェザー級チャンピオンシップ》
マモル vs 大石真丈
（シューティングジム横浜） （K'zファクトリー）

竹内出 vs マルタイン・デ・ヨング
（K'zファクトリー） （オランダ/NTL修斗マルタイン道場）

廣野剛康 vs 今泉健太郎
（和術慧舟會） （SKアブソリュート）

井上和浩 vs 阿部裕幸
（インプレス） （RJWセントラル）

藤原正人 vs 竹内幸司
（パレストラ東京） （シューティングジム横浜）

久保山誉 vs 端智弘
（K'zファクトリー） （PUREBRED大宮）

倉持昌和 vs 飛田拓人
（フリー） （インプレス）

SHOOTO GIG EAST vol.7
11月26日（月） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/パレストラ東京、KEEL CAFE、デジタラジア（http://DIGITALAZIA.com）
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/パレストラ東京☎03-5984-3209

決定対戦カード
池田久雄 vs 村田一着
（PUREBRED大宮） （フリー）

松下直揮 vs 冨樫健一郎
（ALIVE） （パレストラ広島）

喜多浩樹 vs 木部亮
（パレストラ東京） （ALIVE）

朴光哲 vs パトリック・ベゾン
（K'zファクトリー） （オランダ/NTL修斗マルタイン道場）

SHOOTO TO THE TOP
12月16日（日） 千葉・東京ベイNKホール

◆開場/14:00 試合開始/16:00
◆入場料/SRS席20,000円 RS席15,000円 SS席10,000円 パノラマS席12,000円 パノラマ席10,000円 S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、e-ticket（http://www.e-ticket.net）
◆会場アクセス/JR京葉線舞浜駅よりディズニーリゾートライン乗車、ベイサイド・ステーション下車すぐ
◆お問い合わせ/サステイン☎03-5725-7338

Result! SHOOTO GIG EAST Vol.6
10・23★東京・北沢タウンホール

★第6試合
○松根良太（2R判定2-0）高橋大児●
〈パレストラ松戸〉 〈K'zファクトリー〉

★第5試合
○山崎剛（2R3分44秒、腕ひしぎ十字固め）杉江"アマゾン"大輔●
〈team GRABAKA〉 〈ALIVE〉

★第4試合／北斗旗ルール
○アレクセイ・コノネンコ（再延長旗判定3-0）小野亮●
〈大道塾東北本部〉 〈大道塾総本部〉

★第3試合／ブラジリアン柔術マッチ
○植野雄（ポイント10-0）大賀幹夫●
〈グレイシー・バッハ〉 〈ねわざワールド&パレストラ東京〉

★第2試合
○弘中邦佳（2R判定3-0）大河内貴之●
〈SSSアカデミー〉 〈パレストラ東京〉

★第1試合
△小松晃（2R判定1-0、ドロー）横山宜行△
〈格闘サークル コブラ会〉 〈総合格闘技STF〉

topic! 日本修斗協会設定9月度月間賞発表！

◆月間MVP
アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ（ブラジル／ワールド・ファイト・センター）

◆ベスト・バウト（プロ部門）
アレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラ（ブラジル／ワールド・ファイト・センター）vs 勝田哲夫（K'zファクトリー）
※9月2日／東京・後楽園ホール

◆ベスト・バウト（アマチュア部門）
菊地 昭（K'zファクトリー）vs 弘中邦佳（SSSアカデミー）
※9月24日／大阪・舞洲アリーナ サブアリーナ（第8回全日本選手権M級決勝戦）

DEEP2001

村浜の相手は、"辰吉を倒した男"だ！

大阪プロレス所属の村浜武洋の相手が決定した。その相手とは、94年9月にあの辰吉丈一郎を9R1分19秒でTKOした、ビクトル・ラバナレスだ。ラバナレスはマヤ族の中でも約200人しかいないラカンドン族の出身という、興味深い人物だ。今回がバーリ・トゥード初挑戦となるが、打撃戦になれば勝機は充分だ。そして、恒例のラウンドガールには、工藤めぐみ、府川唯未、キューティー鈴木が決定した。前回は1Rで終了してしまう試合が多く、出番が少なかったのだが、今回はどうなるのであろうか？

DEEP2001 3rd IMPACT 12.23 X'mas in DEFFER ARIAKE
12月23日（日） 東京・ディファ有明

◆開場/14:00 試合開始/15:00 ◆入場料/VIP席30,000円 SRS席15,000円 アリーナS席9,000円 アリーナA席7,000円 アリーナB席5,000円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス（http://eee.eplus.co.jp）、ディファ有明☎03-5500-3731、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、ビデオショップチャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋☎03-3265-4646、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、デポマート☎03-3515-6507、パンクラス☎03-5792-0815、DEEP2001 ◆会場アクセス/新交通ゆりかもめ有明駅より徒歩10分、臨海副都心線国際展示場駅より徒歩5分、品川駅東口から都バスで有明テニスの森下車、徒歩3分 ◆お問い合わせ/DEEP2001事務局☎052-339-0303

決定対戦カード
村浜武洋 vs ビクトル・ラバナレス
（大阪プロレス） （メキシコ）

坂田亘 vs 窪田幸生
（EVOLUTION） （パンクラス・横浜）

出場予定選手
ドス・カラスJr（メキシコ／AAA）
ランバー・ソムデートM16（SSSアカデミー）
日高郁人（格闘探偵団バトラーツ）
パンクラス所属選手
U-FILE CAMP所属選手

キングダム・エルガイツ

11・21後楽園ホール大会に、2人の大物が参戦！

11・21後楽園ホール大会に、2人の大物の参戦が決定した。入江秀忠はメインでパンクラス・大阪の稲垣克臣を、今成正和は修斗のリングでもおなじみグラップリング・アンリミテッドのバレット・ヨシダを迎え撃つ。アブダビ65キロ以下級準優勝、コンテンダーズライト級トーナメント優勝などの実績を持つバレットを相手に、コンバットレスリング全日本大会2年連続準優勝の"足関節十段"今成はどんな闘いを挑むのか!?

参戦が決定した、稲垣克臣とバレット・ヨシダ

THE ROAD "bankrupt or yoyogi" 第10戦
11月21日（水） 東京・後楽園ホール

◆開場/18:00 試合開始/18:30 ◆入場料/SRS-Ⅰ席20,000円 SRS-Ⅱ席15,000円 RS席12,000円 アリーナA席7,000円 指定A席4,500円 指定B席3,500円 キングダム応援席4,000円（100席限定） ※当日券は指定A、B席共に500円増し
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、チャンピオン、新宿ファイター、きんとき中央林間店、ザ・スクエア鍼灸接骨院、総合格闘技道場U.W.F
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/キングダム・エルガイツ☎042-331-2797

決定対戦カード
入江秀忠 vs 稲垣克臣
（キングダム・エルガイツ） （パンクラス・大阪）

今成正和 vs バレット・ヨシダ
（キングダム・エルガイツ） （アメリカ/グラップリング・アンリミテッド）

藤原喜明 vs 荒井修
（プロフェッショナルレスリング藤原組） （国際プロレス青葉道場）

稲野岳 vs アンドレ・カリオカ
（キングダム・エルガイツ） （ブラジル）

石井淳 vs 岩崎隆勇
（キングダム超人） （EAGLE）

小池秀信 vs 太田和博
（team GRABAKA） （真武館）

J-NETWORK

THE CRUSADE-Ⅳ

11月21日（水） 東京・北沢タウンホール

◆開場/17:30 試合開始/18:00
◆入場料/S指定席7000円 A自由席5000円
◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、アクティブJ、サバーイ町田、ソーチタラダ渋谷、池袋ジム
◆会場アクセス/小田急線、京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/J-PROMOTION☎03-3418-6598

決定対戦カード

増田博正 vs テーワリッノーイ・SKVジム
（アクティブJ） （タイ）

浦林幹 vs 高橋拓也
（JMTC） （習志野）

蔵満誠 vs 中村玄志
（アクティブJ） （山木ジム）

Result! THE CRUSADE-Ⅲ 10・14★東京・北沢タウンホール

★第7試合
○西山誠人（判定3-0）中林勇人●
〈ソーチタラダ〉〈ビクトリージム〉

★第6試合
○テーワリッノーイ・SKVジム（判定3-0）梅下湧暉●
〈タイ〉〈谷山ジム〉

★第3試合
○辻直樹（判定3-0）牧裕三●
〈山木ジム〉〈ソーチタラダ〉

★第2試合
○石川朗（1R0分33秒、KO勝ち）新井龍成●
〈アクティブJ〉〈サバーイ町田〉

Result! MAKING THE ROAD-Ⅴ 10・14★東京・北沢タウンホール

★第7試合
○黒田英雄（判定3-0）小磯哲史●
〈アクティブJ〉〈山木ジム〉

★第6試合
○山下大輔（判定3-0）佐野貴宏●
〈山木ジム〉〈JMTC〉

★第5試合
○ママサリ・チャリ（1R2分03秒、KO勝ち）村山道洋●
〈サバーイ町田〉〈武勇会〉

★第4試合
○奥沢栄三郎（3R2分12秒、KO勝ち）喜入衆●
〈山木ジム〉〈アクティブJ〉

★第3試合
○渡辺宏二（判定2-0）池谷二郎●
〈サバーイ町田〉〈谷山ジム〉

★第2試合
○佐藤彬（2R1分53秒、KO勝ち）柳原リョウ●
〈谷山ジム〉〈サバーイ町田〉

★第1試合
○山内哲也（判定3-0）長塚弘之●
〈サバーイ町田〉〈山木ジム〉

バトラーツ

競艇プロレス
11月18日（日） 広島・宮島競艇場

競艇プロレス
12月1日（土） 埼玉・戸田競艇場

競艇プロレス
12月3日（月） 静岡・浜名湖競艇場

競艇プロレス
12月3日（月） 徳島・鳴門競艇場

◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

Result! Extrem Brawl～極限への挑戦～ 10・26★沖縄・宜野湾運動公園

★第9試合
○カール・マレンコ アレクサンダー大塚（11分06秒、ヒールホールド）バス・ルッテン● アミール

★第8試合
○石川雄規（9分08秒、ヒザ十字固め）臼田勝美●

★第7試合
○モハメド・ヨネ（9分06秒、アルゼンチン式バックブリーカー）小野武志●

★第6試合
○仲田清仁（1R2分35秒、TKO）スティール●

★第5試合
○ディヴィッド（3R0分54秒、KO）トゥレイ●

★第4試合
○日高郁人（5分21秒、三角固め）ジャプリン●

★第3試合
○大場貴弘（4分16秒、三角固め）トニーブレイ●

★第2試合
○佐藤学（7分49秒、レフェリーストップ）Mr.北村●

★第1試合
○Mr.さかい（4分12秒、肉汁スープレックス）パブロ・マルケス●

日本キックボクシング連盟

後楽園ホール大会
12月2日（日） 東京・後楽園ホール

◆詳細未定 ◆日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

決定対戦カード

《NBK統一ランキング戦》
小野瀬邦英 vs 中村篤史
（渡辺ジム） （北流会君津）

石毛慎也 vs 広川靖之
（東京北星） （小国ジム）

楠本勝也 vs 神谷秀明
（東京北星ジム） （ピコイ・錦）

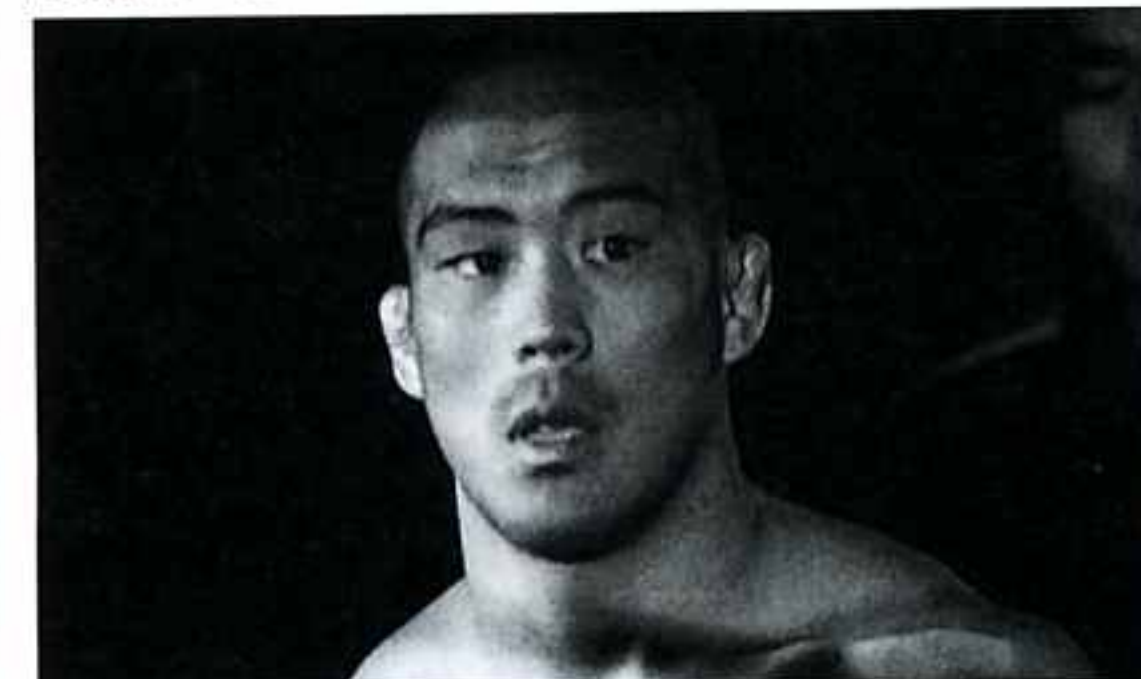
松本浩幸 vs TURBO
（八王子FSG） （パシフィック）

小野寺亮 vs 宮本勲
（神武館） （大和ジム）

馳和徳 vs 山根浩司
（大阪真門） （八王子FSG）

パンクラス

早くも、ミドル級タイトルマッチ決定！

9・30横浜大会のヘビー級王者決定戦トーナメントで勝ち進んだ髙橋義生と藤井克久の決勝戦が行われる。マルセロ・タイガーのサミング攻撃により、目を負傷してしまった髙橋だが、現在は完治。万全の体調でタイトル獲りに臨めそうだ。そして、先日の10・30後楽園ホール大会で、王者ネイサン・マーコートがミドル級タイトル防衛に成功したが、早くも國奥麒樹真を挑戦者に迎え、次なる防衛戦が行われることになった。

▲マーコートに挑戦する、國奥麒樹真

PANCRASE 2001 PROOF TOUR
12月1日（土） 神奈川・横浜文化体育館

◆開場/17:00 試合開始/18:30 ◆入場料/SS席16,000円 RS-A席7,500円 RS-B席5,500円 2F-A席10,000円 2F-B席6,000円 2F-C席3,500円 3F席4,500円 ※当日券は500円増し ◆チケット発売/発売中 ◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、eプラス(http://eee.eplus.co.jp)、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷、レッスル池袋、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館☎03-5276-0304、アイドール新宿☎03-3371-5211、ファイター☎03-3354-1903、フィットネスショップ水道橋、チケット&トラベルT-1☎03-5275-2778、格闘技・プロレス図書館 闘道館☎03-3512-2080、パンクラス ◆会場アクセス/JR関内駅南口より徒歩3分、市営地下鉄伊勢佐木長者駅より徒歩3分 ◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

決定対戦カード

《ヘビー級王者決定戦》
髙橋義生 vs 藤井克久
（パンクラス・東京） （V-CROSS）

《ミドル級タイトルマッチ》
ネイサン・マーコート vs 國奥麒樹真
（アメリカ/コロラド・スターズ） （パンクラス・横浜）

近藤有己 vs 郷野聡寛
（パンクラス・東京） （team GRABAKA）

出場予定選手

菊田早苗（パンクラス・GRABAKA）
美濃輪育久（パンクラス・横浜）
渋谷修身（パンクラス・横浜）
鈴木みのる（パンクラス・横浜）

プロレスリングZERO-ONE

「真撃」第Ⅳ章
12月5日（水） 大阪城ホール

◆詳細未定
◆会場アクセス/JR大阪城公園駅、地下鉄大阪ビジネスパーク駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/ステージア☎06-6344-4441

新日本キックボクシング協会

KICK GENERATION Ⅲ
11月22日（木）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30　◆入場料/SRS席10,000円　RS席7,000円　A席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/協会各ジム、チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/新日本キックボクシング協会☎03-3780-1350

主な対戦カード

―5回戦―
マサル vs ムァンファーレック・ギャットウィチアン
（トーエルジム）（タイ）

北沢勝 vs ホカトモヒロ
（藤本ジム）（治政館）

鷹山真吾 vs 高杉茂男
（尚武会）（伊原ジム）

風神和昌 vs 葵真吾
（野本ジム）（トーエルジム）

STRIKE BACK! ～逆襲～
1月27日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見4,000円（当日のみ）
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/治政館ジム、チケットぴあ、後楽園ホール
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/治政館ジム☎048-953-1880

主な対戦カード

―5回戦―
武田幸三 vs タイ国強豪
（治政館）

菊地剛介 vs 小川和宏
（伊原ジム）（治政館）

米田克盛 vs X
（トーエルジム）

石井宏樹 vs タイ国強豪
（藤本ジム）

小出智 vs 韓国強豪
（治政館）

松本哉朗 vs タイ国強豪
（藤本ジム）

庵谷鷹志 vs 鷹山真吾
（伊原ジム）（尚武会）

マサル vs ジャッカル黒石
（トーエルジム）（治政館）

Ticket Present !

11・22『KICK GENERATION Ⅲ』の観戦チケットを、『SRS・DX』読者5組10名様にプレゼント！　希望者はハガキに氏名、年齢、職業、住所、電話番号、今号の感想を明記して、下記のあて先までご応募を。締め切りは11月16日（金）必着。なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆あて先/〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F
SRS・DX編集部「11.22新日本キックチケットプレゼント」係

全日本キックボクシング連盟

LIGHT ON！
11月30日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック、Bout Review（http://www.boutreview.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

小林聡 vs オスマン・イギン
（藤原ジム）（ベルギー）

金沢久幸 vs ニック・ミッチ
（TEAM-1）（ニュージーランド）

《全日本ライト級王座決定戦トーナメント1回戦》
浜川憲一 vs SHI-LOW
（作真会館）（士心館）

松本竜大 vs 大月敦史
（名古屋JKF）（藤原ジム）

〈LIGHTNING全日本ライト級トーナメント決勝戦〉
藤牧孝仁 vs ラスカル・タカ
（はまっこムエタイジム）（月心会）

サトルヴァシコバ vs 嵐田茂
（勇心館）（REX JAPAN）

加門政志 vs 山本元気
（士心館）（REX JAPAN）

鈴木ミツル vs X
（GENESIS）

真後和彦 vs 大橋和夫
（はまっこムエタイジム）（藤原ジム）

菊池匡斉 vs 坂口雅
（はまっこムエタイジム）（S.V.G）

BULLET
12月9日（日）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:30
◆入場料/RS席10,000円　S席7,000円　A席5,000円　B席3,000円　一般立見3,500円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キック、Bout Review（http://www.boutreview.com）
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キック☎03-3365-1171

決定対戦カード

新田明臣 vs 清水貴彦
（S.V.G）（超越塾）

前田尚紀 vs 大宮司進
（藤原ジム）（シルバーウルフ）

YUTAKA vs 笠原大介
（月心会）（GENESIS）

池田好治 vs 江口真吾
（藤原ジム）（作真会館）

MA日本キックボクシング連盟

MAX-MA
11月9日（金）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:00　試合開始/17:15　◆入場料/SRS席20,000円　RS席15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見席3,000円（当日のみ）
◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール　◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/MAキックボクシング連盟☎03-3485-7063

主な対戦カード

《フライ級タイトルマッチ》
森岡卓司 vs 辻直樹
（武勇会）（山木ジム）

《バンタム級王座決定戦》
田中信一 vs アトム山田
（山木ジム）（武勇会）

カズ工藤 vs ハンニバル鈴木
（士・新座）（山木ジム）

巌流小次郎 vs 荻野兼
（東金ジム）（ビクトリージム）

木村充 vs 泉雄策
（土浦ジム）（山木ジム）

藤原鉄志 vs 西田和嗣
（青春塾）（S.V.G）

石川直生 vs 新宅正章
（青春塾）（新空手／空修会館）

降矢康勝 vs 加藤啓明
（GENESIS）（TEAM-1）

栗原毅 vs 熊谷敦
（作真会館）（TEAM-1）

平航 vs 佐々秀幸
（REX JAPAN）（新空手／瀧澤学園）

藤井孝憲 vs 佐手康人
（S.V.G）（RIKIジム）

topic! 新ルール、サドンデスマッチ採用

12・9後楽園ホール大会より、新ルール試合「サドンデスマッチ」が採用される。今までは5ラウンド、3ラウンドの2種類の形式で試合を行っていたが、スピードアップ、アグレッシブの向上、ドロー試合の減少を目的に、新ルールが設定されることとなった。新ルールは、タイトルマッチおよび準タイトルマッチ、メインイベント、セミファイナル、国際戦、他団体との対抗戦以外の、ランキング選手が出場する試合にのみ使用される。

《サドンデスマッチ》試合ルール
・3分3ラウンド制（インターバル1分）
・ドローの場合は、第4ラウンドを行い、終了した場合はジャッジ集計を行う
・再びドローの場合は、最終の5ラウンドまで行う。このラウンドの攻防を対象に、ジャッジはどちらかに優勢点をつけなければならない

空手

極真会館（松井派）

第14回全関西空手道選手権大会
12月2日（日）　兵庫・神戸ワールド記念ホール

◆開場/9:00　試合開始/10:30　◆入場料/S席4,000円（当日5,000円）　大人自由席2,000円（当日3,000円）　小・中学生1,000円（当日1,500円）、幼児無料　◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、極真会館兵庫県・大阪南支部各道場、兵庫県・大阪南支部事務局　◆会場アクセス/JR三宮駅からポートライナーで市民広場駅下車　◆お問い合わせ/中村道場☎078-531-0664

大道塾

北斗旗　第1回世界空道選手権大会
11月17日（土）東京・国立代々木競技場第二体育館

◆開場/9:00　試合開始/10:00　◆入場料/SS席12,000円（当日15,000円）S席8,000円（当日10,000円）　A席3,500円（当日4,500円）　A席（中学生）1,500円（当日2,500円）◆チケット発売/発売中　◆チケット発売所/チケットぴあ、大道塾公式ホームページ（http://www.daidojuku.com）◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分　◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-5953-1860

新空手

第64回新空手道交流大会
11月11日（日）　東京武道館・第一武道場

◆試合開始/12:00　◆入場料/500円（大会パンフレット付）
◆会場アクセス/地下鉄千代田線綾瀬駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

第2回新空手道京都大会
11月23日（金・祝）　京都・岡崎武道センター　旧武徳殿

◆試合開始/12:00　◆入場料/500円（大会パンフレット付）
◆会場アクセス/京阪丸太町駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/新空手・本部☎03-3239-4994

キックボクシング

シュートボクシング

容赦なく試練を与える シーザー会長から次の指令！

散打、シュート・ボクセとの対抗戦、リングス参戦と今年後半はまさに「看板をかけた闘い」を続けているシュートボクシング。シーザー会長は、エース土井広之に、今年1月のシルバーウルフでは小比類巻貴之を、7月のオーストラリアでは緒形健一を破った強豪、ダニエル・ドーソンをブチ当てることにした！　土井は試合後、笑顔で会長と握手できるのか!?

土井広之vsダニエル・ドーソン

Be a Champ 4th Stage
11月20日（火）　東京・後楽園ホール

◆開場/17:30　試合開始/18:30
◆入場料/RS席10,000円　SS席7,000円　S席6,000円　A席5,000円　B席4,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、ワールドスポーツプラザKINGS☎03-3462-1001、シュートボクシング協会
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

決定対戦カード

《シュートボクシングvsシュートボクセ対抗戦》

緒形健一vsダニエル・シウバ
（シーザージム）　（シュート・ボクセ・アカデミー）

前田辰也vsオズマ・ディアス
（寝屋川ジム）　（シュート・ボクセ・アカデミー）

後藤龍治vsマウリシオ・シェルビンス
（STEALTH）　（シュート・ボクセ・アカデミー）

〈キックボクシング特別試合〉

土井広之vsダニエル・ドーソン
（シーザージム）　（オーストラリア）

シリル・ディアバデvs伊賀弘治
（フランス/チームオートテンション）　（龍生塾）

宍戸大樹vsシャノンF16フォレスター
（シーザージム）　（オーストラリア）

三原日出男vs及川知治
（シーザージム）　（龍生塾）

YU IKEDAvs石塚勇三
（湘南ジム）　（龍生塾）

今井秀行vs市政貴文
（シーザージム）　（大阪ジム）

アマチュア

北道院拳法

第7回全日本大学オープン選手権大会
11月23日（金・祝）　大阪・豊中立武道館ひびき

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/阪急宝塚線服部駅より徒歩12分　◆お問い合わせ/北道院拳法大会本部事務局☎06-6333-7004

日本国際テコンドー協会

第2回中部大会
11月24日（土）、11月25日（日）　岐阜メモリアルセンター

◆詳細未定　◆会場アクセス/JR岐阜駅または名鉄新岐阜駅より岐阜市営バスまたは岐阜バス乗車、岐阜メモリアルセンター正門前下車すぐ　◆お問い合わせ/日本国際テコンドー協会☎042-360-1289

アマチュアKoK

第2回KoKリミテッド
11月25日（日）　東京・新宿区スポーツ会館4階総合体育館

◆詳細未定　◆会場アクセス/JR中央線・総武線大久保駅より徒歩5分、JR山手線新大久保駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/リングス☎03-3461-0257

アマチュアシュートボクシング

第12回全日本アマチュア シュートボクシング選手権
12月9日（日）　東京・文京スポーツセンター

◆試合開始/10:00　◆入場料/無料　◆会場アクセス/営団地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/シュートボクシング協会☎03-3843-1212

日本拳法

第13回日本拳法大演武会
11月23日（金・祝）　東京・立川市錬成館柔・剣道場

◆開場/13:00　試合開始/13:30　◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR中央線立川駅南口より徒歩7分（諏訪神社内）
◆お問い合わせ/世界日本拳法連合総本部講武会館
☎0903-5496-464

主要チケット発売所一覧

チケットぴあ ☎03-5237-9999	レッスル渋谷店 ☎03-3464-0078
チケットセゾン ☎03-3250-9999	レッスル池袋店 ☎03-3989-0056
ローソンチケット ☎03-3569-9900	板橋大山アメリカン ☎03-3962-6443
CNプレイガイド ☎03-5802-9999	チャンピオン ☎03-3221-6237
オデッセー ☎03-3408-0331	書泉ブックマート ☎03-3294-0011
渋谷東急文化チケットセンター ☎03-3406-1513	後楽園ホール ☎03-5800-9999

プロ団体連絡リスト

K－1事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22S＆T神宮前ビル3F
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
☎03-5824-1324

リングス
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町13-1 サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
☎0489-63-0005

高田道場
〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6ワールドパレス武蔵小山1F＆B1
☎03-5749-5030

UFO
〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル7F
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒107-0052 港区赤坂8-5-4ルーメリ赤坂103
☎03-5775-5700

製圏道協会(SA)事務局
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023 東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034 東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3780-1350

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-14-1サガノビル2F
☎03-5625-2371

J－NETWORK
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K－U(キック・ユニオン)
〒195-0834 東京都八王子市東浅川町8-1
☎0426-66-9541

シュートボクシング協会
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1,2F
☎03-3843-1212

バックナンバー インフォメーション

これ以前の号をお求めの方は、グレート・アントニオへお越しを！（ただし、完売した号もございますので、ご確認ください）

《7・26　50号》

●話題騒然！　『猪木軍団vsK-1 全面対抗戦』の行方/アントニオ猪木、藤田和之インタビュー
●主役は誰だ！　7・29『プライド15』さいたまアリーナ大会/注目！　『プライド15』の最新カード、桜庭和志、ハイアン・グレイシー、DSE森下直人社長、佐竹雅昭インタビュー
●8・19K-1アンディ・メモリアルで何かが起こる！/ニコラス・ペタス、武蔵インタビュー、コラム◎石井館長に猪木イズムあり！
●SRS・DXの注目！/松井章圭館長、レミー・ボンヤスキーインタビュー
●7・1UFC32詳報！/はせキョーの初体験！　UFC観戦記、近藤有己、渋谷修身インタビュー
●大会レポート/6・26パンクラス後楽園大会、7・6修斗後楽園大会

《8・9＆8・23　合併号　51号》

●猪木軍団vsK-1全面対抗戦/バンナ、石井館長インタビュー、コールマン＆グッドリッジ対談
●7・29『プライド15』最終情報！/アントニオ・ノゲイラインタビュー、大山峻護奮闘日記
●祝・リングス取材解禁！/前田日明と久々の再会、金原弘光が8・11有明大会をズバリ分析、前田日明主催・マスコミ懇親会
●大会速報/7・20K-1ワールドGP2001名古屋大会
●噂の三面記事　特大版/猪木成田会見、『プライド15』全カード決定、K-1ラスベガス大会情報、リングス有明大会情報、『DEEP2001』全カード決定、大道塾世界大会開催
●8・19K-1ジャパンGP決勝戦/中迫剛、ノブ・ハヤシ、大石亨インタビュー

《9・13　臨時増刊号　52号》

●大会速報/7・29『プライド15』　さいたまスーパーアリーナ大会
●K-1vs猪木軍団続報/どうなる！？　8・19K-1ジャパン、ミルコ・クロコップインタビュー
●SRS・DXの注目！/前田日明主催、マスコミ懇親会（後編）、極真、真夏の他流試合3連戦、東孝インタビュー、『プライド』＆UFC、ラスベガス大会実現へGO！
●8・11K-1ラスベガス大会最終情報/ピーター・アーツ、内田ノボルインタビュー
●大会レポート/7・22全日本キック後楽園ホール大会、7・26SMACK GIRLclubATOM大会、7・28新日本キック後楽園ホール大会、7・29パンクラス後楽園ホール大会
●大盛況！　グレート・アントニオ津田沼店

《9・13　53号》

●大会速報/8・19K-1 ANDY MEMORIAL 2001たまアリ大会、ジェロム・レ・バンナ、マイク・ベルナルドインタビュー、8・18『DEEP2001』横浜文体大会
●大会詳報/8・11K-1ワールドGPラスベガス大会、8・11リングス旗揚げ10周年記念有明大会
●SRS・DXの注目！/堀辺正史の『プライド15』総括インタビュー、ミルコ・クロコップ、わずか2週間でバーリ・トゥーダーに大変身！？　髙田延彦＆桜庭和志in沖縄
●グレート・アントニオ夏の陣　イベント速報/8・5破壊王トークショー、8・11浅草キッド、Tシャツ即売会
●大会レポート/8・10全日本キック後楽園ホール大会、8・4『キング・オブ・ザ・ケイジ10』
●巻頭座談会/『プライド』の『メジャー化』で失われていくものとは何か？

《9・27＆10・11　合併号　54号》

●徹底追跡！　猪木軍vsK-1軍、開戦の波紋/アントニオ猪木、石井館長インタビュー、堀辺正史『猪木軍vsK-1軍の意義とは？』、サム・グレコ、グッドリッジインタビュー
●『プライド16』直前情報/『プライド』に来襲する他団体の王者をキャッチ、ドン・フライ、セーム・シュルト、ヒカルド・アローナインタビュー、ホイスが『ノゲイラvsコールマン戦』を徹底検証、『プライド16』最新カード
●リングス新展開！/ヴォルク・アターエフ、レナード・バパル、伊藤博之インタビュー
●SRS・DXの注目/10・14バトラーツ大会情報、橋本真也vsサダハルンバ谷川
●大会レポート/9・2正道会館全日本大会、8・25パンクラス大阪大会ほか

《10・25　臨時増刊号　55号》

●徹底追跡＆詳報！/12・31『INOKI BON-BA-YE 2001』TBSで放送決定、11・3『プライド17』で髙田vsミルコ戦実現へ。髙田インタビュー『なぜ小川戦をやめてミルコと闘うのか？』
●大会速報！/9・24『プライド16』大阪城ホール大会、9・21リングス後楽園ホール大会
●噂の三面記事/K-1、TBSに進出！　来年2月に『K-1ミドルGP』開催、極真会館プロ参入へ『Kネットワーク』旗揚げへ！　ほか
●SRS・DXの注目/松井章圭館長、桜庭和志、魔裟斗＆小比類巻、緒形健一インタビュー
●10・8K-1福岡大会直前インタビュー/フランシスコ・フィリォ
●大会レポート/9・7〜15 KICKダイジェスト、9・16新日本キック・ディファ有明大会

《10・25　56号》

●徹底追跡！『猪木軍vsK-1』から『プロレスvsK-1』へ/ミルコ、石井館長インタビュー、K-1ファイター意識調査『総合挑戦は是か、非か？』、アーツ、ベルナルド、バンナ、セフォー、アビディインタビュー、佐竹＆藤田が髙田延彦の強さを語る
●21世紀最初のオールスター戦『プライド17』特集/アントニオ・ノゲイラ、ヴァンダレイ・シウバ、ヒース・ヒーリングインタビュー、桜庭和志VS小室哲哉対談
●大会詳報/9・30パンクラス横浜文体大会、9・28『UFC33』ラスベガス大会
●SRS・DXの注目/山崎進、滑川康仁インタビュー、アントニオ猪木inパラオ
●大会レポート/9・23極真アメリカズ・カップ2001、9・29キング・オブ・ザ・ケイジ11ほか

《11・8　57号》

●11・3『プライド17』直前情報！/髙田公開練習、特訓中のミルコに潜入ルポ、シュートボクセはなぜ強い？　衝撃！　グレイシー内紛、小原、スケルトンインタビュー
●12・8K-1ワールドGP決勝大会情報/21世紀のK-1を変えるニューフェイスたち
●大会詳報/10・8K-1ワールドGP 2001敗者復活戦福岡大会、10・20リングス代々木大会
●編集長インタビュー/週刊プロレス編集長・佐藤正行
●SRS・DXの注目/木山仁インタビュー、パンクラス正規軍vsグラバカ5対5全面対抗戦
●大会レポート/10・12全日本キック後楽園大会、10・14バトラーツNKホール大会　ほか
●SRS・DXオフィシャルHP、いよいよオープン！

バックナンバー　通信販売方法

定価／各680円　送料／1冊＝100円、以下一冊増えるごとに50円増し。希望冊数×680円と冊数分の送料を、現金書留にて下記までお送りください。
住所、氏名、希望号数の明記をお忘れなく。発送まで1〜2週間ほどかかりますのでご了承ください。

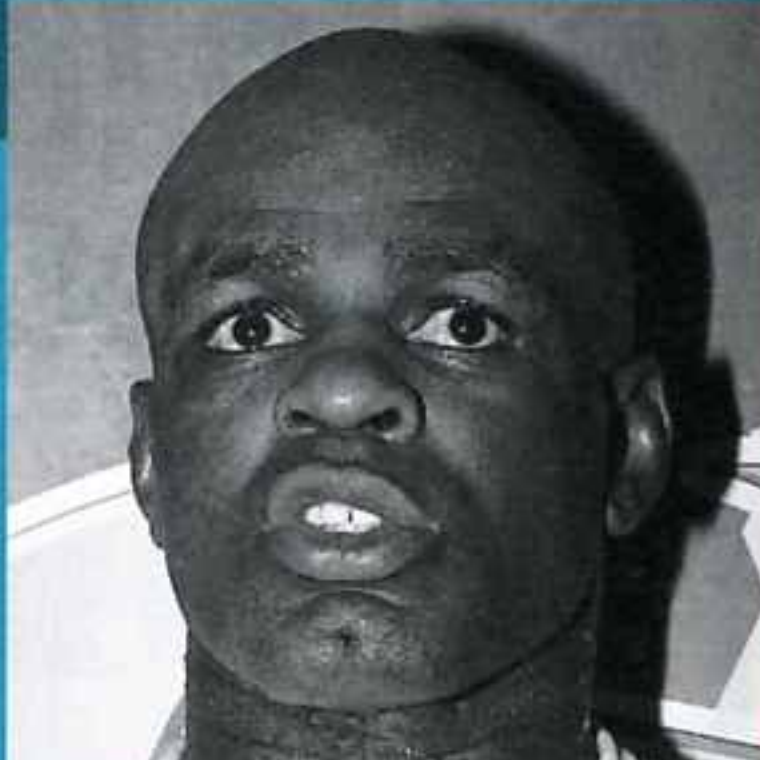
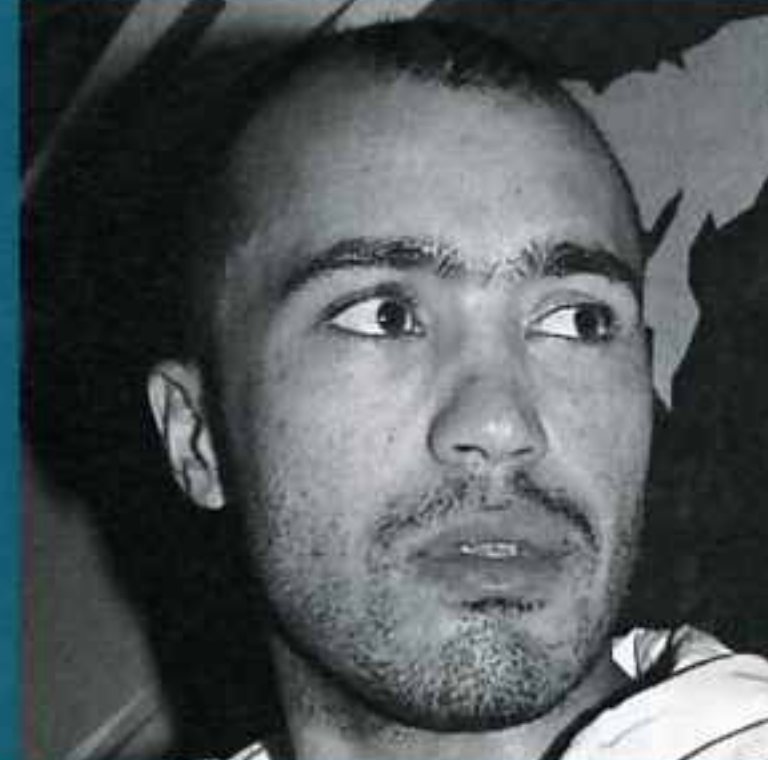
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F　『SRS・DX　バックナンバー係』まで　お問い合わせは ☎03-3295-4445

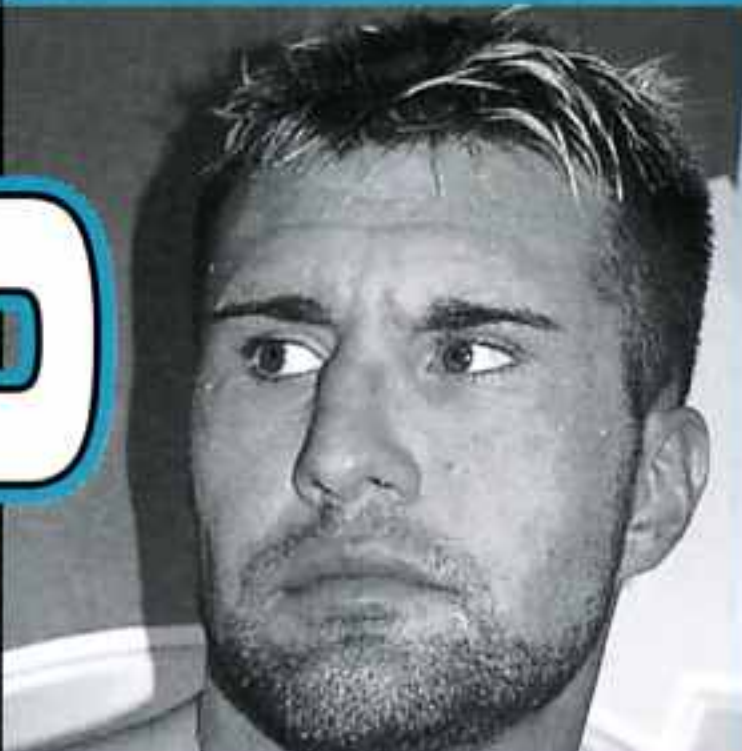
NEXT ISSUE

次号予告

11・3『プライド17』から 12・31『イノキ・ボンバイエ』へ その波紋を追う！

11/22（木）発売!!

猪木軍との対抗戦も気になるが、やはり！

次は純K-1GP

21世紀最初の覇者は新世代軍か？　四天王か？

詳報！ 11・3〜4 極真カラテ 全日本選手権大会

SRS・DX スペシャル・リング・サイド

毎月第2・第4木曜日発売
2001年12月13日号 No.59
定価680円（税込）

◎浅草キッドHP『キッドリターン』
最新URLはこちら⬇
http://www.asakusakid.com

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

大反響！ 前号で本誌登場の週プロ佐藤編集長にキッドがモノ申す

博士 まずは真撃第三章！

玉袋 橋本真也は当日遅刻で会場に現れませんでした。

博士 待て！ それは俺たちのTBSラジオの新番組「社会の窓」の一発目にゲストだったにもかかわらず遅刻した橋本真也の話だろ！ 人の仕事には遅刻するだろうけど、自分の興行はしっかり時間守るよ！

玉袋 俺は「破壊王」改め「破壊され王」改め「遅刻王」橋本をゴルドーにお仕置きしてほしかったですよ！

博士 とにかく時間を守れ破壊王!!

玉袋 そうだ、ちゃんと来やがれ！ 分かってんのか！

博士 分かってんのか！

玉袋 エッセ・リオス！

博士 それはバトラーツに来日予定だったWWFのレスラーだろ！ この日の真撃、武道館は、オ～ちゃん久しぶりの実戦！

玉袋 断食道場！

博士 ドラマの話じゃないんだよ！

玉袋 あのドラマの中でエキストラ出演している元パイオニア戦士のプロレスラーの平野と対戦するんですかね？

博士 するわけねぇだろ！ どんな細かいチェック入れてるんだよ！ 相手は伝説のボクサーのお孫さん！

玉袋 ガッツ石松の孫と対戦！

博士 ジャック・デンプシーのひ孫だよ！

玉袋 真撃は橋本の人間性が出てて、グッチャグッチャで面白いよ。

博士 どこまであの進撃が続くのか？ 興味津々だ！ 締め切りの都合上『プライド』の東京ドーム大会の結果が分からん！

玉袋 素晴らしいカード目白押しですよ！

博士 やっぱり桜庭のリベンジマッチだな。

玉袋 もう後がないので、必勝ですよ！

博士 そして桜庭和志の上司、髙田延彦もプロレス界を背負い込んでまたもや強敵とファイト！

玉袋 藤田をやっつけたニクコップン！

博士 クロコップだよ！ 肉骨粉をカタカナにするな！

玉袋 肉骨粉と豆腐パンでミネラル摂って、元気が一番！ ンムフフフ。

博士 肉骨粉にミネラルが入ってるかよ！

玉袋 狂牛病騒ぎで、焼肉屋とアントンリブは、連日客足が遠のいて猪木様も大変ですよ。

博士 とっくにアントンリブは人手に渡ってるだろ！ ファンレターの多いレスラーは、肉骨粉より炭疽菌テロのほうが心配だよ。

玉袋 しまった！ 先日俺も、大ファンの選手に差し入れ送ったとこだったんですよ。

博士 何を送ったの？

玉袋 もっと体を大きくしてほしかったんで、封筒にプロテインパウダー入れて送りました。

博士 封筒でそんな紛らわしいもの送るなバカ野郎！ せめて缶入りで送れよ！

玉袋 「これを飲んでもっと大きくなって下さい、橋本真也様。紙鶴折りの少年より」

博士 少年の名前で送るな！ しかも橋本をこれ以上太らせてどうするんだよ！ 猪木イズムの継承者、バトラーツの石川も『プライド17』に出場！ 桜庭和志に負けたバスで暮らしているホームレス最強のランペイジ・ジャクソンと闘う。

玉袋 石川も土俵際ですから、負けたほうが本当のホームレスになりますよ！

博士 人生のホームレスは石川の心の師・猪木様の生き様だけど、本当のホームレスはシャレにならない！ バトラーツは「冬眠」という名の活動休止宣言。

玉袋 4000万円の借金が、あっという間に8000万円。借金の増え方も猪木イズム！

博士 そんなところは猪木イズムを継承するなよ！！ いろいろ風当たりが強いが、頑張れ石川！

玉袋 大仁田先生が助けに来てくれるから、それまで待ってろ！

博士 エースのハヤブサが負傷したFMWじゃないんだよ！ しかしアリ戦の敗北を引きずる石川社長に『プライド』で勝算はあるのか？

玉袋 レフェリーを島田にすれば、どうにかなるかもよ。

博士 『プライド』はそういう場所じゃないよ！

玉袋 マット・スケルトンVSトム・エリクソンっていうビジュアル的にはまったく華のない男同士の渋い試合もありますよ！

博士 なんかアメリカのトラック野郎がドライブインで殴り合ってるみたいだよ！

玉袋 男的には痺れる試合ですよ！

博士 とにかく三大ビッグマッチ、ヘビー級王座・ミドル級王座・プロレスVSK―1と凄すぎる布陣だよ。

玉袋 あと、秋山と永田がどうプロレスの意地を見せるか？

博士 出てないだろ！ プロレスで出場してるのは小原道由だよ！ 小原選手はインタビューで謙遜して「自分は新日本の代表じゃない」って言っているんだろうけど、そりゃ負けた時の言い訳で、やっぱり新日本代表の気持ちぐらいでぶつかってほしい。

玉袋 これで勝てば日光猿軍団よりも犬軍団は全国的にブレイクするチャンスですよ！

博士 猿軍団と比べるな！

玉袋 負けたら後藤達俊が鎖鎌持って『プライド』に挑戦！

博士 『プライド』に寛水流が登場かよ！

玉袋 しかし前回のSRS・DXの臭プロの砂糖編集長と谷川さんの対談は衝撃的でしたよ。

博士 週プロの佐藤編集長だろ！ 誤植だと思われるいい間違いするな！

玉袋 あの人のインタビュー読んだけど、我々猪木様で育ったプロレス右党から言わせてもらえば、彼は名前を佐藤から左党に変えるべきですよ！

博士 思想を名前にする奴がどこにいるんだよ！ それにあの人の場合どっちつかずだよ！

玉袋 プロレスのスケールを小さくしているのは団体側の責任だけじゃなく、マスコミの責任でもあるんですよぉお！ 佐藤はまったく分かってないんですよぉぉぉぉ！

博士 なんでターザン山本がチャネリングしてるんだよ！ あれだけ変わった人が、雑誌という金がかかるものを作っていて、その間違いに気が付いてないのが最高だから、下手にツッコミなど入れず放っておいて、笑って見てるほうがいいんだよ！

玉袋 水野晴郎の「シベリア超特急」を見る感覚と一緒ですね。

博士 余計なこと言うな。 ■

2002年1月11日・代々木第2体育館

Kネットワーク“一撃”発進!

いきなり、武蔵VS野地 プロデューサーは 松井章圭館長だ

かねてより、本誌でもお伝えしていたように、極真の松井章圭館長が実行委員長を務める新しいプロステージ『K−NETWORK』が遂に全貌を現した。その旗揚げ戦が来年1月11日、代々木第2体育館で開催。大会名は、『一撃』に決定。そして、そのメインのカードで武蔵VS野地竜太という、非常に興味深い対戦がいきなり実現することになった。今年のK―1ジャパンでニコラス・ペタスに敗れて断崖絶壁の武蔵と、将来K―1でも活躍しそうな極真・野地竜太との他流試合。打撃格闘技界に、これでますます拍車がかかった。

断崖絶壁に立つ元ジャパン王者・武蔵

また、いつもの武蔵なのか？ それとも新しい武蔵なのか？

K—1ジャパンGP決勝戦で極真のニコラス・ペタスにKO負けし、マスコミやファンからボロクソに叩かれた武蔵。その武蔵が復帰戦として、Kネットワークという他流試合の舞台を選んだ。丸坊主にして、心機一転を計る武蔵に話を聞いてみた。

聞き手◎谷川貞治

一番負けちゃいけない相手に負けてしまった。ブーイングは当然でしょうね

――まず、改めてニコラス戦を振り返ってもらいましょうか。ニコラスに敗れた時、かなり放心状態だったみたいですけど。

武蔵 たしかに放心状態でしたね。一番負けてはいけない相手に負けたわけですから。

――一番負けてはいけない相手というのは、どういう意味なんですか？

武蔵 やっぱり唯一の外国人じゃないですか。日本に長くいて、日本人的な魂を持っているといっても、外国人選手ですからね。ジャパンGPを外国人に取らせてはいけないという思いが凄くあったんで、ああやってしまったなぁと……。

――ニコラスが外国人だからですか。極真という意識はなかったんですか？

武蔵 試合中はなかったですね。誰にも負けたくないという意識は当然あるんですけど、もしあったとしたら、極真というより同じ空手家には負けたくないという意識は常にあるのかもしれませんけど。

――今、振り返ってみて、敗因はなんだったと思います？

武蔵 そうですね……。油断というか、犯しちゃいけないミスをしたと思います。

――犯しちゃいけないミス？

武蔵 簡単に言えば、気の緩みですね。3R目が終わって延長になった時、「ここでガンガン行かないと勝てない」という気持ちになったんですよ。詰め過ぎるまで詰め込んでやろうと。それで冷静さをなくしたというか、行き過ぎて自分で自分の距離を潰しちゃいましたね。どんどん前に出て行ったつもりなのに空回りしちゃって。その空回りしている中で一発もらったのが効きました。

――場内も大ニコラス・コールでしたからね。

武蔵 そういう中で自分の中で焦りが出たというか、セコンドにも3Rに「このラウンドを取らなきゃ負けるぞ」と煽られたりもしましたからね。そういう焦りの中で、余計に結果を出さなきゃいけない、圧倒的な差を見せなきゃいけないということで、見えるものも見えなくなってしまったというか……。

――たぶん、ニコラスは1R目の武蔵選手の攻撃が速くて、かなり焦ったと思うんですよ。最初から潰しておけば良かったんじゃないですか？

武蔵 そうですねぇ。1R目から行けば良かったんですけど、向こうがどう出てくるか見ようと思ったところもあったんで。ただ初めは冷静だったんですけど、変な挑発に乗ってしまって。向こうがカカト落とし出してきたら、空手家としてこっちもカチンときてしまったり……。

――それはいいんじゃない？

武蔵 空手家の意地みたいなものが自分にもあって、空手の技をやられたら、空手の技でそれ以上のものを返さなきゃいけないというか。

――それはいいことだと思いますよ。でも見ていて、武蔵選手がニコラスを呑み込むような迫力というか、気迫みたいなものは感じられませんでしたね。そこが逆に足りなかったと思うんですけど。

武蔵 そうですね。だから、いつの間にかニコラスのペースに乗っちゃったのかもしれないですね。ニコラスを勢い付かせたのは、僕自身だと思います。

――でも、僕はニコラス自身を勢い付かせたのは良かったと思ってるんですけどね、プロとして。で、今回も負けた後、いろいろ叩かれたでしょう。

武蔵 ヘコみましたね。叩かれたうんぬんというより、負けた自分自身にヘコみました。ニコラスに負けるんだったら、変な話、他の日本人に負けたほうがショックが少なかったですね。ニコラスには負けないという自負があったし、他の誰よりも負けたくない相手でしたから。

――なるほどぉ。でも、その中で武蔵選手よりも、ニコラスのほうに声援が集まりましたよねぇ。むしろ、武蔵選手に対してはブーイングも多かった。それについてはどう思います？

武蔵 あの日は正直、コンディションが良くなくて、1回戦から絶不調でしたからね。ファンにそう思われても仕方がないと思います。動きがホント良くなかった。大石のパンチも必要以上にもらってしまったし、焦ってたと言えば、1回戦から焦ってましたね。でも、自分が絶対に優勝するんだって気持ちは強かったんですよ。だから、焦りもあったし、動きも良くなかったんですけど、決勝のニコラス戦では自分の気持ちを奮い立たせて、持てる力をフルに出して挑むことができましたけど。

――それにしても、武蔵選手はここぞという時に負けちゃいますよねぇ（笑）。去年のGPでも、補欠のレイ・セフォーに負けてかなり叩かれましたけど、あの時と比べてどうなんですか？

武蔵 セフォーの時もかなり落ち込みましたねぇ。何を食らったのか覚えてないけど、あの時は自分自身に対して不甲斐なさを強く感じました。でも、今回はそれ以上の、もっと広い意味で落ち込みましたね。

――セフォーの時よりも？

武蔵 結局、今年のワールドGPには誰も日本人が出場できなかったじゃないですかぁ。他の日本人はどう思ってるか分からないですけど、僕自身、すっごい責任を感じてます。だから、リング上でニコラスが勝ち名乗りを上げた時に「やっちゃったぁ」って、いろんなことが走馬燈のように脳をよぎりました。

――そうかぁ。でもね、僕はたしかにジャパンGPの1・2回戦は良くなかったと思いますけど、決勝戦のやられっぷりはそんなに悪くないと思ったんですよ。武蔵選手らしいというか（笑）。で、今もっと大切なのは、どういう復帰の仕方をするかってことだと思うんですよ。武蔵らしく復帰するのか、それともまったく違うイメージで復活するのか。そういうところが問われるわけです。

武蔵 そうですね。

――そのへんはよく分かってます？

武蔵 やっぱり、自分はニコラスに借りを返すまで、前へ進めないと思ってます。

――標的はニコラス？

武蔵 そうですね。今回ばかりは本当に落ち込みまして、一時は何もしてなかったんですよ。しばらくは、ボーッとすることが多くて。僕は基本的に落ち込むタイプなんで（笑）。

――切り替えが早いわけじゃないんだ。

武蔵 そうですね。それから何週間かして、南大阪の道場に通い始めて、K―1

外国人にジャパンの王座を奪われてしまった武蔵は、負けた瞬間ボー然としていた。対するニコラスは大喜び！

僕、他流試合は初めてなんです。野地選手とはワールドGPのつもりで闘う！

から離れて空手の修行を一から始めました。

——空手の修行を。ほぉ〜。

武蔵　このままK—1の練習を再開しても、自分自身、何も変わらないと思いましたから。で、今度極真の全日本大会に出場する村尾と一緒に組手をやったり、稽古に励んだりね。僕自身、原点に戻れたというか、かつてこうやって空手の練習をガンガンやってたことを思い出しました。

——頭を丸めたのも、原点に戻ろうと。

武蔵　はい。だから、今は空手らしいキツさを存分に味わってます。無酸素運動で、ただ腹の殴り合い、足の蹴り合い、それだけがメインで。1カ月間は体がズキズキしてましたね。突き指だとか、打ち身だとか、体中がアザだらけになりました。K—1の練習にはない痛みを味わって、原点のシンドさを感じられたのは良かったんじゃないかと思ってます。

——どうせなら、極真の全日本大会に出てみたら良かったんじゃないですか？勝ち負けは別として、そういう生き様を見せることは大切だと思うんですけど。

武蔵　僕もそれは考えました。ここはひとつ、極真の大会に出てみようかな、と。でも、実際空手の稽古をしてみて、今のままの自分が試合をするのは、極真の選手に対して失礼なんじゃないか、と。僕もK—1をやる前は、正道のカラテ・ワールド・カップや極真の大会に出るのはひとつの夢だったんですよ。だから、完璧に自分を調整してから挑戦したいんですよ。それには今回、悩みましたけど、時間があまりにもないなぁ、と。

——でも、ある意味、今一番武蔵選手に必要なのは、空手の稽古かもしれないですね。

武蔵　だから、自分でも通ってるんです。僕が空手の稽古をするのは7年ぶりですからね。毎日が凄く新鮮で、懐かしくて。でも、極真の全日本大会は真剣に考えたんですよ。今の自分を確かめる感じで稽古してたんですけど、久しぶりだったんでケガだらけになっちゃったんですよ。やられたケガというより、自爆のケガというか（笑）。

——今までの武蔵選手って、負けても何事もなかったように、ジャパンに出て来てたじゃないですか。そこがドラマにつながらないというか、反発を買うところだったと思うんですよね。負けはある意味、自分自身が生まれ変われる最大のチャンスなんですから。

武蔵　たしかにそうですね。自分の中では以前よりハードな練習をして挑んでたつもりなんですけど、それは結局、自分自身の守りを固めてるだけだったのかもしれないですね。実は自分が変化するのを恐れていたのかもしれない。

——変化するんですよぉ！　プロとして、いかに自分が変化するか、それを人に見せられるか。これはチャンスなんですよ。

武蔵　はい。だから、今回極真の全日本大会には出られなかったんですけど、野地選手とのこういう試合をいただいて、リングはK—1じゃないんですけど、自分から石井館長に「やらせてください」とお願いしました。ニコラスともう一度試合をやらせてもらえるよう、その第一歩として挑戦者のつもりで向こうのリングに上がるつもりです。

——武蔵選手って、他流試合の経験ってあるんですか？　どっか他の団体の大会に出たってことってありましたっけ？

武蔵　まったく初めてですね。

——そういう他流試合は嫌いだったんですか？

武蔵　いえ、嫌いというより、まったく経験がないんで。

——ああ、そうかぁ。佐竹選手の場合は、ある意味、K—1を拡大していくためにどんどん外に他流試合を求めていったじゃないですかぁ。武蔵選手にとって不幸だったのは、武蔵選手がデビューした頃はK—1が大きくなってしまっていたため、もう他流試合をやる必要がなかったんですよね。

武蔵　僕は自分のところの新人戦にも出てないんですよ（笑）。いきなりK—1のリングでしたし、初めての実戦がK—1でしたから。

——ああ、そりゃあ不幸だなぁ。正道会館がなぜ強かったかというと、他流試合に勝ってきたからだし、他流試合こそ、選手をあらゆる意味で強くしますからね。

武蔵　そういう意味では、僕もデビュー戦のつもりでやらないとダメでしょうね。

——野地選手についてはどう思ってます？

武蔵　今、空手の稽古をひたすらしてま

武蔵にとっては初の他流試合。記者会見では正道会館の中本直樹本部長が出席し、名スピーチを行った

Kネットワーク発進

いきなり武蔵vs野地だ!

野地選手は今、K—1の練習に一生懸命でしょうけど、僕は空手の練習しかしません

すんで、彼の試合はデビュー戦をダイジェストで見たくらいなんですよ。それ以降の試合はまだ見ていません。で、その試合を見た限りでは、まだ硬いところがあって、結構打たれてたんですけど、それでもあのせめぎ合いに最終的に勝つっていうのは凄いなって思ったんですけど。凄く可能性はあると思いました。

——もちろん、経験は武蔵選手のほうが断然上だと思いますけど、ナメちゃダメだと思うんですよ。ビデオを見たら分かると思うんですけど、ホント一戦一戦、もの凄い伸び方をしているんですよね。スケールの大きな選手だと思いますよ。

武蔵　やっぱどんなに練習しても、試合をしたほうがはるかに成長しますからね。

——野地選手の凄いのは、毎回テーマを持って挑んで、そのテーマをちゃんと自分なりにクリアしているところなんですよ。僕はですね、野地選手は確実にK—1ジャパンGPで優勝する器だと思ってるんです。そういう顔をしてますよ。

武蔵　へぇ～、そうですか。僕自身も過去の実績とか関係なく行くつもりです。

どういう勝ち方をするのか？どういう復帰をするのかが武蔵のテーマだ

おそらく向こうも全力で来ると思いますから、僕もワールドGPに出るくらいのつもりで全力で倒しに行きますよ。そうですね、僕にとって野地選手はワールドGPに出られなかった悔しさを、全てぶつける相手です。そういうつもりで行きますから。

——うん、そのくらいのつもりで行ったほうがいいですよ。今のうちに武蔵選手の怖さを見せつけるくらいのつもりで行かないと。

武蔵　余裕こいてやるつもりはまったくないです。

——そうだね。やっぱり、余裕こいてたら、またブーイングを浴びると思うんですよ。今度の野地選手との試合では、どちらに声援が集まるかもひとつのポイントだと思うんですよ。それは、2人の闘いっぷりで決まるんじゃないですか？

武蔵　たぶん、今回の会場は極真の関係者が多いと思うので、僕のほうがヒールになるんじゃないですか（笑）。

——いや、ヒールになるんだったら、ヒールでもいいんじゃないですか。問題はどっちに客の視線が向くかだと思うんですよ。ヒールになったとしても、武蔵選手の凄みが見せつけられればいいし、それとも野地選手の頑張りだけが目についてしまうのか。たとえば、ホーストなんかは、ニコラスと闘った時でも、自分の凄みは十分見せられると思うんですけどね。

武蔵　う～ん、僕はとにかく敵地に乗り込むような形なんで、お客さんを味方につけようとかは考えてないです。ただ僕自身いい試合をしたいし、今度は絶対に負けられない。そういうつもりで、リングに上がろうと思ってます。もう本当に8・19のお客さんには申し訳ないと思ってるんですよ。せっかく自分が苦労して、集中してやってきたのに、調整ミスでお客さんに伝わらなかったですからね。自分でも、凄くイライラしながら試合してました。だから、野地選手に対しては8・19では見せられなかったものを見せたい。べつに僕はああいう闘いをお客さんに見せようとしていたわけじゃないんですよ。あの時は、あれしか見せられなかったんですよぉ。

——いや、でも細かい技術にこだわるよりも、そういう気持ちにこだわっていったほうがいいですよ。極真との闘いで問われるのは、実はそこですからね。

武蔵　そうですね。たぶん野地選手もそうだと思うんですけど、ニコラスと闘って一番感じたのは、「極真として負けられない」という意識が、相当植え付けられてるってことですよ。野地選手なんか、特に極真の大会でいいところまで行くってことは、素材的にはますます伸びてきそうな選手ですからね。

——極真の強さのひとつは、やっぱりそこですよ。彼らは「極真の選手として無様な試合はできない」という意識が強いですからね。でもね、実を言うと、ことわるのが石井館長なんですよ。一番勝ち負けにこだ他流試合になると、一番勝ち負けにこだわるのが石井館長なんですよ。石井館長って、他流派に負けるのって、大嫌いですからね。

武蔵　ああ。もちろん、僕も正道の看板を背負ってるつもりですよ。一個人の負けじゃ済まされないでしょう。しかも、来年僕は30なんですよ。本当にね、石井館長にも、松井館長にも、こういう一から出直しの機会を与えてもらって感謝しています。記念すべき旗揚げのメインでこうやって出られることは光栄ですし、気合い入れ直してやります。

——一時は引退説も流れたからねぇ（笑）。でも、野地選手もこの2カ月間でかなり成長してくると思いますよ。

武蔵　彼の場合はいかにK—1のルールに慣れるかってのを一生懸命やってると思うんですよ。でも、僕は逆に今だからこそ空手の稽古をやろうと思ってます。

——あっ、それはいいねぇ。野地選手がグローブやって、逆に武蔵選手は空手の稽古しかしないと。それだと、2人の今やるべきことがはっきり対立概念として見えますねぇ。

武蔵　野地選手にとっては、チャンスはまだいくらでも来るかもしれないですけど、もう僕はここでつまずいたら2度とチャンスがもらえないかもしれませんからね。猪木軍との闘いに出ろ、とかいろいろ言われますけど、僕はまずニコラスに借りを返さなきゃ、何をやっても中途半端になっちゃうと思うんですよ。その意味でも、野地選手には負けられませんから。

——いや、本当にラストチャンスのつもりでやってくださいよ。■

近い将来、K−1ジャパン王者になれる男・野地竜太

今、最もいきおいのある グローブ1年生！

いきなりグローブ4戦目でK−1ジャパントップファイターの武蔵と対戦することになった野地竜太。これまでグローブ戦は3戦全勝と今一番粋のいいグローブ1年生の野地に武蔵戦への意気込みを語ってもらった。

聞き手◎石黒由佳子
撮影◎乾晋也（試合以外）

空手も痛いですよ。でも、グローブは痛いと同時に嫌だなと（笑）

―野地選手は2000年11月にグローブ戦に初挑戦して、これまで3戦行って全て勝利を飾ってますね。

野地　一応……勝ってます。

―そんな一応って（笑）。まずデビュー戦を振り返ってもらいましょうか？

野地　準備期間も2カ月弱くらいでしたし、ぶっつけ本番な感じでした（笑）。

―初めてのグローブ戦ということで、空手の試合とはかなり違う感覚を覚えたんじゃないですか？

野地　違いましたね。「痛てぇ～」って思いました。一瞬頭が白くなりましたよ。最初にいきなり1発目をもらって焦ってしまったんです。

―1発目をもらった時は「このヤロ～」って感じだったんですか？

野地　そういう気持ちよりも「ああ、ガードしなきゃ」って。

―ああ、ガード（笑）。冷静だなぁ。

野地　そうですねぇ……叩かれれば叩かれるほど冷静になった感じですね、あの試合は（笑）。

―でも、焦ってもあれだけ立て直して勝ってますから、それは凄いことだと思うんですよ。あの試合で「グローブは嫌だなぁ」って思いましたか？

野地　そこまではなかったですね。

―じゃあ、面白かった？

野地　いや、面白いとは思わなかったですけど、あの時点では（笑）。あの時はグローブの練習を始めて2カ月くらいで、ああいうふうにやられてもしょうがないなという部分もあったんで、これから練習をしようという気持ちにはなりました。

―で、2戦目が実力者の安部選手だったんですよね。

野地　初戦から9カ月くらい試合があいたんですけど、ディフェンスの甘さがデビュー戦で分かったので、その辺の練習を重点的にやって、スパーリングもいっぱいニコラス先輩とやりました。とりあえず、パンチをもらわないようにというのを注意してやったんです。

―安部選手も経験豊富で強豪ですよ。

野地　やっぱりうまいというか、ビデオとかも見てたんですけど、パンチの技術というか、カウンターも狙ったりするし、うまいなぁと思いました。やってる最中も近いところでコツコツ叩いたりされるのが嫌でしたね。うまいなぁと思いながらやってたんですけど。

10月12日、オランダのエドウィン・ガーテンバックと対戦。ちゃんとテーマをもって挑んだ野地だが、その前に相手のほうが倒れてしまった

―うまいなぁって思ってたの（笑）。試合中に考える余裕があるんですね。

野地　結構、やりながら考えてますね。

―冷静だなぁ。

野地　気持ち的な部分では、空手をやってきた分があるんじゃないですか。技術的には顔を殴られたらダメですけど。人を叩いたり蹴ったりすることは似てるから、そういう部分は空手の試合をいっぱいやってきましたからね。それで考えられていたのではないかと思います。

―それで3戦目がこの前の10月で、あっという間に勝っちゃったんですよね。

野地　いや、でもあれだけ短い試合でも何発かもらっているので、それはいけないと思ってます。

―野地選手は一戦一戦ちゃんと自分でテーマを決めて試合に挑んでるんですよね。デビュー戦は「とにかく頑張ろう」って感じでしたか？

野地　テーマというよりも、体験してみようという感じですね。2戦目はニコラス先輩とかが作戦を立ててくれましたし、アドバイスもしてくれたので、この試合では3Rきっちりやろうと。勝ち負け関係なくフルラウンドやって勉強してきなさいと。もちろん、倒せるチャンスがあれば倒していいとは言われてましたけど、リキんで「このヤロ～」って倒しに行くことはないと言われて、僕もそうだなぁと思って。

―2戦目の目標は達成できたんですか？

野地　自分的にはあの2戦目が凄く良かったと思います。スパーリングをいくらやっても試合とは違うので、試合で3R9分間ずっとできたので、自信になりました。

―なるほど。では、3戦目のテーマは？

野地　「1Rにローを20発蹴りましょう！」というテーマがあったんですよ（笑）。前回の試合でリキんで蹴りがあまり出せなかったので、軽くてもいいから蹴ろうと言われてたんですけど、3、4発目くらいで（相手が）ダメそうだったので、ちょっとやめようと思って（笑）。

―それでパンチに切り替えたのは自分の判断だったんですか？

野地　そうですね。

―冷静ですねぇ。試合中はセコンドの指示は聞こえてますか？

野地　だいたい聞こえてます。自分の考えと「あっ、それもあるのね」っていうセコンドの指示を混ぜる感じですね。全部セコンドの言うとおりにしてしまうと、例えばいつもやり慣れていない動きを指示されたら、ぎこちなくなってしまうので。でも、聞こえてない時もありますよ。これも空手の試合で経験してる部分だと思います。空手の試合でもセコンドが付くじゃないですか。それで慣れてるから、グローブ戦で闘ってても聞こえてるんだと思うんですけど。

―グローブを3戦しかやっていないとはいえ、空手でやってきたことが活かされてるんですね。

野地　そうですね。やってなかったらこういうふうにはできないと思うんですよ。

―グローブは痛いでしょう（笑）。

野地　いや、空手も痛いですよ（笑）。グローブは痛いと同時に嫌だなぁっていう感じですね。パンチが目に来たら見えなくなるわけですし。やりづらいなというのはあります。まだ、ディフェンスが下手だから、蹴りとかは蹴られ慣れてるので、蹴られたらダメなんですけど、そ

自分の今の強さを計るには
これ以上ない相手だと思います

んなに動揺はしないですね。顔は今でも「ああ、やめてくれ!」って思います(笑)。

——そうかそうか(笑)。では今度「Kネットワーク」という組織ができて、アマチュアとプロの架け橋になる舞台となるんですが、こういうものができたことに関してはどう思いますか?

野地 凄くいいと思います。自分みたいに全日本キックとかに出るのもいいと思うんですけど、試合をするチャンスがいっぱいあるほうがいいと思うので。だからといって、いきなりK―1というのも難しいと思いますし。試合があればあるほど経験が積めると思うので、そういう意味では試合が多くできる場所ができるのはいいと思います。

——それで、いきなり旗揚げ戦のメインで、相手が武蔵選手じゃないですか。昨日の記者会見で武蔵選手と会いましたよね。初めてじゃないですか?

野地 はい、初めて会いました。大きい人だなぁと。

——野地選手のほうが大きいんですけど(笑)。あの坊主頭には驚いたでしょ?

野地 びっくりしましたね。凄いと思いました。気合い入ってるなぁと。

——武蔵選手の試合を見ての感想は?

野地 うまくて速くてなんでもできる。上も蹴るし、下段も蹴るし、ヒザも蹴るし。もちろんパンチでカウンターも取れるし。なんでもできる器用なタイプだと思います。

——武蔵選手はK―1で30戦以上やってるんですが、野地選手は今度グローブが4戦目ですよね。そういう〝経験の差〟という部分で意識はしてますか?

野地 数は関係なくはないですけど、単純にキャリアは向こうのほうが上だなと。僕はあんまり慣れてないけど、気にしてないですね。キャリアを積んでなくてもうまい人はたぶんうまいと思うし。いっぱいやってても下手は下手だと思うんですよ。だから、数は気にしてないです。

——では、武蔵選手と対戦するということに対しての意識は?

野地 やっぱりK―1ジャパンのトップファイターだと思うので、自分の今の強さを計るにはこれ以上ない相手だと思います。勝ち負けというよりも、自分のできることを全部出して通用するか。もちろん、勝ちたいですけど、全部出し切らないと勝てないと思うので。

——話してる表情を見てると、結構、楽しみにしてませんか(笑)。

野地 あっ、結構楽しみです。怖いなというよりは、自分のやりたいことが全部出せればそれでいいかなと思ってます。

——武蔵選手のスタイルは、前に出てガンガンKOを狙うというよりは、スピードを活かしてポイントを取って勝つというものなんですね。それを〝武蔵流〟と呼んでいるんですけど、そのスタイルについてはどう思いますか?

野地 いいんじゃないですか。自分のスタイルが分かってるっていうのは。僕なんかまだ自分のスタイルが分からないですから。グローブの試合では、何が得意でどうやって攻めればいいのかちょっとよく分かってない状態ですから。自分でそういうふうに分かっていて、自分のやるべきことがきっちり分かっていれば闘いやすいと思うんですよ、武蔵選手は。

——野地選手は自分の理想のグローブ戦のスタイルってあるんですか?

野地 いや、欲張りなんで全部やりたいんですけど、カウンターとかバチって合わせたいけど、まだそんなことできないし、今は相手から来たのを受けて返す。攻めたらガードとかそういう次元なので。理想を言えば、やっぱり倒せるところは倒したいんですけどね。かといって、ただ前に出てやるかやられるかみたいな試合をするんじゃなくて、避けられるし、ステップもできるし……全部なんですよ。

——今は誰に一番教えてもらってるんですか?

野地 今はニコラス先輩ですね。一緒にやりつつ、僕がスパーリングやってる時はニコラス先輩が見てて、アドバイスしてもらったりという感じですね。

——ニコラス選手に一番言われていることとは?

野地 いっぱいあるんだよなぁ……。パンチがちゃんと腰が回って打ってないところがあるとか。

——ニコラス選手はパンチ上手だもんね。

野地 うまいです。とってもうまいです。お手本も見せてくれるから分かりやすい。

——ジャパンGPでニコラス選手が優勝しましたけど、どうでしたか?

野地 凄いと思いました。

——ニコラス選手は調子が良くなかった

新しいことにチャレンジすることで、空手を見直すこともできる

ですもんね。あの最後の意地は精神力というか、極真を背負ってるという気持ちで武蔵選手を押し切った感じがしたんですけど、野地選手はグローブをやっていてそういう意識はないですか？

野地　特にないです。そんな僕が背負えるものではないので。ただ、やっぱり見てる人は「極真の野地だ」って言うから、もちろん恥ずかしくない試合をしないといけないですし、強いなと思われたいですよ。僕個人としても極真空手を何年間かやってきたというプライドもありますから。ただ、極真のために頑張るというのはないですけどね。そんな大それたことを僕ができることじゃないし。

――でも、意識はあるんですね。

野地　もちろん。極真空手をずっとやってきてるので、そういうのはあります。

――武蔵選手もそうみたいですけど、野地選手が意識してもしなくても、相手は「ああ、極真の選手と闘うんだ」という気持ちが強いと思うんですよ。

野地　そういうふうに思われることはいいことだと思うし、僕としても嬉しいです。それだけの価値を認めてもらっているんだと思うし、極真自体に対しても、僕個人に対しても。そうやって燃えてきてくれるのは嬉しいです。

――さらに、武蔵選手はニコラス選手に負けて、打倒・ニコラスとなる復帰戦が野地選手との試合になるわけですよ。

野地　でも僕とニコラス先輩は全然違うから、踏み台にはされたくないです。とりあえず、あいつをやっつけて次はニコラスだとか思われたら……。

――カチンと来るでしょ？

野地　でもまあ、試合をするわけですからね。どっちにしろお互いにやっつけてやろうって思ってやるわけですから、それでいいと思います。こっちも負けないぞという気持ちでいるわけですから。

――ところで、野地選手はK―1に対してどんなイメージがあるんですか？

野地　グローブルールで大きい人が闘ってて、一番強い舞台だと思います。いずれ僕の実力が伴えば強い人とやらないと意味がないですから、やれればいいなと思います。

――今はそこまでの気持ちは持てない？

野地　う～ん、そういう意味で武蔵選手はK―1でホースト選手とかとやってるわけですから、そこで、少しでも自分の力が分かればいいという意味で、全力を出し切れればいいなと思ってるんです。

――K―1ファイターの中で、好きなタイプの選手は誰ですか？

野地　ニコラス先輩もそうですし、あとレイ・セフォー選手。パンチがうまく叩けるから。

――今は、パンチがうまく叩ける人系に目がいっちゃうんですね（笑）。

野地　そうですねぇ、羨ましいなぁと思って。

――実際に、グローブの練習はどのくらいやってるんですか？

野地　月～金まで週5日やってます。朝から昼まで2時間くらいですかね。内容はスパーリングをやる日とミットをやる日を分けてやってます。

――最近、松井館長が本誌のインタビューで「地上最強のカラテをめざす」とおっしゃってましたけど、どちらかと言えば野地選手は『グラップラー刃牙』世代なんですが、こういう発言をどう受け取ってますか？

野地　いや、当然といえば当然ですよ。全部の格闘技が自分が強いと思ってやらないと意味がないですからね。柔道やってる人は柔道が一番だろうし、武道なんかは特に実戦で使うために生まれたようなものですから、全部そう思ってやってると思うんですよ。だから、地上最強をめざして練習するのは当然だと思います。

――野地選手もそう思ってますか？

野地　極真空手もそうでしょうし、僕自身としてもそういうものをめざしてやってるというのはあります。

――地上最強の男でありたいと。

野地　まあ、一応、目標は……（笑）。

――そんな弱気な（笑）。「いや、そうです」くらい言ってくださいよ（笑）。

野地　そうで……す（笑）。でも、みんなそうだと思いますよ。空手やってる人とか選手でやってる人はそうだと思ってやってるんじゃないですか。

――2003年の世界大会に何を持って帰ろうと思って、今はグローブをやってますか？

野地　技術的なことはいっぱいあると思うんですけど、やっぱり気持ち的なこともかなり大きいと思うんですよ。経験してきたことだけでも、絶対やらないよりやったほうが良かったと思えるだろうし、マイナスにはなってないと思いますから。一番はハートが強くなっていけばいいなと思います。

――今、毎日新しいことが吸収できることが楽しいんじゃないですか？

野地　そうですね、楽しいですね。

――空手は何年でしたっけ？

野地　6～7年です。

――グローブは1年生ですよね。久々に体験する1年生はどうですか？

野地　スパーリングやる前とか勝手に作戦たてたりして、「今日はこれでいくぜ」と思って、それが失敗したりするとダメだったとか。で、うまくいったりすると使えるなあとか、空手とかでもあるんですけど、そういう感覚が凄く新鮮ですね。

――久々の1年生って新鮮でしょ？

野地　そうですね。変なふうに慣れちゃいけないんでしょうけど、どこかでそういう部分が出てきますからね。こうやって新しいことにチャレンジすることで、空手を見直すこともできるのでいいと思います。

――武蔵選手の最大の目標はワールドGP優勝なんですけど、野地選手は？

野地　世界大会で優勝したいっていう目標があるから、グローブテクニックも修行してみようと思ったので、今は空手の世界大会ですね。

――2003年に向けて、また武蔵戦でいろんなことが見えてくると思いますよ。

野地　自分でも楽しみです（笑）。

――ちなみに、一番強化しようと思ってることは？

野地　ディフェンス（笑）。顔を叩かれないように。

――ああ、やっぱりディフェンスなんですね（笑）。とはいっても、ドツキ合いしてくださいっ！

野地　それしか勝つ道はないと思ってますから（笑）。

――おおっ！　楽しみにしてます。■

現在、野地は実家を離れ寮生活を送っている。総本部まで自転車で通う毎日だ

1.11「一撃」開催記者会見

アマチュアとプロの架け橋となる、「Kネットワーク」発進！

1.11「一撃」で八角形のリングを使用！ 岩崎達也が極真を脱退！フリー格闘家として総合へ進出？

10月25日◎ホテルメトロポリタン富士の間にて

メインイベント 野地竜太VS武蔵！

▲左から川本英児審議委員、藤原敏男審議委員長、金田敏男全日本キック会長、Kネットワーク事務局の千葉貴史氏、野地竜太、松井章圭実行委員長、武蔵、中本直樹正道会館本部長、山田雅稔Kネットワーク東日本本部長、井本光勇Kネットワーク西日本本部長

▶「押忍！　正道会館の武蔵です。自分自身は前回のジャパンGPの決勝でニコラス選手に敗れてしまって、凄く悔しくて、正道会館南大阪本部のほうで原点に戻ろうと思って空手の稽古に励んでます。極真の野地選手と試合をしないかというお話をいただきまして、ありがたい気持ちでぜひ乗り込んで行く形でやらせてくださいとこちらのほうからお願いしました。野地選手は勢いがあってホント強い選手なので、気合いを入れていい試合をしたいと思っています。よろしくお願いします。押忍！」（武蔵）

▶「押忍！　極真会館の野地です。今回、このような機会をいただいて光栄です。武蔵選手は凄く経験豊富で強い選手だと思うので、胸を借りるつもりで全力でぶつかっていきたいと思います。押忍！」（野地）

大会要項

日時★2002年1月11日（金）
場所★東京・国立代々木第2体育館（JR原宿駅）
開場★午後5時
開始★午後6時30分
主催★K－NETWORK運営事務局
　　（株）ファーストウェーブ
入場料金★アリーナ席　20,000円
　　　　　S席　10,000円
発売日★12月1日（土）一斉発売
問い合わせ★03－5369－3681
　　（株）ファーストウェーブ

岩崎達也、極真会館脱退！

本誌56号の三面記事中で、「一撃」のイベントで岩崎達也が総合の試合に挑戦するのではとあったが、記者会見で松井館長から岩崎が極真を脱退したことが発表された。以下は松井館長の説明である。「何誌かのインタビューで、極真会館に所属していた岩崎達也が総合の試合をすると申し上げてたんですが、岩崎選手は極真会館を円満に脱退しまして活動をしていくことになりました。彼には彼なりの考えがあってのことですけれども、私も基本的に極真の精神をもって活動するならば、極真会館としてバックアップしていく考えを持っていました。彼自身もそういう意識があったんでしょうけど、自分自身独立して組織に対しても依存しないというか、甘えないで自分でやっていきたいということですから、本人の意志を大事にして尊重し、円満な形で極真会館を脱退して、単独のフリーの選手として活動していくことになりました。他で総合の試合に出るかもしれないですが、"一撃"のイベントには参戦しないということです」。これによって、岩崎達也が「一撃」に参戦することはなくなったが、果たして岩崎は今後どういう活動をしていくのか？　その動向も気になる。

Kネットワークの結成の主旨や、「一撃」のイベントについて語った松井館長

前号でもお伝えしたとおり、極真会館・松井館長を実行委員長に組織された「Kネットワーク実行委員会」が運営する、アマチュアとプロの架け橋となるイベント「一撃」が2002年1月11日に代々木第2体育館で開催されることが正式決定。その記者会見が10月25日、ホテルメトロポリタンで行われた。

記者会見では、松井館長が「Kネットワーク」結成の経緯や「一撃」開催概要について説明した。

「一撃」はプロイベントであるK—1や『プライド』の舞台をめざすためのイベントで年に1、2回の開催を予定。試合形式は立ち技がK—1に準ずるルールを採用し、総合の試合は「藤田VSミルコ戦」に準ずるルールで行われることも発表された。

中でも注目は試合場だ。なんと、「一撃」では極真のような試合場でもリングでもなく、八角形のリングを使用。このリングは直径9メートルあり、通常のリングよりも広いので、立ち技でも総合でも、アグレッシブな試合が展開されるだろう。

さて、気になる対戦カードだが、本誌で噂した野地竜太VS武蔵戦がメインイベントで行われることになった。ジャパンGP決勝戦でニコラス・ペタスに敗れ、3連覇を逃した武蔵の復帰戦は、武蔵にとって初の他流試合となった。

野地もこれまで全日本キックで3連勝と今、最も勢いのある選手だけに、経験豊富な武蔵も決して侮れる相手ではない。

勢いの野地か？　打倒・ニコラスに燃える武蔵が復活を遂げるのか？　新年早々、見逃せない試合となりそうだ。

その他のカードは立ち技、総合ルール併せて全5～6試合を予定している。■

※営業時間や料金の詳細は、各店舗にてご確認下さい。

▲3勝1敗1分で見事、団体戦に勝利したグラバカ勢。リングを占拠して勝ちどきを上げる

大将戦で山宮に大差の判定勝ちを収めた郷野。ジャッジの集計が読み上げられると、余裕のポーズを見せる

正規軍との5VS5対抗戦に3勝1敗1分で勝利！

パンクラスに GRABAKA政権樹立!!

パンクラス対グラバカ5VS5マッチ <RESULT>

★大将戦
●郷野聡寛（3R判定3-0）KEI山宮○
〈GRABAKA〉〈東京道場〉

★副将戦
●佐々木有生（1R3分01秒、腕ひしぎ十字固め）石井大輔○
〈GRABAKA〉〈東京道場〉

★中堅戦
▲佐藤光芳（3R判定1-1、ドロー）渡辺大介▲
〈GRABAKA〉〈横浜道場〉

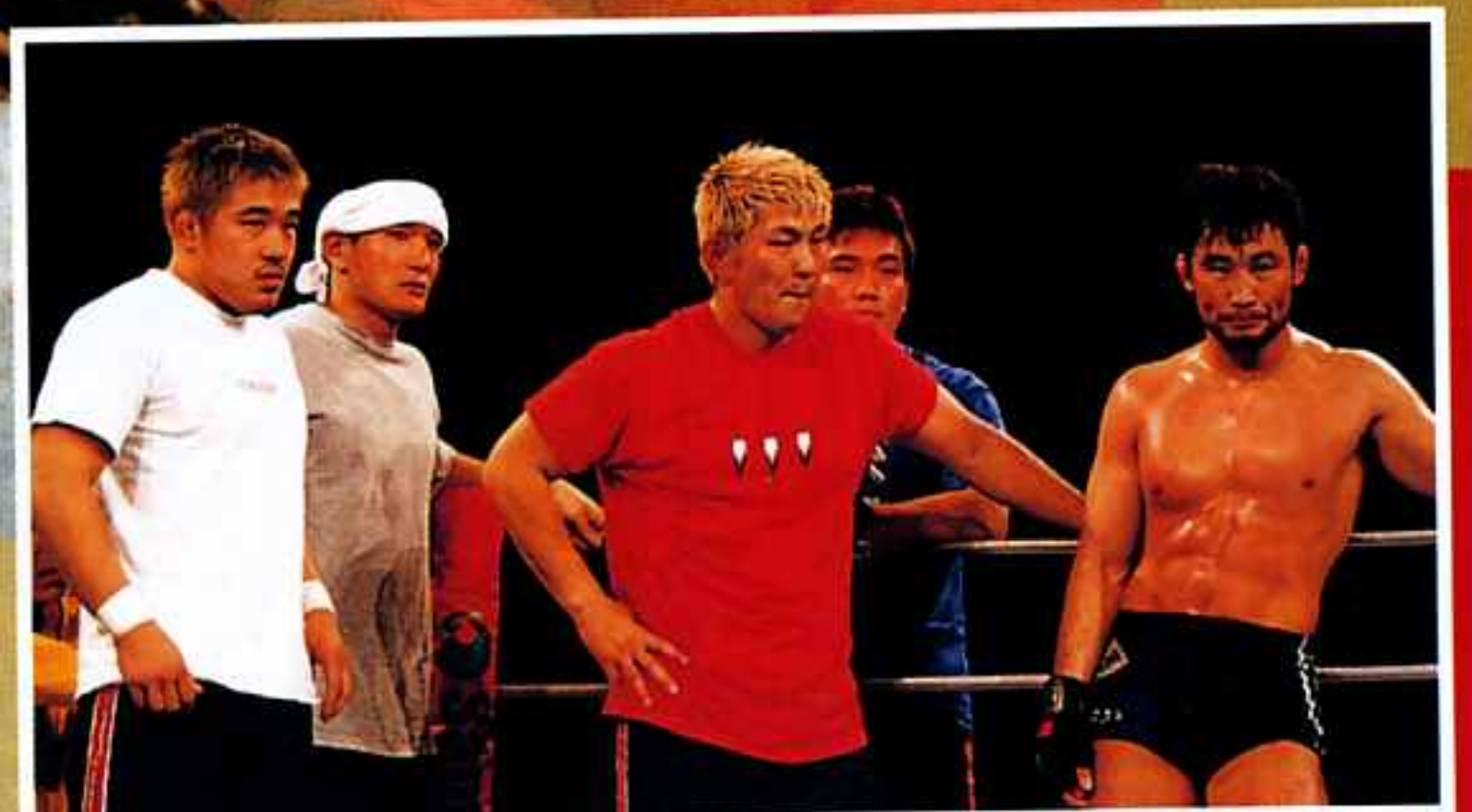
★次鋒戦
○石川英司（2R0分56秒、KO）窪田幸生●
〈GRABAKA〉〈横浜道場〉

★先鋒戦
●三崎和雄（1R0分08秒、KO）冨宅飛駈○
〈GRABAKA〉〈東京道場〉

▶歓喜のグラバカ勢を黙して見つめざるをえないパンクラス本隊の面々。屈辱感たっぷりの光景

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2001
PROOF TOUR
10.30★後楽園ホール

後楽園に飛び交う怒声！観客まで対抗意識ムキ出し、これが対抗戦の醍醐味だ！

大将戦 郷野、イヤがらせファイトで判定勝ち！

▶山宮のパンチを受ける場面もあったが、寸前で見切っていた郷野。2R終盤にはノーガード（&よそ見フェイント）で挑発！

▼5分3Rの間、郷野は徹底的に山宮を弄んだ。ボクシングのロイ・ジョーンズJr（統一ライトヘビー級世界王者）の影響で、力量差を見せつけるためにあえて一本を狙わなかったという

◀グラウンドからの立ち上がり際に顔面蹴り！

▲立っても寝ても郷野のペース。山宮はほとんどの試合時間を防御に費やした

副将戦 佐々木の激勝に菊田も異常興奮！

▲石井の打撃対佐々木の寝技と見られていた副将戦だが、勝負を決めたのは意外にも「足がパンパンになるまで練習してきた」という佐々木の打撃だった。左ハイでグラつかせると、続いてパンチを連打。倒れた石井にさらにパンチを浴びせ、最後は渾身の腕十字を極める。決着がついた瞬間、菊田がリングに駆け込み、大ガッツポーズの佐々木を抱え上げた

「パンクラスを背負うって気持ちを実感できました。パンクラスは僕らが守ります」

グラバカとの5VS5マッチ、中堅戦に登場した渡辺大介の言葉である。渡辺といえば、これまで常にパンクラス初参戦のグラバカ選手の相手を務めてきた〝門番〟的存在。その渡辺にしても、今回の試合には特別なものを感じていたようだ。

他の選手も同様で、とにかく気合いの入り方が違う。それぞれのフィニッシュシーンの写真を見てもらえれば分かると思うが、雄叫びをあげる選手がいれば涙を浮かべる者もいて、異常なほどテンションが上がっていたことが感じられる。それくらい、この5VS5対抗戦には重い意味があった。〝このリングは誰のものだ？〟という大会ポスターのキャッチコピーが、全てを物語っていると思う。

平日にもかかわらず、後楽園ホールは超満員。ファンの熱気も凄まじかった。『プライド』やK―1の観客には、ブランド化されたビッグイベントを丸ごと楽しもうという開放的な熱があるのだが、今大会での熱気には、肌に突き刺さってくるようなトゲトゲしさがあった。

パンクラス本隊とグラバカ、どちらかに100%感情移入していて対抗意識ムキ出しなのだ。リングに向けられる声も、応援とか歓声じゃなくて悲鳴や怒号。選手どころか観客にまで殺気が漂う、いつ客席でケンカが起こってもおかしくないような、たまらない緊張感の中で対抗戦は進んでいった。

まずは先鋒戦、グラバカ・三崎

次鋒＆中堅戦
グラバカに一矢報いたのは、横浜勢の"底力"！

◀▼中堅戦は佐藤の確かなテクニックと、渡辺の意地がぶつかり合う好勝負となった。何度もテイクダウンされ、マウントを取られる場面もあった渡辺だが、その度に驚異的な粘りでポジションを逆転。ドローに持ち込んだ

▲このところ低調な試合が続いていた窪田と石川だが、この日は両者とも絶好調。1Rはグラウンドで石川が攻勢だったが、窪田もしぶとく耐える

▲2R、窪田が石川のタックルを切って顔面にヒザ一撃！　フラフラになった石川は、そのまま数秒後に崩れ落ちた。リック・フレアーばりのダウンで、グラバカに黒星！

▲KO勝ちの窪田の目には涙が。対抗戦だけにいつも以上の気合い、気負いがあったのだろう

先鋒戦
初っ端から劇的決着！ネオブラッド王者・三崎が8秒殺勝利

▲先鋒戦には伊藤崇文が出場するはずだったが、大会前日になってヒザのケガによりドクターストップ。鈴木みのるの強い推薦もあり、代打として急遽、冨宅が出場した。団体戦の流れを決める大事な先鋒戦は、なんと1R8秒、強烈な右ストレートでグラバカ・三崎のKO勝利！

和雄がなんと8秒で冨宅飛駈をノックアウト。いきなりグラバカが勢いづいた形になったが、これを食い止めたのが横浜道場勢だ。次鋒戦では窪田幸生が石川英司を顔面へのヒザでKO、中堅戦では渡辺が佐藤光芳を相手にドローに持ち込んでみせる。

窪田、渡辺とも、何度もピンチに陥ったのだが、全てリカバリーに成功。横浜道場のプロレスラーたちは「グラウンドでポジションは許すが、それによって動きが生まれ、そこでできたスキを突いて逆転」という独自のスタイルを確立しているようだ。それができるのもハンパじゃない粘りと底力があればこそ。この日の2人は、まるで美濃輪育久が乗り移ったみたいだった。

3戦して1勝1敗1分と、まったく互角の展開。これにはグラバカのボス・菊田早苗も「マズイな……」と顔をしかめていた。表向きは「3勝2敗」とか言いながら、本音の部分では全勝を狙っていたんだろう。だが、ここから先が実力派アウトロー集団の本領だった。

副将戦では佐々木有生がこれまでのキャリアで最高のファイトを見せる。石井大輔にハイキックからパンチ連打、腕十字と怒濤の攻めを見せての激勝。そして大将戦、郷野聡寛がパンクラス本隊とそのファンにトドメを刺すような試合をやってのける。

前ライトヘビー級王者のKEI山宮を、郷野は完璧にコントロールした。デトロイトスタイルの構えからジャブ、インローをクリーンヒットさせ、差し合いでは肩パンチを連発。グラウンドでもバックからのチョーク狙い、マウント

PANCRASE HYBRID WRESTLING

PANCRASE 2001
PROOF TOUR
10.30★後楽園ホール

パンクラス本隊、崩壊寸前!

「ここはオレたちのリングだ!」(郷野)

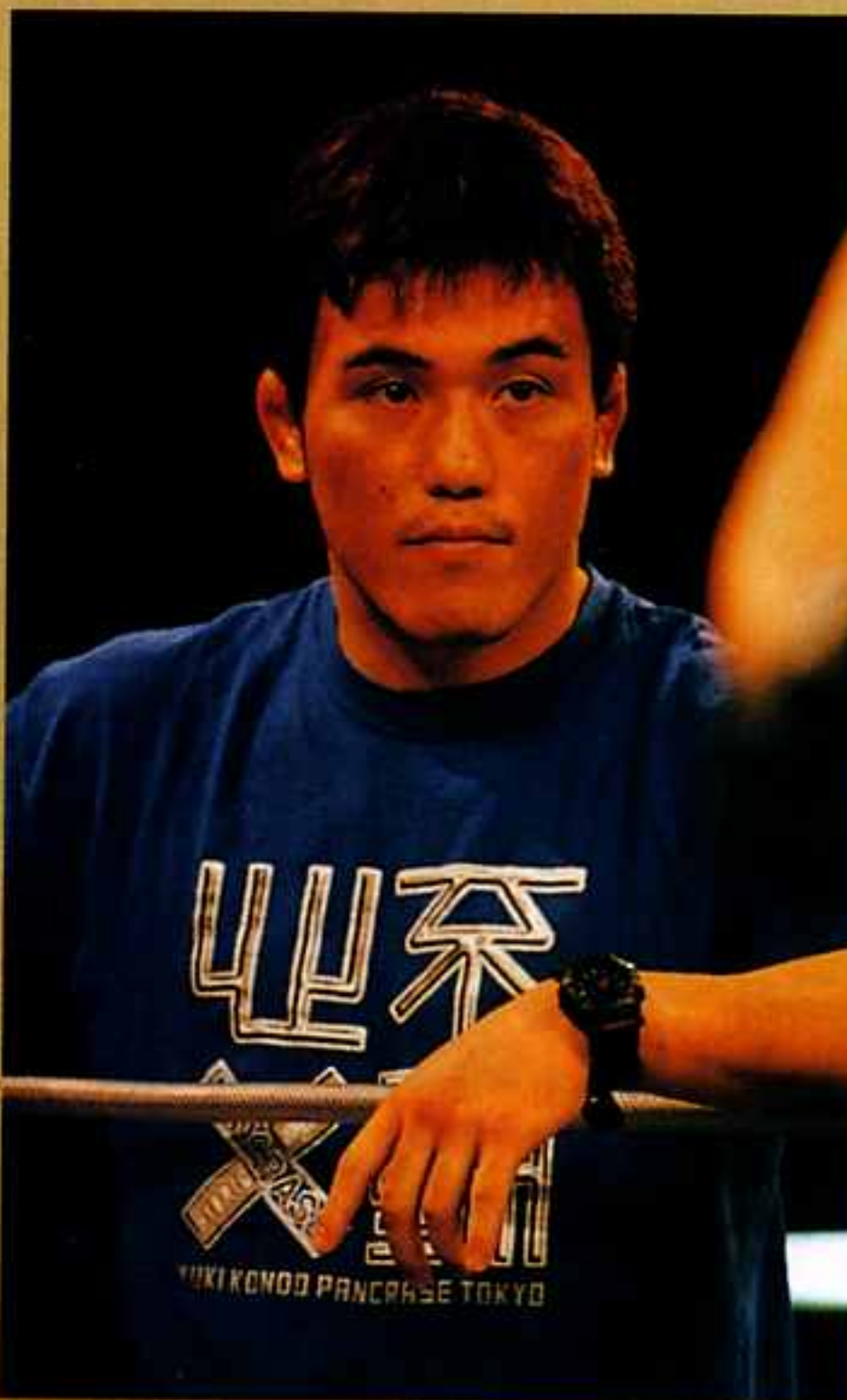
▲大将戦に勝利すると、郷野はパンクラス勢の目の前でヒールっぷり全開のマイクアピールを開始。「オイオイオイ！　パンクラスの前のチャンピオンってこんなもんか？」

▶3勝1敗1分という結果を「予想よりうまくいった」と菊田。郷野VS近藤戦に関しては「もう勝ってくれ、これで終わりにしましょう、という感じ」とコメント

磐石！　マーコートがミドル級王座防衛

▶今大会のメインはミドル級のタイトルマッチ。ネイサン・マーコート（アメリカ）が星野勇二（ＲＪＷ）を下して2度目の防衛に成功した。12・1横浜大会では國奥麒樹真の挑戦を受けるマーコートは、このまま日本に滞在してグラバカ勢らと練習を積むという

▲1Rはテイクダウンを許し、劣勢だったマーコートだが、2Rから盛り返す。最後はタックルで持ち上げられながら相手の腕を取り、三角絞めでフィニッシュ！（3R2分13秒）

▶美濃輪が菊田に敗れ、今回は団体戦でも敗北。最後の砦として郷野と対戦することになった近藤。「今日の試合で、郷野選手の弱点がいろんな意味で見えました。勝つ自信はありますよ。でも負ける自信もあります（笑）」と相変わらずのマイペースだが……

◀グラバカ勝利の結果に、尾崎社長は急遽、12・1横浜文体大会での郷野VS近藤有己戦を決定。メイン終了直後に観客の前で発表した

最後の砦・近藤、12・1横浜で郷野狩りへ！

クからのチョーク狙い、マウントと攻めまくる。あえて極めにいかなかったのは、「どれだけやってもオレには勝てねぇよ」と実力差を見せつけるためだろう。まるでイヤがらせみたいな底意地の悪い闘い方で、郷野は対抗戦にケリをつけた。

試合後の郷野が、また極悪だった。〝試合が終わればノーサイド〟という最低限のマナーさえ無視して「パンクラスの前のチャンピオンはこんなもんか？」と挑発。尾崎社長にはブラジリアン・トップチームとの3VS3対抗戦のマッチメイクを訴え「もう日本にはオレたちの相手になるチームはいねぇよ！」と吠える。コメントスペースでも「やれって言われればパンクラスの日本人、誰とでも遊んでやりますよ」と毒づいた。

「一番言いたいのは、ここはオレたちのリングだってこと」（郷野）

菊田VS美濃輪戦で菊田が勝利、そして団体戦もグラバカが完勝と、パンクラスは外様軍団が制圧。今後のパンクラスはグラバカが中心に動くことになり、逆に本隊の選手には、しばらくチャンスは巡ってこないはずだ。

今回の結果と郷野の毒舌で、パンクラスマットはさらに熱を帯びる気配だ。一部には「グラバカもパンクラスの仲間」みたいな意見もあるようだが、その程度の認識では、ますますリング上の現実についていけなくなるだろう。

12・1横浜大会、正規軍の形勢逆転への最後の切り札・近藤有己と郷野の対決は、会場全体がとんでもなく殺伐とした雰囲気になりそうな気がする。

（橋本）

女子総合格闘技『AX』
WE DO THE JUSTICE
10・31★北沢タウンホール

女子総合格闘技『AX』旗揚げ戦で、マァ☆ティン、初めてヤッちゃった！

期待と違った、とってもにが〜い判定勝ち！

撮影◎吉澤　晃

旗揚げ戦を終えて……

星野「今日はダメ。練習してたことが全然出せなかった。踏み込みが浅かったから、フックが当たらなかった。身長差があっても、自分が懐に入り込んでいこうっていう気持ちがあったら、もっとパンチを入れられたのに！　もう一度、久保田さんとやりたい！」

木村「星野も含め、今日は選手がよく頑張ってくれた。キックボクシングやサンボなど、女子格闘技だってこれだけできるという可能性を、『AX』でドンドン広げていきたい。選手のオファーもいくつか来てるので、年内にもう一度、興行を打ちたい」

▲グラウンドで久保田有希に上になられてどうすることもできず、マァ☆ティン（星野育蒔）大ピンチ！

◀『スマックガール』の篠原光がリングサイドで観戦。試合後、気になる今後について聞くと「私はスマックで頑張り続ける」とコメントした

▲判定によって勝利を手にした星野。試合後、セコンドに付いた木村は「今日は勝ちを拾っただけ」と語った

▶得意のグラウンドで星野の動きを封じ込めた久保田。星野のお株を奪う「アップルニュートン」も繰り出した

▲試合序盤、星野が積極的に打撃で攻め、久保田がカウンターで返すという攻防が続いた

その他の試合結果

★第3試合/エキシビジョン
キックボクシングマッチ（3分1R）
△角田絵美（時間切れ、ドロー）吉沢紀子△
〈SSS〉　〈元WMTC女子フライ級4位〉

★第4試合/エキシビジョン
サンボジャケットマッチ（5分1R）
△しなしさとこ（判定なし）藤井恵△
〈Freely Chambers〉　〈Freely Chambers〉

★セミファイナル/（5分3R、AX公式ルール）
○張替美佳（1R39秒、フロントチョークスリーパー）加藤悦子●
〈フリー〉　〈湘南格闘倶楽部〉

★第6試合/メインイベント（5分3R、AX公式ルール）
○星野育蒔（3R判定）久保田有希●
〈米利倶人満〉　〈総合格闘技荒武者〉

女子総合格闘技団体としてコアな人気を集めていた『スマックガール』が分裂。レフェリーを務めていた木村浩一郎が中心となり、10月31日、東京・下北沢にある北沢タウンホールで294人（超満員）の観衆を集め、『AX』が旗揚げされた。

女子総合格闘技の歴史がまだ浅いこともあり、『スマックガール』では、選手からリング内外について不満の声が挙がっていた。そのことを受け、木村は選手のケガに対する保証を確立し、選手がリング上でも外でも試合に向かっていきやすい環境の整備を目指すという。また、多種格闘技団体と交流を図り、女子格闘技界の可能性を広げていきたいとのこと。実際、この日、エキシビジョンマッチで、女子キックボクシングと女子サンボの試合が行われたことからも、その姿勢がうかがえよう。

『AX』のエースは、もちろんマァ☆ティンこと星野育蒔。『スマックガール』時代は、気持ちで相手に突進していき人気を集め、4戦無敗。常にKOか一本勝ちだったが、この日は、全国高校柔道選手権準優勝の実績を持つ久保田有希に初の判定決着。体重差によってポイントが加算される『AX』公式ルール（星野58キロ、久保田68キロ）により勝利したが、慎重になりすぎ、いつものリングで暴れ回る姿は見られなかった。もっと弾けてくれ！『AX』の未来は、お前にかかっているのだ。（渡部）

SRS SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション

11/9、11/16の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域によっては放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは11月1日現在のものです。都合により内容が変更になることもございますのでご了承ください。

『SRS』は金曜日深夜25時45分～26時15分（時間は変更することがあります）フジテレビ系で絶賛放映中。

11/9

この大会が今後の格闘技界の流れを変える！

11・3『プライド17』特集！

11月9日（金）/25:45～26:15

待ちに待った『プライド17』の大特集でございます。今号のSRS・DXでお伝えしたように、今回の東京ドーム大会では大興奮の試合が続出しました。今回のSRSでは、特に皆さんが気になってしかたがなかったこの日のメインイベント、初代ミドル級王座決定戦・桜庭和志vsヴァンダレイ・シウバの試合を、いち早く、皆さんにお届けしちゃおうと思ってます。えっ？ 11月10日（土）に『プライド17』の中継（※関東エリア）が控えてるんじゃないかって？ 試合の放送を待ちに待ってる皆さんのために、SRSは出し惜しみなんかしません！ しかも今回の『プライド』では、ゲストに大人気グラビアアイドル小池栄子を迎え、SRS番組レポーターはせキョーと最強応援タッグを結成！ サクの勝利を願ってリングサイドから大声援を送りました。もちろんその他の試合結果も速報でお届けするので、これはもう見逃せないですね！ 興奮して眠れなくなった人は、そのまま寝ないで土曜14:00からの『プライド』中継まで起きてましょう。

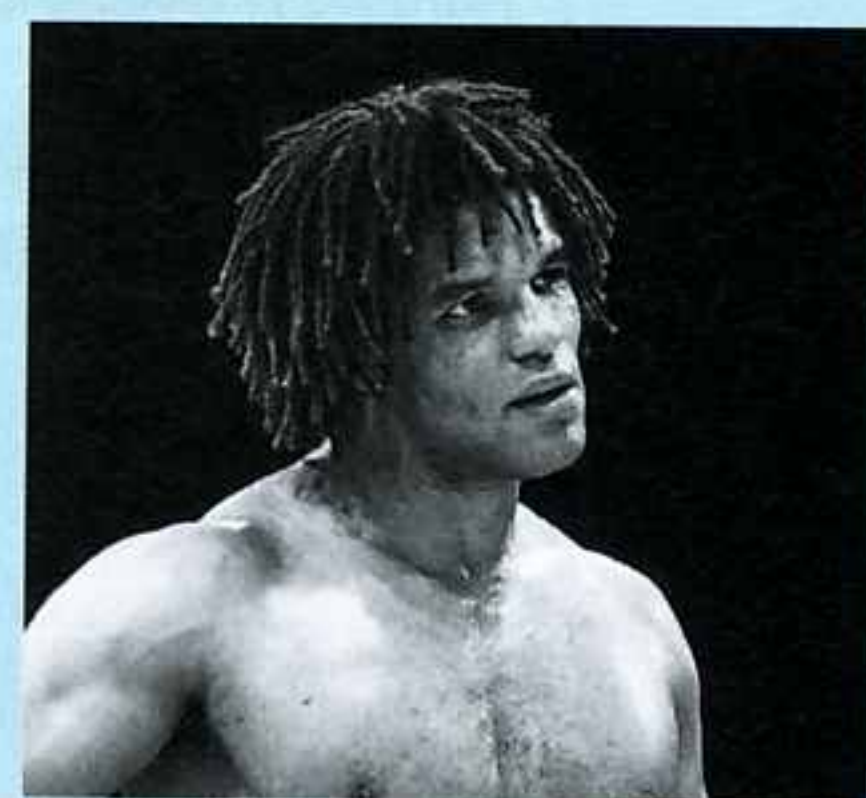
▲2人の声援が、サクに届いてくれたかな？

11/16

ラスベガスで金網デスマッチ実現！

11・2『UFC34』特集！

11月16日（金）/25:45～26:15

UFCがついにラスベガス進出！ 11月2日（金）にアメリカ・ラスベガスのMGMグランドホテルで開催された『UFC34』の模様をあますところなくお伝えします。今回の大会では、ヘビー級チャンピオンバウト、ランディー・クートゥアーvsペドロ・ヒーゾに加え、ウェルター級チャンピオンバウトのカーロス・ニュートンvsマット・ヒューズ戦、さらに、ライト級ワンマッチではB・J・ペンvs宇野薫といった実力派対決など、マニア垂涎のたまらないカードが目白押しでした。金網で繰り広げられた大興奮の同大会の模様を皆さんにお伝えすべく、SRS取材班がアメリカに飛びましたぞ！ 試合に出場した選手のインタビューなどもお届けする予定なので、ぜひお楽しみに！

▲ヒューズと対戦したカーロス。再来日が待ち遠しい！

フジテレビ系列の番組から

◎フジテレビ

11・3『プライド17』中継

11月10日(土)14:00～15:30

11月3日に行われた『プライド17』を放送します。豪華なカードが出揃った東京ドーム大会を、見どころ満載でお届けしますよ

系列各局の放送日時

関西テレビ11月17日(土)26:15～27:40、テレビ西日本11月10日(土)25:30～27:00、北海道文化放送11月11日(日)25:50～27:20、さくらんぼテレビ11月17日(土)25:55～27:25、岡山放送11月18日(日)16:00～17:30、高知さんさんテレビ11月11日(日)25:50～27:20、東海テレビ11月11日(土)16:05～17:20

◎CS721

K-1放送日程

『K-1 GLADIATORS 2001』
11月10日（土）16:00～18:40
『K-1ワールドシリーズ2001海外戦パート①』
11月10日（土）18:40～20:00
『K-1ワールドGP2001in大阪』
11月11日（日）16:30～18:30

◎CS739

11・3～4極真『第33回全日本空手道選手権大会』

11月11日(日)12:30～14:30

SRSホームページのアドレスはこちら
http://www.fujitv.co.jp/

SRSホームページでは、詳しい放送日程や最新・格闘技情報、『ロケ現場潜入日記』など内容満載です。また、人気コーナー『SRS FIGHT CLUB』では皆さんからの原稿を募集中です。あなたが書いたエッセイや観戦記、その他マニア情報、プチ情報などで作るコーナーです。あなたの熱い魂の叫びを書いて、どしどしお寄せくださ～い。それから、はせキョーのページもあるのでこちらも必見！

TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
11/8（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	これまでの『ワールドコンバットファイト』の再放送シリーズ。『HOOKnSHOOT "HORIZON" パート2』から4試合。同内容放送11/14と20・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～12:00	国際空手道連盟　極真会館「第7回全世界空手道選手権大会」(99.12.4～5)　東京体育館
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	14:00～16:00	10.8に横浜ランドマークホールで開催された『The CONTENDERS-6』
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	➲Pick Up①
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	ポール・ジョーンズ特集パート2。同内容放送11/9・13:00～、11/12・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00 25:00～26:00	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	10.30後楽園ホール大会
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	毎回、K-1、PRIDEなどから活躍が期待される選手や格闘技界の旬な話題から、選手個人の特集など格闘技界の様々な話題を取り上げる
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	正道会館の角田信朗がパーソナリティーを務める、ラジオとのメディアミックス企画番組。自ら格闘魂を語り毎回格闘家のゲストも迎える
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	高田vsミルコ戦の分析と12.31『イノキ・ボンバイエ』への展望
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	27:00～27:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。同内容放送11/12・14が27:00～、11/13・11/15が17:00～
11/9（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	11/8を参照　同日再放送12:00～、18:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	11/8を参照。『USWF12 パート1』(98.10.24) から7試合。同内容放送11/15と21・8:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	初代GHCタッグトーナメント2回戦＆準決勝
11/10（土）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	11/8を参照。『WPKLムエタイチャンピオンリーグ』(98.11.14/オランダ) から4試合。同内容放送11/16と22・8:00～
	Ｊスカイスポーツ2	ワールドファイティング	25:55～27:55	『ブラジル・MECAバーリ・トゥード特集3』を2時間の拡大枠で。同内容放送11/14・26:00～、11/17・25:00～
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	11.2横浜文化体育館大会
11/11（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	10.28福岡国際センター大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	17:00～19:00	リングス、後楽園ホール大会 (01.9.21)
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	18:00～20:00	➲Pick Up②
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE侍	19:00～21:00 23:00～25:00	月1回放送の『プライド』情報満載のバラエティ番組。11.3『プライド17』東京ドーム大会を徹底分析！　再放送11/12・10:00～、11/17・16:00～
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	25:00～27:00	11/10のＪスカイスポーツ2と同内容　同内容放送11/14・24:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	11/8を参照
11/12（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	11/8を参照。『HOOKnSHOOT "HORIZON" パート1』(99.3.20) から5試合。同内容放送11/17・8:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。 同内容放送11/13・15・19・21が27:00～、11/14・20・22が17:00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	22:00～24:00	8.25大阪・梅田ステラホール大会。再放送11/17・20:00～
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／『プライド17』試合後のパーティの模様 (Part.1)
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	11.3～4極真『第33回全日本大会』ダイジェスト＆ニコラスが大山倍達を語る
11/13（火）	FIGHTING TV SAMURAI!	ワールドコンバットファイト(再)	8:00～9:00	11/8を参照。『サブミッションファイティングチャンピオンシップ　パート2』(98.1.29/イリノイ州) から8試合。同内容放送11/19・8:00～
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『プライド17』特集（前編）
11/14（水）	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	角田信朗の沖縄一人旅
11/15（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	日本キック連盟、後楽園ホール大会 (99.10.16)
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	ニュージャパンキック連盟、後楽園ホール大会 (00.1.29)
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	修斗、9.27『SHOOTO TO THE TOP vol.9』、10.23『SHOOTO GIG EAST 2001-06』。同内容放送11/19・4:00～、11/22・14:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	ジェレミー・ホーン特集パート2。同内容放送11/16・13:00～、11/19・6:00～
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	11/8を参照 。同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー24～～96.10.8 名古屋＆10.22後楽園＆11.9神戸
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	11/8を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	11/8を参照
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	➲Pick Up③
11/16（金）	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	7:00～8:00	11/8を参照　同日再放送12:00～、18:00～
	フジテレビ	SRS	25:45～26:15	➲P69
	日本テレビ	プロレス・ノア中継	25:55～26:25	内容未定
11/17（土）	GAORA	K-2エクストリーム	5:00～6:00	全日本新空手連盟主催の『第63回新空手道交流大会』
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	26:05～27:05	11.16金沢・石川県産業体育館大会
11/18（日）	BS朝日	ワールドプロレスリング完全版	15:00～17:25	10.21神戸ワールド記念ホール大会
	Ｊスカイスポーツ3	ワールドファイティング	22:00～23:00	『カルガリー・スタンピード・レスリング～ハート・ファミリー特集1』
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	27:00～28:00	11/8を参照
11/19（月）	FIGHTING TV SAMURAI!	PRIDE王	17:00～17:30	東海テレビ『PRIDE王』と同内容。 同内容放送11/20・22が27:00～、11/21が17:00～
	スカイA	パンクラスハイブリッドアワー	20:00～22:00	船木誠勝ストーリー9
	TBSテレビ	ワンダフル	23:50～24:50	『格闘新世紀』／『プライド17』試合後のパーティの模様 (Part.2)

ON THE AIR 11/8～11/22

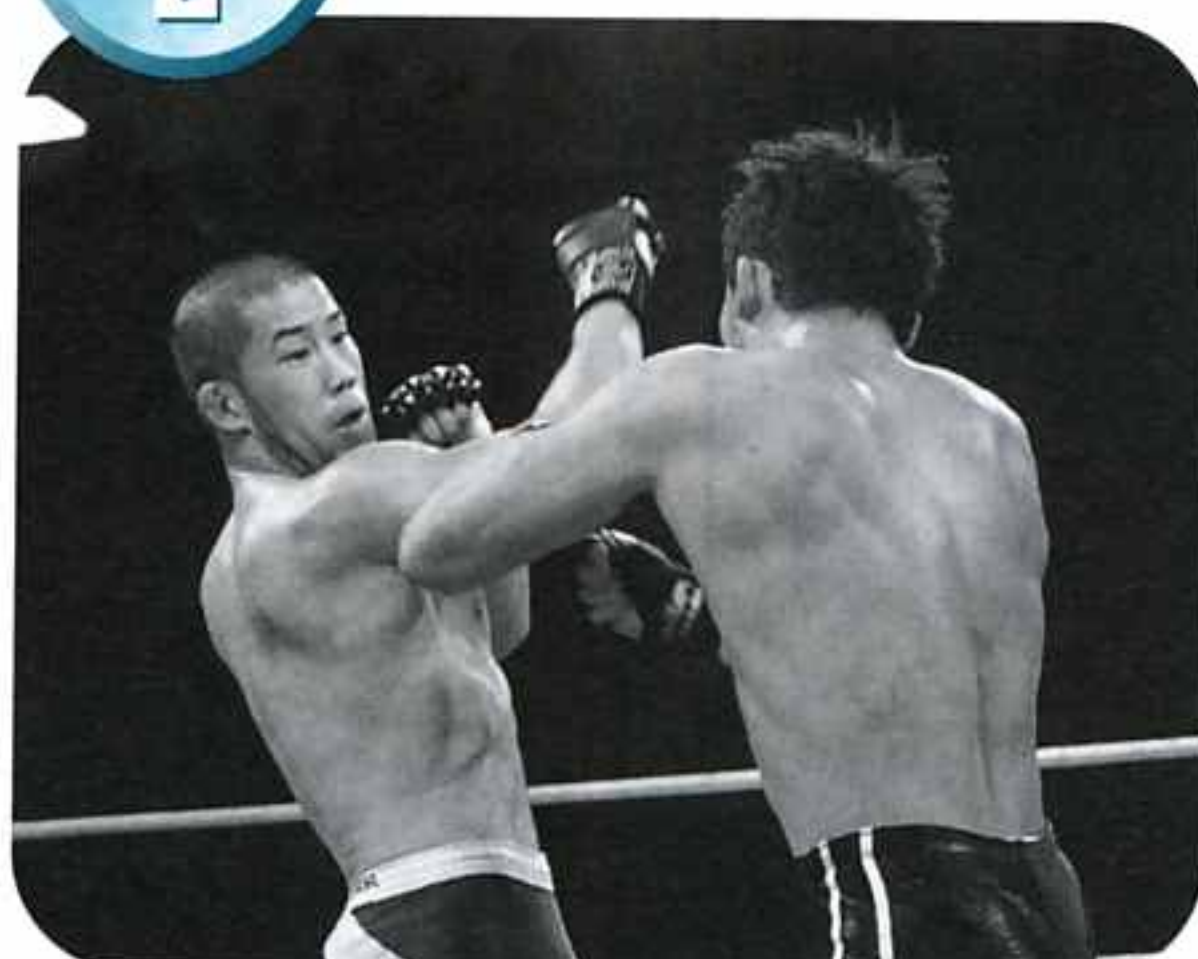
格闘技番組ガイド　TV&RADIO

Pick Up 1

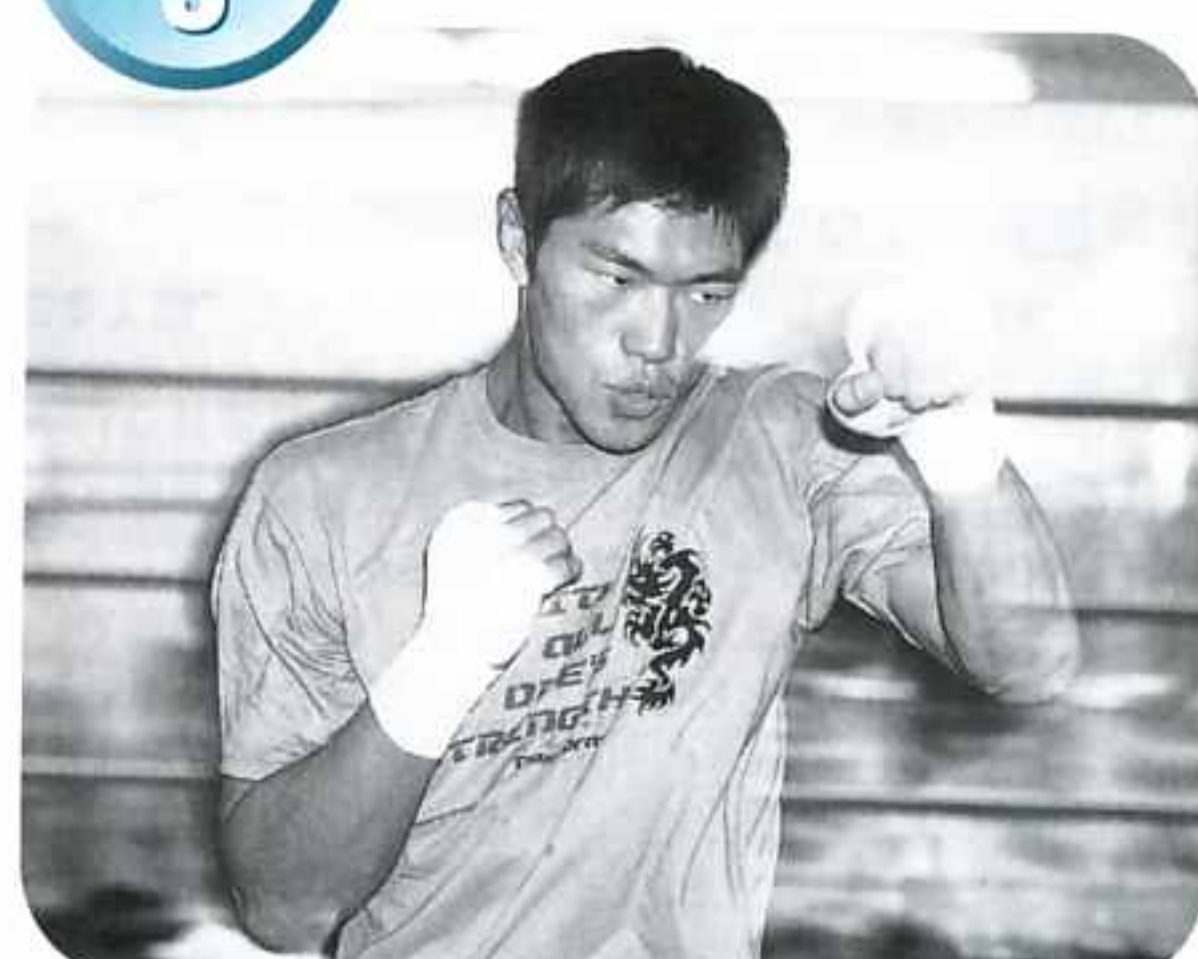
『バトルステーション』
FIGHTING TV SAMURAI!
11月8日（木）/19:00～21:00、23:00～25:00ほか

毎回、格闘技の熱い試合をお届けする『バトルステーション』。今回は、10月28日に後楽園ホールで行われた新日本キック『ROAD TO MUAY THAI 2001』の中から、日本vsタイの全面対抗戦の模様を中心に放送する。12月にタイ遠征を控えた6人の日本のチャンピオンが、ムエタイ戦士と激突！（同内容放送11/12・4:00～、11/15・14:00～）

Pick Up 2

『パンクラスハイブリッドアワー』
BS朝日
11月11日（木）/18:00～20:00

10月30日の後楽園ホール大会から「パンクラス対GRABAKA」の5対5対抗戦を中心に放送。BS朝日では、前回の放送から国内初の5.1chサラウンド放送を開始。30本近いマイクを設置して、従来の2chサラウンドよりもさらに迫力ある音響で試合をお届けしている。選手の息づかいや歓声など、今まで以上の緊張感で試合を楽しめるぞ！

Pick Up 3

『格闘王』
TBSテレビ
11月15日（木）/25:50～26:20

一度見たらクセになる、俳優の渡辺いっけいが講義形式で司会進行を務めるＴＢＳの深夜番組・格闘王。早くも話題騒然の『K-1ワールドMAX』へ向けて、格闘王では注目選手に密着中だ。今回は、前回好評だった魔裟斗特集に続き小比類巻貴之を特集するぞ！　お互いがお互いをライバル視する両者だけに、どんな発言が飛び出すのか！？　必見だ！

TV（右ページから続く）

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
	日本テレビ	超K-1宣言	26:47～27:17	内容未定
11/20（火）	GAORA	全日本キックボクシング	22:00～24:00	10.12 後楽園ホール大会
	東海テレビ	PRIDE王	24:40～25:10	『プライド17』特集（後編）
11/21（水）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション(再)	10:00～12:00	格闘探偵団バトラーツ、アクロス福岡大会（00.2.13）から8試合
	フジテレビ	すぽると	23:50～24:30	K-1特集
11/22（木）	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	9:00～10:30	修斗、北沢タウンホール大会（99.11.4）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション（再）	10:30～12:00	新日本キック協会、後楽園ホール大会（00.5.5）
	FIGHTING TV SAMURAI!	バトルステーション	19:00～21:00 23:00～25:00	11.2に後楽園ホールで開催のニュージャパンキック連盟『CHALLENGEN TO MUAYTHAI』大会
	FIGHTING TV SAMURAI!	世界の格闘技 ワールドコンバットファイト	21:00～22:00 26:00～27:00	バット・ミレティッチ特集。パット・ミレティッチvsチャック・キムほか3試合
	FIGHTING TV SAMURAI!	格闘ジャングル	22:00～23:00	11/8を参照　同日再放送25:00～
	BS朝日	パンクラスハイブリッドアワー	24:00～26:00	船木誠勝が語るパンクラス・ヒストリー25～～96.12.15 日本武道館
	GAORA	週刊格闘JAM！	25:10～25:20	11/8を参照
	GAORA	角田信朗の格闘魂	25:30～26:00	11/8を参照
	TBSテレビ	格闘王	25:50～26:20	『K-1 ワールドMAX』オセアニア予選の模様

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888　☎03-5802-5550
（10：00～20：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5280-1104／☎06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-8888
（10：00～18：00　土日祝除く）

■WOWOW
☎0570-008-080
（9：00～20：00）

■スポーツ・アイ-ESPN
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5474-3344
（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5351-4055
（16：00～21：00）

■J SKY SPORTS
〔スカイパーフェクTV！〕
☎03-5500-3488
（9：30～18：00）

■スカイ・A
〔スカイパーフェクTV！〕
☎06-6452-1161
（月～金10：00～18：00）

VIDEO&DVD

注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介①〉 It's HOT!

『猪木語録　闘魂伝承篇』

パイオニアLDC/60分
2,980円/発売中

見れば分かるさ！　猪木語録第2弾発売！

お待たせしました！　前回大好評だった“燃える闘魂篇”に続く第2弾、「猪木語録“闘魂伝承篇”」がビデオで絶賛発売中だ！　今回もまた、プロレスという枠を超越して、見る人の人生観を変え勇気づけられる猪木語録が凝縮されているぞ。90年、東京ドームのリングに上がる前に発した「やる前に負けること考えるバカいるか」や、92年の両国で、長州vs天龍の立ち会い人としてリングに上がった時の「やるんなら歴史に残るような試合をしてくれ」、98年の引退試合で最後に残した「迷わず行けよ、行けばわかるさ」、そして最近の「時代は本音がほしい。どうだい長州、本音を見せたら」にはじまる新日批判まで、1本まるごと猪木イズム満載だ！　また、前回好評だった“ガウンバリエーション”“ダーッ！ヒストリー”も収録。今回は、主に平成バージョンを取り揃えたぞ。感じたら走り出せ！　今すぐショップへGOだ！

〈新作紹介②〉 It's HOT!

『THE FINAL　前田日明vsカレリン〈DVD〉』

クエスト/50分
5,880円/発売中

前田日明、現役最後の試合がDVDに！

1999年2月に横浜アリーナで行われた前田日明、現役生活最後の試合がDVDになった。対戦相手は、オリンピック3連覇、世界選手権9連覇の輝かしい実績を持つ“人類最強の男”アレキサンダー・カレリン。得意の“殺人スープレックス”カレリンリフトで数々の強豪をなぎ倒し、前人未踏の大記録を打ち立ててきた男だ。このロシアの英雄に対し、前田は真っ向から勝負を挑む。試合のノーカット完全中継はもちろん、入場から退場、試合後の控室や試合に先立つ両雄のインタビュー、記者会見の模様など、この世紀の決戦を取り巻くあらゆる映像素材を厳選して収録。また、来日したカレリンの極秘トレーニングをこのDVDで初公開するぞ！　作品の最後には、前田のラストメッセージも収められている。格闘王・前田日明の生きざまを、このDVDでとくと堪能せよ！

〈新作紹介③〉 It's HOT!

『K-1最強伝説 1993～2000 総集編スペシャル～ベストマッチ20～』

TDKコア/50分（ビデオ＆DVD共に）
2,480円（ビデオ＆DVD共に）/11月9日（金）発売

大興奮のK-1ベストマッチが、ビデオ＆DVDに！

K-1ワールドGP2001決勝大会を目前に控え、TDKコアより『K-1最強伝説 1993～2000　総集編スペシャル～ベストマッチ20～』のビデオ＆DVDが11月9日（金）に発売されるぞ。今年3月に発売されたK-1総集編DVD『K-1最強伝説'93～'00』Vol.1＆2の中から、インターネットの人気投票で選ばれたベストマッチを、グランプリ編・ワンマッチ編をそれぞれ10試合ずつ再収録。アンディがベルナルドにリベンジを果たし涙のGP初優勝を飾った'96GP決勝戦や、“マルセイユの悪童”アビディがその実力を不動のものにしたアーツ戦（'00GP）、千年に一度のKO劇でファンに衝撃を与えたバンナvsフィリォ（'00）など、ファンを大興奮させた激闘＆名勝負がキミの前に蘇るぞ！　これを見れば熱くなること間違いナシだ！

RENTAL RANKING（10/12～10/26調べ）

1. 『アブダビ・コンバット2000』 クエスト/115分
2. 『DEEP 2001』 スパイク/121分
3. 『プライド15』 メディアファクトリー/120分
4. 『PROSPECTIVE THE CONTENDERS 4』 クエスト/90分
5. 『第7回コンバットレスリング選手権大会』 クエスト/122分

2位 『DEEP 2001』 これがDEEPの世界だ！

プロデューサー佐伯代表の手腕で注目を集める『DEEP』。今年1月に愛知県体育館で行われた試合を収録。ホイラー・グレイシーvs村浜武洋、美濃輪育久vsヒカルド・リボーリオや太刀光vs謙吾など、『DEEP』ならではの試合がたっぷり。12月のディファ有明大会を前に、ぜひ見ておきたい作品だ！

SELL RANKING（10/12～10/26調べ）

1. 『アブダビ・コンバット2000』 クエスト/115分　6,600円
2. 『THE CONTENDERS M-1』 クエスト/85分　3,500円
3. 『プライド15〈DVD〉』 メディアファクトリー/130分　4,800円
4. 『猪木語録　燃える闘魂篇』 パイオニアLDC/55分　2,980円
5. 『組手イメージトレーニング part3　正拳突きで倒せ』 メディア8/60分　6,476円

1位 『アブダビ・コンバット2000』 これが世界最高峰の組み技の祭典だ！

2000年、砂漠の国アブダビで開催された組み技世界一決定戦『アブダビ・コンバット2000』のビデオが、レンタル＆セル部門で2冠達成。桜井“マッハ”速人や大山峻護、金原弘光、マーク・ケア、ヘンゾ・グレイシーなど豪華な顔ぶれで開催された同大会の中から27試合を厳選して収録してあるぞ！

▲毎回、ランキングにご協力いただいてる『チャンピオン』。プロレス・格闘技のグッズも多数販売されているぞ

チャンピオン 丸野大樹マネージャー

「11月3日の『プライド17』東京ドーム大会の際は、多数のご来店ありがとうございました。今後ともよろしくお願いします！」

※表示価格は全て税別価格

GOODS
最新&売れスジグッズをご紹介!

〈新作紹介①〉 It's HOT!

◀FRONT
BACK▶

『パンクラス&ノーティTシャツ』
IVY BOOKs/3,900円（税別）

パンクラス&ノーティTシャツ登場！

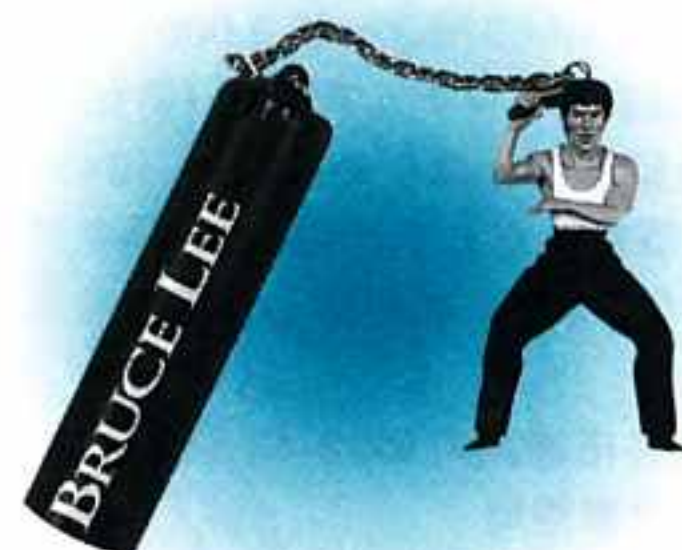
NOAHマットで活躍中の斎藤彰俊が道場長を務めるノーティが、Tシャツ上でプロレス&格闘技の各団体と交流戦を実現中だ。今回の交流戦の相手はパンクラス。表にパンクラス、裏にはノーティのロゴが入っているぞ！

〈おすすめグッズ①〉 Recommend

『破壊王リストバンド』
サンロン/1,200円（税別）

破壊なくして創造なし！　破壊王リストバンド登場！

タオルやハチマキなどの破壊王グッズの中でもとりわけ人気が高いのがこちらの商品だ。ポイントは何といっても黒地に白で刺繍された「破壊王」の鮮やかすぎる文字。これを身に付ければ、男らしさ倍増だ！

〈おすすめグッズ②〉 Recommend

『BRUCE LEE ヌンチャク音声ハンコカバー』
バンプレスト/1,000円（税別）
キミの家に"アチョ～ォ"の声がこだまする！

ブルース・リー印のヌンチャク型ハンコカバー登場！　ハンコを押すたびに"アチョ～オウォ"の怪鳥音がこだまする。付属のフィギュアもえらくカッコイイぞ。楽しいからといって、変な所に印鑑を押さないように！

PRESENT!

今回、このコーナーで紹介したグッズ3点を各1名ずつ『SRS・DX』の読者にプレゼントするぞ！　希望者はハガキに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、希望するグッズ名と今号の感想を明記した上で、下記のあて先までご応募を。締め切りは、11月22日（木）の消印有効だ。

あて先/〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『グッズプレゼント』係

IVY BOOKs 長谷川秀樹マネージャー

「ども！　長谷川です！　最近、めっきり寒くなってきましたね～。寒さに負けずに、テンション上げてドンドン盛り上がっていきますよ～。押忍！」

IVY BOOKs
愛知県春日井市田楽町南植田993-3
☎0568-31-0727
営業時間/10:00～23:00（年中無休）

DVD INFORMATION

『プライド』で繰り広げられたプロレスラーたちの闘いが凝縮！
「PRIDEプロレスラー列伝　Great Respect～猛き群雄の生きざま～」ビデオ&DVDで登場！

『プライド』のリングで繰り広げてきたプロレスラーたちの闘いの軌跡が、ビデオ&DVDになって登場だ！『プライド』の歴史は、プロレスラー・髙田延彦がヒクソン・グレイシーに敗れた時から始まった。あれから4年。傷ついた"プロレス"の看板に輝きを取り戻すべく、果敢にバーリ・トゥードの世界に身を投じてきたプロレスラーたちの激闘の数々を収めたのがこの作品だ。アレクサンダー大塚、藤田和之、高山善廣、安田忠夫、谷津嘉章など、日本人プロレスラーたちの雄姿が、インタビューや未公開映像などを含め、厳選して収められている。またDVDには特典映像として、『プライド10～15』までのアントニオ猪木の「元気ですかーッ！」から始まるリング上での挨拶が全て収録されているゾ。「プロレス＝最強」伝説が必要でなくなりつつある現在において、プロレスラーの持つ強さとは、誇りとは、威厳とは、そしてプロレスとは何か？　この1本を見て、確認せよ！

◆タイトル／『PRIDEプロレスラー列伝　Great Respect～猛き群雄の生きざま～』
◆発売日／ビデオ発売中、DVD11月9日（金）発売
◆価格／ビデオ9,500円（税別）、DVD4,800円（税別）
◆収録時間／ビデオ100分、DVD110分
◆発売／（株）メディアファクトリー、フジテレビ映像企画部
◆販売／クロス・エンタテインメント・ディストリビューション
◆問い合わせ先／（株）メディアファクトリーカスタマーセンター
☎03-5469-4880　月～金曜日10:00～18:00（祝日を除く）

▲彼らの闘いを見れば、何かを感じるはずだ

Et cetra

『K-1 GRAND PRIX トレーディングカード2001』発売！

エポック社から、『K-1 GRAND PRIXトレーディングカード2001』が11月9日（金）に発売される。今回は、充実したレギュラーカード＆スペシャルカードに、選手直筆サイン入りカードも加わった。もちろん、前回大好評だったジャージカードもあるぞ！　今回は10月8日に行われた福岡大会で、フィリォ、アビディ、セフォーが実際に使用したグローブを裁断してジャージカード化。いち早くプレミアカードを手に入れて、友達に自慢しちゃおう！
◆価格/1PACK（8枚入り）350円、1BOX（20PACK入り）7,000円
◆店頭発売/11月9日（金）
◆企画制作・発売元/（株）エポック社
◆お問い合わせ/（株）エポック社　☎03-3843-8814

▲カードは全148種類。キミはコンプリートできるかな？

高田馬場と横浜に格闘技＆プロレス居酒屋オープン！

東京・高田馬場に、格闘技ファンが集える場として居酒屋「格闘家」がオープン。同店の自慢は、ボリューム感たっぷりのグレイシーチャーハン。その他にもオリジナルメニューをいろいろと取り揃えてあるぞ。また横浜では、プロレスファンの憩いの場としてプロレス居酒屋＆Dar「闘魂道場」が登場。店内には、巨大スクリーンが設置され、格闘技ビデオを常時放映されているぞ。ファン同士が交流し合えること間違いなし！　ぜひ足を運んでみよう！

【居酒屋「格闘家」】
◆営業時間/17:00〜翌5:00
◆場所/新宿区西早稲田3-20-4金子ビル2F（JR、地下鉄東西線「高田馬場」駅から徒歩8分）
◆定休日/無休
◆座席数/24席
◆メニュー/テコンドーキムチ、一撃トマト（各500円）、グレイシーチャーハン、シーザー武志サラダ（各800円）など
◆お問い合わせ/居酒屋「格闘家」　☎03-3204-9101

【プロレス居酒屋＆Dar「闘魂道場」】
◆営業時間/18:30〜26:00（日曜24:00まで）
◆場所/横浜市南区六ツ川 1-341 ベイシティ六ツ川 1F（京浜急行「弘明寺」駅から徒歩10分）
◆定休日/火曜日（大会場での試合の場合営業）
◆座席数/24席
◆メニュー/ENOKI BOM-BA-YE（400円）、PRIDEポテト、オニオンRINGS（各500円）、トン・フライ（600円）など
◆お問い合わせ/闘魂道場　☎045-713-9674

『第5回ライトシュートボクシング選手権東京大会』結果

10月7日（日）、台東リバーサイドスポーツセンターで『第5回ライトシュートボクシング選手権東京大会』が行われ、結果は下記のとおりになった。
◆軽量級/優勝：中山友輔（SSSアカデミー）
　準優勝：渡辺聡（SSSアカデミー）
◆中量級/優勝：広瀬善啓（クロスポイント）
　準優勝：久保憲一（B-CLUB）
◆中重量級/優勝：新妻耕平（クロスポイント吉祥寺）
　準優勝：平田浩史（シーザージム）
◆重量級/優勝：ディヴゥジェイソン（湘南ジム）
　準優勝：佐藤幸一（子へびクラブ）

SHOOT BOXINGスクールOPEN記念キャンペーン実施中！

フィットネスショップ格闘技水道橋店では、平直行の総合格闘技スクールに続き、初代JSBAカーディナル級王者・大村勝巳によるSBスクールをオープン！　毎週、熱心な指導が繰り広げられている。現在、同スクールではキャンペーンを実施中で、11月末日まで入会金無料。また、11月17日までに入会すると、11月20日SB後楽園ホール大会のチケットがプレゼントされるぞ！　会員になるなら、今がチャンスだ！
◆場所/フィットネスショップ格闘技水道橋店（JR総武線「水道橋」駅から徒歩1分）
◆日時/毎週木・土曜日19:00〜21:00
◆通常入会金/12,000円
◆会費/男性8,000円　女性5,000円
◆通常チケット会員入会金/18,000円
◆チケット料金/1回1,050円　回数券11回分10,000円（6カ月有効）
◆お問い合わせ/フィットネスショップ格闘技水道橋店
☎03-3265-4646

U-FILE CAMPセミナー開始！

今後の活躍に俄然注目が集まるU-FILE CAMPの田村潔司、上山龍紀、大久保一樹が、ティップネス渋谷で毎週土曜日にセミナーを開催することになったぞ！　内容は、立ち技コースと寝技コース。それぞれの選手が毎回週替わりで指導するので、ガンガン通いつめて、技を磨こう！
◆日時/11月10日より毎週土曜日19:45〜21:00
◆場所/ティップネス渋谷Bスタジオ（渋谷区宇田川町16-4 JR、地下鉄半蔵門線「渋谷」駅から徒歩8分）
◆参加料金/ティップネス会員2,000円、ティップネス会員以外2,000円＋3,000円（ビジター料金）
◆定員/毎回30名
◆お問い合わせ/ティップネス渋谷　☎03-3770-3027

▶田村潔司が熱く指導するぞ！

出場選手募集！（×2大会）

【第2回西日本アマチュアパンクラスオープン大会】
◆日時/12月9日（日）
◆試合会場/P' sLAB大阪（地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町」駅より徒歩1分）
◆試合形式/ウェイト別ワンマッチ形式（体重の近い者同士を選抜。格闘技初心者用ルールでの試合もあり）
◆出場料/3,000円
◆出場資格/16歳以上で心身共に健康な男性
◆申し込み方法/住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、80円切手を同封の上、下記の宛先まで申し込み用紙をお取り寄せください。後日、書類を返送します
〒106-0047　東京都港区南麻布4-2-25（株）パンクラスクリエイト「西日本大会」係
◆申し込み書取り寄せ締切/11月26日（月）消印有効
◆出場申し込み締切/12月3日（月）消印有効
◆お問い合わせ/ワールドパンクラスクリエイト
☎03-5792-0815

【グラップリング-B vol.14】
◆日時/12月9日（日）13:30〜（受付開始12:00〜）
◆試合会場/越谷［B-CLUB］（東武伊勢崎線「越谷」駅から徒歩30秒）
◆試合形式/ウェイト別ワンマッチ形式（体重の近い選手同士を選抜）
◆出場料/［B-CULB］会員 1,000円、一般 3,000円
◆出場資格/18歳以上の健康なアマチュア選手（男女問わず）
◆申し込み方法/参加希望者は、はじめに電話（0489-36-7515）にて申し込みを済ませた上で、100円切手を同封し下記の住所までお送りください。折り返し、参加書類を発送します
〒343-0807　埼玉県越谷市赤山町6-13-43［B-CLUB］内「グラップリング-B」運営事務局
◆電話申し込み締切/11月28日（水）
◆お問い合わせ/バトラーツジム［B-CLUB］
☎0489-63-7515
※また、全試合終了後、スパーリング交流会＆セミナーを実施します。
◆参加費/「グラップリング-B」参加選手 1,000円、交流会のみ参加 3,000円
◆応募方法/バトラーツジム［B-CLUB］まで電話にてご応募ください。入金は当日でかまいません

SSSアカデミー高島平ジム　オープン！

水道橋に拠点を構えるSSSアカデミーの支部として、「SSSアカデミー高島平ジム」が10月7日にオープンした。都営三田線「西台」駅から徒歩30秒という場所もさることながら、道場内は40坪以上の広さと環境もバツグン！　初心者コースや一般コースだけでなく、女性のためのダイエットコースや、キッズ、親子を対象にしたコースもあり、楽しく体を鍛えられるぞ！
◆場所/東京都板橋区高島平1-80-13ティーエス西台4F（都営三田線「西台」駅から徒歩30秒）
◆入会金/5,000円〜
◆月会費/4,000円〜
※各コースによって異なります
◆練習日/月〜金曜日　14:00〜22:00　土曜日10:00〜22:00
日曜、祭日　10:00〜17:00
◆お問い合わせ/SSSアカデミー高島平　☎03-5945-7166

格闘技オフィシャルホームページ

K-1　http://www.k-1.co.jp/
UFO　http://www.ufojp.co.jp/
極真会館（松井派）　http://www.kyokushin.co.jp/
リングス　http://www.rings.co.jp/
アントニオ猪木　http://www.inokiism.com/
大道塾　http://www.daidojuku.com/
パンクラス　http://www.so-net.ne.jp/pancrase/
UFC　http://www.ufc.tv/index1.asp
格闘探偵団バトラーツ　http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/
シュートボクシング　http://www.shootboxing.org/
日本武道伝骨法會　http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗　http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html
新日本キックボクシング協会　http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/
全日本キックボクシング連盟　http://www.aj-kick.co.jp/
J-NETWORK　http://www.kickboxing.co.jp/
PRIDE　http://www.so-net.ne.jp/pride/
高田道場　http://www.takada-dojo.com/
http://www.takada-dojo.com/i/（iモード用）
拳圏道　http://www.seiken-do.com/
全日本新空手道連盟　http://www.shinkarate.net/
怪獣王国　http://www.monsterkingdom.com/

GOODS & TICKET
ショップガイド

チャンピオン　水道橋駅西口徒歩1分
〒101-0061　東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6Ｆ
☎03-3221-6237
年中無休　営業時間11:00～22:20

レッスル渋谷　渋谷駅南口徒歩4分
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂1-17-2 第2野々ビル3F（1F薔屋）☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00～19:00（日祝）10:00～18:00

ワールドスポーツプラザKINGS
〒東京都渋谷区神南1-9-5 ワールドスポーツプラザWEST 1F
☎03-3462-1001
営業時間　11:00～20:00

AX BOMBER　原宿駅竹下口徒歩3分
〒150-0001　東京都渋谷区神宮前1-8-24-1F
☎03-5771-2424
営業時間（平日）12:00～20:00

東京イサミ　新宿駅南口徒歩3分
〒101-0061　東京都新宿区新宿4-2-21 相模ビル3F
☎03-3352-4083
毎週火曜日、祝日定休　営業時間　11:00～19:00

イサミ尚武堂（株）　水道橋駅西口徒歩1分
〒101-0061　東京都千代田区三崎町2-18-5 京三会館2F
☎03-5214-6487
年中無休　営業時間　11:00～19:00

書泉グランデ　書泉ブックマート　地下鉄神保町駅
〒101-0051　東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30～19:00（日祝）10:30～18:30

アイドール　西武新宿駅徒歩5分
〒160-0023　東京都新宿区西新宿7-1-3　加藤ビル4Ｆ
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休　営業時間　11:00～19:00

ファイター　地下鉄新宿3丁目駅　C4出口徒歩1分
〒160-0022　東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休　営業時間11:00～19:00

横浜AOコーナー　横浜駅東口徒歩7分
〒220-0011　神奈川県横浜市西区高島2-8-5　篠崎ビル
☎045-440-3355　毎週月曜日定休　営業時間（火～土）14:00～19:00（日祝）12:00～18:00

IVY Books
〒486-0808　愛知県春日井市田楽町南植田993-3
☎0568-31-0727
年中無休　営業時間10:00～23:00

主要チケット発売所一覧

発売所	電話
チケットぴあ	☎03-5237-9999
チケットセゾン	☎03-3250-9999
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
オデッセー	☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
レッスル池袋店	☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011
後楽園ホール	☎03-5800-9999
フィットネスショップ格闘技	☎03-3265-4646

Mahiro Utsukita

宇月田麻裕の北斗占い

破軍　武曲　廉貞　文曲　貪狼　禄存　巨門

11/3〜11/21

★北斗占いとは★

古来インドの「北斗七星の信仰」が中国に伝来し、陰陽五行説と結合。そして、日本密教の１つとして発展していった。平安時代以降は、北斗七星の中の１つの星を、自分の守護星として、除災招福を祈願したものである。この「北斗七星の信仰」を、宇月田麻裕が「北斗占い」として蘇らせた。絶好調の星には、吉兆星が輝き、不調の星には凶兆星が現れる。

北斗本命星早見表（ホクトホンミョウジョウ）

貪狼星	巨門星	禄存星	文曲星	廉貞星	武曲星	破軍星
	1959	1958	1957	1956	1955	1954
1960	1961	1962	1963	1964	1965	1966
	1971	1970	1969	1968	1967	1978
1972	1973	1974	1975	1976	1977	
1984	1983	1982	1981	1980	1979	
	1985	1986	1987	1988	1989	1990
1996	1995	1994	1993	1992	1991	

★あなたの生まれ年で、本命星が分かります。
例）1972年生まれの人は貪狼星　※節分前の生まれの人は、前年の星になります

貪狼（タンロウ）……社交家タイプ。現実的で、交友関係の幅広く、交際の達人
巨門（キョモン）……研究家タイプ。話術に優れ、研究熱心に取り組みます
禄存（ロクゾン）……経済家タイプ。悠長な雰囲気を醸し出し、経済観念に優れています
文曲（モンゴク）……芸術家タイプ。あなたが奏でる芸術的センスは、全てを魅了します
廉貞（レンテイ）……聡明な自信家タイプ。聡明なうえに実行力が伴い、勝負強いです
武曲（ブゴク）……権威タイプ。情熱的で、権威を好み、リーダーシップを取っていけます
破軍（ハグン）……個性派タイプ。自立心、独立心があり、劇的な人生を歩みます

破軍星

全体運
「破壊と再生」のとき。安定性、保守性にしがみ付いていてはダメ。ついつい楽なほうへ行ってしまうので、自分に厳しくしないと成長はそこでストップ！　もっとビッグなあなたになるためにも、ここで破壊すべきことは壊しておこう。

恋愛運
カップルは、ハートが燃えるような演出をすると愛が再燃。フリーは、傷つくのが怖くて安全圏内にいてはゲットは無理。勇気を出して圏外に飛び出して。

勝負運
格闘家のポスターを貼って闘争心をアップ。

健康運
カラオケの歌い過ぎてノドを痛めそう。

金運
自販機の下にラッキーあり。試しに覗いては？

★ラッキーカラー★
ゴールド

★ラッキーアイテム★
ポスター

★ラッキースポット★
駐車場

武曲星

全体運
ハプニングによって、順調に行っていたことがストップしそう。あれ？　と思うことが多々起こるけど、よく考えてみると、まだ時期じゃなかったり、無理なことをしようとしているみたい。もう一度初心に戻ってみよう。

恋愛運
カップルは、避けてきた問題が再浮上。キチッと解決しないと危機到来。フリーは勇気を出して告白を。タイミングを逃すとカップリングしそこなう予感。

勝負運
突然のケガで棄権なんてことにならないように。

健康運
階段から転げ落ちたりとケガをしやすいとき。

金運
努力をすればそれなりの見返りがあり。

★ラッキーカラー★
ベージュ

★ラッキーアイテム★
ジャケット

★ラッキースポット★
スポーツショップ

廉貞星

全体運
「元気！」という言葉がピッタリくるとき。気の合う仲間とアクティブに行動すると、一層あなたのキャラが生かされ、ラッキーを呼び込む暗示。アンテナを張りめぐらせ、ネットワークを有効活用することがポイント。

恋愛運
絶好調！　フリーは「この人！」と感じたら、彼女の好みをリサーチ。押しまくってみよう。カップルには障害なし。邪魔する人は気にしなくても自滅するハメに。

勝負運
程よい緊張とリラックスが好結果を生みそう。

健康運
ちょっとした突き指をしやすいので要注意。

金運
お金がかかるような頼まれごとは断ろう。

★ラッキーカラー★
イエローグリーン

★ラッキーアイテム★
マンガ本

★ラッキースポット★
カフェ

文曲星

全体運
吉兆星が輝いています。一筋の光が射し込み、あなたを導いてくれる暗示。目で相手を納得させてしまうくらい、エネルギーが高まっているので、仕事でも試合でも、予想以上の成果の期待。人気運が好調なので、賞賛も得られそう。

恋愛運
モテモテ運アップ。あなた次第でチャンスをものにできるとき。就業後、何気にターゲットと話せるようなキッカケを作るのが、恋人ゲットの近道。

勝負運
情報をマメに収集しておくと役立ちそう。

健康運
お腹を壊しやすいとき。飲食物に要注意。

金運
良いバイトやサイドビジネスは乗ってもOK。

★ラッキーカラー★
ブラウン

★ラッキーアイテム★
ブーツ

★ラッキースポット★
夜景の見えるスポット

禄存星

全体運
自己改革をするのにいいとき。今までの悪いパターンを打破して、なりたい自分をイメージして試合、トレーニング方法はもちろん、外見のイメチェンにもチャレンジしてみては。ヘアスタイルやファッションにこだわると評判アップ！

恋愛運
フリーは、ターゲットの前で、カッコつけようとすると失敗。自然体が○。カップルは相手に理想を押し付け過ぎていない？　彼女の個性を認めてあげて。

勝負運
得意技をひとつマスターすると勝運アップ。

健康運
ストレッチ不足が原因の頭痛や肩こりに要注意。

金運
年上の男性がゴチしてくれる可能性あり。

★ラッキーカラー★
ブラック

★ラッキーアイテム★
ベルト

★ラッキースポット★
アミューズメントパーク

巨門星

全体運
格闘技はもちろんのこと、何かに思い切りハマれるとき。他人に邪魔されずに努力できるときでもあるので、レベルアップ間違いなし。苦手なカテゴリや今まで避けていたことにチャレンジしてみると、克服できる可能性大。

恋愛運
三角関係など、ストレスの多い恋愛に翻弄されるキケン！　カップルは恋人が大切なら浮気は控えて。フリーは合コンや紹介での出会いは危ない恋の暗示。

勝負運
アクション映画で闘争心をかき立ててGO。

健康運
ウォーキングなどの有酸素運動で健康キープ。

金運
パソコンを活用して情報もお金も先取り。

★ラッキーカラー★
シルバー

★ラッキーアイテム★
ペンダント

★ラッキースポット★
格闘技会場

貪狼星

全体運
凶兆星が現れます。現実と理想のギャップに悩み、落ち込むことがあるけど、現実をシッカリと受け止められたら、運気は回復に向かうハズ。今のあなたにとって、不足しているものは何か、そして何をすべきかを探してみると○。

恋愛運
恋愛より格闘技にお熱。カップルは、格闘技観戦デートで、彼女のことを無視してしまうほど。フラれないように要注意。フリーは出会いが少ないとき。

勝負運
中途半端なことを見直し解決させるとグッド。

健康運
考え込むのはNG。ストレス解消が大事。

金運
ギャンブル運が上向き。懸賞に応募しては？

★ラッキーカラー★
ライトパープル

★ラッキーアイテム★
インテリア

★ラッキースポット★
駅

宇月田麻裕プロフィール
ヒューマンディレクターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「北斗占い」を中心に、タロットをはじめ西洋、東洋の占いをオールマイティに使う。TBS「ワンダフル」出演をはじめ、雑誌、映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

一撃コラム 第58回

http://www.so-net.ne.jp/srs-dx/

〝乳首道師範〟アダベ先生のコラムが読めるのは『SRS・DX』オフィシャルサイトだけッ!!

「**脱**ぐんだったらさっさと全部脱いじまいなッ！　サダハルンバ!!」

あぁッ、たかがオフィシャルサイトのオープン準備くらいで、こんなヤクザな台詞を吐いてしまう私がいたなんて……。

11月1日1時11分。この記念すべき瞬間に、本誌『SRS・DX』のオフィシャルサイトはグランドオープンを迎えた。今回の一撃コラムでは、この舞台裏で起こった珍ドラマ「果たしてサダハルンバ編集長はサイトオープン記念に脱いだのか？」をお送りしよう。

さて、今やインターネットで情報発信は当たり前の時代だ。格闘技に関するサイトも、各団体や選手のオフィシャルサイトをはじめ、新聞社などのメディアや個人サイトに至るまで百花繚乱咲き乱れている。そんな状況の中、あえて『SRS・DX』は、〝コミュニケーション〟に重きを置いたサイトを展開していこうと目論み、格闘技ファン自らが〝参加〟できるサイトを目指すことになった。

目玉コンテンツは、なんと言ってもファンが直接参加できる「ウェブゴング」、「ニュース・ジャッジ」、「掲示板」だ。

究極のファン投票ともいえるのが「ウェブゴング」だ。たとえば、第1回目の問いかけテーマは「満員必至の『プライド17』、このカードって本当にドーム級？」というもの。「髙田のミルコへの挑戦、あなたはどう見る？」という問いかけに対して、あなたは①プロレスラーの鑑だ！②心意気は買えるが無謀だ！③VS小川のほうが良かった！④ズバリ言って興味ナシ！の4つから選択して投票ボタンを押す。ね、簡単でしょ？　この結果は誌面にも活かされ、あなたの1票が業界を変えることもあり得るのだ。

「ニュース・ジャッジ」というのは、その日の格闘技ニュースに「のれる／のれない／興味ナシ」をジャッジするというもの。それぞれの投票結果を見れば、旬の話題は何かがハッキリ分かるって寸法だ。しかし、こんな説明よりもとにかく一度、実際に投票してほしい！

投票結果やニュースをネタに、大いに語り合えるのが「掲示板」だ。ネット上には星の数ほどの掲示板が存在する。そこでは、まさに今起こった事件が書き込まれたり、様々な噂や憶測が乱れ飛んだりしている。中には「ガセだろっ！」と突っ込まれたり無視されていた書き込みが、いやはや事実だったというのもよくある話だ。もちろん、今後『SRS・DX』掲示板にも噂や憶測の域を出ない書き込みが出てくることだろう。しかし、ココは選手や業界関係者が乱入する可能性のもっとも高い夢の掲示板。当事者たちとファンの生の声をダイレクトに交換するのにはもってこいだ。みんなに、あなたの生の声をぜひ聞かせてやってほしい！　また、編集部が入手したプチ情報も、ちょくちょく書き込んでいるぞ。

〝コミュニケーション〟以外にも、様々なコンテンツを用意している。「噂の三面記事DIGITAL」では、今もっとも旬のテーマを取り上げ、長期にわたって徹底レポートする。まず最初のテーマは、「猪木軍VSK—1」だ。『SRS・DX』でしか読めない極秘（飛ばし？）情報もガンガン織り交ぜてレポートしていくぞ。

また、本誌に掲載している「格闘技パーフェクトガイド」の内容も全てサイトで見られる。雑誌では締め切りの都合上掲載できない情報も多いが、ココでは常に最新の情報にアップデートしているぞ。

そのほかにも、コラムでは本誌編集部員が持ち回りで書き殴るリレーエッセイ『俺節 or DIE』がスタート！　第1回目は、いつも電話で印刷会社のS氏を相手に脅迫まがいのガチンコトークバトルを繰り広げている金融ヤクザ系デスクのHについてだ。あの〝乳首道師範〟アダベ先生も連載中だ。また、女性陣も「今まで関係のあった格闘家たちとの㊙ピロートークを暴露しちゃおっかな♥」とイタズラ心を燃やしているぞ！

それからそれから、『プライド』やK—1などのビッグマッチでは、リアルタイム速報をやるぞーッ！　ついでに『グレート・アントニオ』でネットショッピングも楽しめるんだぞーッ！　おまけに『DOKI★DOKIプレゼントキャンペーン』もやってるぞーッ！

ということで、なんとかオープンに漕ぎ着けた『SRS・DX』サイト。しかし、アクセス数は伸びるのか？　いくらソフトに自信があるからといって、そこだけはやはり最後まで不安が残った。

原稿用紙＆鉛筆からパソコンに持ち替えようとしないアナログ野郎のサダハルンバ編集長も、「オフィシャルサイトのアクセスねぇ〜」と頭をかかえていた（じつはアクセスの意味も分かってない）。

そんな時、サダハルンバの頭上にハダカ電球がピッカリ光った!!

「あぁ、そっかぁ！　アクセス数をアップするには〝格闘技とエロの融合〟！　コレしかないよぉ！」

結局、エロかよっ!!　……と、突っ込んではみたものの、たしかに、インターネットがここまで急速に普及した要因のひとつとして〝エロサイトの存在〟がかなりの役割を果たしている。エロに賭ける情熱は何物にも代え難いものだというし……。デヘヘ。

しかし、エロとの融合とは何ぞや…？

その刹那、女性社員のヒステリックな叫び声が社内に響き渡った。

「キャー、編集長が変臭蝶ーッ!?」

見るとそこには、上半身は背広、下半身は裸、足下は靴下＆革靴という出で立ちのサダハルンバがいたのだ。

そしてこんな言葉も飛び出した。

「新しいメディアを引っ張るのは、いつの時代も格闘技とエロです！　私はその2つを見事に融合させてみせます！　バカ、テレコじゃなくて写真撮れよッ！」

……ということで、『SRS・DX』オフィシャルサイトでは近々エル・イホ・デル・サダハルンバが見られる……のかも!?　ぜひアクセスしてほしい!!

でも俺ってアナログLOVEだし……そんな方もいるかもしれない。インターネットの環境が整ってない人も少なくはないだろう。それでも、職場、学校、愛人宅などで挑戦してみよう!!

（日比）

▲キミの１票で格闘技業界に卍固めを!!

ABNORMAL★MOGUTAN

あぶもぐ

十日目

親方◎小松モグタン

KEN
Seattle, Washington
265 pounds

相撲原子グモン3歳
(4コマ)

ミノ

**いよいよ、11月1日より、本誌『SRS・DX』のホームページが開設されました。
皆様の生の声をごっちゃんしようという『Webゴング』、『ニュースジャッジ』、
『掲示板』など、ついつい釘付けになってしまうコンテンツが目白押し。
『あぶもぐ』同様、こちらもよろしく！**

〈読者の声〉

【56号】

シリル・アビディは若いのに、よくここまでがんばるなぁーと思いました。若手にはもってこいです。
(鈴木千春・千葉県東葛飾郡・21歳)
◇「若手にはもってこい」ってのはどういう意味なんだ、21歳主婦！

10月8日、9日と、グレート・アントニオにとうふパンを買いに行きまして……。大雨の中、大変だったけど、とーってもおいしかったです。店員のお姉サマありがとね。今回のアレクの記事で、ＳＲＳ鍼灸接骨院が、あのビル内にあることを知って驚きました。仕事で東京に行った時に、また立ち寄りまーす。よろしく。
(逸色淑子・岐阜県各務原市・23歳)
◇今度は鍼灸接骨院にも寄ってください。

【57号】

ねっ！！　言ったとおりでしょ。小原がランニングネックブリーカーを決めて、パワーボム。カウント2.9でヘンゾの三角絞めの返しで小原ギブ。後藤達俊が乱入してきて、ヘンゾにバックドロップ。ハイアンらグレイシー乱入で、大乱闘に……。えっ！！　こんなことになってないって？　Ｐ Ｓ．ハセキョーの黒髪サイコーにイイ。
(八武崎貴広・東京都江戸川区・18歳)
◇1人で勝手なことをほざくな！　でも小原に期待する気持ちは分かるぞ。これを書いている現時点ではどっちが勝ったか分からないが、小原の犬の意地に期待しよう。

チャイナのヘアヌード載せて。高野拳磁インタビューして。田中正悟インタビューして。神元ＵＷＦ社長インタビューして。
(青戸渉・鳥取県米子市・27歳)
◇ムチャ言うなぁ。

大山峻護、奮闘日記が興味深かった。早くケガを治してリングに立ってほしい。あともの凄くケガの痛みが伝わってくるから。もっと総合のこと(『プライド』以外)も取り上げてほしい。修斗、柔術ｅｔｃ(『プライド』も好きだけど……)。やっぱし、サダハルンバ編集長はカッコイイ！！
(乾翔太・東京都日野市・18歳)
◇さすが、男前の大山峻護は、男性の方からも人気があるなぁ。でも、サダハルンバ編集長だって負けてないぞ！

『プライド17』見に行くので、すっごく興味深く読んでいます！　読みこむのに、まだ少し時間かかりそ〜。隅から隅までしっかり読まなくっちゃ！！　大山峻護ファンの私は大山さんの応援企画うれしくて……続けてくださいね。彼がリングに復帰するまで！
(浅井幸恵・愛知県名古屋市・35歳)
◇大山峻護ファンのエレクトーン・インストラクター様からのおハガキ。男も女も、全てごっちゃんの大山峻護の復活を、みんなで応援しよう！

Ａ猪木は『プライド』のエグゼクティブプロデューサーにもかかわらず、最近の話題は１２・３１の猪木祭りばっかり。『プライド１７』ドーム大会が残念ながらしらけムードに入っています。『プライド』は猪木から離れるべきだ。猪木は新日と『プライド』、小川と新日を結びつけようとしている。新日をさんざん悪く言いながら、実は新日が一番な猪木。むかつく！！
(工藤亘・青森県八戸市・30歳)
◇なんと、アントンバッシング！　でもしょうがねぇんです。新日は猪木さんが作った団体。一番なのは当たり前！

▲吉江かわうそ化計画部長・東京都墨田区・39歳
◇今をときめくアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラの農村スタイル。新日本プロレスの吉江を挑発するのはなぜだ！？

▶やざま優作・東京都小平市・？歳
◇桜庭和志物語を書いた、マンガ家のやざま優作先生が、また、編集部に作品を送ってくれたぞ。しかし、脂肪なくして破壊王なし！

▲石川ヒロアキ・神奈川県鎌倉市・？歳
◇切り抜き写真を貼ればいいというものではねぇんです。もっと工夫したものが見たい

★作品募集

『あぶもぐ』では、読者の皆さんからのお便りをお待ちしております。相撲関係オンリーと言いたいところですが、べつになんの作品でも結構！　強烈なぶちかましをお待ちしております。

あて先
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『あぶもぐ』係

11・17 世界大会直前企画！

好評！　東孝塾長再び登場！

空手道 大道塾オールスター 飲んだくれ座談会！！

元極真空手の全日本チャンピオンにして現・大道塾塾長の東孝と言えば、飲んだくれ空手家あるいは金的蹴りの名手として本誌ではあまりにも有名。そんな東塾長が心血を注ぐ大道塾の世界大会が11月17日、代々木第2体育館で開催される。今回は日本代表のメンバーたちと塾長に、世界大会に賭ける意気込みを語っていただいたわけだが、そこは大道塾、ただで済むわけはなかったのであった。

司会◎中村カタブツ君（ブチ）
撮影◎橋本宗洋

軽量級代表
小川英樹（中部本部）

超重量級代表
山崎進（総本部）
稲垣拓一（総本部）

軽重量級代表
岩木秀之（新潟支部）

重量級代表
藤松泰通（総本部）

――さて、一部男性読者には圧倒的に人気を集めた〝飲んだくれ空手〟こと東孝先生の再登場です。今回もよろしくお願いします（笑）。

東　もう、この雑誌に出るとウチの品位が落ちるんだよね、キ●●マ蹴りばっかり強調されるからな（笑）。

小川　だけど、前回の先生のインタビューはいつもどおりの先生だなって思いましたよ（笑）。

東　そんなことないよ。オレはムッとしたよ（笑）。

――読者的にはかなりの反響を呼んで「レギュラー化してくれ」というハガキも来ました（笑）。

東　そうなの？　なら、良しだな（笑）。

――ということで、今日は間近に迫った大道塾の第1回世界大会について、日本代表選手の方々と東先生に大いに語ってもらおうと思って居酒屋にやってきました（笑）。

東　結局〝飲んだくれ空手〟だよ（笑）。

――そこはやっぱり（笑）。大道塾の飲み会っていうのは無礼講なんですか。

東　いや、無礼講じゃなくて無礼者なんだよ（笑）。

小川　自分、黄色帯の時に先生に殴られてるんですよ、グーで（笑）。

――どういうことですか？

小川　昔、先生が北斗旗（大道塾の全日本大会の名称）の演武の氷柱割りで、氷を積んでる途中で滑って割れちゃった時があったじゃないですか？

――ありましたね。場内がシーンとしてバツが悪かったです（笑）。

小川　あれはアクシデントなんですけど、面白いからその後で「先生は触れずに割るから凄いですね」って言ったんですよ（笑）。

──うわぁ！　よくそんなこと言えますね（笑）。

東　ホント、失礼な男なんだよ（笑）。

小川　それで2回までは笑ってくれたんですけど、3回目には殴られました（笑）。

──そこまで念を押せば誰だって怒りますよ（笑）。

東　シャレがワンパターンなんだよなぁ。

──だいたい小川さんがツッコミ役って感じなんですか。

小川　自分はボケでしょうね。

東　やっぱり、ツッコミはオレだろぉ。

小川　拳でツッコミますからね（笑）。

──また、ツッコまれました（笑）。なんか、ほかの空手団体では考えられないような自由な雰囲気ですね。

東　それは、オレが元々そうだったからね。当時はこういう世界は凄くビシッとやらなきゃいけなかったけど、オレは騒ぐほうが好きなのよ。それで、いっぱいヤケドしたわけよ（笑）。

──白帯時代の東先生は、某有名な先輩に向かって、「空手がなんぼのもんだ」って言ったらしいですよね（笑）。

東　う〜ん、知らないな（笑）。なんか、目つきがドンドン変わってくるわけよ、先輩たちの。でも、オレとすれば普通の会話をしてるだけなの。だから、当時はなんでこんな険悪な雰囲気になるのか分かんないんだよね。あとで考えると言葉のひとつ一つがダメだったんだけど（笑）。要するにそういう雰囲気はオレには窮屈だったんだな。

──そこが大道塾の魅力でしょう。では、選手の方々に自己紹介を兼ねながらお話を聞いていきたいですね。まずは、先ほどからツッコミ役をしている小川さんから。小川さんはかつて帯で首を絞めて相手選手を落としたことで有名ですが、ヒドいことしますよね（笑）。

小川　いや、あれはホントに偶然なんですって。タックルしてきたところを上から相手の襟をグッと取ったら、自分の帯も巻き込んでいたんですよ。

東　ホントかぁ！（笑）。

小川　ホントに偶然なんですよ。

──なんか首に一周回ってたような気がしたんですが（笑）。

小川　いや、待ってくださいよ！　ただ、最終的に持ってたのは帯だったんですけど（笑）。この間も修斗の選手の人たちから「帯で絞める人だ」って言われましたよ。ワザとじゃないんだよなぁ。

──そんな疑惑を持つ軽量級代表の小川さんでした（笑）。続いて、新潟在住で軽重量級代表の岩木さんは元自衛隊員なんですよね。

岩木　（朴訥な口調で）「給料もらいながら免許が取れるよ」という甘い言葉に誘われてつい入ってしまったんですね。

小川　それ、甘い言葉か？（笑）。

岩木　（朴訥な口調で）自分には甘かったんですよ（微笑）。

この雑誌はキ○○マばっかり強調するからウチの品位が落ちる（東）

──続いて、総本部の内弟子で重量級代表の藤松さんは。

藤松　はっ、はい。内弟子になって3年になります。

岩木　（朴訥な口調で）『格通』のインタビューを読んだら、昔は凄いワルだったって書いてあったよね。

藤松　……はっ、はい。全然マジメです。悪かったのは小学生の時ぐらいです。

小川　卵を盗んだりとか（笑）。

藤松　いっ、いえ……。

岩木　（朴訥な口調で）好きな子のリコーダーをナメたり（笑）。

小川　小学校のウサギを埋めたりとか（笑）。

藤松　いえ……。

東　もう、本人に喋らしてやれよ（笑）。まあ、こいつはおとなしい人間だけど、やることはドデカイんだよ。

小川　大道塾のワゴン車を廃車にしたりとかね（笑）。

東　ガハハハ！　オレは今いい話をしようとしたのに（笑）。

──廃車の話は面白そうですね（笑）。

藤松　自分、ワゴン車を運転しててガードレールにぶつかってしまって……。

小川　最初、自動車整備工場をやってる先輩の所に持っていったら、「これは先生に見せないほうがいい」って言われてね（笑）。

岩木　（朴訥な口調で）大破したんです（微笑）。

東　一発で廃車だったよなぁ。

──先生からはどんな言葉をいただいたんですか（笑）。

藤松　……一言「バカもの」という言葉をいただきました。すいません……。

東　しょうがないよ。やっちゃったものは。命あってのモノダネだよ。

──太っ腹ですね（笑）。そして公務員をしている山崎さんと、建設会社勤務の稲垣さんは超重量級代表ですね。ここではあのセーム・シュルトの参戦が濃厚ですね。

東　セームは今度の『プライド』でケガがなければ出る予定だな。

稲垣　そうか、そうなったらこっちも負けられねぇな！

──稲垣さんは熱いッスねぇ（笑）。

稲垣　先日、大道塾を応援してくれる年輩の方から檄を飛ばされたんですよ。「あなたが稲垣さんですか。あんた、外人には絶対負けるなよ！」って。気合い入ってるんですよ（笑）。だから、先生、今回は特攻ッスから、自分は！

東　セームは心技体全部揃ってるわけ

よ。気持ちは強いし、身体はデカいだろ。それで練習に専念できるだろ。存在自体が反則なんだよ。もう、あいつは出るなよ（笑）。

小川 「出るなよ」って（笑）。

東 ところで、山崎は金的対策してる？

山崎 金的はあんまり考えてないです。

東 だろ？ 最近みんなそうなんだよな。まあ、その気持ちは分かるんだけどさ、でも、自分の後ろに彼女がいる時に、雲をつくようなデカいヤツが来た時にどうするよ？ キンタマ噛み付いてでも勝たなきゃいけないだろ。

山崎 だけど、自分はこれは競技と考えてますから。金的は考えられないです。

東 俺の考えっていうのは競技の中でそれを練習しなかったら、いざって時に使えないと思うんだよな。だから、このルールは、どこまでもそれに近いものにしようと思ってやってるわけよ。それはマスクをしてるとかあるけど、でも、やっぱり練習しなかったら技って使えないんだよな。その練習をもう1つ前に進むのは競技の中で使うことなんだよな。

――さすがは金的を語らせたら世界一ですね（笑）。

東 そういうのはもういいよ。もっと、武道の本質に迫る話をしようよ（笑）。

――いやいや、これは大道塾の本質に迫りそうな話なんですが（笑）。

小川 ただ、金的蹴りって実際使おうとするとテクニックがいるんですよね。普通に蹴っても絶対に当たらないから相手の出鼻とか、組み際を狙うしかないんで凄くテクニックがいるんですよ。それにただ当てただけじゃ効かないし。自分も喧嘩した時に蹴られたことがありますけど、全然効かないんですよ。

東 興奮してる時は効かないんだよ。よっぽど押し込まないと。パチンってやった程度じゃ痛くないんだよ。

岩木 そういえば、先輩は金的蹴られてファールカップが割れた時がありましたよね（笑）。

小川 あれ、なんともなかったんだよ。

岩木 （朴訥な口調で）頑丈ですね（笑）。

小川 うるさい（笑）。

東 だけど、セームは別格だぞ。俺と山田が風呂に入った時に確認したんだけどさ（笑）。

――じゃあ、当てやすいですね（笑）。ところで小川さんは今ぬいぐるみに入ってるんですよね。

小川 入ってます。先日も「今度の日曜日、お願いできませんか」って電話があって。仮面ライダーアギトです（笑）。

東 コイツはこういうのが好きなんだよな（笑）。だから、前の試合でもバク宙とかしてさ。

――選手の方々もオリジナリティーがありますよね（笑）。

東 オリジナルばっかりだよ。先生の苦労を分かってほしいよ（笑）。あの時は外国の支部長に「あんなのは武道じゃない」って抗議されて大変だったんだから。あと、山崎もプロレスラーみたいなアピールして。公務員があんなことするか！（笑）。

山崎 あの時は自然に身体が（笑）。

東 まあ、山崎にしても小川にしても、練習はキチンとやるし、仕事もキチンとやってるのを知ってるからいいんだけど、今度の世界大会は外国の審判も見てるから、そういうのは通用しないんだよ。今、日本よりも海外のほうが武道という面では厳しく見るからな。

稲垣 自分もああいうのは嫌ッスね！

山崎 いや、自分はあれ一回だけですよ。あの時以外はずっとピシッとやってきたんですよ。たった一回でまいったなぁ。自分は普段は気が弱いのに（笑）。

金的蹴りって実際に使おうとするとテクニックがいるんです（小川）

稲垣 だけど、火の中に入っていく職業だもんなぁ。

小川 だから、耳が沸いてるんだ（笑）。

――では、そろそろ試合について色々お聞きしたいんですが。

東 遅いんだよな、そういう話題が出るのが（笑）。オレなんか世界大会の話をちゃんとしようと思って、こうやって資料まで持って来てるのに。だけど、もう嫌だ！ もうこの資料は出さない（と言ってホントにバッグにしまう塾長）。

――まっ、待ってください（笑）。先生もこの大会では主催者として相当苦労されてると思うんですよね。

東 ホントだよ。朝から晩まで机に座りっぱなしだよ。あのね、なんでそういうところを写真に撮らないの？

――すいません（笑）。この世界大会は、東先生も出場された極真の世界大会と比べてどうですか、外人のレベルとか？

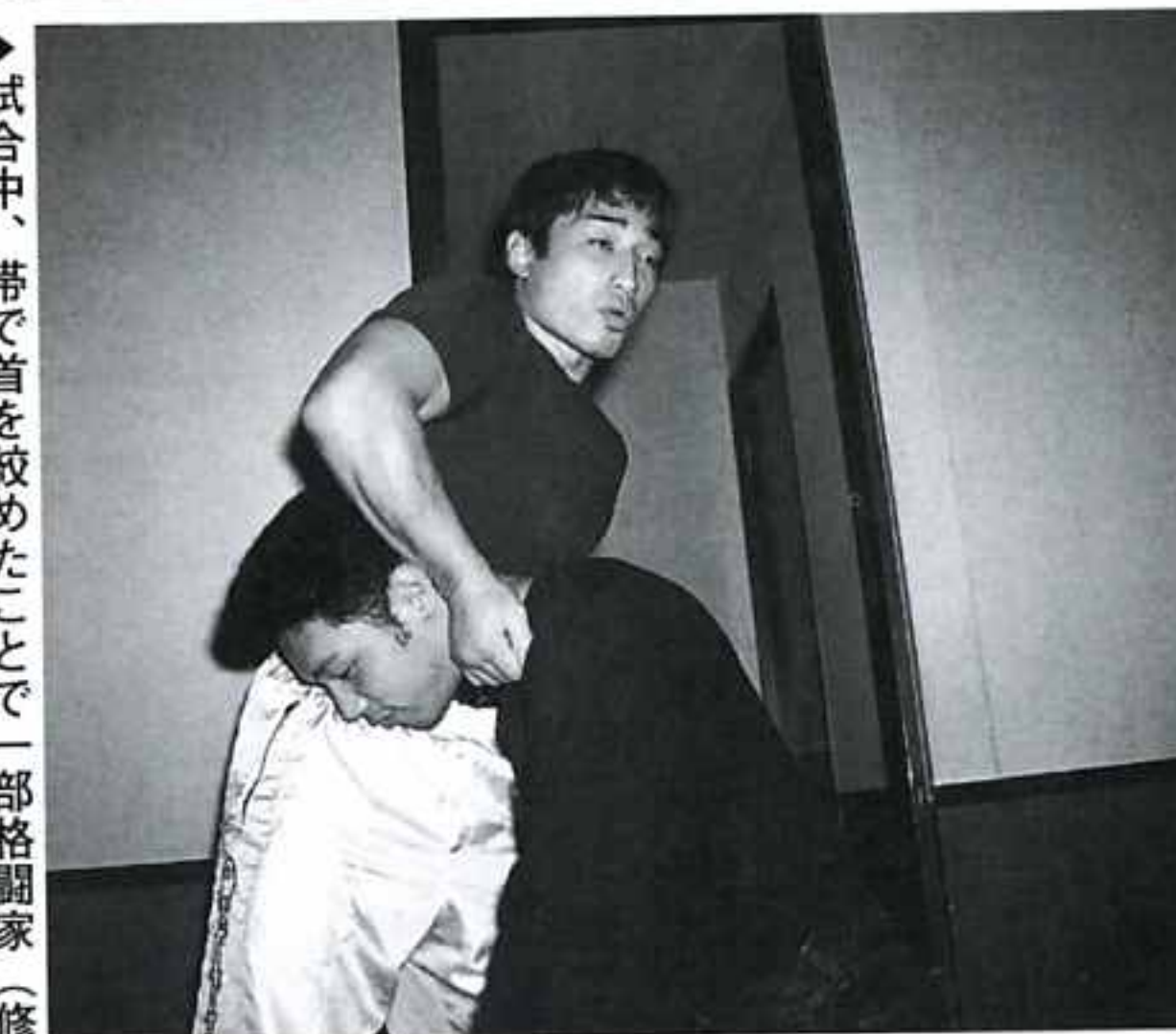
東 そうだな。当時はまだこれ程日本の技が知られてなかったし、日本人選手は練習に専念できる環境だったのよ。ところが、今は逆だもの。技でいえば、今はビデオがあるから、いくら苦労して作った技でも、1年後には普通の技になっちゃう。その辺が大きく違うな。ただ、今年はやれるだろうとは思ってるけどね。それは今までの蓄積があるから。ただ、それでもわけの分からない力で押し切られる怖さは消えないよな。

――どんな選手が出てくるか分からないですからね。

東 そういう怖さがホントあるんだ。特に超重量級は怖いよな。さっきも稲垣が特攻だって言ってたけど、そのぐらいの気持ちでやらないと厳しいよな。

小川 極真の世界大会を追った映画で『地上最強のカラテ』ってあったじゃないですか。あれに先生が出てた時は、両腕をガードの形に上げて走ってましたよね、そういえば（笑）。

東 映画のスタッフが「なんかやってください」っていうからさ。オレはなんにもできないからアレをやったの。だけど、

▶このとおり、塾長は世界大会の資料を持参していたのだが、話が脱線ばかりで一言「もういいや」と

▶試合中、帯で首を絞めたことで一部格闘家（修斗の人たちとか）の間では非常に有名な小川選手が、帯の使い方を後輩に伝授？

アレはもの凄く下半身にいいんだよ。

小川　でも、それまでやってなかったんでしょう（笑）。

東　いやいや、あの時はそう思ったっていうね（笑）。でもね、あれから1年ぐらいはやったんだよ。

小川　やめられたのはなぜですか。

東　だって、最初からそんなに必要ないと思ってたし。顔面に蹴りなんか当たったって首さえ鍛えておけばかなり我慢できるしね。だけど、試合では印象点が違うんだよ。それで試合まではやってたの。

小川　はぁ、そうすると、その1年はある意味、ムダだったんですかね（笑）。

東　違う、違う。印象点が違うの！（笑）。

――小川さんってホントに怖ろしい方ですね、空手界の革命児とでもいうか（笑）。

東　だけど、出るところに出ればみんなキチッとしてるからオレはもの凄く安心してるんだよ。まあ、小川はバカだけど（笑）。でもね、コイツは昔は仙台大学の職員をしていたのよ。それを辞めてウチに来たんだけど、その時に学長から「小川君は辞めさせないでほしい」って言われたからね。

小川　知りませんでした、そんな話。

東　そういう話があったんだよ。オレは仕事を続けてほしかったんだけどさ。

小川　知りませんでした（笑）。

東　ホント、しょうがねぇよなぁ（笑）。

――では、最後にそれぞれ世界大会の抱負をお願いします。

藤松　……そうっすね。3年間頑張ってきたこと全て出します（緊張）。

山崎　打撃はヘタなんで喧嘩で勝ちます！

岩木　自分は国の代表として日本の誇りである武道で勝つというのが目標です。

――意外と右なことを言いますね（笑）。

岩木　いや、住んでる地元を愛し、家族を愛するっていうことが日本を愛することになると思うんです。

小川　じゃあ、お母さんのために（笑）。

岩木　はい。お母さんのために勝ちます！

（笑）。

――右翼ばりに威勢がいい稲垣さんは？

稲垣　（即座に）絶対に日の丸を掲げてみせます！

――ワハハハ！　最高です（笑）。では、小川さんは？

小川　軽量級で止められるのは自分しかいないんで。

岩木　（朴訥な口調で）カッコイイですね（笑）。

小川　いや、まだ後輩たちが育ってないんで。だから、年が年ですけど、自分が確実に取るしかね（笑）。大きな仕事を片づけるっていう意味で確実に精一杯に。

――じゃあ、最後に先生から一言バンと（笑）。

東　まだ、言うの？

小川　ひとつ、泥船に乗ったつもりで（笑）。

東　オレが泥船かよ（笑）。

――素晴らしいシメになりました（笑）。それでは世界大会頑張ってください！■

試合の話を出すのが遅いよ！もう試合の話はやめる！（東）

11・17世界大会最終情報！

女子ワンマッチも決定！

横浜支部所属で、女子ボクシングでも活躍、脚光を浴びている八島有美が、今大会でワンマッチを行うことになった。対戦相手は総本部の岡裕美。八島といえば、スーパーセーフを着けるのがもったいないルックスなのだが、まあそれはそれ。大舞台では初となる女子の試合だけに、要注目だ！

S・シュルト出場へ！

いよいよ間近に迫った世界大会。ついに、セーム・シュルトの出場が決定的となった。これまでも大道塾はシュルト側と密にコンタクトを取っており、出場の意思は確認済み。このページの締め切り時点では結果が出ていないが、11・3『プライド17』での佐竹戦をケガなくクリアすれば、4年ぶりの北斗旗出場となる。また、それ以外にも海外から強豪選手が続々参戦決定。無差別で優勝したこともあるロシアのアレクセイ・コノネンコ、超重量級のパワーファイター、アリエフ・ベチェスラフ、オランダからはテコンドー世界王者で総合ルールの経験もあるステファン・タピラートも出場するなど、各階級とも多彩な顔ぶれのトーナメントとなりそうだ。

PRESENT!

今大会のチケットを、本誌読者10名にプレゼント！　ハガキに住所、氏名、年令、職業、電話番号と今号の感想を明記して、下記まで応募を！

〈あて先〉
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『大道塾チケット係』

※当選者の発表は発送をもって替えさせていただきます

SRS・DX Editor's Talk

編集部トーク 裏事情

インターネットは明らかに業界を変える！

A 『プライド17』は全体的に濃いカードになったけど、ひとつ一つのマッチメイクの評判はかなり良かった。桜庭VSシウバやノゲイラVSヒーリングがウケるのは当然だけど、ヘンダーソンVSニンジャの良さが分かるファンが思いのほか多かったし、スケルトンVSエリクソンに至っては「そう来たか！」と結構ウケていた。実際、チケットの売れ行きは、昨年の桜庭VSホイスが行われた『プライドGP』よりも良かったみたいだしね。

B その理由は、『プライド』がブランド化されたことはもちろんだけど、俺的にはやっぱりK―1効果が大きいと思う。実際、今年のK―1本体についても、視聴率はともかく興行的には苦戦するかと思われていたからね。それが、石井館長が「猪木軍」を口にしてから急に〃K―1〃という文字が露出するようになったし、12・8「K―1ワールドGP決勝大会」は『プライド』以上にチケットがすでに売れている。今回の『プライド』も髙田VSミルコがなかったとしたら、ドーム級のカードにはなっていなかったのは間違いない。石井館長がホントに神風を起こしたね。

A それを裏付けるかのように、年末の『イノキ・ボンバイエ』の先行では、1万枚以上のチケットが売れたというからね。猪木軍、K―1、『プライド』と来れば、これほもう売れないわけないんだけど。本当に11月11日からの一斉発売が、どんな売れ行きを見せるか恐いね。

C ただ、その煽りを食って、他のところは散々な結果らしいですよ。もうK―1とか、猪木軍だとか、そういう流れの中で何かをしないとなかなか届かなくなっています。そうじゃなかったら、武藤選手のようにまったく違う価値観で勝負するしかないんでしょうね。

A そうそう。今流行りの言葉で言えば、純プロレスをいかにアピールするか。また純格闘技をどうやって届かせるかという方向性と、K―1とか『プライド』となんらかの形でからむかに、ファンのニーズは完全に分かれている。逆に、狙いは悪くないと思うんだけど、『真撃』なんか意外と苦戦していて、次の大阪大会がターニングポイントになると言われているから。

B ちょっと宣伝させてもらうと、そういうファンのニーズが見えやすくなっている一番の理由は、やっぱりインターネットの普及に大きな理由があると思うよ。これまでファンの声というのは、専門誌でもモノクロ2～3ページで扱うのが限度だった。ところが、最近はインターネットのおかげで、興行をやるたびごとに、あるいは何かニュースが発信されるたびごとに、ファンがダイレクトで反応するからね。その数は専門誌の読者の比じゃない。だから、本誌でも遅ればせながら、HPをこの11月から開設したんだけど（笑）。

A うん。そういうファンとのコミュニケーションは、今後ますます重要になってくるだろう。だから、本誌のHPのコンセプトも、情報以上にファンと編集部、あるいは選手・関係者とのキャッチボールを重視することにした。特に「webゴング」というファン投票は、かなり業界的に波紋を投げかけると思うよ。

C あれは僕もやってみたんですけど、かなり楽しめるし、ファンとしての自分が分かってきますね。たとえば『プライド17』で本当に自分が興味のあるカードはなんなのか？ 今回の『プライド』はドーム級のカードだったのか？ 髙田VSミルコ、桜庭VSシウバをどういう目で見ようとしているのか？ 結構考えさせられました。他のファンがどう考えているのかも分かるし。あれは設問の技術が問われますねぇ。

A まあ、だから逆に、我々作り手とか、関係者、選手にとっては本当に厳しいジャッジメントをされる時代だということなんだよ。良いものはどんどん膨らんでいくけど、良くないものはすぐに淘汰される。「掲示板」に書き込まれるファンの意見も参考にしながら、雑誌にも反映していかないとね。その意味で、今後の本誌にも注目していただきたいと思ってます。■

▲ 今年の格闘技界に神風を起こした石井館長

◎雑誌編集者となり、杉山頴男さんやターザン山本さんから一番学んだことは、〃雑誌作りの答えはファンの中にある〃ということだった。たとえば、失礼ながらターザンさんはプロレス会場に行っても、ほとんど試合を見ていない。試合の中から何かを探し出そうというんじゃなく、その試合を見ているファンの反応を敏感に感じ取り、ファンと会話することで何かを生み出そうとしていた。そして、雑誌作りに関しても、いかにファンにアジテーションするかで、業界を動かしていたように私は見ていた。ところが今はインターネット全盛の時代。ネットやiモードで顔も見えない者同士が勝手に意見を交わし合う時代である。これは本当に馬鹿にできないものがある。そういうダイレクトに情報を交換し、意見を交わし合う時代にファンとどう向き合っていくか。これは重要な問題だと言えるだろう。インターネットの武器は、「速報性」「双方向性」にある。その2つの特性をどう自分のものにし、自分の武器にするかが我々のテーマだ。それに真剣に向き合った時に初めて、雑誌では何をやったらいいのかが、本当に見えてくるような気がする。私はターザンさんとタイプが違って、どちらかというと団体側ともうまく付き合ってしまうタイプ。だから、そういう自分の特徴を生かして、HPでは団体側にアジテーションするというよりも、ファン・団体関係者も巻き込んで、このコミュニケーションの場に参加してもらうつもりだ。編集スタッフが交代制で24時間、常にHPと向き合っています。ぜひ一度、本誌のHPにアクセスしていただき、皆さんも参加してみてください。（谷川）

SRS・DX

次号の発売日は 11月22日(木) です。

発行元：株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元：株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888
発行人：柳沢忠之 編集長：谷川貞治

DESIGNER：梅村あゆみ、水町由美子、su・plex、
岩村唯是、溝口真穂、野尻雅友、松浦千枝

アブソリュート級トーナメントの大本命
ロシア狼軍団のエース、遂に登場!!

リングス初代
ヘビー級王者

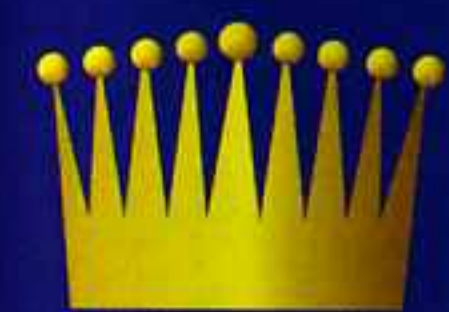
エメリヤーエンコ・ヒョードル

8月11日の旗揚げ10周年記念興行で、圧倒的な強さを見せつけリングス初代ヘビー級王者になってしまったエメリヤーエンコ・ヒョードル。10月20日から始まったアブソリュート級王者決定トーナメントの1回戦も、驚異的な強さで突破。リングスの2冠王に最も近い男、ヒョードルに話を聞いてみた。

撮影◎中島ミノル
聞き手◎小松伸太郎

――ヒョードルさん、昨日も圧倒的な強さを見せてくれましたね。

ヒョードル　ありがとうございます。

――柳澤選手の手応えはいかがでした？

ヒョードル　ヤナギサワ選手は、今回のトーナメントに参加している選手で、最もチャンピオンに近い存在ではないかと思ってます。彼のことは私も研究したんですが、打撃とグラウンド、両面に優れた選手ですね。試合での最大の課題は、誰がイニシアチブを握るか。その競争で私がイニシアチブを握りました。それが今回のいい成果でした。一方で、最終的に技で極められなかった、それが反省点です。もうギブアップするんじゃないかと思っても、彼は必ず脱出してしまう。手強い選手でしたよ。

――ヒョードルさんでも手強いと感じることがあるんですね（笑）。ところで、ヒョードルさんは、ウチの雑誌では初登場ですので、いろいろ聞かせてください。まず、格闘技はいつ頃から始められたんですか？

ヒョードル　私は子供の頃は太っていて、あまり格好いい体をしていなかったんです。ある時、母親の仕事場に寄ったんですけど、たまたまそこに柔道の道場を経営していた同僚がいまして、その人が私を見て、母親に「柔道家としての素質がある」と私が柔道をすることを勧めたんです。そのことを母親から聞いた私は、喜んで道場に行きました。

――それはいくつの時なんですか？

ヒョードル　10歳の時です。先ほど話した母親の同僚は、ボランティアで柔道を教えていたんですが、道場の場所は地下の避難所だったんです。ありますよねぇ、空爆を避けるための。

――日本では最近はあまり見かけなくなりましたねぇ（笑）。

ヒョードル　その避難所で、私は最初の1年間柔道を習ったんです。それから1年経った時に、町の大会に出て優勝したんです。そうしたら国の機関でスポーツ専門学校というものがあるんですが、その先生方が私に気が付いて、スカウトしに来たんです。

――で、その柔道は何年ぐらいやったんですか？

田舎出身の選手は田舎者扱いされて、判定でどっちかっていう時は勝てないんです

ヒョードル　柔道に関しては今も続けています。ただ、選手として大会に出たりだとかは、1年半前に辞めました。

――成績も凄かったんでしょうね。

ヒョードル　23歳までの大会では96年に、ロシア選手権で優勝しています。20歳以上から参加できるロシア選手権では2度も3位になっています。それから、柔道のヨーロッパカップで、私のチームは優勝しました。あと、サンボのほうは3回にわたってロシア選手権で3位とかですね。ナンバー1になるには、それ以上の力が必要だったんですね。なぜなら、審判はいつも平等に判断するわけではないので、明らかに圧倒的に勝たないと1位になるのは難しいんです。

――なるほど。ヒョードルさんはその不公平な判定を受けたことがあるんですか？

ヒョードル　そういうことが、たまにあったんです。ロシアの場合はモスクワとかサンクトペテルブルグの有名な選手を、審判がひいきすることもあるんです。で、田舎出身の選手は、田舎者扱いされて。私なんかはベルボロという町の出身なんですけど、判定でどっちかっていう時は勝てないんです。圧倒的に勝たないとダメなんです。引き分けぐらいだと思っても、モスクワかサンクトの選手が勝ちになってしまうんです。

――田舎者っていうだけで（笑）。田舎と都会の闘いがあったんですか？

ヒョードル　そうですね、田舎と都会で一種の差別みたいなものはあります。そこで明らかに勝たないと、我々の勝ちにはなりませんね。ですから、田舎に住んでいる選手は、倍以上練習しなきゃいけないし、倍以上頑張らないといけない。これは格闘技に限った話ではないと思います。思い出してみると、ロシア代表の選手で、モスクワ出身の選手はいません。それで分かると思いますけど。

――ああ、田舎者のほうが強いと（笑）。でも、モスクワの選手との試合は結構燃えたんじゃないですか？

ヒョードル　そうです。それは闘う上でのモチベーションになっていたんです。

――ところで、スカウトされたスポーツ専門学校なんですが、どういった所だったんですか？

ヒョードル　そこはちゃんと学問に基づいて教えてくれていて、教育の基盤がしっかりしていましたよ。そこで私は柔道だけではなく、サンボも始めたんです。

――ほぉー、サンボも。

ヒョードル　元々専門学校ではサンボと柔道を別々に教えているんですが、そこでたまたまサンボを始めることになったんです。それでサンボの大会に出たら、非常に成績が良かったので、サンボに重点を置いてやっていました。

――柔道をやっている人は、サンボをやってもすぐ強くなるものなんですか？

ヒョードル　それは一概には言い切れないことで、ロシアの柔道でトップクラス、ベスト6ぐらいの選手がサンボの大会に出ても、なかなか勝てないです。逆にサンボの選手にも同じことが言えます。やはり別物ですからね。私はスポーツ専門学校で習った技術で勝てましたけど。

――ベスト6っていうのは随分、中途半端ですね（笑）。ロシアっていうと、サンボっていうイメージがあるんですけど、やっぱりサンボのほうが柔道よりポピュラーなんですか？

ヒョードル　つい最近までは、サンボのほうが人気がありました。今はプーチン

な思惑もあって、人数的には柔道のほうが多いと思います。

——そうやって、柔道とサンボを続けていて、リングスのような総合格闘技を始めたのはなぜなんですか?

ヒョードル まず、ピトコフというコーチの要請から始まったんです。隣にいる彼のことなんですが、彼はキックボクシングとボクシング、それと空手を教えているんです。その弟子の中で、優秀な選手がいまして、その選手の出身が私と同じベルボロで、友人だったんです。「とてもハングリーで闘いたいと言っている友人がいる」と、私のことを紹介してくれたんです。それから、ハンに見てもらい、いい評価を受け、それからマエダさんが去年エカテリンブルグに来た時、私とバラチンスキーをマエダさんに見てもらったんです。

——話がトントン拍子に進んでいったんですね。

ヒョードル そうです。で、すぐに日本に呼ぼうということになったらしいんですが、すぐには行かなかったんです。私はサンボや柔道をやっていましたが、これらはあくまでもスポーツであって、ケンカじゃないんです。ケンカするにはそれなりのファイティング技術が必要なんです。それをこのピトコフから教わったんです。

——リングスルールはケンカですか(笑)。

ヒョードル ケンカという言い方をしてしまったんですが、総合格闘技ですね(笑)。総合格闘技で必要な技術をコーチから教わったんです。ただ、我々はリングスはレスリングがベースだと考えています。だから、レスリング出身の選手はリングスに向いていると思います。私はアンドレイ・ブルジンというコーチから、ボクシングも習っていますし、リングスに関して言えば、学ぶことで無駄なモノはありません。全ての格闘技を学ぶことはためになります。昨日のコバや、ミーシャのようにレスリングしかできない選手は勝てないですよ。

——先輩に対しても厳しいこと言うなぁ(笑)。

ピトコフ ヒョードルは若いだけあって、いつもスポンジのように新しいことをドンドンマスターしていくんだ。総合格闘技の技術をドンドン覚えているよ。

——ヒョードル選手は覚えるのが早いんですか?

ピトコフ こういう技術はなかなか消化できないし、どの選手でもできるとは限らない。ヒョードルは天才だと思うね。教えてやることを全部消化できるのは、一種の天才だろうね。もう一つ彼は意欲的だ。私が言わなくても、やるべきことをやっている。

ヒョードル 私の場合はリングスに出ることによって、2つのいいことがあるんです。1つは、リングスは自分の素質に、そして性格に合った格闘技で、一種のホビーになっています。それから、私は以前ロシア国内、あるいは国際大会で大きなタイトルを手にしているんですが、それに見合った報酬を手にしたことがないんです。私には子供もいるし、家族を養わなければならない現実があります。やはりお金になるようなことをやらないと練習もできません。そういった意味で、リングスはホビーと仕事の両方を満たしてくれます。

——えっ? 子供がいるんですか?

ヒョードル 2歳の娘がいますよ。

——結婚しているんですか?

リングスはホビーと仕事の両方を満たしてくれます

ヒョードル ええ、もう3年になります。

——それは驚いたなぁ。奥さんは美人なんでしょうね(笑)。

ヒョードル (照れながら)とても美人です(笑)。1度日本に連れて来たいですね。

——それは楽しみだなぁ(笑)。ぜひ、連れて来てください。ところで、話は変わるんですが、8月のトーナメントの決勝で、ボビー・ホフマン選手が棄権したじゃないですか? ヒョードルさんのことが恐ろしくて棄権したっていう噂があるんですけど、それに関してはどう思いますか?

ヒョードル 私がそれについての意見を言うとあまり良くないと思います。私たちとしては彼がケガで棄権したと言った以上、こちらでは何も憶測はできません。

——はぁ〜、そうですか。でも、ババル選手との試合といい、昨日の試合といい、他の選手がビビってもしょうがないと思いますけどね。

ヒョードル まだ私はやり遂げないといけないことが、たくさんあります。試合中もミスばかりします。これは経験の不足かもしれないし、練習の不足かもしれない。まだ私は相手選手から棄権されるような存在にはなっていませんよ。

ピトコフ 選手の成長が止まる時は、選手が自分のことを偉大だと思った時で、その時にその選手の敗北が始まるんだ。だから、常に改善改良を考えなければならない。どんな相手であろうとなめてはダメなんだ。

——でも、あのヒョードルさんの驚異的なパワーには誰だってビビると思うんですけど、どこで身に付けてきたんですか?

ヒョードル やはり練習ですね。私は体力を付ける練習と、スタミナを付ける練習、それに技術を付ける練習の3つをやっています。先ほど体力で勝っているとおっしゃっていましたけど、どんなに力を付けてもバランスが取れてないと勝てません。どうやってそれぞれの強いところを、どこで出すかっていうのが大事ですからね。

——ところで、ヒョードルさんはヴォルク・ハンさんの道場で練習しているんですよねぇ?

ヒョードル 最近、あまり行っていないです。

——えっ? じゃあ、いつもどこで練習しているんですか?

ヒョードル 打撃に関してはピトコフコーチ。レスリングに関しては、ハン道場ではなく、スターリンオスコールというベルボロの近くの田舎町で練習しています。そこに昔のコーチがいるので。私の家族はベルボロにいるんですが、去年1

10月20日代々木大会では、柳澤を終始圧倒して判定勝ちした

年ハン道場にいたら、そのうち子供も育ってきたし、家族が恋しくなってしまって（笑）。家族と一緒にいたいので、ベルボロに一緒に住んで練習しているんです。で、打撃技は彼のところに行って、練習するんです。まとまった期間、打撃技のキャンプをするって感じですね。

――ハン道場はそんなに遠いんですか？

ヒョードル　500キロぐらいですね。

――500キロぐらい（笑）。

ピトコフ　私の所も500キロ離れているけどトレーニングに来るということは、それだけ意欲的だということだ。さらにこれから、エカテリンブルグにも行こうという計画もある。コピィロフとズーエフのレスリング技を覚えないといけないからね。

――リングスに出る前に総合格闘技の試合ってやったことはあるんですか？

ヒョードル　いきなりリングスでしたね（笑）。3戦やって日本で試合したんです。

――それでもうヘビー級王者ですもんねぇ。凄いですよ。では、最後に今回のアブソリュート級トーナメントの意気込みをお願いします。

ヒョードル　とにかく一生懸命練習します。あまり予測したくないんで、今「勝ちますよ」とかそういったことを言いたくないですね。

ピトコフ　うちの選手はどの選手に意気込みを聞いても一緒だ。みんな「勝ちたいです」って言うだろう。ただ、どれだけそのために力を注ぐかが、キーポイントだな。■

ヒョードルの隣にいるのが、コーチのピトコフさん。ヒョードルは彼から打撃技を教わっている

PROFILE　エメリヤーエンコ・ヒョードル

1976年9月28日生まれ、ロシア・トゥーラ出身。182センチ、102.9キロ。柔道、サンボで輝かしい実績を積み、昨年9月の『BATTLE GENESIS』後楽園ホール大会でRJWの高田浩也を12秒でKOし、見事な日本デビューを飾った。『KoK2000』では、1回戦でヒカルド・アローナに判定勝ち。今年開催された『WORLD TITLE SERIES』ヘビー級王者決定トーナメントでは、本命と言われたレナート・ババルを下し優勝。初代リングスヘビー級王者の座に輝いた。現在開催されている『WORLD TITLE SERIES』アブソリュート級王者決定トーナメントでは、優勝候補と目されている。

まだ私は相手選手から棄権されるような存在にはなってませんよ

前田日明、NHK公開トーク番組出演！

アキラ兄さんが、12月19日(水) 11:00～11:44、NHKBSハイビジョンで生放送される公開トーク番組『公園通りであいましょう』に出演することになった。公開放送されるこの番組の収録の模様を見たい人は、早めに応募しよう。

◆放送日/NHKBSハイビジョン
11:00～11:44（生放送）
NHK総合テレビ
14:05～14:49（再放送）

◆入場方法/官製往復ハガキで応募。応募多数の場合は、抽選のうえ、入場整理券を配布。入場整理券1枚につき、2人まで入場可。

◆ハガキ記入方法/〈往信・表〉
〒150-8001
NHK放送センター　テント2001事務局
『公園通りであいましょう　12月19日』
公開係

〈往信・裏〉❶代表者の郵便番号、住所、名前、年齢、電話番号　❷『公園通りであいましょう』12月19日

〈返信・表〉代表者の住所と名前

◆締め切り/12月3日（月）必着

◆入場料/無料

12･21横浜大会に、ヴォルク・ハン出場決定！

12月21日、横浜文化体育館で開催される『WORLD TITLE SERIES』に、ヴォルク・ハンの参戦が決定した。8月の10周年記念興行では、藤原組長と旧リングスルールでファンを楽しませてくれたハンだが、今回は強豪とのマッチメイクが予定されているとのこと。今年2月に、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラと判定にまで持ち込んだ底力が発揮されることは間違いない。また、この横浜大会のユニバーサルバウトのカードも、一部決定。9月の後楽園大会でリングス・ジャパンの伊藤博之を破った門馬秀貴（A³-GYM）と佐々木恭介（U-FILE CAMP）の試合が行われる。ちなみに佐々木は、リングスのアマチュアトーナメント大会である、第1回KoKリミテッド90キロ級の優勝者だ。さらに、11月25日の第2回KoKリミテッドで優勝した選手の中から、選ばれた1名の選手の試合が組まれることが決定。これからも続々と出されるカードに注目だ！

決定カード

《金原弘光選手デビュー10周年記念試合》
金原弘光（リングス・ジャパン）VS ポール・カフーン（リングス・オランダ）

《ヘビー級オフィシャルマッチ》
髙阪剛（リングス・ジャパン）VS ヴォルク・アターエフ（リングス・ロシア）

《アブソリュート級トーナメント準決勝》
エギリウス・ヴァラビーチェス（リングス・リトアニア）VS クリストファー・ヘイズマン（リングス・オーストラリア）
エメリヤーエンコ・ヒョードル（リングス・ロシア）VS リー・ハスデル（リングス・イギリス）

《ユニバーサルバウト》
門馬秀貴（A³-GYM）VS 佐々木恭介（U-FILE CAMP）

決定出場選手
ヴォルク・ハン〈リングス・ロシア〉
ヴォルク・アターエフ〈リングス・ロシア〉

リングス・リトアニア大会に横井も参戦！

現地時間の11月10日（土）に開催されるリングス・リトアニア大会に、伊藤博之に続き、リングス・ジャパンの横井宏考の参戦が決定した。10・20代々木大会では、その“怪物”っぷりを遺憾なく発揮した横井だが、未知の国・リトアニアでもその“怪物”っぷりで勝利をもぎ取ってくることができるのか？　横井の相手はケスタチス・スミルノヴァスは、柔道・柔術のリトアニア・チャンピオン、世界チャンピオンに数度輝き、バルジック州のフルコンタクトの大会を制したこともある実力者だ。また、伊藤の相手はレミギウス・カゾチェナスに決定。カゾチェナスもリトアニアのキックボクシング、タイボクシングでチャンピオンに輝き、世界大会で優勝している実力者。先日の代々木大会で、滑川に快勝したエギリウス・ヴァラビーチェスの例もあり、リトアニア勢は決して侮れない。横井と伊藤の活躍に期待したい。

決定カード

伊藤博之（リングス・ジャパン）VS レミギウス・カゾチェナス（リングス・リトアニア）
横井宏考（リングス・ジャパン）VS ケスタチス・スミルノヴァス（リングス・リトアニア）

伊藤博之〈リングス・ジャパン〉　横井宏考〈リングス・ジャパン〉

電撃の一撃が、ぜーんぶ吹っ切った！深津飛成、やっぱりお前が大将だ

もったり判定続きの消化不良も一気解消 さあさあ、新日本キック軍、いざタイ侵攻だ！

▲新日本キックのチャンピオン６人、とりあえずこの日の前哨戦はひとりも負けなかった。12月、恒例のタイ遠征に気勢を上げることができたのか……

久々のメインに深津が燃えた
この鋭い反応を見よ！ その豪打を見よ！

▲センサックの右ハイを、一瞬のダッキングで空転させる。この日の深津は攻め、守りとも際立って鋭敏だった

★第12試合（3分5R）
○ **深津飛成（3R1分02秒、KO勝ち）センサック・シンマナサック**●
〈伊原道場〉　〈タイ〉
※右ボディストレート。センサックは2Rにも左フックでダウンを喫している

力の世界において、拳の威力はあまりにも雄弁である。その瞬間まで、まさしく場内は静まり返っていた。それどころか、シラっと空しい風さえ吹いていた。はや帰宅の途についた人もあって、虫食いのように、あちこちに座席がむき出しになっていた。最後に登場したこの深津に対しても、1R、わずかに攻撃を手控えると、「盛り上げようよ、もうちょっと」とキツいヤジまで飛んだのだった。

ところが、ただの一撃でムードは激変してしまう。2R終盤、深津が右ストレートから返した左フックで、センサックがダウンした。歓声がつむじ風となってホールを駆けめぐった。さらに3R、深津がみぞおちめがけて突き刺した短い右パンチ。音もなく崩れ落ちたセンサックは、芋虫のように胴体をくねらせるばかり。再び観客は総立ちになって、ヒーローのKO劇に酔いしれたのだった。

新日本キックの10月の興行には、毎年王者たちが総登場する。この大会には恒例の12月、タイ遠征を前に、選ばれし者たちの日本のファンたちへの顔見せ、あるいは前哨戦という意味合いがある。今回の『日タイ6対6マッチ』も同様だ。ところが、今年は最初から盛り上がりに欠けていた。せっかく手に入れたラジャダムナンのタイトルを相次いで失った小笠原仁、武田幸三、それに美男のKOスター、小野寺力が、この日のリングにはいなかった。いつもめいっぱいの観客を集める新日本キックでも、超満員とはいかなかった。

ついでに試合のほうもいまひとつ。メイン6カードのうち、最初

米田、小出、菊地・・・・ああ、なんという、この引き分け地獄

▶ウェルター級王者の米田克盛は元ラジャ・フェザー級王者のソンコムと対戦。体重で5キロ近い優位があったものの、さすがに元王者の技巧は鋭く、引き分けまでがやっと

▲「日本では一番やってはいけない試合」とフェザー級王者の小出智は自らを嘆いた。距離をとって闘うトゥンソンノーイに近付くことさえままならず。噛み合わないと言うより、何事もなかったように5Rは過ぎ去った。試合は判定の結果ドローに

◀バンタム級王者の菊地剛介は、まったく闘いをやらせてもらえなかった。組み際にサックニランに投げ飛ばされること十数度。これまた試合終了ゴングが待ち遠しい闘いに菊地は「全然ダメ」。判定はやっぱりドローだった

深津のコメント

「とにかく嬉しいですよ。久しぶりだし。メインで、それに会場も沈んでいたから。倒したのは右のボディ。あの一発で相手の目が浮いてしまって。その後何も打ってないのに倒れたんですね。相手は強いと聞いていたし、実際に蹴りも重くて、1Rに相打ちで食った左フックもちょっとやばかったです。前哨戦にしては相手が強すぎます（笑）」

センサックのコメント

「惜しいことをした。あのパンチがなかったら、あのまま試合を続けられたと思う。腹にパンチをもらったのはボクのミスだな。パンチは見えていたんだけど。とにかく効いたのはボディブローだけ。あとの攻撃は大丈夫だった。そのダメージが残っていて、最後にうまくまとめられてしまった。日本は凄く良かった。また来たい」

「右のパンチを打ち込んだら、ヤツの肋骨がグギリとよじれたんだ」（BY深津飛成）

▲深津の右パンチをみぞおちのあたりにぶち込まれたセンサックは、一瞬間をおいて崩れ落ちる。9月には国際式で闘い、タイ王者に対して判定まで持ち込んだタフガイも、深津の豪打にはひとたまりもなかった

◀2R終盤、右ストレートから返された左フックでタイ人は最初のダウンを喫した。これで勝負の流れは一気に深津のほうへと流れ落ちる

▶高速で低空回転する深津のローキックも強い。目立たなくても、センサックの戦力を着実に奪い取っていたように見えた

▶センサックはパンチもキックも重い。堅実な好選手だった。本場遠征を前にしたこの勝利は、深津にはいい手みやげになった

◀忘れかけていたKO勝利に深津の喜び爆発。「とにかくおねえちゃんと遊びたい。ファイトマネーをおねえちゃんにつぎ込みたい」

の松本哉朗を除けば、深津が登場する前の4つは全て5Rフルに闘い、うち3つは引き分けに終わっている。見る側の気持ちが高ぶらなかったのも当然だった。

ただ、それも仕方ない。何より相手が強かった。勇躍タイに乗り出す戦士が気勢を上げるためにしては、何とも難しい試験台ばかりが用意されていたのだ。米田が対したソンコムは元ラジャ王者。石井が勝ったティティマーも、8月までOPBFランキングに名を連ねた国際式の猛者だ。深津が対したセンサックもまた国際式の実力者だ。9月にタイ王者と10回戦を闘い抜いた。7月には来日し、ケニアのアマチュア王者から鳴り物入りで日本デビューしたトム・ワルインゲの相手も務めている。

深津のシャープなローが襲いかかるが、そのセンサックにへこたれた気配はない。深津の攻めを受け止めるたびに、「そう、そのくらいなの？」とでも言いたげにうなずくのも不気味だ。初回には左フックを相打ちさせて、深津をたじろがせる場面もあった。だが、そんな強敵を深津は攻略した。しかも、相手が得意のパンチでやっつけたのだから、まったく凄い。

久々のKO勝ちに深津は歓喜を炸裂させる。

「この1年、自分なりにはいい形ができてたんですよ。それがこのKOにつながった。いやー、気持ちいい。いきなり入れるんでなくて、しっかり愛撫して、それから××だから、よけいに……」

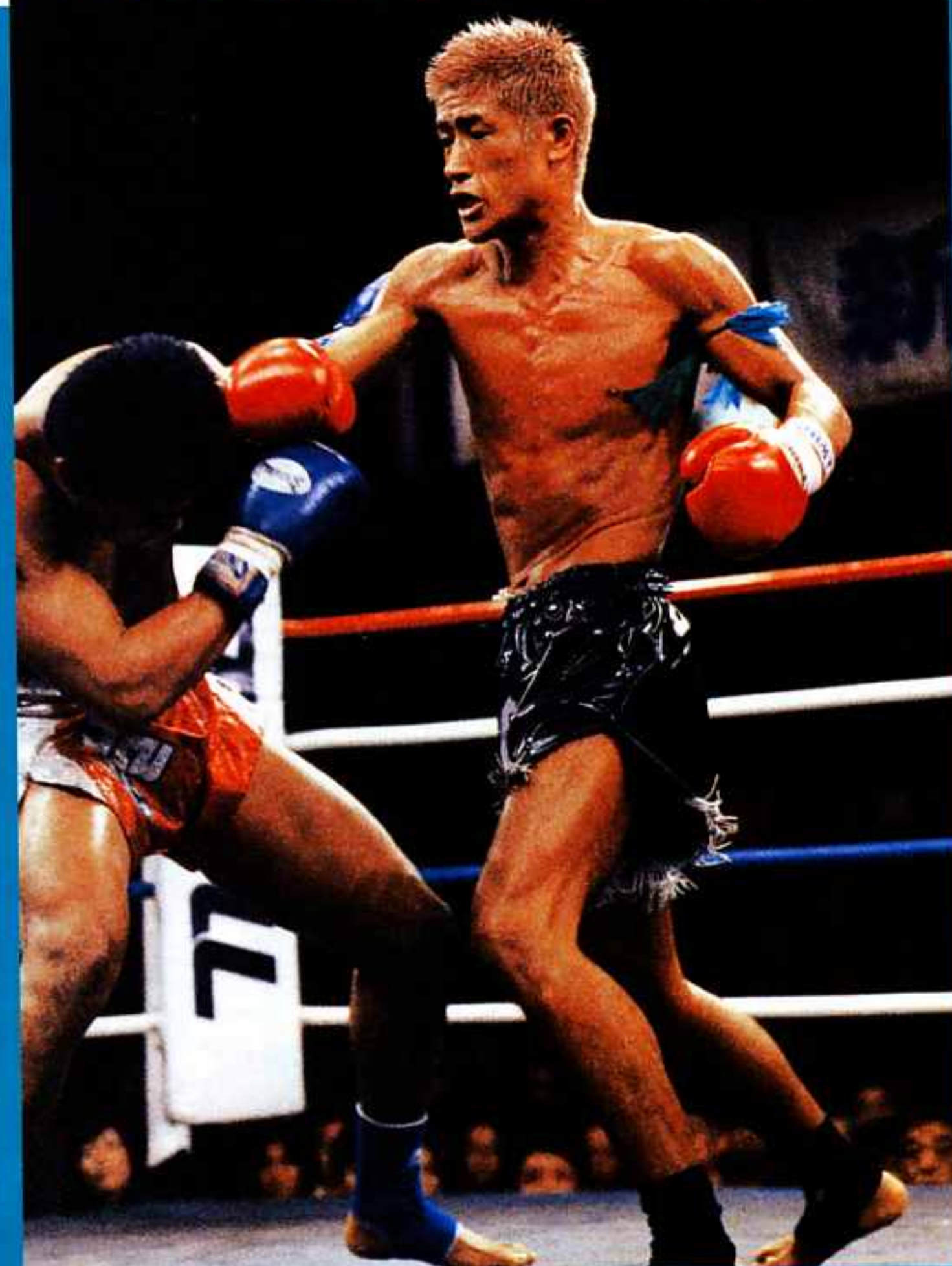
放送禁止用語連発の、やっと聞けた深津節。この男はやっぱり新日本キックの顔である。（宮崎）

新日本キック 10.28★後楽園ホール
Road To Muay-Thai 2001

相手の土俵でムエタイに勝つ！石井、地味ながらも価値ある勝利

▲判定は3－0。決して派手な試合ではなかったが、石井の能力は充分に感じることができた

▶右ハイがクリーンヒットする場面も。完全に相手のディフェンスの裏をついているのが分かる

▶ローキックも的確にダメージを与えていく。「もっとミドルにつなげないと」と石井。タイで勝つことを意識した発言だ

▲100戦以上のキャリアを持つティティマーを、技術で凌駕して判定勝ちした石井宏樹。鮮やかなパンチのコンビネーションも、いつもながらのキレだった

これまで"打倒ムエタイ"の常識といえば「倒して勝つ」ことだった。テクニックに長け、ポイントを奪うのがうまいタイ人に勝つにはKOしてしまえばいい、という方法論。武田幸三は、その最大の成功例だった。だが、石井宏樹は違う方法でムエタイの牙城に迫ろうとしている。それはタイ人を相手に技術の攻防で勝ってしまおうというもの。困難極まりないアプローチの仕方だが、石井ならそれも不可能ではないと思える。事実、一度はラジャのランキング入りした実績もあるのだ。この日も、なんと5倍以上のキャリア差がある相手に技術戦を挑み、キッチリ判定勝ちを収めてみせた。一発の重さこそないが、自在に打ち分けるパンチの連打やシャープな蹴りは小野寺力と双璧。そのセンスあふれるファイトスタイルはキック界でも屈指の美しさがある。「今日の内容じゃ、タイでは負け」という言葉も、石井が目先の勝利以上のものを目指している証拠だろう。（橋本）

武田幸三、ラジャ王座奪回へタイで武者修行＆再起戦！

9月にラジャダムナン王座を失った武田幸三が、早くもタイトル奪回へ向けて始動することになった。今大会ではジムメイトのセコンドに専念していた武田だが、大会後にタイに渡り、しばらく滞在して練習を積むという。11月下旬、さらに12月にも現地で試合も行う予定で、前回の敗戦後、「場数の差」を実感したと語っていた武田にとっては、本場での長期修行は大きな経験となるだろう。さらなるスケールアップが期待できる武田。日本での復帰戦は1月の後楽園大会となる。

名門ジムの秘蔵っ子、初のVSムエタイ戦をクリア

▶6人の日本王者が勢ぞろいした今大会。先陣を切って登場したのは、5月にミドル級のベルトを獲得した松本哉朗。チャンピオンとして初めての後楽園大会、タイ人との対戦も初めてだったが、ダイナミックな蹴りを中心に堂々とした闘いを見せた

▲2Rにメッケンナーのパンチ、ヒジで腰がガクンと落ちるピンチを迎えた松本だが、そこから大逆襲。果敢に打ち合いを挑み、最後は「超大振りの」（本人談）右パンチ一発でKO勝ちしてみせた。名門・藤本ジムの看板に恥じない、王者としてのスタートだった（2R2分12秒）

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

来年の『プライド』に出陣宣言!!

ホイス・グレイシーが帰ってきた!

ホリオンとは喧嘩別れしたわけじゃない。真実を話そう

聞き手◎中村カタブツ君

さて、このインタビューを始める前、ホイスのマネージャー、アレックス氏から本誌に対して抗議があった。前号の「ホイス、ホリオンから独立」と題された記事等に誤りがあるというのだ。それなら、訂正しないといけないということで、まずはホイス独立の真相を聞いてみた。

アレックス　もともとスポーツ新聞に出ていた記事だということは私も理解しているが、ホイスがホリオンと別れたのは金銭問題だとか、非常に酷い喧嘩になったとか、非常にくだらないことが書いてあった。そんな記事が『SRS・DX』とさっき言ったスポーツ新聞に載っていた記事の内容だよ。

——では、それは真実ではないんですね。

ホイス　イエス。

——では、ホリオンさんと別れてビジネスを始めたというのは真実ですか。

ホイス　イエス。

——ホリオンさんと別れたのは喧嘩したからですか。

ホイス　ノー。

——う～ん、では、真相は何なんですか。

ホイス　そちらから質問してほしいね。私はそれに答えるから。

——じゃあ、ホリオンさんとは今でも仲がいいと。ただ、ビジネスは一緒にしていないということですね。

ホイス　イエス。

——なら、なぜ別れたんですか。

ホイス　その質問だよ！　それを待っていたんだよ。もう待ちすぎて3時間ぐらい経ってしまった感じだよ（笑）。実は私は毎週末出張してるんだ。それはセミナーのためなんだけど、セミナーのスケジュールが2002年の6月までいっぱいで新たに予約する場合には来年の7月まで待たなきゃいけない状況なんだ。アメリカ国外に出た場合、例えば、日本やヨーロッパの場合には3週間から4週間、毎日セミナーをする状態なんだ。

——多忙ですね。

ホイス　そして、アメリカ国内でも1週間から10日の長期のセミナーがある。だから、出張から帰ってくると日曜日の夜、それも深夜の1時ぐらいに家に着いたりするんだ。そして月曜の朝になったらアカデミーで教えなきゃいけない。ホントに長い間、そういう生活をしてきたんだ。だから、子供が大きくなるのをこの目で見てはいないし、妻にもしっかり会っていなかった。だから、それをなんとかできないかとここ2、3カ月ホリオンと話し合い、「今後はパートタイムで教えたい」ということになったんだ。しかもプライベートクラスしか教えないということになったんだ。

——はい。

ホイス　だが、パートタイムとは言っても実際にアカデミーに足を運んでしまうと、自分が馴染んだ場所だし、責任も感じてしまうので、一度行ったら夜まで居て掃除をしたり、みんながちゃんと仕事をしてるかどうか管理したりすることになってしまうんだ。つまりアカデミーでは私が将軍のようなものだから、ちゃんとやってるかどうか気になってしまうんだよ。だから、パートタイムはうまくいかないことが分かって辞めることにしたんだ。やっぱり、子育ても自分でやりたいだろ？　で、そうなると、今何をするのかというのが次の質問になるよね（笑）。

——そうですね（笑）。

ホイス　分かった。もう、私がしばらく一人でしゃべってるから聞いていてくれ（笑）。

——助かります（笑）。

ホイス　まず、今、自分ではアカデミーを持ってないんだ。その予定もない。ただ、いつかは自分のアカデミーを開かなきゃいけなくなると分かってるんだけどね。だから、今どういう生活をしているかと言えば、平日は家に子供といて、週末はセミナーに出る。1週間から10日という長期のセミナーの時は次の1週間はオフにするという生活なんだ。また、自分自身のためのトレーニングとして1日2時間ぐらいの練習も欠かしていない。

——ただ、現役ファイターとしての練習量はそれで足りてますか。

ホイス　足りてるかって？　疑うなら今すぐここで試してみるかい？（笑）。

——いえいえいえ（笑）。

アレックス　もちろん今のはジョークだけど、本当の答えは、試合が本当に決まったんなら、トレーニングスタイルを変えるということですね。

ホイス　つまり、今はとにかく人生を楽しんでいるんだ。私にとっては教えることも出張することも大好きなことなんだ。だから、今の生活は週末は柔術を教えたり、出張したりで、平日は楽しい生活を送れるようにしてるんだ（笑）。

——ただ、今そういう楽しい生活をしてるのは分かりますが、昨日、シウバと桜庭の試合を目の当たりにして、そろそろ試合がしたいなって気持ちが沸き上がってきてると思うんですが。

ホイス　もちろん待ちきれない（笑）。

——試合の結果についてはどう思います？

ホイス　サクラバは試合の準備ができていたと思うけど、アクシデントであいうこともあるってことだよ。（日本語で）ガンバッテクダサイ（笑）。

——ただ、ホイスさんは、桜庭さんに一

ROYCE GRACIE

確定ではないが来年『プライド』のリングに上がる気はある

度負けてるじゃないですか。だから、桜庭さんには勝ってほしかったたっていう気持ちはありませんでしたか。

ホイス　イエス。ホワイ？

――ん？

ホイス　だから、「なぜなのか」って聞いてくれよ（笑）。

――ああ、なぜ？

ホイス　なぜなら、サクラバ選手のほうがいいお手本になるからだと思うんだ。

――ファイターとしてですね。

ホイス　人間としてだね。

――人間として？　じゃあ、シウバさんについてはそう思わないってことですか。

ホイス　そこまでは言ってないよ。というよりも例としてはサクラバ選手のほうがいいんじゃないかと思ったんだ。また、自分の場合で言うなら、私は完璧だね、観客に対しては。

――完璧かぁ、凄いなぁ（笑）。今回桜庭さんに勝ったことで次の対戦相手としてシウバさんというのが浮上してくるんじゃないかと思うんですが、どのような闘いを考えてらっしゃいますか。

ホイス　非常に立ち技がうまい選手なのでクリンチからグラウンドに持っていく闘い方をするだろうね（笑）。

――なんか、今の話っぷりを聞いているとあまり興味がなさそうに聞こえるんですが。それとも試合に向けての準備がまだできていないってことですか。

ホイス　やっぱり、心の準備はできてないよ。なにしろ、私は今、バケーションなんだよ（笑）。

――バケーション（笑）。

ホイス　そうさ（笑）。もしも対戦相手が決まって、これから試合だぞって時のインタビューになったら、同じ質問をされても顔つきも違うし、答えももっと意地悪になるけどね。そういう態度で答えようか（笑）。

――いやいや、バケーションモードでやってください（笑）。

ホイス　ＯＫ！（笑）。

――でも、『プライド』のリング上で「私は引退していません」と2回繰り返しましたよね。それを聞いて、ファイターとしてまもなく登場してくれるんだなと思っていたんですよ。

ホイス　私はいつも刀を持ち歩いてる状態だ。だから、本当に試合が決まったら、すぐに準備ができるんだ。

――ところで、一部では桜庭選手とシウバ選手の勝者と闘うという噂がありましたが。

ホイス　ワハハハ！　それは噂さ（笑）。では、聞くけど、その試合のギャラはいくらだい？（笑）。

アレックス　ハハハ！　そうさ、私もマネージャーだからいくらのオファーか聞いておかないとね（笑）。まあ、これは冗談だけど（笑）。ただ、その噂についてはまったく聞いてないね。

――分かりました。ところで、横にいるのはホイスさんの弟子の方ですね。

ホイス　ジョン・バークだよ。8年間、私のもとでトレーニングをして茶帯を持ってるんだ。

――じゃあ、バーリ・トゥードの腕前も相当のものを持っていると思っていいんですか。

ジョン　プロの経験はまだないんだ。ただ、道場破りと対戦して勝ったこともあるし、ストリートファイトも2回ぐらいして勝ってるよ（笑）。でも、今は道場で教える仕事をしてるし、ホイスがもし試合に出場しろと言ったら、試合に向けて準備をするよ。

ホイス　『プライドGP』にも一緒に来日してるんだが、毎日一緒にトレーニングをしてるんだ。だから、そのトレーニング自体が実戦と同じようなものなんだよ。

――ホイスさんの目から見て、ジョンさんのいいところはどこですか。

ホイス　テクニックだ。試合で一番必要なのはテクニックなんだ。その次にスタミナや肉体的強さが必要になってくるがとにかく最初はテクニック。だから、私が彼の長所はテクニックだと答えていることを考えてほしい。

――なんか、こうやって聞くとバークさんのほうが先に『プライド』に出てそうな気がするんですが。

ホイス　まあ、可能性はなんでもあるさ（笑）。

――そうですね。ただ、確認したいんですけど、弟子をこうやって連れてくるということで、実はトレーナーに専念するみたいな気持ちはないですよね。

ホイス　ノー。私はファイターだ。

――例えば、1月とかに試合には出ませんか。

ホイス　早すぎるね。たぶんまだバケーションさ（笑）。

――いつバケーションは終わるんですか（笑）。

ホイス　今すぐさ（笑）。契約がまとまったらすぐ終わりだよ。日本のファン、『プライド』ファンはそれまで待っていてくれ（笑）。■

右がホイスの弟子、ジョン・バーク。ホイスのもとで8年間修行し、現在茶帯の彼は、プロで試合した経験はないものの道場破りを撃退した経験も持つ、『プライド』で活躍すること必至のファイターだ

ホイス・グレイシーのニューTシャツプレゼントだ！

ホイスさんのご厚意でニューTシャツを5名にプレゼント。ご希望の方は巻末ページの読プレと同じ宛先に「ホイスTシャツ希望」と書いて応募してください。また、購入希望の方はネット通販のみ可能です。http://www.roycegracie.tvまで。ちなみにHPにはホイスからのメッセージも掲載されており、のぞいてみるだけでも面白いかも。

サム・グレコ

12・31
「イノキ・ボンバイエ」で
K−1軍に
強力助っ人
登場!

緊急来日&会見!

11・3『プライド17』のリングに石井館長と共に現れたのは、なんとK−1トップファイターのサム・グレコだった。昨年4月の大阪大会以来、戦場をK−1からWCWに移していたグレコだが、WCWも倒産しK−1に帰ってくるのかと思いきや、VTにチャレンジするという。12・31「イノキ・ボンバイエ」参戦濃厚と言われているグレコが『プライド17』の翌日、緊急会見を開いた! グレコが参戦すれば、白組キャプテンの館長としても心強いが……

——昨日の『プライド17』を見た感想はいかがですか?

グレコ 最初から最後まで試合を見たけど、後半の試合は良かったね。一番良かったのは、ノゲイラVSヒーリング戦かな。

——『プライド』VSK—1に参戦したミルコ選手とスケルトン選手の試合はどうでしたか?

グレコ スケルトンの試合については、彼のVTに対する経験不足が露呈した試合だったと思う。フィニッシュホールドはチョークだったと聞いているが、ボクの見ている位置からはよく見えなかったんだ。ミルコは非常に賢い試合運びをしたと思うよ。彼はできるだけ自分の土壌で試合をしようと思っていたし、逆にタカダも自分の土壌で試合をしようとしていたから、ああいう状況になってしまったんだろうね。

——髙田VSミルコ戦のような状況になった時に、グレコさんならどうしますか?

グレコ まず、アイディアを言う前に言いたいんだけど、席に座って見ていると なんとでも言えるんだけど、リングに上がると状況はかなり違うと思うんだよ。自分は昨日座って見てたんだけど、その場の状況になってみないと分からない。VTの選手がK—1の選手と闘う時に、立ち技の選手を一番掴みやすいのは、攻撃をしてる時だと思うんだよ。

——総合のグローブは薄いんですけど、拳は危険じゃないですか?

グレコ アハハハハ。相手にとって危険だね(笑)。これはボクの考えなんだけど、逆に相手がストライカーならわざわざ受ける必要がないから、受けなくてすむのであればそれが一番いいよね。

——グレコ選手自身の今後の予定も決まってきたようですが、それに向けての抱負はありますか?

グレコ 具体的な試合をする日程はまだ決まってない。だけど、K—1を助けに来たという気持ちは変わっていないし、VTの試合に出て行きたいと思ってる。K—1の選手がVTをやる場合はほとんど相手のルールに近いものでやっているから、VT用のトレーニングは必要になってくるね。

——昨年4月のK—1大阪大会が、グレコ選手にとって最後のK—1の試合だったんですが、それ以降はどういうスケジュールだったんですか?

グレコ 基本的にはレスリングをやっていたんだけど、今までK—1でやっていたようなトレーニングもいきなりやめたくはなかったから、サンドバッグを蹴ったりはしてたよ。あとは体を維持するためにやるべきことはやってた(笑)。

——WCWでは何試合やったんですか?

グレコ WCWで25試合ほどやっていた。いわゆるテレビマッチのための地方巡業のような試合に出ていたんだ。ちょうどその頃に映画の話が決まって、その映画を撮っている間にWCWがなくなってしまったんだ。

——WCWで25試合闘っていた時の、グレコさんのフィニッシュホールドは?

グレコ 2つあったんだよ。1つは「フラッドライナー」という技。これはスープレックスのように持ち上げて、後ろに倒れるんじゃなくてそのまま相手の顔から落とす技。もう1つは「GKO」という技で、トップロープから飛んで蹴るもの。ちなみに「GKO」っていうのは、「グレコ・KO」って意味なんだ(笑)。

——WCWに上がってたのは、いつからいつまで?

グレコ 去年の8月から1年間くらい。それと並行して映画の撮影にも入っていたので、まるまるWCWで活動していたわけじゃないんだ。

——映画はどういったジャンルの映画なんですか?

グレコ 「スク・ビー・ドゥー」というア

メリカのアニメーションが映画化された

ダーワールドジムなんだけど、今はそこ

ポーツに集中したいと考えているんだ。

グレコ 基本的に誰とでもやるからね。

SAM GRECO

VTに挑戦しようと思ったのは、闘うことの楽しさをまた味わいたかったから

メリカのアニメーションが映画化されたもので、コメディーアクションだね。役はメキシカンレスラーだった。

――自分自身ではK―1の試合は引退したという意識なんですか？

グレコ　K―1を辞めた理由はあるんだけど、自分の中では一時休憩していると思いたいんだ。言い方を変えれば「引退してる」と言う人もいるんだよ。だけど、自分としては「引退」という言葉は使いたくない。ただ、いろんな見方があるからそう取られても仕方ないね。

――映画とかの仕事がある中で、VTに挑戦しようとした理由はなんですか？

グレコ　一番の理由は闘うことの楽しさをまた味わいたかったからさ。しばらくこういうことをやっていなかったら、競争する中に身を置きたいと強く思うようになってきた。自分のファイトのキャリアを見てみると、逆戻りしているような気はする。人間はよちよち歩きから、だんだん立って歩けるようになるんだけど、立ち技から始まって、どんどん寝技に行ってるっていう点でね（笑）。ただ、最終的には全ての面で強いファイターになりたいと思ってる。

――VTの練習は本格的に始めてるんですか？

グレコ　もうすでにオーストラリアで始めているんだけど、まだ初歩的なレベルを学んでる最中さ。気分的にはまた小学校に通っている感じかな（笑）。

――トレーナーは誰ですか？

グレコ　ハンガーフォーというチームと一緒にトレーニングをしてるんだ。使用しているジムは以前から使っているアンダーワールドジムなんだけど、今はそこでブラジリアン柔術を学んでいるんだ。

――VTをやっていくために、特に強化する練習は？　例えばミルコ選手だったらタックルを切るとか……。

グレコ　2つあるんだけど、まず第一にはミルコがやっていたタックルを切ることを極めたい。やっぱりバックグラウンドがK―1なので、その技をできるだけ有効に使いたいんだ。それから、万が一グラウンド状態になった時のための、グラウンドのテクニックも極めていきたい。

――グレコ選手は「イノキ・ボンバイエ」に出場するということでいいんですよね？

グレコ　まだ決めてないけど、決まった場合はみんなを驚かしたいね。

――猪木軍の選手で興味がある選手はいますか？

グレコ　正直、イノキグンのことはよく分からないからなんとも言えない。

――石井館長が「来年以降、サムは『プライド』のリングに上がる」と話してましたが、そうなった場合、ベルトなどもありますけど目標は？

グレコ　全ての選択肢をオープンにしていきたいと思っているんだ。そういう可能性があればチャレンジしたいし、ただ、先のことなのでなんとも言えない。

――来年は『プライド』に専念するんですか？

グレコ　1つのことを上達させるためには集中しないといけないと思うから、しばらくはVTならVTに集中すると思う。もちろん、K―1に出ることを否定するのではなく、今の自分にとって新しいスポーツに集中したいと考えているんだ。

――年齢的にも、今、VTに挑戦するのは自信があるから？

グレコ　逆にできないと思っていたら挑戦はしないし、そのための時間を作って集中してやりたいと思ってる。

――昨日、シウバが桜庭を投げ飛ばしましたけど、グレコ選手がVTをやったらああいう感じの試合になるんですか？

グレコ　なんとも言えないんだけど、あの2人は技術的に素晴らしい選手だから、お互いに技を出し合う中で、瞬間的に出たものだと思うんだよ。そういう瞬間がボクにもあれば使いたいなと思うけど、相手のあることだからなんとも言えないなあ（笑）。

――もし、「イノキ・ボンバイエ」に出ていくとすると、いろいろなバックグラウンドの選手たちと対戦することが可能なんですが、どの分野の選手と闘ってみたいですか？

グレコ　特にどういうトレーニングを積んできた人とやりたいというのはない。ただ、それぞれのバックグラウンドに応じての闘い方をやっていかないといけないよね。

――逆にどんなタイプの選手と闘っても勝つ自信があると。

グレコ　リングに上がるということは、勝つために上がるんだから、それは当たり前の話でしょ。リング外ではわりと穏やかだと思うんだけど、リングの中に入るとかなりアグレッシブなほうだと思うよ。"レイジングブル"って感じかな（笑）。

――「イノキ・ボンバイエ」には、藤田選手も出場予定なんですが、闘ってみたいと思いませんか？

グレコ　基本的に誰とでもやるからね。というのも、フジタは分かるけど、とにかくイノキグンのことは全然分からないから。ライオンがたくさんいる檻の中に入れられて闘うようなもんさ。

――最後にグレコ選手の復帰を待っていたファンに一言お願いします。

グレコ　また日本に戻ってこれて幸せです。日本は自分にとって第二の故郷だと思っているので嬉しい。そして、遊びに来てるわけではないので、100％の力を出して新しいチャレンジに挑みたいと思ってます。VTでもK―1の選手が世界一であることを証明したい。今はK―1の選手が相手のリングにチャレンジする立場なんだけど、そういう強い精神力を皆さんに見せたいし、グラジエーターのような姿を見せたいね。皆さんのサポートがあれば、明日にでも組まれた試合で勝てないかもしれないけど、K―1の選手が必ずトップであることを証明できると思うよ。■

▲『プライド17』名物の猪木劇場で、石井館長と共にリングに上がったグレコは"1・2・3、ダァ～"を初体験。だが、グレコは"2"の時点でダァ～しちゃってんだなこれが……

シウバはグッドリッジ並に『プライド』命男だった！

長期政権なるか？
『プライド』初代ミドル級王者
ヴァンダレイ・シウバ

11・3『プライド17』で桜庭和志を相手に『プライド』初代ミドル級王座決定戦に挑み勝利したシウバ。試合翌日に新王者なりたてのシウバにさっそく話を聞いてみた。

聞き手◎石黒由佳子
撮影◎乾晋也

シウバ　サクラバはガードが低いんだよ。

で、桜庭さんもかなり研究する時間があ

WANDERLEI SILVA

サクラバが泣いたのはサムライ精神があるから。シュートボクセで練習すればもっと強くなれるのに……

―『プライド』初代ミドル級王者となって一夜明けましたが、どうですか？

シウバ　最高に決まってるじゃない。オレが夢見てきたタイトルなんだから。だから、このベルトをなくさないために頑張っていくよ。

―昨日の試合に関しては、試合前に「サクラバを60秒で倒す」なんて言ってたじゃないですか。でも、試合的にはアクシデントはありましたけど、予想よりも遥かに長かったですよね（笑）。

シウバ　うん、あの1Rはホント大変だった。オレも東京ドームという会場の雰囲気というか、みんなサクラバファンだったじゃないか。だから東京ドームVSオレ、そしてサクラバVSオレって感じだったんだよね。それで思ったよりもリングに上がった時にプレッシャーを感じたよ。そんなプレッシャーもあったから、1Rは体が固かったなぁと自分でも感じていたんだ。だから、2R目からはいつものようにガンガン行こうと思ってたところだったのに、ドクターストップになっちゃったからさ。

―そうですね。1Rの桜庭さんの猛攻は凄かったんじゃないですか。そういう部分で焦りとかなかったですか？

シウバ　う～ん、もちろん固さもあったんだけど、自分なりに自分が持ってる全てのものが出せたと思ってるよ。寝技、ヒザ蹴り、パンチ……全て出せてたと思うけど、決して余裕があったというわけじゃなくて、試合の流れをうまく運べていたと思うんだよね。今回、こうやってオレが勝ったけど、サクラバのことは改めていい選手だなと思った。

―前回と今回では桜庭さんの手応えって全然違ったんじゃないですか？

シウバ　もちろんそうだよ。1回目よりも昨日の試合の時のほうが正直、大変だった。だけど、ミドル級のタイトルをオレとサクラバで闘わせてくれたことは本当に光栄に思っているし、やっぱりサクラバは凄い選手だよ。

―シウバさん的に一番凄いなと思ったのはどういう部分ですか？

シウバ　サクラバの技が凄いとかそういうところじゃなくて、オレが凄いなと思うのは、サクラバのハートの強いところ。あのサムライ精神は、本当に尊敬するよ。昨日の試合でサクラバは負けて、マイクパフォーマンスの時に涙を流していたけど、ああいうふうになるのは、やっぱり本当に闘うハートがないとならないよ。だから、サクラバは本当に闘うハートのある人間だと思ったね。一つ思ったんだけど、サクラバがもしシュートボクセで練習をすれば、もっといい選手になるよぉ。

―え～っ！　桜庭さんをシュートボクセに？　ほとんどあり得ないと思いますけど、もし、来たら何を一緒に練習したいの？

シウバ　サクラバはガードが低いんだよ。だからシュートボクセに入ればパンチの強さや打ち方、打撃一般がしっかり覚えられるから、サクラバにとってメリットがあると思うんだよな。

―はぁ～、今度聞いてみますよ。ところで、泣いたと言えばシウバさんは、泣いていた桜庭さんを見て、もらい泣きしていたって話を聞いたんですけど、ホントですか？

シウバ　えっ？　もちろん、昨日の試合では涙を流したけど、それはリング上ではないよ。試合が終わって控室に帰るとみんなで集まって、お祈りをするんだけど、その時にたくさん涙が出たなぁ。

―へぇ～、シウバさんも泣くんだあ。ちょっと気になったんですけど、シウバさんは桜庭さんに勝ったけど、ああいうアクシデントで終わっての勝利を、他のKO勝利のように受け止められますか？

シウバ　オレはファイターだから〝勝つ〟ということは大切なんだよ。特にこういうタイトルはね。今回はこういう勝ち方になったけど。でも本当はKO勝ちするのが一番好きなんだよ。それはファンのみんなも好きだろ？

―ですよね。2度目の対戦ということで、桜庭さんもかなり研究する時間があったと思うんですよ。シウバさんは何か秘策を準備していたんですか？

シウバ　2回目だからって、作戦なんてなんにも考えてなかったよ。オレはフジマセンセイが教える練習方法を一生懸命やるだけで、相手のビデオを見て研究して作戦を立てるなんて、オレだけじゃなくてシュートボクセのメンバーは誰もやらない。フジマセンセイの教えることを一生懸命毎日やるだけなんだ。それと「絶対、試合に勝つんだ」っていう強いハートを持ち続けることだね。

―そこがシュートボクセの一番の強さの秘密なんですかね。

シウバ　もちろんそうだよ。シュートボクセは25年間チャンピオンを生み続けている道場なんだ。センセイはスタミナ、テクニック、メンタルな部分でもホントに指導してくれるんだ。オレたちのために一生懸命頑張ってくれるから、その気持ちに応えるためにリングで勝つんだよ。

―シュートボクセの話になると熱いですねぇ。ところで、こうやってミドル級のベルトを取りましたが、次の防衛戦で闘ってみたい選手はいますか？

シウバ　オレは相手は一切選ばないよ。防衛戦の相手には全部勝つつもりだし、一番嬉しいのは、『プライド』が階級別を作ってくれたことなんだ。まあ、ミドル級に関しては、悪いけどオレがず～っとこのベルトは持ってるよ。誰にも渡さないから。

―凄い自信ですね（笑）。昨日の試合でダメージはなかったんですか？

フジマ　試合前には一切言わなかったが、実はヴァンダレイは3週間前にトレーニングの時にスパーリングで相手の蹴りを受けた時に（右手に）ダメージを受けて

▲桜庭の入場については「見てないけど、ひとり一人の選手のアピールの仕方ってあると思うからいいとは思うよ。でも、オレはそこまではできないなぁ。オレの勝負はリングの上で闘うところを見せることだから」とキッパリ

『プライド』のスタッフに「シウバはいらない」と言われるまでずっと『プライド』で試合がしたい

もしかしたら、折れてるかヒビが入っているかもしれないんだ。でも、試合前にレントゲンとか撮ると精神的にも影響があるから、そのまま試合に出させたんだ。だから、ブラジルに帰ってからちゃんと病院に行って検査させるよ。今回だけじゃなくて、メッツアー戦前も1日前にトレーニングをしてる時にヒザを痛めたんだ。でも、ヴァンダレイはそのまま試合をした。ホントにハートが強い選手だと思うよ。

シウバ ブラジルに帰ればすぐに治ると思うから大丈夫。今度は100%の状態で試合に臨むよ。

――シウバさんのケガは桜庭戦でさらにひどくなった感じですか?

シウバ 試合前はファンとも普通に握手ができてたんだよ。試合後からは痛くてできない状態だね。でもいくら拳を痛めたからってパンチの練習はちゃんとやらないとダメだと言われて、やってきたんだよ。

――凄いなぁ。昨日は試合があったから見られなかったかもしれませんけど、「『プライド』VSK―1」の試合があったんですよ。

シウバ タカダの試合は見たよ。

――どう思いました?

シウバ タカダは相手が打撃がうまいからああいうスタイルにしたんだろうな。それは間違ってないと思うよ。だけど、オレはタカダは強い選手だと思うから最初からガ～ンっと向かって行って、パンチやキックを出しながら寝技に持っていくスタイルにすれば絶対に勝てたよ。

――ミルコはK―1の選手なんですけど、シウバさんもどちらかというと、打撃系の選手じゃないですか。その打撃系の選手から見て、ミルコのVTのセンスはどう思いますか?

シウバ 見た感じだと才能があるかないかは分からないなぁ。やっぱりもう1回試合をしてホントにミルコが寝技、柔術やレスリングを一生懸命練習しているかを見てみたいね。なぜかと言うと、『プライド』のリングの上では、それがないと絶対に勝てないから。

――なんか、グッドリッジ並の門番って感じですね（笑）。そうそう、ホイスに話を聞いたら、シウバさんと桜庭さんの試合は「とにかく高いテクニック合戦で良かった」と話してましたよ。

シウバ へぇ～、それは凄く嬉しいなぁ。ホイスのように柔術やVTを知ってる人の目線で見ても、そう言ってもらえるのは凄く嬉しい。

――それで、ホイスさんに「次の試合はシウバのベルトに挑戦してね」と話したら、「アハハハ、たぶんね」と言ってたんですよ（笑）。

シウバ ダッハハハハハ。もし、『プライド』がホイスとの試合を組んでくれるなら、オレは受けて立ちたい。凄くいい試合になると思うよ。

――同じブラジル出身ということで、シウバさんは、グレイシー柔術についてはどう思ってますか?

シウバ ホントに凄いと思うよ。なぜかというと、オレもグレイシーファミリーの中で練習して黒帯を取ったセンセイに教えてもらってるし、グレイシーが柔術をブラジルでスタートさせたんだから。

だから、凄いと思うよ。

――さらに、シウバさんの打撃のうまさを見て、K―1の石井館長も「シウバはK―1に出ないかなぁ」なんて言ってましたよ。

シウバ オレは『プライド』の選手だから、もしK―1の選手がオレと闘いたいとか、カードを組みたいんなら、K―1のリングには上がらないよ。やりたいんだったら『プライド』のリングに来てくれればいいよ。オレは死ぬまで『プライド』のリングで闘いたいから。

――凄い覚悟ですねぇ。でも、シウバさんちょっと引く手あまたって感じですよ。

シウバ そうやってみんなが言ってくれるのは光栄だよ。でも、オレは『プライド』のリングで闘いたいんだよ。なぜかというと、『プライド』がオレの道を開いてくれたイベントだから。だって、『プライド』がなかったら、今の自分なんてないと思うよ。『プライド』のおかげで日本や世界に自分の名前が知られてるからね。それも全て『プライド』のおかげだもの。オレは『プライド』のスタッフが「もう、シウバのことはいらないよ」と言うまで、『プライド』で闘いたいね。

――そんな「いらない」なんて言わないと思いますよ（笑）。

シウバ 『プライド』のスタッフにずっとそう思ってもらいたいね。昨日の東京ドームのような舞台を作ってくれると、選手としていい試合をしないとダメなんだという責任感を凄く感じたよ。

――最後に、昨日思い切り桜庭さんを応援していてシウバさんにプレッシャーをかけたファンにメッセージを（笑）。

シウバ ん?

――いや、ファンにメッセージをお願いします（笑）。

シウバ サクラバファンは凄いと思うよ。だって、サクラバが負けてもずっと応援し続けるからね。これはとても大切なことだと思うよ。だけど、いつか全てのサクラバファンがオレを応援してもらえるように頑張るさ（笑）。

――分かりました。桜庭さんもそうですけど、シウバさんも早くケガ治してくださいね。■

▶フジマール先生が父というより母親のように面倒見がよく、まとまりのあるシュートボクセ軍団。弟分のニンジャと一緒にパチリ。インタビューの最後にフジマール先生が「ヴァンダレイが世界一強いと昔から思っていたよ。今回こうやってタイトルが取れて証明できた。今度はこのタイトルをいつまで持てるかというのが問題だと思うから、これからもチーム一体となって、心を引き締めてもっと練習をやってヴァンダレイだけじゃなく、チーム全員で応援していきたいね」とコメント。この軍団の結束力は並じゃない!

こ、これは新日本の謀略か!?

"PRIDE潰しの刺客" 小原道由 PRIDE落としに見事成功!!

頭をスキンヘッドにし、スパッツに『犬坤一擲』の文字を入れ、気合い満点で試合に臨んできた小原。師匠アニマル浜口譲りの気合いで、3Rにわたり守りの堅さを披露してくれた

『犬坤一擲』！小原の“捨て犬魂”爆発!!

戦前、注目を集めた小原のセコンド。アニマル浜口、犬軍団の後藤達俊、平成維震軍当時のメンバー（越中詩郎たち）、挙げ句の果ては山本小鉄など勝手な憶測が飛び交う中、連れてきたのは3人のT2000マシーンだった

© Essei Hara

▲ヘンゾのセコンドには現在兄ホリオンのもとから離れ、動向が注目されているホイス・グレイシーが……

▲『プライド１３』でダン・ヘンダーソンに敗れて以来の復活となったヘンゾ・グレイシー

▲試合展開は極めて単調。ヘンゾが打撃で小原をコーナーに追い詰め、胴タックルでコーナーに押し込み、そのまま膠着するというもの。小原は自分では何もせず、ヘンゾにも何もさせなかった

新日本プロレスからまた１人、いや1匹の犬が、『プライド』に上がることになった。犬である。小原道由。言わずと知れた、犬である。しかし、小原が『プライド』に上がる状況はいささか唐突な感じがする。なぜこの時期になって、小原は『プライド』に上がることになったのか？

新日本が今一番、目障りな物は何か？　猪木がプロデューサーを務めている『プライド』だろう。『プライド』は今やマット界の一大ブランドと化している。それに比べ、猪木が指摘するとおり、新日本が傾き始めていることは事実だ。新日本は10月8日に、東京ドームで興行を開催したが、それから約1カ月の間隔で、東京ドームで興行を打ってしまう『プライド』は、まさしく新日本にとって目の上のたんこぶなのだ。そんなライバル団体に所属選手をただで貸すほど、新日本は甘い団体ではない。小原を『プライド』に出した意味は、その辺にあるのかもしれない。

試合では、完全に対戦相手のヘンゾ・グレイシーは小原の術中にはまってしまった。小原の選んだ戦法は、何もしないこと。ヘンゾはパンチで距離を詰め、胴タックルで小原をコーナーに押し込む。ここからはもう、小原のペース。あとはひたすらコーナーで踏ん張り、一本取られないようにする。自分からは決して攻めず、ただひたすら防御にまわるのだ。

かつて、髙田延彦がヒクソン・グレイシーと初めて闘った時に、髙田が指導を受けた柔術家から、こういうアドバイスを受けた。「何もするな」。髙田は、それを守るこ

小原の気合いの方向はただ1点『プライド』の価値を下げることのみ?

ヘンゾのコメント

「オハラは試合に集中していなかった。いつもロープに寄りかかって、守ってばかりだった。リングの中央に持っていきたかったんだけど、体重差があって難しかったね。ただ、彼は潜在能力があるんだから、もっとアグレッシブに動けばいいと思うよ。今日の勝利でワイフが笑顔で喜んでくれたよ。次はイシザワとやりたいね」

小原のコメント

「何もできなかった。前に踏み込むことができなかった。もう一度チャンスが欲しい。グラウンドに持ち込むまでが課題だね。このままでは死にきれない」

▲何もしなかったと言ったが、こうして体を入れ替えヘンゾを押し込む場面も見られた

▲小原のファイトスタイルは『プライド』では受け入れられないのか? 2R・3Rと立て続けにイエローカードを出されてしまう

▲ピンチらしいピンチと言えば、2Rのこの場面。ヘンゾにテイクダウンされ、パンチとヒザ蹴りを打ち込まれ、あわやという場面だったがここも逃げ切る。ちなみに小原の頭部の黒い線はロープの影

『プライド』どころか、ヘンゾ株まで急降下……

▲復帰戦を勝利で飾ったヘンゾだが、そんなことは誰もが忘れていた。してやったり、小原道由!

▲何もしないということに気合いを入れすぎたか? 試合が終了すると「疲れた」という表情を見せた

★第1試合(1R10分、2・3R5分)
○ヘンゾ・グレイシー(3R判定3-0)小原道由●
〈ブラジル/ヘンゾ・グレイシー柔術アカデミー〉 〈日本/新日本プロレス〉
※小原にロープを掴む行為(2R)と膠着を誘発する行為(3R)でそれぞれ注意1あり

とができず、ヒクソンに敗れてしまった。しかし、小原はこの高等技術をどこで教わったのか知らないが、自分の物にし、ヘンゾの存在感をその場から消してしまったのだ。

この延々と続く膠着状態に、観客たちのテンションは第1試合から下がりっぱなし。早くも、興行に沈滞ムードが漂い始めてしまう。グレイシー一族の存在感を消し、会場の空気を極限まで悪くする。これが本当に新日本の嫌がらせだとしたら、なぜ小原が『プライド』に上がったのか理解できるだろう。

会場に足を運んだプロレスファンは、やはりプロレスが一番面白いんだと、2度と『プライド』には観戦に来なくなるかもしれない。今回は、消化不良が続き、『プライド』大惨敗とも言われている。その口火を切ったのは、小原の試合だった。これは『プライド』の価値を下げようとする新日本の謀略だと勘ぐられても仕方がない。

犬と呼ばれる男は、あくまで新日本の忠実なる犬だった。愛する新日本のために、己の誇りを捨てて、『プライド』株を下げるという大仕事をナチュラルにやってのけたのだ。そう解釈するしか、小原の闘いっぷりは理解できない。今まで『プライド』に上がってきた選手は、自分の名を挙げるため、実力を測るためにリングで闘った。小原のように何もしなかった選手などは、前代未聞だ。

小原を『プライド』潰しの刺客だと考えれば、あの延々と続いた膠着地獄も楽しめるかもしれない。しかし小原よ、お前は本当に何をしに来たんだ!?

(小松)

ざまあみろK―1？

でも大人げないぞ、トム・エリクソン!!

イエイ!!

PRIDEvsK-1特別ルールで行われた第6試合。実力はあるものの地味なキャラゆえ恵まれないスケルトンと、前回「プライド」ではヒーリングに逆転KO負けした陰の薄いエリクソンの対決。「これぞ男のロマン」と謳われていたが……

★第6試合（特別ルール3分3R、延長2R）
○トム・エリクソン（1R1分11秒、ギロチンチョーク）マット・スケルトン●
〈アメリカ/フリー〉〈イギリス/イーグルジム〉

トム・エリクソンよ、あえてココではフランクに〝トム〟と呼ばせてもらうけど、アンタはやっぱ強いわ！　K―1代表のスケルトンを相手に、開始早々タックルを決めて、まったく打撃の勝負をさせなかったわね。しかも、親指でノド元の頸動脈を絞める〝コブラクロー〟みたいな珍しい技も見せてくれたしね。秒殺だわ。トム、アンタが勝った時の喜びようといったらなかったわね！

でもね、トム。アンタ聞くところによると、グッドリッジに「プロとは何か？」をさんざん学んだって言ってたらしいじゃない。『プライド』ファンはシビアだから、勝利十観客のニーズに応えてみせるのがプロなんだ、って。

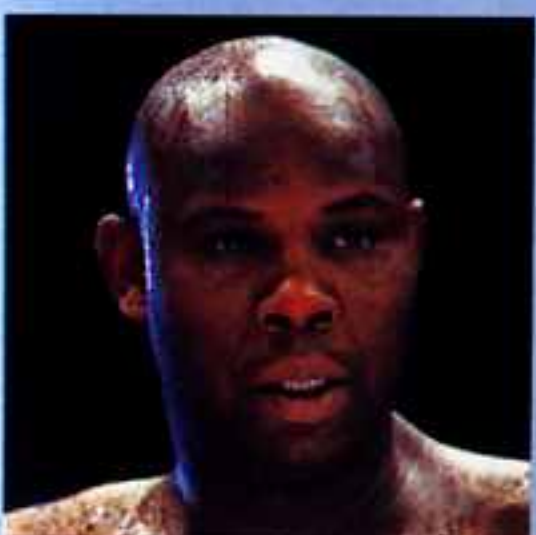
あのね、トム。試合前、このマッチメイクがなんて言われていたか知ってるの？「これぞ男のロマン」なのよ。打撃のできないトムが殴り合っちゃったり、寝技のできないスケルトンがなぜかスイープを決めちゃったり。そんなふうに、自分の得意技でチャッチャと仕留めるんじゃなくて、あえて相手の領域に踏み込む。〝これこそ男の決闘だ〟っていう闘いを、ホントはみんな見たかったんじゃないかしら？

だいたいスケルトンが、K―1でどんなキャラを演じてるか知ってるの!?　〝奴隷〟キャラよ!!　いくら地味だからって気の毒すぎるじゃない!!　グッドリッジは、K―1で〝ウドの大木〟だったノルキヤを〝動ける縄文杉〟に仕立て上げたけど、アンタはスケルトンの良いところをまったく出させなかったわね。これでスケルトン

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

エリクソンのコメント

「とってもエキサイティングだったよ。彼はK-1代表の危険なストライカーだ。でも、テイクダウンできれば、試合をコントロールできると確信していた。（最後の極め技は？）上から関節技を狙うために間隔を作ろうとした時、ノドを捕まえた。相手がタップアウトするまでプレッシャーをかけ続けた。（ゲーリーからは？）『相手を放り投げろ！容赦はいらない、眠らせてしまえ！』というアドバイスをもらったよ」

スケルトンのコメント

「ガッカリした。今までにあんな攻撃を受けたことがなくて、防御の仕方が分からなかった。僕としてはスタンドで闘いたかったが、彼は非常に力が強く、グラウンドに持ち込まれてしまった。今回は１週間しか時間がなくて練習不足、対策不足だった。（寝技の練習は？）リー・ハスデル（リングス・イギリス）のジムで１週間だけ練習した。（今後、ＶＴの試合は？）長い練習時間があれば、また闘いたい」

▲白鯨のセコンドには、８・19でＫ－１のノルキヤを破ったゲーリー・グッドリッジと、マーク・コールマンの姿が

▲スケルトンに組み付き、テイクダウンを狙っていくエリクソン。スケルトンは倒されまいと必死だ！

▲開始すぐ、スケルトンに攻撃をさせる間もなく、エリクソンがタックルに入った

白鯨、K−1の不沈艦を撃沈！
白鯨、「男のロマン」をも蹂躙（じゅうりん）！
捕鯨船行きだぞッ！

▲フィニッシュは、ノド元に親指をあてて絞め付ける「コブラクロー」のようなギロチン。スケルトン、タップアウト負け！

▲倒されまいと踏ん張っていたスケルトン。しかし、116キロのスケルトンを、135キロのエリクソンがフロントスープレックスでマットに投げつけた！！

は不沈艦から、ただの巨艦に成り下がっちゃったわ。全部アンタが悪いのよ、分かってんの、トム!! 大人げないったらありゃしないわよ、まったく。グッドリッジが「とにかく眠らせちまえ！」って言ってたからって、ノド元をつまみ上げることないじゃない！ 反則ギリギリよ、正味な話。

試合後、あなたは「今、猪木軍は2勝しているが、それは俺とグッドリッジなんだぜ！」って、息巻いていたけど、グッドリッジとアンタじゃ月とスッポンなのよ。っていうかアンタ、いつから猪木軍入りしたのよ!?

断言するわ！ この日のような闘いをしていたら、アンタの猪木軍入りは100％ないわ!!

ふぅ。さてと。ちょっとそこのマット・スケルトン！ アンタにも話があるのよ。そこへ座んなさい！ アンタは石川隆士か!? きょうびコブラクローで負けるかね、しかし？

アンタは試合前、「タックルは切れる！ でもそこからどうしていいか分かんない……」なんてぬかしてたわね。しかも、試合後は「グラウンドに持ち込まれて、どうしていいか分かんなかった……」だなんてまた言ったわね。ジャンルを背負って出る気概が足りなすぎるわ！ アンタの異名は今日から〝大英帝国の小原〟よ。

ふぅ。とにかくアンタたちを見てると、サクや猪木軍の偉大さがよく分かるわ。次の『プライド18』出場もほのめかしてたけど、今度こそ「男のロマン」ってのを見せてくれないと、2人揃って捕鯨船行きにしちゃうわよッ!!　（日比）

空手家同士のVTはKO決着でも余韻ゼロ

佐竹さん、あなたの〝本気〟ってこんなもんですか？

空手界のJ・鶴田、またも〝底〟を見せず

▲試合前のインタビューでは「魂をぶつけるしかない」と言っていた佐竹。気合い十分の表情でリングに上がった

▲が、シュルトにKO負けし、試合後はこんな表情に。いかにも悔しそうだが、顔より試合内容で楽しませてほしかった！　ちなみに佐竹は試合後、ノーコメントで会場を去っていった

自慢じゃないが、ボクがファン時代に一番お金を注ぎ込んだ選手は佐竹雅昭である。当時（90年代前半）の佐竹は、まさに格闘技界の新潮流のパイオニア。トーワ杯、格闘技オリンピック、それにK―1と、谷川さんが編集長をやっていた頃の『格通』を片手に、ほとんどの試合に足を運んだ。

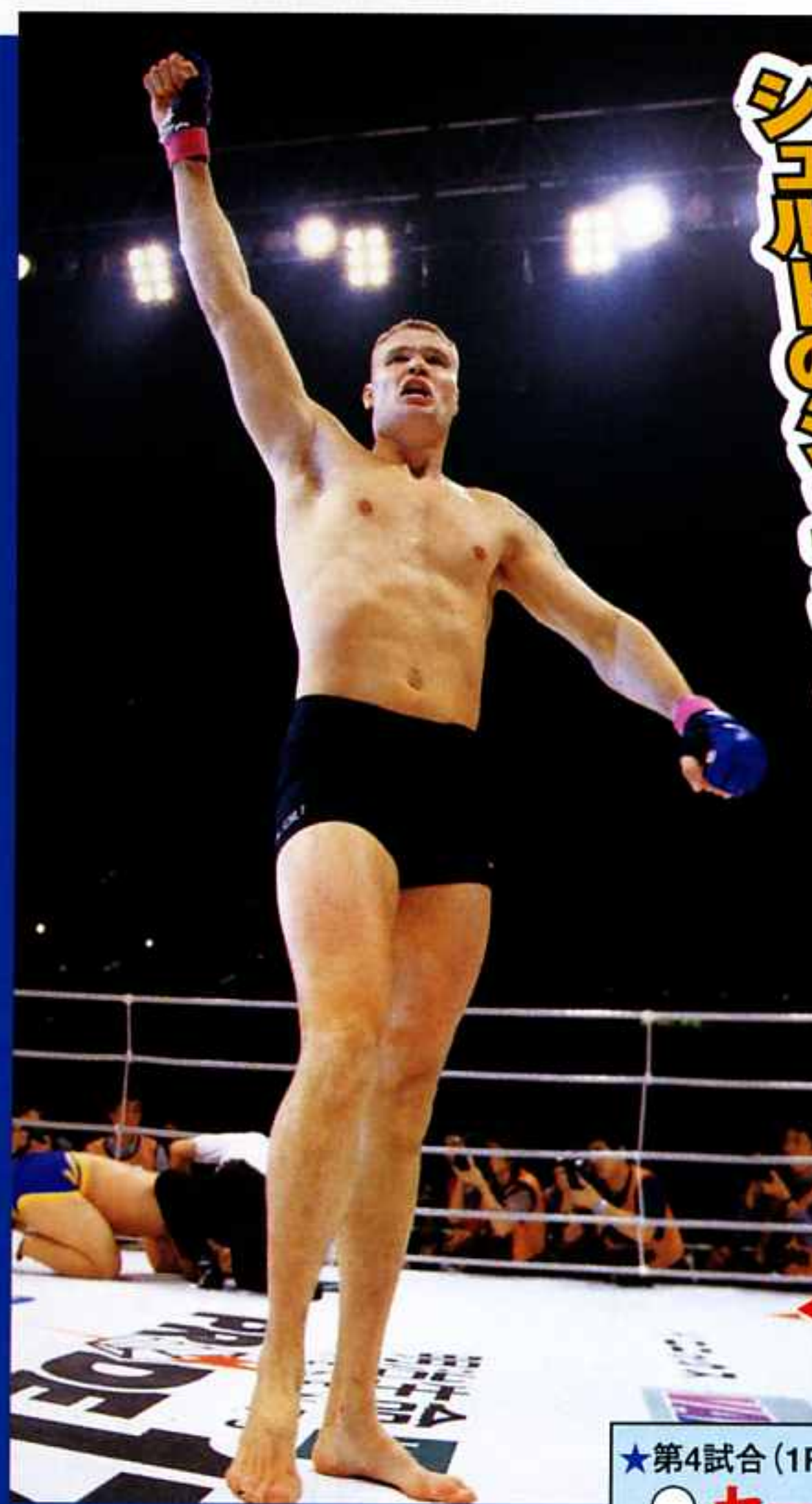
で、その時からずっと思っていたのが「佐竹って本気で全力を出して闘ったことがあるんだろうか？」ということ。日本人としては破格のフィジカル能力を持っている佐竹だが、そのせいか勝っても負けても八分の力で済ませてしまう印象がある。いったん勝てると思ったら相手を見下すような冷たい潰し方をするし、逆にヤバくなったらアッサリと勝負をあきらめてしまう感じ。ジャンボ鶴田みたいに、どこまでいっても〝強さの底〟が見えないのだ。そういう幻想というか謎が〝道場番長〟佐竹にはある。

あれから、格闘技界も佐竹の状況も大きく変化した。佐竹は『プライド』のリングを主戦場とするようになり、今回が7試合目である。相手はセーム・シュルト。212センチの巨体を誇る、パンクラス無差別級王者にして大道塾で2度優勝したオランダの空手家だ。

谷川編集長は、よく「日本人ファイターが『プライド』で輝くには、勝ち負けより我慢を見せるしかないんじゃないか」と言う。寂しい話だけど、でもたしかにそうだと思う。圧倒的な身体能力とテクニックを持つ外国の一流選手たち。彼らに実力でかなわなくても、せめてその猛攻に耐え続けて〝心〟を見せて観客に訴えるのがプロっ

早いよ！ シュルトのジャブで佐竹、ダウン……

シュルトのコメント

「サタケは良かったよ。でも、ボクはもっと良かった。サタケは空手とK－1の基礎があるからとても心が強いと思った。（フィニッシュのパンチは手応えがあった？）イエス。フィニッシュの前のパンチが、一番手応えがあったね。（ノーダメージ？）拳だけだね。ショウジとやった時に骨折した箇所を、また傷めてしまった。オランダに帰って病院に行くよ。（大道塾の世界大会は？）ちょっと問題があるから、たぶん出られないと思う」

▶フィニッシュシーン。シュルトの連打でコーナーに詰められた佐竹は、続くジャブ2発で崩れ落ちてしまう。シュルトがさらにパンチを落とすと、レフェリーがストップをかけた

★第4試合（1R10分、2・3R5分）
○ セーム・シュルト（1R2分18秒、KO勝ち）佐竹雅昭 ●
〈オランダ/ゴールデン・グローリー〉　〈日本/怪獣王国〉
※左ジャブ。シュルトに金的攻撃で注意1あり

▶ローキック、バックキック、左右のフックなど積極的に技を出していった佐竹だが、シュルトの間合いではほとんど届かない。逆に212センチの巨体に圧力をかけられ、肉体のダメージ以上に気力が削がれていたように見えた

▶ジャブ、前蹴りで何度も佐竹を吹っ飛ばしていたシュルト。今回はその怪物性を全開にする前に勝ってしまった感じだ

▲シュルトのヒザが金的に当たって佐竹、悶絶！ だがこの後、佐竹はあまり休息時間を取らずにシュルトに向かっていった

を見せて観客に訴えるのがプロってものだろう。

今の佐竹に求められているのも、まさしくそれだ。前回のボブチャンチン戦は、その意味で大合格の試合だった。ボコボコに殴られ、血をダラダラ流しながらも、佐竹は真正面からボブチャンチンに立ち向かったのだ。シュルト戦でも、またそんな姿が見られると期待していた。体格やパワーで劣っても、それに代わる何かをきっと残してくれるはずだ、と。

それなのに……。KO負けという結果はしょうがないにしても、その負け方があんまりだった。

アゴやテンプルを打ち抜かれて倒れたんじゃなかった。ジャブを顔面にもらって崩れ落ちたのだ。KOというよりも、これは佐竹の〝ギブアップ負け〟みたいにボクには見えた。シュルトの巨体と圧力に手も足も出ず、いつものように試合を投げてしまったのか。じゃあボブチャンチン戦はなんだったんだ!? あの試合でプロとして開眼したと思ったのに、次にまたこんな試合なの？ 結局、この試合は観客にまったくインパクトを残せなかった。盛り上がりもヘッタクレもないままに佐竹が倒れてしまったんだから当然だろう。

佐竹が格闘技界の先駆者だった時代から、もう10年近くが経った。いちファンだったボクは格闘技雑誌の記者になり、今回初めて佐竹の試合を担当することになった。だけど、今もまだ佐竹は、最高の〝本気〟を出してはいない。

佐竹さん、いつになったら、あなたの〝強さの底〟を見られるんでしょうか……？

（橋本）

バトラーツ再生のテーマは、ランペイジを潰すことにあり！

アレクに続き、石川社長まで撃沈！

©Essei Hara

石川のプロレス魂弾け散る！

10・14NKホール大会後に突然の冬眠宣言をしたバトラーツ。あのK―1戦士モハメド・アリと戦い終えたその夜、石川はある決意を胸に秘めたのだろう。

プロレスラーは最強である――アントニオ猪木に憧れてこの世界に足を踏み入れた石川は、この思いが人一倍強い。しかし、今はプロレスラーよりK―1や『プライド』のファイターのほうが「最強」と言われ、プロレスは弱体化していくばかりだ。バトラーツも進むべき道さえも見失っている。

今しかない！　勇気を持って一歩踏み出した石川の前に立ちはだかったのは、ランペイジ・ジャクソン。NK大会でアレクサンダー大塚を血祭りにあげた男を、あえて逆指名し、初の『プライド』参戦を決めたのである。

内に秘めた思いをさらけ出す時が来た。ゴングが鳴り、いきなりパンチを繰り出す石川。まさか打ち合いに来ると思っていなかったランペイジだが、冷静に石川の顔面にパンチをクリーンヒットさせる。そしてなんとパワーボムまで繰り出そうとするランペイジに逆プロレス魂を見た。

バトラーツ沖縄大会に参加したバス・ルッテンに打撃のコーチをしてもらった石川にはランペイジのアゴ先しか見えていない。しかし、紙一重で石川のパンチより先にランペイジの左右のストレートが石川の顔面を撃ち抜いた。崩れ落ちる石川に無情のゴング。石川の『プライド』初挑戦は、わずか1分52秒で終わった。

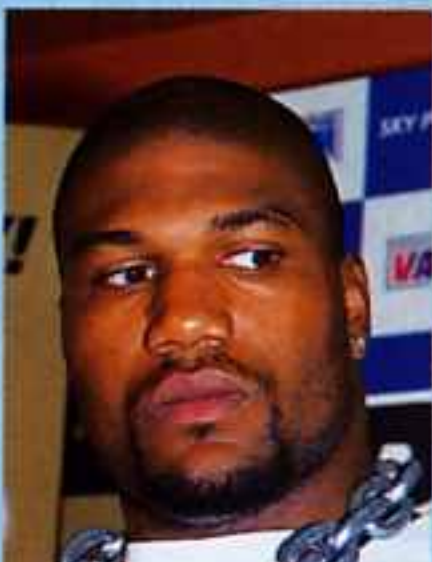
「第1試合がブーイングの中での

初っぱなから真っ向勝負のドツキ合い
「もっと強くなってこのリングに帰ってくる！」

▶ランペイジはお馴染みの太い鎖をクビに巻いて入場。なんとマウスピースにまで「RAMPAGE」のネームが

▼長年のクセでカメになってしまった石川に、ランペイジがヒザを落とし、何発かがまともにヒット。しかし、絶体絶命のピンチもなんとかポジションを変えて逃れる

▲新たな格闘人生の第一歩を踏み出した石川。入場は実にいい顔だった。セコンドには村上和成、臼田勝美、カール・マレンコがついた

ランペイジのコメント

「ああいうKOで勝ったのは初めてだったからとてもいい気分だよ。今回、打撃のトレーニングをかなり積んできたんで、それが出せて嬉しい。石川はパンチで正面から勝負してきて、とても勇気のある素晴らしいプロレスラーだと思うよ。それに凄い石頭だ（笑）。パワーボムを狙っていたんだけど、防がれてしまったのが残念だね」

石川のコメント

「最初の一発目手応えあったんですよ。チクショー、悔しいなぁ。やっぱりカメになるクセがついちゃっているんだよね。ずっとそれでやってきたんでね。今日は、アイツと殴り合いたかった、殴り合って勝ちたかった。負けたままじゃムカつきますから、納得いくまで自分を叩き直したい。狂ったように練習してもっと強くなりますよ」

▲開始早々、いきなり殴り合いにいった石川。「みんな俺がやられると思っていただろうから、なんとか予想を裏切りたかった。手応えはあったし、勝てると思ったんだけどなぁ」

▲石川のタックルに対し、強引にパワーボムで切り返そうとするランペイジ。とにかく尋常ではない怪力だ

▲フィニッシュとなったのは左フック。無謀とも思える打撃戦を挑み、魂のあふれる闘いを見せた石川だったが無念のKO負け

▼健闘を称え合う2人。石川は笑顔ながら、目からは一筋の悔し涙がこぼれて落ちた

★第2試合（1R10分、2・3R5分）
○クイントン・“ランペイジ”・ジャクソン（1R1分52秒、KO勝ち）石川雄規●
〈アメリカ/チーム・イハ〉　〈日本/格闘探偵団バトラーツ〉
※左フック

判定だったので、殴り合いを狙った。今度はもっとパンチを磨いて、きっとまたこのリングに帰ってきます」（石川）。

そう、これこそプロレス魂である。客を喜ばせてこそプロレスラー。石川の『プライド』挑戦は見事に散ったけど、生き様を見せつけることはできたはずだ。

そういえば、かつてこんな光景を見たことがあった。その昔、石川の先輩である、現パンクラスの船木誠勝と鈴木みのるはモーリス・スミスにコテンパンにやられ、その復讐を誓って、パンクラスを強い団体にしていったのだ。

そう考えると、アレク、石川を血祭りにあげたこのランペイジこそが、バトラーツにとってのモーリス・スミスということになる。こいつを倒してから新生バトラーツはスタートすることだろう。

石川よ勝つまで挑め！

試合後のパーティーでも猪木会長に「もう1回やれ」と言われたじゃないか？　ランペイジを潰してバトラーツ再生の足がかりにしろ。石川が駄目なら若い大場貴弘や佐藤学でもいい。誰でもいいからランペイジのタマを取ってこい。バトラーツの進むべき道は決まった。今こそ一致団結して世界の強豪を叩き潰そうぜ。こんな世の中だからこそ、豪快に、そして痛快な人生を歩まなければプロレスラーになった意味がないじゃないか。

石川よ世界で一番強くて、痛快なプロレス団体にしようぜ。夢なきこの世の中に風穴を開けて、今日『プライド』で踏み出した一歩を突き進め！　行けば分かるさ！　ナシャ〜!!

（シマコブラ）

最後に生き残るのはノゲイラ、スペーヒー？

これでいいのか、『プライド』！

『プライド』デビュー戦で、ものの見事なタップアウト勝ち。スペーヒーの技術はあのノゲイラを鍛え抜いただけのものがあった

スペーヒーは強かった。とんでもなくうまかった。やっぱりあのノゲイラの師匠だけのことはある。

開始から約10秒、放り投げるような右のパンチから、そのまま足を取りにいく。ボブチャンチンとて、グラウンド戦でどうにもならないことは先刻承知。なにしろ、自分は天性のストライカーであって、相手は蟻地獄とまで呼ばれるほど手練れの寝技師なのだ。スペーヒーの両腕を力づくで決めて耐えるが、ほどなく背中からバッタリとマットに落ちる。あとはブラジル人のやりたい放題し放題。左肩をショルダーチョークで絞め上げ、決着をつけるまで占めて11 2秒で全てをやり終えた。

あまりにあっさりとしたボブチャンチンの諦めである。「打撃の選手なので、彼の肩は凄い筋肉で盛り上がっている。それで逆にチョークによるプレッシャーも強まったのだろう」とスペーヒーに代弁してもらうくらい。

「日本に飛び立つ朝のトレーニングで、パートナーの歯が（額に）当たってケガをしてしまった」

つまり、試合に集中できなかったとボブチャンチンは言うのだが、そんなことはファンには関係ない。彼の豪快なノックアウトパンチが見たいだけ。大会前のセレモニーで桜庭、髙田に次ぐ声援が送られたのも、そんな期待感があったからこそ。なのにどうした、ボブチャンチン？　今年に入って、さっぱりじゃないか。どう見ても二線級のボクサー以上ではないテリグマンに殴り負けて以来、北の最終兵器の号砲は一度も聞けない。

ま、それもしょうがない。スペ

北の最終兵器は一撃も放たず……
このまま錆びついてしまうのか！？

スペーヒーのコメント

「自分の思いどおりに闘えて、そして勝てた。ボブチャンチンについてはビデオなどで、どこが強いのかを勉強して、自分のテクニックの何を使うのか考えたんだ。最初のパンチ？　フェイントではない。踏み込んで決めようと思ったパンチだ。すぐに足が見えたのでそのままつかんで倒したんだ。今後も『プライド』のリングで闘いたい」

ボブチャンチンのコメント

「もちろん負けてしまって残念だが、実は来日直前にケガをしてしまって、そのことが気になっていた。試合でもすぐに切れてしまって。ずっとドクターストップがかかるんじゃないかと気にしていたところで、スキを見せてしまった。あきらめが早い？　私は関節技を熟知している。もう逃げられないと分かったからタップしたんだ」

▲ボブチャンチンはまるでいいところなし。グラウンドでブラジリアン柔術の奥義にたっぷりといじめ抜かれた

さすが寝技の達人スペーヒー、開始10秒でボブチャンチンをすっ転がした！

◀ボブチャンチンの右額にはテープがベッタリ。来日直前の練習でカットしたという。そのせいか表情は最初から冴えなかった

▲最後は肩固め。ボブチャンチンに気力なく、あっさりとタップアウトしてしまった

▲開始10秒、スペーヒーは投げ込むような右パンチから、すかさず足を取り、ボブチャンチンをそのまま寝技に誘い込んだ

▲リングアナウンサーを務めたのは立川談志師匠。「激戦を期待したい」と、せっかく呼びかけてくれたのだが…

★第5試合（1R10分、2・3R5分）
○マリオ・スペーヒー（1R2分52秒、肩固め）イゴール・ボブチャンチン●
〈ブラジル/ブラジリアン・トップチーム〉　〈ウクライナ/フリー〉

ーヒーの力がそれほど上だったということ。即座に自分の戦闘エリアに引きずり込み、ボブチャンチンの丸太のような体を自由自在に弄ぶ。その技術の数々に、5万観客で埋まったスタンドでは、「ほう。うまいじゃないか」とあちこちからため息も聞こえた。

が、そこで言いたい。これでいいのか、『プライド』は？　上等な技術者が集まり、日ごろ鍛錬した技を競い合う。それはそれで意義がある。けれど、それは別の場所でいい。『プライド』の思想とは、多数の異空間格闘フィールドが集い、最強というモニュメントをエンターテインメントとともに築こうというのではないか。だとしたら、ちょいと見ジョージ・クルーニー似のいい男スペーヒーも、下町の実直な工場長にしか見えない。ノゲイラにしてもそう。彼の風貌は僻地のリングを彷徨う老練ボクサーのそれだ。私個人の好みではあっても、『プライド』という空間には地味に見えてしまう。

我々がこのリングで見たいものを考えるなら、彼らの至高の技術は脇役で十分。地上最強というテーマは、あるいは幻想であっても、何がいけない？　幻想を抱かせるだけのカリスマがほしい。ただひたすら追い求める最強のロマンでも。でなければ「一番強くなりてぇ」としか言葉にできないケンカバカの純情でもいい。見る側に幻想のいかなる形でも、好き勝手に描かせてくれるキャンバス。そんなヤツだけが待ち遠しい。

だから、この夜のスペーヒーの鮮やかな勝利を、私はあえて否定する。

（宮崎）

ムリーロ・ニンジャ惜敗で再認識

ボクのマブダチ

だから大好き！シュート・ボクセ!!

ヘンダーソンのコメント

「次は桜庭と闘いたい。フランク・シャムロックなどのトップファイターでもいいよ。（ペレの挑戦表明に対して）オレはニンジャに勝った。ニンジャは松井に勝った。その松井はペレに勝っている。だから、オレがペレと闘ってもなんの意味もない。ペレは他のトップファイターと闘って勝ってから、オレに挑戦してこい」

ニンジャのコメント

「ヘンダーソンは素晴らしい選手だ。だが、判定は納得できない。1、2Rはポジショニングでも優位に立っていたし、自分が勝っていると思う。ギロチンも効いてなかったしね。（3Rのパンチラッシュは効きましたか？）グラついて見えたのは、パンチのせいではなく、ただ単にスタミナが切れただけだ」

ペレのコメント

「オレはニンジャの師匠。ニンジャの仇はオレが討つ！」

▲どこからともなく発射される、危険度満点のニンジャの打撃。強豪ヘンダーソンをここまで苦しめるとは……その強さが心地良い！

▲オリンピックレスラーのヘンダーソンからテイクダウンを奪う場面も！

▶ギロチンから脱出したニンジャは猛攻を開始。1、2R共に終始ポジショニングで優位に立った

▶3R、ヘンダーソンが大逆転劇を見せる。パンチラッシュにグラつくニンジャ。ここで負ったダメージが判定負けへとつながった

▲1Rはヘンダーソンのギロチンチョークから始まった。極まるかに見えたが、ニンジャは試合後「全然効いてなかった」と頼もしいコメント

★第3試合（1R10分、2・3R5分）
○ダン・ヘンダーソン（3R判定2-1）ムリーロ・ニンジャ●
〈アメリカ/チーム・クエスト〉　〈ブラジル/シュート・ボクセ・アカデミー〉

何を隠そう、ボクはシュート・ボクセが世界で一番好きなチーム。おそらく、取材の回数も猪木さん（成田会見オンリー）と同じくらい多く、初めて自分の顔を覚えてもらった選手は、なんとヴァンダレイ。そんなシュート・ボクセには、格別の思い入れがあるのだ。

さて、シュート・ボクセのイメージと言えば、〝暴力的なファイトスタイル〟。〝標的は常に顔面を〟というチームカラーは、世界に類を見ない残虐さだ。ムリーロ・ニンジャも、もちろんこのシュート・ボクセ・スタイルの体現者。初めて会った時、フジマ会長から「こいつもよろしく」と連れられてきたニンジャの印象は「……子供？」。だが、松井戦で見せた殺戮ショーは凄まじいの一言だった。

しかし、今回はさすがに厳しい。相手は強豪ダン・ヘンダーソンだ。21歳の子わっぱが勝てる相手ではないだろう……というボクの心配をよそに、ニンジャは大健闘を見せる。五輪レスラー相手にテイクダウンを奪い、パスに成功。サイドをキープし、打撃を顔面に集中砲火。KO負けを食らいそうなラッシュを浴びても、試合後「スタミナが切れただけ」とケロリだ。結果、判定負けを喫したものの、その恐るべき潜在能力の高さを存分に印象づけた一戦だった。

そう言えば、試合前にニンジャはこんなことを言っていた。「チームではボクは5番目くらいの強さだよ。そんなことより聞いてくれよ、ペレの奥さんは本当にキレイなんだぜ～（ニヤリ）」。……シュート・ボクセの底知れぬ強さを感じずにはいられない。

（宗忠）

PRIDE.17
11.3★東京ドーム

PRIDEファンクラブイベント開催!

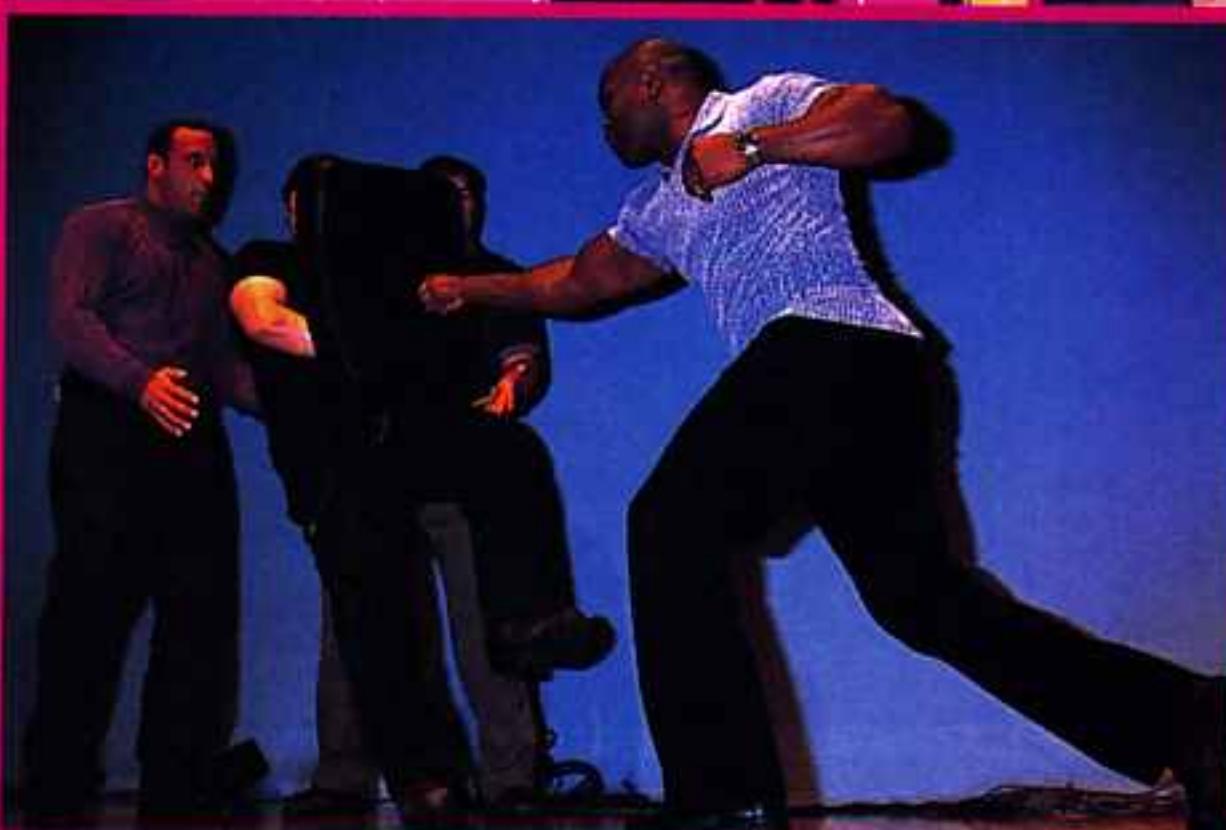
あのノゲイラのこんな笑顔が見れた!

『プライド17』東京ドーム大会の翌日、都内某所で、PRIDEファンクラブ「PRIDEオフィシャルクラブ」の会員を対象に、第1回目のイベント『PRIDE BANQUET vol.1』が行われた。抽選で選ばれたファンが参加し、トークショー、ジャンケン大会、カルトクイズ大会、サイン会など、選手との交流が行われ、大変盛り上がった。参加したファンは今頃、思い出に耽っていることだろう!

▶イベントには佐藤江梨子も参加

◀第2部では、予選を勝ち抜いたファンと選手がペアを組み、カルトクイズ大会が行われた。カルトクイズの問題には選手の乳首当てクイズまでもが!

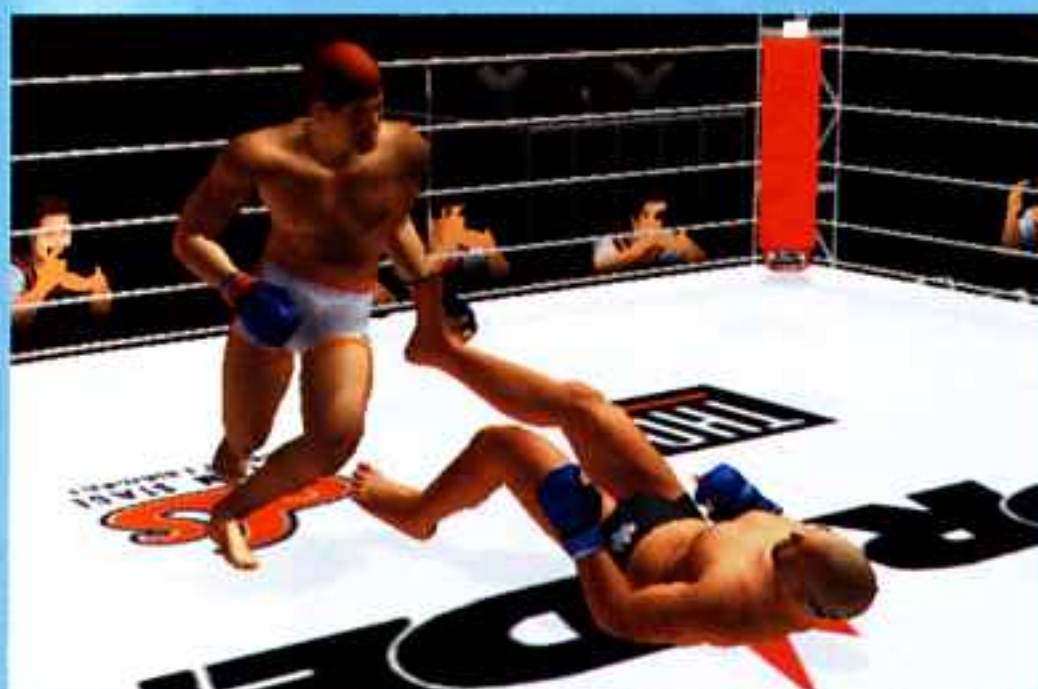
サイン会にはCMコスチュームで登場したコールマン

▲選手とこんなに身近で写真を撮れるチャンスがあるなんて! PRIDE初代ヘビー級王者となったばかりのノゲイラの前には長蛇の列が。アッ! サクTシャツをノゲイラに! このイベントにはノゲイラ、ホイス、藤田、コールマン、グッドリッジ、エリクソン、マリオが参加した

◀現役ファイターのキック&パンチ体験コーナー。グッドリッジのパンチをキックミットで受け止め、吹っ飛んだ体をコールマンとエリクソンに受け止めてもらう。感動だな〜

◀▶第1部では、ホイスと藤田のトークショーが行われた。ホイスは来年以降の『プライド』出場を匂わし、藤田は、前日に行われた『プライド17』の感想を語ってくれた

撮影◎乾晋也

プレステ2で『PRIDE』ゲーム化！

あの『PRIDE』が、カプコンからプレステ２対応でゲームソフト化されることになった。桜庭、藤田、ヒーリング、グッドリッジら20名の選手が実名で登場する予定のこのゲーム、打撃はもちろんポジショニングや関節技の攻防も細かく操作できる。カウンターに対するダメージのシステムにも新しいものを取り入れ、さらに「ケガ」の要素もあるなど、『プライド』のファイトがリアルに再現されているぞ。当然、４ポイント打撃もアリ!?

〈製品内容〉
タイトル名：『PRIDE』（仮）
ジャンル：総合格闘技（仮）
対応機種：プレイステーション２
発売日：未定
価格：未定
開発元：THQ/Anchor
発売元：株式会社カプコン

※画面は開発中のものです

サンゴ礁に「元気ですかーッ！」パラオ共和国大統領、猪木軍団入り!?

場所がどこであれ、第一声は「元気ですかーッ！」だった猪木

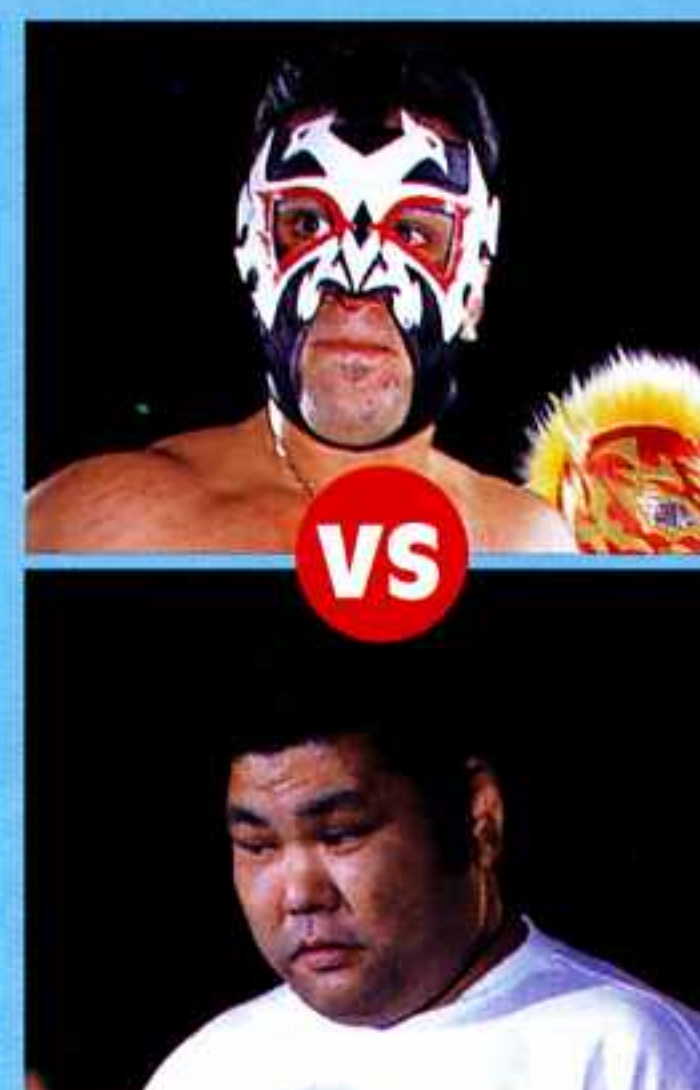
11月１日（木）、東京・有楽町の外国人記者クラブにて行われたトミー・レインゲサウ・ジュニアパラオ共和国大統領の記者会見に、なんとアントニオ猪木が同席した。パラオといえばイノキ・アイランドだが、同時に世界ナンバー１のスキューバダイビングスポットとしても人気。しかしその反面、海中のサンゴが死滅しているのも事実で、そんなパラオのサンゴに元気を与えるべく、アントンが立ち上がったというわけだ。パラオ国から正式認可された『猪木財団』が中心となり、サンゴの増殖事業を始めることになる。具体的な活動としては、「養殖ではなく増殖。約400種類いると言われるサンゴの中で、相性の良いもの同士を繁殖させ、サンゴの死滅を防ぎたい。まずは、イノキ島の周りをサンゴの園にすることかな。将来的には、サンゴ増殖の技術を世界に発信していきたい」と猪木。元気があればサンゴも育つ！　とばかり、大統領と強力タッグを結成した。また、会見終了後の報道陣による囲み取材では、新日本プロレス・藤波社長がテレビ朝日と協議の上『猪木祭り』不参加を表明したことに対し「今は、テレ朝に選手を拘束できる権利はない。選手には輝ける一時がある。オレらは選手が輝ける手助けをするだけ。そういう状況になったら、新日本を飛び出す選手もいるんじゃないかな。藤田や安田、小川がいい例でしょ」とコメント。恒例の新日批判を繰り広げたのだった。

11・20 SBvsシュートボクセ間近！まずは会長同士が一騎討ち!?

11月20日（火）、シュートボクシング後楽園大会で行われるＳＢvsシュートボクセの３対３対抗戦。これに先立ち、ＳＢのシーザー武志会長が『プライド17』のために来日中だったシュートボクセ会長・フジマール氏と対談した。最初は「同じ志を持つ者として、末永く交流したい」と友好的だった両会長だが、話が進むにつれ対抗意識が大炎上。フジマール会長が「選手には“殺す気でやれ”と言ってある」と吠えれば、シーザー会長も「名前は似てるけど、ウチが本家だから。分家にゃ負けん！」と興奮。いきなり対抗戦第１Ｒが始まったのだった……。この対談の模様は、次号で掲載。両手をクネクネしながら待て！

12・23『DEEP2001』対戦カード発表 ドスJrの相手は大刀光だった！

『DEEP2001 3rd IMPACT』
12月23日（日・祝）　ディファ有明

村浜武洋〈大阪プロレス〉	VS	ビクトル・ラバナレス〈メキシコ〉
矢野卓見〈烏合会〉	VS	“ランバー”ソムデート吉沢〈M16ジム〉
ドス・カラスJr〈AAA〉	VS	大刀光〈SPWF〉
坂田亘〈EVOLUTION〉	VS	窪田幸生〈パンクラス・横浜〉
上山龍紀〈U-FILE CAMP〉	VS	ラバーン・クラーク〈ミレティッチ・マーシャルアーツ・センター〉
日高郁人〈格闘探偵団バトラーツ〉	VS	伊藤崇文〈パンクラス・横浜〉
長南亮〈U-FILE CAMP〉	VS	冨宅飛駈〈パンクラス・東京〉
村浜天晴〈フリー〉	VS	大石幸史〈パンクラス・横浜〉
JTC優勝者	VS	X

佐伯代表がドスJrの相手として語っていた「打撃ができて投げも食わない、謙吾ゆかりの超大型選手」とは大刀光だった！　たしかに言葉の意味としては合ってるぞ！　さらに村浜兄弟の揃い踏み、ヤノタクvsランバー（総合では奥さんの姓を名乗ることになった）という魅惑の軽量級マッチも実現！

11・2『UFC34/High Voltage』大会結果

○ランディ・クートゥアー（3R1分38秒、TKO）ペドロ・ヒーゾ●
○マット・ヒューズ（2R1分27秒、KO）カーロス・ニュートン●
○リコ・ロドリゲス（2R4分02秒、レフェリーストップ）ピート・ウィリアムス●
○B・J・ペン（1R0分11秒、KO）宇野薫●
○ジョッシュ・バーネット（2R4分25秒、TKO）ボビー・ホフマン●
○エヴァン・タナー（2R0分55秒、腕十字）ホーマー・ムーア●
○マット・リンドランド（判定2-0）フィル・バローニ●
○フランク・マイヤー（1R1分05秒、腕十字）ホベルト・トラヴェン●

速報！

11・3〜4 第33回極真カラテ全日本大会

木山仁、史上6人目の2連覇達成！

▲決勝戦は木山仁（右）対木村靖彦。昨年と同じ組み合わせだった。一発ごとに大きな気合いを発しながら攻めてくる木村に、木山も鋭い突きと下段回し蹴りで対抗。一瞬のスキを突いたカカト落としで技有りを奪い、木山が本戦５－０の判定で優勝を決めた

▲鹿児島支部の仲間たちに胴上げされる木山。力強さ、安定感に加えカカト落としをはじめとする鮮やかな大技も使いこなし、まったく危なげなく２連覇を達成した

▲大会終了後、松井館長は「結果的に見たら順当。世界大会経験者が落ちたり、波乱もありましたけれども、上位に行った選手はみんな実力があり、ベスト８に20代前半の、田中君なり市川君なりが入ってきたのは喜ばしい。木山君は２連覇して自信を付けただろうし、逆に木村君は２連敗ということで、これを発憤材料にして再来年の世界大会まで頑張ってほしい」と語った

11月3〜4日の2日間、東京体育館で極真会館の第33回全日本大会が開催され、鹿児島支部の木山仁が史上6人目となる2連覇を達成した。昨年に続いて数見肇が欠場した今大会だったが、内容的には非常に充実していた。木山は王者としての貫禄すら漂わせる強さで優勝。決勝で敗れたものの、木村靖彦も、昨年以上の実力を窺わせてくれた。市村直樹、木立裕之らベテランに替わって田中健太郎、市川雅也といった若い世代の選手が上位を占め、ベスト8の顔ぶれがこれまでとは違ったフレッシュなものになったのも印象深い。また、正道会館・重量級王者の加藤達哉が8位に入賞。〝打倒・極真〟を旗印にしてきた正道勢が初めてベスト8進出を果たしている。2003年に行われる世界大会へ向け、空手母国・日本が確実に力を貯えていることを感じさせる大会だったと言えるだろう。

※今大会の詳細は次号で掲載します

第33回オープントーナメント 全日本空手道選手権大会 《RESULT》※ベスト8

優勝：木山仁

- 木村靖彦（本部直轄浅草道場）
- 田中健太郎（横浜港南支部）
- 加藤達哉（正道会館）
- 市川雅也（奈良支部）
- 足立慎史（本部直轄浅草道場）
- 池田雅人（総本部）
- 池田祥規（東京城西支部）
- 木山仁（鹿児島支部）

3決：市川雅也 － 足立慎史

敢闘賞：市川雅也
技能賞：池田雅人
試割賞：池田雅人（29枚）

グレート・アントニオ 誌上通販

闘魂シリーズ

(株)猪木事務所パーカーができました!

▼グレート・アントニオ&『紙プロ』誌上通販&リングス会場で絶賛発売中!

FASTING

●ファスティング・ダイエット
¥18,000(税別)

みんなのアイドル クイック・キック・リー U.K.ツアーTシャツ!!

●前田日明クイック・キック・リーTシャツ ¥3,800(税別)
(白・黄/サイズXS・S・M・L)

●(株)猪木事務所パーカー
(ネイビー/サイズM・L)
¥6,500(税別)

NEW

NU SCIENCE

●元気ですかジュース(1000ml入り)
¥5,800(税別)

T-SHIRTS

●アントニオ猪木'76Tシャツ
(デザインカラー黒・赤/サイズXS・S・M・L)
¥4,000(税別)

●猪木軍団応援Tシャツ(白/サイズXS・S・M・L)
¥4,000(税別)

●浅草キッドTシャツ(デザイン黒・赤/サイズXS・S・M・L)
¥3,500(税別)

●とうふパンTシャツ(黒・緑/サイズXS・S・M・L)
¥2,800(税別)

●猪木顔面Tシャツ(白/サイズM・L・XL)
¥3,500(税別)

○(株)猪木事務所Tシャツ(白・黒・赤/サイズM・L)
¥3,500(税別)

●VIVA破壊王Tシャツ(白/サイズXS・S・M・L・XL)
¥3,500(税別)

●時はきたTシャツ(黒/サイズXS・M・L・XL)
¥3,500(税別)

●グレート・アントニオTシャツ
(白/サイズXS・S・M・L)
¥2,000(税別)

CLOTHES

●マスクド・ウィンドブレーカー
(黒・カーキ/サイズS・M・L)
¥6,800(税別)

●グレート・アントニオスウェット
(グレー/サイズS・M・L)
¥4,500(税別)

●SAKUベルト
¥3,000(税別)

HOBBY

モンチッチを手掛けるメーカーより サクモン登場！

●SAKUベルト（本物と同じサイズ&段ボール製）
¥2,500（税別）

●桜庭和志ぬいぐるみ『サクモン』
※ソフトビニール製・毛張り人形。
©髙田道場／サン・アロー
¥1,600（税別）

CAP

●（株）猪木事務所キャップ
¥2,800（税別）

●グレート・アントニオキャップ
¥1,500（税別）

●INOKIキャップ（黒・ライトグレー）
¥3,500（税別）

GOODS

●ダイエットブッチャースリムスキン缶バッジ
¥3,000（税別）
※三代目魚武濱田成夫&グレート・アントニオロゴ入り

●闘魂おまもり（赤・ネイビー）
¥1,000（税別）

●SAKUキーホルダー
¥800（税別）
FRONT　BACK

●髙田道場ステッカー（A4サイズ）
¥1,000（税別）

●（株）猪木事務所アッシュトレー
¥1,000（税別）

●（株）猪木事務所マグカップ
¥1,500（税別）

ぼくが欲しけりゃ
こっちへおいで！
http://www.great-antonio.jp
ファスティングジュースも
買えるよ！

ご注文方法

ご注文は電話受付のみです

『グレート・アントニオ』通販専用NAVIダイヤル
☎ **0570-007800** ※携帯電話からは掛かりません。
☎ **03-3295-4450** ※携帯電話でも掛かります。
【受付曜日・時間】月曜日～土曜日 AM10:00～PM6:00

商品お渡し方法

代金引換でのお受け取りとなります。
◎商品代金のほかに送料約700円（ゆうパック）、代引手数料約250円（いずれも地域によって異なります）がかかります。
◎お届けはご注文をいただいてから、5日前後で（株）ジャンボ（大阪）より郵送いたします。（ご注文が集中した場合は、お時間をいただく事があります。ご了承ください）

ご注意

◎代金、送料の先払いはお受けできません。
◎サイズ交換等の返品・交換はお受けできません。不良品等の理由による返品・交換の場合は、商品到着後10日以内にお電話にてご連絡ください。（期日を過ぎた場合は、受け付け致しかねます）
◎『グレート・アントニオ』店頭および『SRS・DX』編集部では、ご注文を受け付けておりません。

http://www.great-antonio.jp

ACCESS MAP

○神保町駅（半蔵門線/都営新宿線/都営三田線）より徒歩5分
○小川町駅（都営新宿線）より徒歩5分
○淡路町駅（丸ノ内線）より徒歩6分
○竹橋駅（東西線）より徒歩8分

OPEN 11:00～20:00（月曜定休）
東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル1F
TEL 03-3219-9550

イエー！　藤田和之フィギュア全開製作中！
12月発売！

たっつぁん万座ビーチ

読者プレゼント

■応募方法

ハガキには必ず応募券を貼ろう！

右ページ下の応募券を官製ハガキに貼って、
① 郵便番号・住所・電話番号
② お名前
③ 年齢・ご職業
④ 希望プレゼント名
⑤ 今号で面白かった記事とその理由（複数可）
⑥ 今号で面白くなかった記事とその理由（複数可）
⑦ 本誌に対するご意見・ご感想

を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先…〒101-0054　東京都千代田区神田錦町
3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部「たっつぁん万座ビーチ㊿」係まで
締め切り…11月29日（木）
当日消印有効

【グレート・アントニオ提供】

アリ・ボンバイエ！！　LONSDALE製アリT入荷！

●（株）猪木事務所パーカー
（ネイビー/サイズM・L）
3名様

●グレート・アントニオ・イノキ・ボンバイエTシャツ
（非売品/サイズS・M・L）
3名様

●モハメド・アリTシャツ
（カラー白/サイズS・M・L）
BACK
FRONT
3名様

※グレート・アントニオの商品に関するお問い合わせは、グレート・アントニオ☎03-3219-9550、またはhttp://www.great-antonio.jpまで

【ダイエットブッチャースリムスキン提供】

大好評『ビヨンド・ザ・マット』Tの第2弾！

●『ビヨンド・ザ・マット』Tシャツ
（ver.2/サイズS・M・L）
2名様

※『ビヨンド・ザ・マット』のTシャツは劇場、オクタゴン、グレート・アントニオだけの限定販売！　ダイエットブッチャーの商品は、直販店「オクタゴン」（渋谷区神宮前5-16-8☎03-3486-5539）で、今回ご提供の商品はグレート・アントニオでも買えるよ！

【猪木事務所提供】

世界が平和でありますように！

●北朝鮮『平和の祭典』記念切手
2名様

●soul 安田忠夫日本てぬぐい
3名様

【ヴァリス提供】

アントンハイセルの全貌公開！

●DVD『誰も未だ見ぬ猪木』
3名様

●ビデオ『金本浩二』
3名様

【髙田道場提供】

暮れには早い来年のカレンダー発売中！

●2002年髙田道場カレンダー
2名様

※髙田、桜庭、松井選手の貴重なショットと選手&キッズファイター達の元気な集合写真！　計7枚の卓上カレンダー。価格￥1500（税別）

男の子から、男へ。

キーワードは「無痛」「無傷」「安心」。
過去20万人の治療実績を誇る
上野クリニックの技術と安心が
一冊の本になりました。
あなたの下半身の悩みにしっかり、
まじめにお答えします。

第1章　日本人の3人に2人は包茎です。

包茎は病気ではありませんが、病気を起こす根源になるとともに、心理的なコンプレックスの原因にもなるのです。解決の第1歩は24時間無料相談ができる東京上野クリニックのフリーダイヤルから。

第2章　包茎は百害あって一利なし。

包茎で大損した男の実話集。●包茎は早漏のもと。●包茎は雑菌の溜まり場、性病の巣。
包茎治療で得した男の実話集。●ムスコが一皮むけたら人間も一皮むけた。●いつでも「気持ちいい」セックスができる。

第3章　最新の技術「無痛」治療法。

綿密な研究を重ね、東京上野クリニック独自の最新技術「無痛4段階麻酔システム」を開発。手術を受けた方から「痛くなかった」という声が、その成果を実証しています。●まず確実な基礎麻酔から。●深部冷却法を採用することで痛みをシャットアウト。●日本一の極細針を使用することで針を刺したことすら感じさせません。●すぐ切れてしまう局部麻酔だけではなく「背面神経ブロック」により、手術中・手術後も完全無痛を配慮します。

第4章　ていねいな手作業「無傷」の仕上がり。

東京上野クリニック独自の手術法により「無傷」を実現。それはひとりひとりに合わせた「複合曲線作図法」を行っているから。●東京上野クリニックでは手術跡が残りにくい特殊な高周波メスを使用しています。●東京上野クリニックでは美容形成用の特殊糸と極細針を使い、他にはない独自の方法で縫合。

第5章　男の性を尊重した「安心」の提供。

●東京上野クリニックは、オール男性によるプロフェッショナル集団です。
●東京上野クリニックは、男性泌尿器専門の形成外科であり、女性美容形成はいっさい行っておりません。
●東京上野クリニックでは、24時間対応のフリーダイヤルシステムを完備しています。
●東京上野クリニックでは、「生涯再診無料」という安心保証システムを導入しました。
●東京上野クリニックでは、来院すら他人にわからない完全予約制による無料診断システムを導入しています。

第6章　早めの対応が肝心な性病治療。

●包茎は尿道炎やコンジローム、包皮炎などの原因をつくりやすくします。●たいていの性病は早めの治療ですぐ完治。迷わずすぐに相談を。
●東京上野クリニックは、包茎治療と同じく、性病検査についても24時間受け付けております。

第7章　男女とも快感をアップする法。

●「余分な包皮」のカットは女性を歓喜させます。●カリに摩擦感が生まれない「余分な包皮」は、セックスの快感を大きく妨げます。

第8章　男をさらに磨く改造計画。

●東京上野クリニックでは、独自の方法で開発したコラーゲンによる亀頭増強法を提案いたします。
●東京上野クリニックでは、敏感な亀頭を強化して早漏を抑えます。

第9章　もうひとつの男を磨く道。それは育毛。

●日本人の4人に1人は薄毛に関する悩みを抱えています。●東京上野クリニックでは、その人にあった治療法をセレクトします。
●東京上野クリニックは、豊富な育毛法を提案します。

第10章　もうひとつの男を磨く道。それは脱毛。

●いま、スベスベ肌の男性がなぜモテる。●東京上野クリニックのレーザー脱毛なら、「無痛」「無傷」「安心」。
●東京上野クリニックのレーザー脱毛で得した男の話。

（以上：全て目次より）

MEN'S BODY POWER UP 一生に一度の男の手術
24時間直接電話相談 0120-508-550
メンズ総合テープ案内 0120-087-008
24時間無料電話相談 一生に一度の男の手術 無痛！無傷！安心！
東京上野クリニック

「MEN'S BODY POWER UP」
定価648円（税別） 判型：A5判　ページ数：80頁

発行所 株式会社双葉社
〒162-8540 東京都新宿区東五軒町3番28号

ご紹介できる全国の上野クリニック一覧

地域	電話	住所
札幌	011-252-6000	中央区北4条西2 アイビル4F
仙台	022-723-3000	青葉区中央1-6-27 仙信ビル7F
新潟	025-241-4000	新潟市花園1-4-6 柳都ビル2F
大宮	048-642-1000	さいたま市宮町2-11 ハシモトビル7F
東京	03-3274-4000	中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル14F
上野	03-3876-7000	台東区根岸1-8-18 高松ビル4F
渋谷	03-5784-3000	渋谷区宇田川町33-8 塚田ビル7F
新宿	03-3343-4000	新宿区西新宿1-3-15 栃木ビル7F
横浜	045-323-5000	西区北幸2-10-50 北幸山田ビル2F
千葉	043-221-8000	中央区富士見1-2-11 勝山ビル6F
浜松	053-452-6000	浜松市鍛冶町140-3イズムハママツCビル5F
名古屋	052-562-5000	中村区名駅3-26-21 新香取ビル6F
京都	075-352-5000	下京区新町通七条下ル東塩小路町593クリスタル駅前ビル1F
大阪北	06-6456-3000	北区梅田1-2 駅前第2ビル2F
大阪南	06-6634-3000	中央区難波3-5-11 東亜ビル8F
岡山	086-224-9000	岡山市本町6-36 第一セントラルビル3F
福岡	092-415-6000	博多区博多駅東1-12-7 第13岡部ビル2F
鹿児島	099-812-3800	鹿児島市中央町3-26 西駅M.Nビル5F

この本についてのお問い合わせは
TEL/03-5543-3700

泌尿器科・形成外科・性病科
東京上野クリニック

24時間無料電話相談
0120-508-550
携帯・PHSからもご利用できます。

メンズ総合テープ案内
0120-087-008
携帯・PHSからもご利用できます。

メール相談もできる男のHP　http://www.ueno.co.jp　携帯アドレス　http://www.ueno-c.com

SRS DX

11・22 No.58

11・3『PRIDE.17』東京ドーム速報

1・11「一撃」で武蔵VS野地竜太 実現!

平成12年4月25日第3種郵便物認可 平成13年11月22日発行 第3巻・22号・通算58号
編集人・谷川貞治 発行人・柳沢忠之 発行所・(株)フジテレビ出版/
(株)ローデス 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F 電話/03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社 〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円 本体648円

雑誌21584-11/22 T1121584110684 Printed in Japan